

せうご 小戸(名) ①小戸(小サイ家文) ②酒量小的

せうご 笑語(名) 笑語、説説笑笑

せうこく 小國(名) 小國

せうこことなし(形久活) 無法子、沒

法子、不得已(せうこことなしに承諾した) 無法子答應了

せうこん 消魂(名) 消魂(氣ヲ奪)

せうこん 招魂(名) 招魂

せうさ 少佐(名) 協參領(清ノ陸軍)、參領(海軍)、少校(國)

せうさ 照査(名) 查對

せうさう 少壯(名) 少壯

せうざう 肖像(名) 肖像(肖像畫)

せうざう 喜容、寫眞(肖像を畫く) 畫

像、畫喜容、傳眞、寫眞

せうさつし 小冊子(名) 小書本兒

せうさん 小産(名) 小産、小喜、小

月子

せうさん 消散(名) 消散、解散、消

せうさん 硝酸(名) 硝强水

せうし 硝子(名) 玻璃

せうし 笑止(名) 可笑極了

せうし 燒死(名) 燒死

せうし 小史(名) 略史、小史

せうじ 少時(名) ①少刻、少頃 ②年輕的時候

せうじ 小事(名) 小事

せうじ 小字(名) ①小字(小サキ) ②乳名、奶名、小名(幼少)

せうしつ 燒失(名) 燒沒

せうしふ 招集(名) 招集、喚集、招

聚、傳集、邀聚

せうしふ 召集(名) 召集(國會を招集する) 召集國會

せうしふ 小集(名) 小聚、小聚會

せうしや 瀟洒(名) 瀟洒

せうしや 抄寫(名) 抄寫(抄書)

せうしやう 少將(名) 協都統(清ノ陸軍)、偏帥(海軍)、少將(國)

せうじやう 霄壤(名) 霄壤

せうじやく 小酌(名) 小酌、小飲

せうじやく 照尺(名) 斗牌、表尺、

せうじゆう 小銃(名) 槍、線牌

せうじゆう 小春(名) 陽春、小陽春

せうじゆん 照準(名) 照準(定メルヒ)

せうしよ 詔書(名) 詔書

せうしよ 小暑(名) 小暑

せうしよく 少食(名) 飯量小

せうしん 焦心(名) 焦心、「小的

せうしん 小身(名) 俸祿少的、官

せうしん 小心(名) 小心、心眼兒

せうじん 小人(名) 小人

せうじんぶつ 小人物(名) 小人物

せうすう 少數(名) 少、少數(今日は出席者が少數です) 今天到的人很少

せうすゐ 小水(名) 與せうべん同

せうせい 照星(名) 準頭(鏡)

せうせい 小成(名) 小成

せうせい 笑聲(名) 笑聲、樂的聲

せうせい 小生(代) 我、弟、兄弟

せうせう 小照(名) 小照

せうせう 悄悄(副) 悄悄

せうせう 昭昭(副) 昭昭

せうせう 少少(副) 稍微、一點兒、

一會兒(汽船なら少少の風は平氣です) 若是坐火輪船少微的有點兒風也不理會(これは少少ですが差上げます) 這不過是些許

微物奉送閣下(少少お待ち下さ

い) 請待一會兒、您、請等一等

「少少困った」我少微的爲點兒難

「少少の金なら都合出來ます」若

是一點兒的錢還可以湊得出來

せうせき 硝石(名) 硝石、硝磺

せうせつ 小説(名) 小説

せうせつ 小雪(名) 小雪(二十四)

せうせつ 小節(名) 小節

せうぜつ 饒舌(名) 多嘴、多言、多

舌、滑舌

せうせん 哨船(名) 哨船

せうせん 小戰(名) 小戰、打小戰

せうぜん 悄然(副) 悄悄

せうそ 小姐(名) 小姐

せうそく 消息(名) 消息(消息子)

①探條、濾管、噴藥筒(消息文)

②尺牘、書信文

せうた 饒多(名) 許多

せうたい 小隊(名) 排(小隊長)

せう(チャウ)排長

せうたい招待(名) 請客、招請、邀請、招待、置酒延賓(三人の客を招待する)請三位客(御招待を蒙り有難存候)辱蒙寵招心感奚似(招待券)優待券、招待票、招待券(招待状)請帖、知せうだい昭代(名) 昭代「單子、鶏心小膽兒」
せうたん小膽(名) 膽子小、鶏膽子、鶏心小膽兒
せうだん笑談(名) ①說說笑笑
せうち招致(名) 招致「地、濕田」
せうち沼地(名) 沼地、澤地、濕地
せうちちう燒酎(名) 燒酒 「女兒」
せうぢよ少女(名) 姑娘、童女、小

せうちよく詔勅(名) 上諭、聖諭

せうちん銷沈(名) 銷沈、委頓(元氣銷沈)精神委頓、沒精神、無精打彩的、元氣銷沈
せうづ小豆(名) 小豆
せうてい少弟(名) 幼弟、小兄弟
せうてき小敵(名) 小敵
せうてん焦點(名) ①聚光點、光心、燒點、焦點②中心、中心點「彼は怨恨の焦點となった」衆人怨恨都衝着他
せうでん小傳(名) 小傳
せうぢ小奴(名) 小奴兒
せうとく小鬪(名) 打小仗、小衝
せうとく消毒(名) 消毒、滅毒、滅

菌(消毒器)消滅微菌汽鍋、滅菌(消毒藥)消毒藥、消毒傳染藥、薰洗藥料(消毒する)消毒、薰洗、消止傳染

せうなう小腦(名) 小腦
せうなふ笑納(名) 晒存、莞存(御笑納被下度候)晒存是荷、即希莞存
せうに小兒(名) 小兒、小孩子(小兒科)小兒科
せうねん少年(名) 少年(少年團)青少年、年輕的人(少年義勇團)童子軍(少年團)同上
せうはい招牌(名) 招牌
せうばう燒亡(名) 燒沒
せうばう消防(名) 救火、消防(消

せうひ消費(名) 消費、銷、銷用、銷耗、銷毀(消費者)銷用家、銷用者(消費組合)消費協作、消費合作(消費稅)消費稅、消稅(國內消費稅)内地消稅(消費地帶)銷場(石炭を消費する)費
せうひ小婢(名) 小丫頭
せうび少微(名) 少微 「眉之急」
せうび燒眉(名) 燃眉(焦眉之急)燃
せうふ少婦(名) 少婦(少婦)姑娘
せうふ樵夫(名) 樵夫、打柴的

せうへい招摺(名) 摺摺、延請
せうへい哨兵(名) 哨望、哨人
せうべん小便(名) 小便、小恭、小便、尿、溺(小便囊)尿管(小便をする)撒尿、解手
せうほ召募(名) 召募
せうまきやう照魔鏡(名) 照妖鏡
せうまん小滿(名) 小滿
せうみん小民(名) 小民 「耀」
せうめい照明(名) 照明、光照、照
せうめつ燒滅(名) 燒化、燒沒
せうめつ消滅(名) 消滅、熄滅、絶、盡、滅絶、失效、無效(權利の消滅)權利之失效(この契約は三年で消滅する)這個合同再過三

年就無效了、此項合同限三年作廢
せうもう消耗(名) 消耗、虧耗、消耗、耗損、銷磨(消耗費)消費(消耗品)消耗物品
せうやく抄譯(名) 撮要翻譯
せうよう小用(名) 與せうべん同
せうらん笑覽(名) 晒覽
せうらん擾亂(名) 擾亂、攪亂
せうり小利(名) 小利、微利
せうり小吏(名) 小吏
せうりう笑留(名) 晒存、莞存
せうりう小流(名) 細流、小流
せうりやう小量(名) ①一點兒、少

せうせか

量、微量、少許 ②度量小、量小
 せうりよ 焦慮(名) 焦思、焦慮
 せうれう 鷓鴣(名) 鷓鴣
 せうろく 抄録(名) 抄寫、抄録
 せうわ 小話(名) 零碎的話
 せうわ 笑話(名) 笑話
 せうる 少尉(名) 協軍校(清軍)、參佐(海軍)、少尉(國民)
 せおふ 脊負(四段他動) 負、背(子供を脊負ふ) 背小孩子(荷物を脊負ふ) 背行李
 せかい 世界(名) 世界、四海(世界周遊) (ワイス) 週游世界、游歴地球
 せがき 施餓鬼(名) 供養野鬼、放餓口
 せかす 急ス(下二段他動) 催、使快

せかせき

(せかせか) (副) 心忙、忙忙叨叨
 (何をせかせかして居るので) 你做甚麼這麼忙忙叨叨的(さうせかせかせき立てるな) 你別這麼趕我
 せがは 脊革(名) 書背用皮裝釘的、半皮裝釘的(脊革綴) 同上
 (せがむ) (四段他動) 勒指、強求、措、死乞白賴的要(子供が母にせがむ) 小孩子跟母親勒措
 せがれ 俸(名) ①小兒、犬子、小孩子(厄子) ②陽物
 せき 咳(名) 咳嗽(咳をする) 咳嗽
 せき 關(名) ①關 ②堰、堰壩 ③蹠
 せき 關の頭目 ①妨礙(人目の關) 礙眼(關の山) 極點、極度、極處
 せき 籍(名) ①書籍 ②籍貫 ③國籍

せき

せき 積(名) ①積 ②相乘二數所得之數
 せき 席(名) ①席(形) ②坐場、坐位、地方、座 ③屋子、室 ④雜耍館子
 (座) ⑤班次(役所では彼の方が席が上です) 在公署他是班次在前
 (坐る席がない) 沒有坐的地方、沒有坐位(席に就く) 就座(來賓席) 來賓坐場(傍聽席) 旁聽席(男子席) 男座(婦人席) 女座
 せき 尺(名) 與しやく同
 せき 隻(名) 隻(軍艦三隻) 三隻兵船(一隻眼) 一隻眼
 せき あい 惜愛(名) 惜愛
 せき あく 積惡(名) 積惡
 せき あぐ (下二段自動) 綯氣

七八八

せき

せき いん 借陰(名) 借陰
 せき いん 石印(名) 石印
 せき えい 隻影(名) 隻影
 せき えい 石英(名) 石英
 せき えん 赤鉛(名) 紅丹、丹粉
 せき かい 石階(名) 石階、石頭臺階兒
 せき かう 石膏(名) 石膏、元精石
 せき がき 席書(名) 在大家跟前寫字畫畫兒
 せき かく 刺客(名) 刺客 「碑
 せき たふ 石塔(名) ①石頭塔 ②石
 せき たん 石炭(名) 煤(石炭油)
 (アブラ) (ユ) 煤油、火油(石炭坑) (カウ) 煤窰、煤礦(石炭瓦斯) (ガス) 煤氣(石炭酸) (サシ) 煤酸、石炭酸(石炭層) (アウ) 煤層(石炭船) (アホ) 運煤

せき

せき ちよ 石女(名) 石女(ヌハラ)
 せき てい 席亭(名) 雜耍館子、書館、雜戲場
 せき てん 釋奠(名) 釋奠
 せき ち 尺度(名) 尺、尺度
 せき ちう 石磴(名) 石磴
 せき ちく 積德(名) 積德
 せき ちく 尺牘(名) 尺牘、信
 せき ちむ 塞止ム(下二段他動) 與せく

せき

せき どり 關取(名) 蹠跂的頭目
 せき なう ゆ 石腦油(名) 石腦油
 せき にん 責任(名) 責任、責成(無限責任) (ムゲン) 無限責任(有限責任) (ユウゲン) 有限責任(責任内閣) 責任政府(責任が重い) 責任大、責任重(責任を負ふ) 擔責成、負有責任、擔責任(責任は彼にある) 責任在他身上、惟他是問(責任を卸す) 卸下擔子、辭責(重い責任を持つ) 擔負重任、擔沈重、有責成(紛失ありとも責任は負ひ不申候) 倘有遺失概不負責
 せき ねん 昔年(名) 昔年、老年
 せき ねん 積年(名) 積年
 せき はい 惜敗(名) 失敗的眞可惜

七八九

せきばく 寂寞(名) 寂寞
 せきばつ 席末(名) 末尾的座位
 せきばらひ 咳拂(名) 假咳嗽
 せきはん 赤飯(名) 小豆飯
 せきばん 石版(名) 石印、石版印
 刷(石版畫)(名) 石版畫
 せきばん 石盤(名) 石盤
 せきひ 石碑(名) 石碑
 せきひつ 石筆(名) 石筆
 せきひん 赤貧(名) 赤貧
 せきふ 責付(名) 保釋
 せきぶつ 石佛(名) 石頭佛爺
 せきふん 積憤(名) 積憤
 せきへい 積弊(名) 積弊 「墨
 せきほく 石墨(名) 黑鉛、筆鉛、石
 せきほん 石本(名) 與たくほん同
 せきまつ 席末(名) 末席、末座

せきむ 責務(名) 責任
 せきめん 赤面(名) 害臊、害羞
 せきめん 石綿(名) 石絨、不灰木、
 石綿、龍骨泥、毛華瑛、陽走石
 せきもり 關守(名) 關吏、守關的
 せきや 關屋(名) 關吏住的房
 せきやう 夕陽(名) 夕陽
 せきやう 施行(名) 賑恤、救恤
 せきやう 石油(名) 煤油、石油、火油
 〔石油焜爐〕(名) 火油爐、打氣
 火油爐〔石油井〕(名) 油井、油泉
 〔石油發動機〕(名) 煤氣機、石
 油機、油力發動機
 せきら 赤裸(名) 赤身、赤體、光身
 子、赤條條、赤裸裸、一絲不掛
 〔赤裸裸〕(名) 同上〔赤裸裸に云ふ〕
 開口直説、嘴直説、直説出來、

せきせく 簡直的説
 せきり 赤痢(名) 赤痢、紅痢、紅白
 せきりやう 石榴(名) 石榴 「痢
 せきりやう 脊梁(名) 脊梁〔脊梁骨〕
 〔脊〕脊梁骨、脊骨、背脊骨
 せきりん 石痲(名) 石痲、砂淋、膀胱
 痲、膀胱
 せきる 瀨切ル(四段他動) 堵住水、壅
 せきれい 鶴鴿(名) 鶴鴿、雪姑
 せきれう 席料(名) 質座兒的錢
 せきれう 寂寥(名) 寂寥
 せきわう 石黃(名) 石黃
 せく 塞ク(四段他動) 堵住、堵塞、壅
 壅塞、擋住〔水を塞く〕堵住水、
 開上水、擋上水〔關で塞き止む〕
 堆壅堵塞
 せく 急ク(四段他動) 〇着急(chao)
 急(急)趕活

せく 急ク(四段自動) 〇喘(息が急ぐ)
 喘氣(喘急)(chao-shi)「氣が急
 く」着急、心急(急いでは事を仕損
 ず)太着急就把事情辦壞了、忙
 中有錯「氣は急ぐが足が進まぬ」
 心急腿慢

せく 急ク(四段自動) 同上 〇趕(仕事
 を急ぐ)趕活
 的「彼は世間の評判がよくない」
 他是外頭聲氣不好「世間で風聞
 する」外頭傳説「世間に名の聞え
 たる」知名於世界、他的名聲世
 上人都知道的、四遠馳名的「う
 まく世間を渡る」善於處世「世間
 は相持です」人生在世得互相扶
 助(維持)

せく 急ク(四段他動) 〇着急(chao)
 急(急)趕活
 長里短「世間話をする」説閒話、
 談天兒
 せく 世故(名) 世故、世事「世故に
 長けたる人」通世故的人、通曉
 世事的人
 せく 勢子(名) 打獵的
 セCOND(名) (Second) 一秒、一
 秒的工夫(時) 忙針、秒針
 せさい 世才(名) 世才 「袍子
 せざきばおり 脊裂羽織(名) 開襟
 せじ 世事(名) 世事、世務、世路
 「世事に疎い」疎於世事「世事に
 長ける」閱歷世事、通世故、長於
 世事「世事に通ず」通曉世事
 せじ 世辭(名) 奉承「世辭が上手」會
 奉承「此品はお世辭にもよいと云
 はれない」我不敢奉承你說是這

せく 咳ク(四段自動) 咳嗽
 せぐくまる 跣ル(四段自動) 跣、跣
 促、跣躑
 せけん 世間(名) 世上、世面、外頭
 「世間見ず」不知世故、不諳世
 務、沒見過世面的人、不開眼的
 人「世間知らず」同上「世間が騒し
 い」世上不安靜「あの人世間が
 狭い」他是交際窄、他是寡交游

せげん 女術(名) 牙婆子、鴉母、
 老鴉子、老繚婆
 せげんてい 世間體(名) 體面「世間
 體が悪い」叫人看着不體面
 せけん なみ 世間並(名) 普通、平
 常、平凡、平庸、依常例「世間並
 の人」平平凡凡的人「世間並に
 しておく」按着世上常例辦
 せけんばなし 世間話(名) 閒話、家

せく 世辭(名) 奉承「世辭が上手」會
 奉承「此品はお世辭にもよいと云
 はれない」我不敢奉承你說是這

個東西好「決してお世辭ではありませぬ」並不是奉承話「世事者」會奉承的人

搶、搶奪

せしや施捨(名) 施捨、賙濟、佈施

せじやう世上(名) 世上、世面

せじやう世情(名) 世情

せしゆ施主(名) 施主、捨主

せじん世人(名) 世人、世上人

せすぢ脊筋(名) ①脊梁溝兒(背)

②脊梁縫兒(衣服)

③錢(小孩) 與せせる同

④せせこまし 狹細シ(形容久活) 窄

せせなぎ(名) 水溝

せせひひ 是非是非(名) 是說是非

説非、直爽、直率

せせらわらひ嘲笑(名) 嘲笑

①挽起來(掘ル) ②顯出不好兒來(人ノ非ヲ)

せそう施僧(名) 施捨和尚

せぞく世俗(名) 世俗、世上

せたい世態(名) 世態

①せたい世帯(名) 與しよたい同

せだう世道(名) 世道

せたぐ虐グ(下二段他動) 虐待

せたけ脊丈(名) 身量

せち節(名) 節、時候

せち世智(名) 世才「世智賢し」長

於世才「世智辛し」過日子緊、生

計艱難

せつ節(名) ①節「節を守る」守節

②時、時候、際「在京の節は大變お世話になりました」我在京時

諸事叫您費心謝謝③節氣、節

候、節令「今年は節が少し晚れて

居る」今年節氣晚一點兒「此節」

現在、近來④節「天長節」萬壽節

「端午の節」五月節、端午節

せつ説(名) ①説②主意、意見、意

思「私の説に據れば」據我的主

意、據我説「御説は如何です」您

有甚麼主意、貴意如何、有何高

見

せつ拙(名) ①拙②代 我、兄弟

せつ切(名) 切

せついん雪隠(名) 茅廁、茅房、廁

せつえい拙詠(名) 拙詠

せつえい泄洩(名) 洩漏

せつえい切要(名) 切要

せつえん絶縁(名) ①絶戸(毎コトニ)

②絶情(強コト) ③隔離、隔

電、絶縁(絶縁線) ④絶縁線(絶

縁體)(タイ) 隔電物、絶縁物、絶縁

せつか拙家(名) 舍下

せつか拙下(代) 我、兄弟

せつか絶佳(名) 絶佳

せつかい切開(名) ①切開、截開②

刺開(刺開) 切割、割開、切

除「腫物を切開する」刺開疥瘡

③卵巢切開」切除卵巢

せつがい殺害(名) 殺死、殺害、殺

斃、兇殺、行兇

せつかう絶好時機 絶好「絶好の機

會」絶好時機 「了交情

せつかう絶交(名) 絶交、斷交、斷

ぜつかう舌耕(名) 舌耕

せつがふ接合(名) 接上、接合「接

合處」③接合處、接合線、接縫

せつかん切諫(名) 切諫

せつかん折檻(名) 責備、申飭

せつき節季(名) ①年下、年底②節、

節關「節季の拂」節限

せつき糞器(名) 夜壺、尿壺、便壺、

夜淨兒、馬桶

せつき節義(名) 節義

せつきやう説經(名) 講經

せつきん接近(名) 接近、挨近、挨

摩、挨靠、貼近、隣近、附近

せつく節句(名) 節「五月の節句」五

月節、端陽節、端午兒(Fami' wu'

San)「三月の節句」上巳節「九月

の節句」重陽節(Ch'ung' Yang')「意者の

節句(働) 懶人趕節做活

(せつ)く (四段他動) 催、強求

ぜつく 絶句(名) 絶句

せつくわ 雪花(名) 雪花、雪片〔雪

花菜〕(サイ)豆腐渣兒

せつくわん 攝官(名) 兼官

せつぐわん 切願(名) 情願

ぜつぐん 絶群(名) 絶羣、超羣

せつけ 拙家(名) 舍下

ぜつけ 絶家(名) 絶戸

せつけい 設計(名) 設計、畫策、計

劃〔設計と製圖〕計劃繪圖、設計

和描畫〔設計書〕(シ) 圖形、樣

子、圖樣、計劃書、營造書(家屋、

造法書(岡)

ぜつけい 絶景(名) 絶勝

せつけう 説教(名) 説法、講教、傳

教、講道

せつけん 接見(名) 接見、接客、接

待〔接見日〕(日) 會晤之日

せつけん 攝兼(名) 兼攝

せつけん 節儉(名) 節儉、省錢

せつげん 節減(名) 節減、擲節、裁

減、節省、截短〔冗費節減〕(ジョウ

裁減冗費、擲節花費〔經費節減〕

(ケイヒ) 裁減經費

せつご 接後(名) 後續

せつご 絶後(名) 絶後(後ヲ絶ヤ)

せつごく 折獄(名) 折獄、審案、審

斷

せつごつ 接骨(名) 接骨、整骨

せつごん 舌根(名) 舌本、舌頭根

せつさう 切嘆(名) 切嘆

せつさう 節操(名) 節操、操守

せつさく 拙作(名) 拙作

せつさく 拙策(名) 拙策、左計

せつさん 折算(名) 交換、兌換

せつし 切齒(名) 切齒、磨牙

せつじ 綴字(名) 拼音、連字、綴

字、拼字

せつじつ 切實(名) 切實

せつしや 拙者(名) 我、弟、兄弟

せつしやう 攝政(名) 攝政、代治、

せつしやう 節省(名) 節省〔代政

せつじやう 殺生(名) 殺生

せつじやう 接上(名) 接上頭

せつじやう 接壤(名) 接壤、接界、

接壤

せつしゆ 節酒(名) 少喝酒、節酒、

節取、得取

せつしゆ 攝取(名) 偷、偷竊

せつしゆ 接手(名) 接手、接到手

せつしゆ 接收(名) 接到、收到

せつじゆ 接受(名) 接受、接收

せつじゆつ 説述(名) 述説

せつじよ 節序(名) 節序、節氣

せつしよ 折衝(名) 折衝

せつしよ 接踵(名) 接踵

せつしよ 絶勝(名) 絶勝

せつしよ 接觸(名) 接觸、相觸、

相接、接近〔敵と接觸して敵情を

探る〕和敵接近探探情形〔世間

と接觸せぬ〕與世無聞問、杜門

謝客

せつしよく 絶食(名) 絶粒、絶糧

せつしよく 絶色(名) 絶色、絶代佳

せつじん 舌人(名) 當繙譯的〔人

せつす 接ス(佐變自動) 接、挨〔客に接

す〕接客〔河に接す〕挨着河

せつす 接ス(佐變他動) 接〔踵を接して

至る〕接踵而至(文)〔界を接す〕搭

界、交界

せつす 節ス(佐變他動) 節、節制〔飲食

せつせい 攝生(名) 攝生、衛生〔政

せつせい 攝政(名) 攝政、代治、代

せつせい 節制(名) 節制〔不節制〕沒

有節制、無度、放縱〔情慾を節制

する〕節制情慾、節慾

せつせつ 絶世(名) 絶世

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつせつ 切切(副) 切切

せつた雪踏(名) 日本草鞋之名、鞋

底貼皮的

せつたい接待(名)

①接待、應酬、招待、周旋、款待、接客、②施捨、佈施(接待員(キシ))

せつたい設題(名)

①題目、②出題

ぜつたい絶對(名)

①無限、完全、無限制、絶對、純然、純粹(絶對の權力)無限之權勢、絶對權(絶對服從)(ケジユウ)絶對服從(君主の權力は絶對です)君權無限制、決、必然、必定(絶對に無いこと)決沒有的事

ぜつだい絶代(名)

絶代

ぜつだい絶大(名)

絶大

ぜつたいぜつめい絶體絶命(名)

進退維谷、無可奈何、百計皆窮、

絶望、智窮計竭(もう絶體絶命此上はただ運命のままよ)我無可奈何不如聽天由命罷俐

せつたう竊盜(名)

竊盜、竊賊

ぜつたう絶島(名)

孤島

せつたく拙宅(名)

寒舍、茅舍、舍

せつだん折斷(名)

折斷

せつだん截斷(名)

截斷、割斷、割

下、割去、刺下(カ)「電線を截斷する」割斷電線(截斷面)(メシ)截

口、截面、斷面

せつち設置(名)

置、置設、安置

ぜつちやう絶頂(名)

①儘頂兒、絶巔(山の絶頂)山的儘頂兒上、②到頭兒、極頭、盡頭、極處(今は物價の高い絶頂です)現在是在東

西貴到頭兒的時候

せつちゆう折衷(名)

折中、折衷、合中、扯平

(せつちん雪隠(名))

與せついん同

せつてい設定(名)

安置、設定

せつてん拙店(名)

敝店、敝號

ぜつとう舌頭(名)

舌頭

ぜつとう絶東(名)

「東

せつとう接頭語(名)

添在他語之上整腔調之語、「た易し」之た「さ迷ふ」之さを川」之た・さを即是也

せつとく説得(名)

説得叫他明白

せつな刹那(名)

刹那、瞬間、瞬時、頃刻

(せつない(形久留))

苦、難受(こんなせつない思をするより死んだ方が

せつぶく切腹(名)

豁肚子

せつぶつ節物(名)

按時候下來的

せつぶん綴文(名)

作文

せつぶん拙文(名)

拙作

せつぶん節分(名)

立春頭一天

せつぶん接吻(名)

親嘴、接吻

せつべき絶壁(名)

絶壁、峭壁、峭

せつべん切片(名)

切的片兒「崖

せつほく接木(名)

接樹

ぜつみやく絶脈(名)

死脈

ぜつむ絶無(名)

絶無

せつめい説明(名)

講、解說、解釋、

解明、説明白、講明、解開(説明書)

ぜつめい絶命(名)

絶命

ぜつめう絶妙(名)

絶妙

せつばう切望(名)

切望、殷盼(切望する所なり)(文)

是所切望、是

爲殷盼

「望、無可如何

ぜつばう絶望(名)

絶望、死心、無

がました)與其這麼苦惱莫若死了倒好「息が塞ってせつない」氣

懣的難受 「る」切切規勸

せつに切(副) 切切(切に忠告す

ぜつねん絶念(名) 死了心了、打

斷了念頭

せつばふ説法(名) 説法

せつば説破(名) 説倒了(バウ)

せつば切羽(名) 刀盤上的護鐵(切

羽詰る)進退維谷、想盡了主意、

智窮計竭、迫不及待、迫於萬不

得已、事到頭來、到了無可奈何

的地步了

せつばう切望(名) 切望、殷盼(切

望する所なり)(文) 是所切望、是

爲殷盼

「望、無可如何

ぜつばう絶望(名) 絶望、死心、無

絶、滅盡、剪草除根、拔本塞源、杜絕根株
 せつもく 節目(名) 節目
 せつやう 攝養(名) 調養 「節
 せつやく 節約(名) 節約、節省、摶
 せつゆ 説諭(名) 諭説、勸導、理論
 せつよう 節用(名) 節用(費用ヲ)、節
 省、惜用 「慾
 せつよく 節慾(名) 節慾、節制情
 せつりつ 設立(名) 設立、組設、開
 辦〔設立費〕(一)開辦經費〔學校を
 設立する〕設立學校、開辦學校
 せつりふ 絶粒(名) 絶糧、絶粒
 せつりやく 節略(名) 節略
 せつりん 絶倫(名) 絶倫
 せつれつ 拙劣(名) 拙劣、拙笨
 せつろく 節録(名) 節録

せつわ 説話(名) 話、説話
 せつ瀬戸(名) ①海腰、海峽、海頸
 ②磁器 ③關頭(ギョト)
 せつ背戸(名) 後門兒
 せつは瀬戸際(名) 關頭、臨到：
 的邊兒上、將要……〔生きる
 か死ぬかの瀬戸際〕死生關頭
 せとぐち 背戸口(名) 後門口兒
 せともの瀬戸物(名) 磁器〔瀬戸物
 師〕(一)磁器匠〔瀬戸物屋〕(二)磁器
 店
 せなか背中(名) 脊梁、脊梁骨〔背
 中合〕(アハセ) 1. 對着脊梁坐 2. 兩
 人 不和睦
 せに錢(名) 錢、貨幣、金錢
 せにあふひ 錢葵(名) 小壽久花
 せにいれ 錢入(名) 錢盒子(匣中)、錢

襜褕兒(ラサケル)、錢囊、錢袋、錢
 包、錢荷包
 せにうち 錢打(名) 打錢兒的賭博
 (地面ニ筋ヲ書キ其中ニ錢ヲ入レ少シ距リタル處
 ヲリ錢ニテ此錢ヲ圓外ニ打出シ勝負ヲ決スル賭
 リ博ナリ)
 せにがさ 錢瘡(名) 圈癬、錢兒癬
 せにがた 錢形(名) ①錢樣兒 ②紙
 せにがめ 錢龜(名) 小龜 「錢
 せにぐるま 錢車(名) 紡線墜兒
 せにごま 錢獨樂(名) 錢做的捻捻
 轉兒
 せにさし 錢差(名) 錢串、錢貫兒
 せにつかひ 錢遣(名) 花錢〔錢遣が
 荒い〕浪花錢財、揮霍
 せにつく 錢盡(名) 與かねづく同
 せにつら 錢面(名) 錢〔錢面を見る
 と義理人情も忘れてしまふ〕一看

見錢就把天理人情忘在九霄雲
 外去了

せにば 錢箱(名) 錢櫃
 せにふ 施入(名) 施捨
 (せにまうけ 錢儲(名) 賺錢的事
 〔何か錢儲は無いか〕有甚麼得便
 宜的事情沒有、有甚麼生財之
 道沒有
 せぬひ 脊縫(名) 脊梁縫兒
 せにん 是認(名) 以爲然、是認、同
 意、承認、應諾
 せのび(名) 伸懶腰、打欠身
 せはし 忙シ(形久活) 忙〔忙しくて暇
 がない〕忙的沒有閒工夫
 (せはし 狭シ(形久活) 窄
 (せはし ない(形久活) 忙
 (せはし ない(形久活) 忙

せばまる 狹ル(四段自動) 窄起來〔道
 が狹る〕道路窄起來
 せばむ 狹ム(下二段他動) 使窄、弄窄、
 窄起來〔巾(シ)を狹める〕把寬地
 面弄窄
 せばひ 是非(名) 是非〔是非がない〕無
 法子、沒法子〔是非を分たす〕不
 分是非〔是非に及ばず〕無法子、
 沒法子
 せばひ 是非(副) 必須、必定、一定、
 必得、總得〔是非一度行かればな
 らぬ〕去必得一邊〔是非面會致し
 たい〕總得見一回〔是非是非〕與
 是非(副) 同〔是非とも〕同上
 せばひなし 是非無シ(形久活) 無法子、
 沒法子〔是非なく解雇した〕無法
 子把他散了

せひに 是非(副) ①必須、必定、
 一定 ②一死兒的〔是非に頼むか
 ら承諾しない譯には行かない〕他
 一死兒的托我所以我不能不答
 應
 せひやう 世評(名) 世上的風聲
 (せびる 強請ル(四段他動) 強求、逼
 勒、勒求、強討、勒索
 せびれ 脊鰭(名) 脊刺(Chick's tail)
 せふ 妾(名) 妾、姨奶奶、偏房、小
 星
 せふ 妾(代) 妾(語文)、小婦人(人ノ妻タル
 者ノ自稱)
 せふけい 捷徑(名) 捷徑
 せふじゆ 頑顛(名) 與こめかみ同
 せふしゆつ 妾山(名) 庶出
 せふする 涉水(名) 涉水、趟水

せふせま

せふたたく 妾宅(名) 外家(妾宅を構へた)安了一份兒外家
 せふはう 捷報(名) 捷報
 せふふく 妾腹(名) 庶出
 せぶみ 瀨踏(名) ①試水深淺 ②試
 せふもう 睫毛(名) 眼睫毛 (yen³ chih⁴ mao³)
 せふれふ 涉獵(名) 涉獵
 せほね 脊骨(名) 脊梁骨
 せまい 施米(名) 施捨的米
 せまし 狭シ(形容) 窄、窄小、狭、狹窄(部屋が狭い)屋子窄(狭い路)窄道、窄路(世間が狭い)交際窄(心が狭い)心眼兒窄、心裏促狭、胸襟狹窄(見識が狭い)沒見過羅兒大的天、井底蛙

せませみ

せまる 迫ル(四段他動) 迫、逼、緊、捱(せ)、挨(あ)、餓に迫る)挨餓(飢寒に迫らる)爲飢寒所迫「敵の城に迫る」迫近敵人的城池(呼吸が迫る)喘氣(河の兩岸が迫る)河的兩岸捱上了(迫って萬止むを得ず)迫於萬不得已(危險が迫る)危險衝着人、危險在頭上、危險快臨身了(父に迫って時計を買ってもらふ)強求(魔)父親給買一個表(悲さ胸に迫る)滿心的悲哀(出發の時間が迫る)快到了起身的時候了
 せみ 蟬(名) ①伏天兒(ツクツク)、響了兒(chin⁴ niao³ shi³)、蟬の殼、蟬衣、蟬蛻(wa⁴) ②滑車、滑輪

せむせめ

せむ責ム(下二段他動) 說、責、責備、責斥、數落(人を責める)説人、責備人、數落人
 せむ攻ム(下二段他動) 攻、攻打、打、攻撃(城を攻む)攻城、攻打城池(人の過を攻む)攻人之過(藥で瘡を攻む)以藥攻瘡(攻め入る)攻進去(三日攻めても攻め落せなかつた)攻打了三天沒攻開(鼓(ツツ)を鳴らして之を攻む)鳴鼓而攻之(文)
 せむし 偃僂(名) 偃僂、羅鍋兒
 せめ責(名) 責、責任(責を塞ぐ)搪塞責任、敷衍了事、虛應故事、敷衍塞責(責を全うす)完了責任(責を引く)擔責任
 せめあふ 攻合フ(四段自動) 相攻、對

せめ

せめいる 攻入ル(四段自動) 攻進去
 せめうま 責馬(名) 排馬
 せめおとす 攻落ス(四段他動) 攻取、攻拔、攻陷、攻開、攻破 「攻撃せめかかる 攻懸ル(四段自動) 攻打、せめぎ責木(名) 與しめぎ同
 せめぐ 闕グ(四段他動) 闕、相爭
 せめぐ 攻具(名) 攻城之具
 せめだい 攻太鼓(名) 鞞鼓、攻撃的戰鼓
 せめだうぐ 攻道具(名) 攻城之具
 せめだうぐ 責道具(名) 刑具
 せめて 攻手(名) ①攻撃者、攻打者 ②先下手者
 せめて 責手(名) 責備人的人
 せめて (副) 那不是(na³)、那不得(na³)、雖不能……可是、沒法子

せめ

せめな 迫る(四段自動) 迫、逼、緊、捱(せ)、挨(あ)、餓に迫る)挨餓(飢寒に迫らる)爲飢寒所迫「敵の城に迫る」迫近敵人的城池(呼吸が迫る)喘氣(河の兩岸が迫る)河的兩岸捱上了(迫って萬止むを得ず)迫於萬不得已(危險が迫る)危險衝着人、危險在頭上、危險快臨身了(父に迫って時計を買ってもらふ)強求(魔)父親給買一個表(悲さ胸に迫る)滿心的悲哀(出發の時間が迫る)快到了起身的時候了
 せみ 蟬(名) ①伏天兒(ツクツク)、響了兒(chin⁴ niao³ shi³)、蟬の殼、蟬衣、蟬蛻(wa⁴) ②滑車、滑輪
 せめはたる 責促ル(四段他動) 嚴嚴
 せめやす 攻寄ス(下二段自動) 攻來

せめせり

せめん 洋糖、糖漿糖、打蟲子藥 ②與セメント同
 セメント(名) (Cement) 洋灰、水泥、塞門德泥
 せもつ 施物(名) ①施捨 ②施捨的
 せやく 施藥(名) 施藥
 せよ 施與(名) 施捨、施與
 せよ(動) 駢列同趣語句之助詞
 「行くにせよ行かぬにせよ一寸知らせて下さい」無論去不去得告訴我一聲兒、是去呀是不去呀無論如何得告訴我一聲兒
 せり 芹(名) 芹菜 「料賣
 せり 競(名) ①競、賽 ②拍賣(ウリ)、
 せり(動) 了(終日勉強せり)多整
 天用功了(顔を赤くせり)多臉紅了

せりせる

ゼリー(名) (Jelly) 凍子、膠凍子、菓汁凍子、菓醬、菓膏、肉凍
 せりあぐ競上グ(下二段他動) 買上去
 「價を競上げる」把價錢買上去了
 せりあふ競合フ(四段自動) 競爭、爭
 せりいち競市(名) 拍賣的市
 セリウム(名) (Cesium) 鉀
 せりうり競賣(名) 拍賣、叫賣、賣
 せりがひ競買(名) 爭買 「叫貨
 せりこむ迫込ム(四段自動) 擠進(人
 込の中へ迫込む)擠進人羣兒裡
 去
 せりだす迫出ス(四段他動) 擠出去
 せりたつ迫立ツ(下二段他動) 催、催
 せりふ臺詞(名) 白 「逼
 セル(名) 與セルシ同

せるせわ

せる競ル(四段他動) ①競、賽 ②買上
 去
 (せる(助動) 使、叫、教「子供を學校
 に行かせる」叫小孩子上學校去
 セルジ(名) (Serge) 斜紋呢
 セルロイド(名) (Celluloid) 寫留
 路以特、冲象牙、假象牙
 せれう施療(名) 施治
 セレニウム(名) (Selenium) 碲
 (Lun?)、硒(hsi?)
 せろ世路(名) 世路
 ゼロ(名) (Zero) 零、圈、零度、起
 度、零點「セロゲーム」全敗
 せろん世論(名) 世論、輿論
 せわ世話(名) ①酬應、應酬(客の
 世話をする)應酬客人(世話がと
 どかれ)應酬的不周到 ②照料、

せわ

照應、照管、照拂(世話する)給
 照料、給照管、張羅(世話を焼
 く)同上 ③管(彼を世話するな)
 您別管他(いらんお世話だ)不用
 管閑事 ④説、介紹(嫁)を世話
 する)給人説一個媳婦兒(英語
 の教師を世話して下さい)給我介
 紹一位英國話先生(あの人の世
 話で役人になった)他托他的人
 情做官了 ⑤費心、麻煩(世話の
 焼ける事だ)麻煩極了(大きにお
 世話様でした)叫您費心謝謝(世
 話好)ズキ好(Moo)管閑事、愛給
 人家管事的(世話女房)(ヨウメイ
 能事的媳婦兒(世話人)(ニシ)出
 首的人、首事人、發起人(世話
 物)(ヒ)新戲(世話焼)(キ)多管

八〇二

開事(世話役) 與世話人同
 せわりばかり春割羽織(名) 開襟
 袍子

せる所爲(名) 緣故、原因、所
 致、所使(頭痛は天氣の所爲でせ
 う)我腦袋疼許是天氣的緣故
 罷(あれも貧乏の所爲です)那也
 是貧之所使
 せん栓(名) ①塞兒(ツメ)、塞頭(壩
 ②挿關兒、門鍵、關鍵(窓に栓を
 さす)窗戶上把挿關兒挿上
 せん專(名) 專
 せん先(名) ①先 ②原先 ③舊(先を
 越す)佔人先、得佔人的先、壓
 人一頭、先下手、先下箸、搶先
 兒(人に先を越される)叫人給佔
 了先了(先の事)原先的事(先の

せん

主人(舊東家、舊居停)私から御
 禮を云ふ所を貴下に先を越され恐
 縮でした)我該當先給您道謝的
 您反倒給我道謝實在不敢當
 せん詮(名) 效驗、益處(後悔して
 も詮が無い)後悔也不及
 せん疝(名) 疝氣 「分(疳)
 せん錢(名) ①錢(ニ) ②一仙(一錢)
 せん線(名) 線、行(hang)道、邊(線
 を引く)畫一線、畫一行、畫個道
 兒(地平線)(チ)地平線(鐵道の
 線)火車路線(電線)電線
 せん選(名) 選
 せん錢(名) 錢
 せん仙(名) 仙
 せん撰(名) 撰
 せん氈(名) 氈子

せん

ぜん善(名) 善
 ぜん膳(名) 食糧(日本人は飯一膳)
 ぜん前(名) ①前(一千年前)一千
 年前、前一千〇〇〇年、上回、上次
 (前に私が来た時)上次我來時
 ぜん禪(名) 禪
 ぜん漸(名) 漸(漸を逐うて進む)逐
 漸而進、由漸而進、得步進步、
 逐步進行
 ぜん膳(接尾) ①碗(汁一膳)一碗湯
 ②雙(箸一膳)一雙筷子
 ぜんあく善惡(名) 善惡(善)
 ぜんい專意(名) 專意、一心一意
 ぜんい善意(名) 好、好心、好意(善
 意に解釋する)往好裏想
 ぜんいう專有(名) 專有 「據
 ぜんいう占有(名) 佔有、佔領、佔

八〇三

せんいつ 專一(名) 專一
 せんうん 船量(名) 暈船
 せんえい 尖銳(名) 尖銳
 せんえう 專要(名) 專要
 せんえき 戰役(名) 軍役
 せんえん 泉鹽(名) 井鹽
 せんえん 遷延(名) 遷延、遲延、遲
 緩、延滞、遲滞、耽擱、耽悞、時
 日を遷延する、遷延時日、耽悞
 日子
 せんか 泉下(名) 黄泉、九泉
 せんか 賤價(名) 賤價、廉價
 ぜんか 全家(名) 全家、闔家、御全
 家御揃御機嫌よく入らせられ欣喜
 の至に存候、闔府成寧欣抔奚如
 ぜんか 善價(名) 善價、大價
 ぜんか 漸加(名) 漸漸的多加

せんかう 線香(名) 線香、時辰香
 「蚊遣線香」(カヤリ) 蚊烟香「巻線
 香」(マキ) 盤香「線香立」(タテ) 香爐
 「線香花火」(ハナビ) 滴滴唧兒
 せんかう 遷幸(名) 移變、遷幸
 せんかう 潜行(名) 潜行、密行、微
 せんかう 先考(名) 先考 「行
 せんかう 先行(名) 先走、先行、前
 せんかう 餞行(名) 餞行 「行
 せんかう 織巧(名) 織巧
 せんかう 詮衡(名) 詮衡(ハカリシ)、
 考成(成續ヲ考)、查考(シラベ)、審査
 (珣)、挑選(ハラ)、選擇(上)
 ぜんかう 善行(名) 善行
 ぜんかう 前項(名) 前項

ぜんかう 前號(名) 前號、前期(雜誌)
 ぜんかう 潜水水雷艇、潜水艇、潜
 艇(名)
 ぜんかう 潜航艇(名) 同上
 ぜんかう 先覺(名) 先覺
 ぜんかく 船客(名) 坐船的客人、
 せんかく 淺學(名) 淺學 「船客
 ぜんかく 全額(名) 全額、包總的
 數目「全額を返済する」如數歸還
 「俸給は全額を給する」薪俸按十
 成發給
 ぜんかく 全角(名) 方字
 ぜんかく 禪閣(名) 禪林、禪廟
 ぜんかた 詮方(名) 法子、方法「詮
 方なし」無法子、沒法子

せんかん 戰艦(名) 兵船、戰船、戰艦
 せんかん 染感(名) 感受
 せんかん 扇眼(名) 扇子肘兒
 せんかん 箭眼(名) 砲眼
 せんき 戰記(名) 戰記
 せんき 戰機(名) 戰機
 せんき 疝氣(名) 疝氣、小腸氣
 せんき 船旗(名) 船旗、船名之旗
 せんき 僉議(名) 僉議(衆人語)
 せんき 詮議(名) ①商議 ②聞訊
 せんき 前記(名) 前所記的、前所
 ぜんき 前議(名) 前議 「開的
 せんき やう 仙境(名) 仙境、蓬萊
 せんき やう 戰況(名) 戰況
 せんき やく 先客(名) 先來的客

せんき やく 船客(名) 與せんかく
 同 「萬商雲集」
 せんき やく 潜居(名) 潜住
 せんき よ 占據(名) 佔據
 せんき よ 船渠(名) 船塢
 せんき よ 選舉(名) 選舉、公舉「選
 舉區」(ク) 選舉區、選區「選舉法」
 (ハウ) 選舉法「選舉人」(ニ) 選主
 せんき よ 遷居(名) 遷居、移居
 せんき よ 薦舉(名) 舉薦
 せんき よ 鮮魚(名) 新鮮的魚、鮮
 せんき よ 戰局(名) 戰局 「魚
 せんきん 千金(名) 千金 「先錢
 せんきん 前金(名) 先付的銀子、
 せんく 先驅(名) 先驅、先導、嚮
 導、率先

せんぐ 船具(名) 船具
 せんぐ 前驅(名) 前驅、頂馬
 せんぐ 全具(名) 全具
 せんぐ う 遷宮(名) 遷廟
 せんく 銑屑(名) 鐵末兒
 せんく わ 選科(名) 選科、專修科
 ぜんく わ 前科(名) 前案「前科者」
 受過刑法的、有前案的、老犯
 せんく わい 旋回(名) ①旋轉、廻轉
 ②飛旋、盤旋「飛行機が空中で旋
 回する」飛機在天上盤旋
 ぜんく わい 全快(名) 全癒、大好
 了、全釋「御病氣は全快しました
 か」貴恙大好了癒「御病氣御全快
 遊ばされ安心仕候」仁兄大人清
 恙全釋昕夕亨嘉爲慰
 ぜんく わい 前回(名) 上回、上次、

せん

前回、先前那一回

せんくわう閃光(名) 閃光、閃耀、

耀目的光、燦眼的光

せんくわん專管(名) 專管(專管居

留地)(ヨリウチ)專管租界 「考

せんくん先君(名) 先君、先父、先

せんぐん前軍(名) 前軍

せんぐんまんば千軍萬馬(名) 千

せんげ宣下(名) 諭旨 「軍萬馬

ぜんけい全景(名) 全景

ぜんけい全形(名) 全體

ぜんけい前掲(名) 前掲、前述、上

陳、上文所引

せんけう宣教(名) 傳教、傳道、布

教(宣教師)(シ)教士、傳教的、宣

せんけつ鮮血(名) 鮮血 「教師

せんけつ失決(名) 先要決定的、

せん

預先得定規的、儘先要定妥的

せんけつ專決(名) 自己作主

せんげつ先月(名) 上月

ぜんげつ前月(名) 下月

せんげう專業(名) 專業

せんげう賤業(名) 卑賤的生業(賤

業婦)(カ)與いんばいふ同

せんけん先見(名) 先見、預料、逆

睹、預先料到(先見の明あり)有

先見之明

せんけん淺見(名) 淺見

せんげん宣言(名) 宣言、宣揚、宣

告、公布、聲明、露布(宣言書)

(シ)宣言書、宣言書、公布書、

聲明の書(獨立宣言書)(ドクソウ)布

告獨立の書、公布自立檄文

ぜんけん全權(名) 全權(全權公使)

せん

(コウシ)全權公使

ぜんげん前言(名) 前言

せんこ千古(名) 千古

せんこ船庫(名) 船塢

せんご謔語(名) 謔語

せんご戰後(名) 戰後

せんご前後(名) 前後(前後に敵を

受く)前後受敵(前後を護衛す

る)前後後擁(前後を考へる)前

思後想(前後辻褄が合はない)前

後不符、前言不應後語、前言不

答後言(彼は五十歳前後です)他

是五十歳上下(此月の二十日前

後開會します)這月二十號前後

(左右)可以開會(前後も知らず

熟睡する)昏昏沈睡(話が前後に

なる)説的話顛三倒四的

八〇六

せん(善後)善後(名) 善後(善後の策を

講す)籌畫善後之策、預備善後

辦法

せんこう戦功(名) 戰功

せんこう船工(名) 船匠

せんこう染工(名) 染匠

せんこう專攻(名) 專攻

せんこう栓孔(名) 挿鎖兒

せんこう宣告(名) ①宣言、宣告、

宣布、表明(散會を宣告する)宣

布散會 ②定罪、決案、定案

せんこく先刻(名) 剛、剛纔、適間

せんこく戰國(名) 戰國

ぜんこく全國(名) 通國、全國

せんころ先頃(名) 前幾天、前兩

三天、往日、先頭裡

ぜんこん善根(名) 善根

せんざ前座(名) 先上場的(前座を

勤める)先上場唱(先上座

演説(演説)

せんさい先妻(名) 亡妻、原配

せんさい專裁(名) 自己作主

せんさい鮮菜(名) 鮮菜(青物)

せんざい千歳(名) 千歳、千載(歳)

「名を千歳に残す」留名千載、流

芳百世

せんざい前栽(名) ①花園子 ②青

ぜんざい善哉(名) ①善哉(善ナル)

小豆和年糕的湯

せんさう戰爭(名) 戰、戰鬥、鬪

争、戰爭、干戈、打仗

せんさく穿鑿(名) ①穿鑿(孔ヲホ)

追究(穿鑿が嚴くなつて遂に自首

して出た)追究的很嚴沒法子自

各兒投首了(さう人の話を穿鑿

するものじゃない)你別這麼追

求人家說的話、人家說的話你

別刨根兒問底兒的(穿鑿好き)

好事、好探聽的、好查事、愛查

人家的事

せんざんかう穿山甲(名) 穿山甲

せんし戰史(名) 戰史

せんし先師(名) 先師

せんし先史(名) 先史、有史(先史

時代)(ジダイ)未紀史以前、先史時

代、先史期 「武士

せんし戰士(名) 戰士、兵士、勇士、

せんし宣示(名) 宣示、發表、宣布

せんし戰死(名) 戰死、戰歿、陣亡

せんし專恣(名) 專恣

せんじ戰時(名) 戰時、有軍務的

八〇七

時候〔戰時禁制品〕(セイキン) 戰時禁制品
 せんじ 戰事(名) 戰事〔戰事公債〕(ウサイ) 戰事公債〔戰事狀態〕(ウジヤ)
 戰事狀態
 ぜんし 全紙(名) 整張的紙、滿紙
 ぜんし 前肢(名) 前腿
 ぜんじ 前事(名) 前事
 ぜんじ 善事(名) 善事
 ぜんじ 禪師(名) 禪師 「次、前回
 ぜんじ 前次(名) 前回、上次、前
 ぜんじ 漸次(副) 漸漸的、慢慢的、
 逐步、積漸、日積月累
 せんしう 專修(名) 專修、專攻、專
 せんしう 千秋(名) 千秋
 せんしうらく 千秋樂(名) 門
 兒的戲(註)了結

せんじかす 煎滓(名) 藥渣子(煎
 滓) 剩茶葉(茶煎滓)
 せんしつ 船室(名) 官船、房船、船
 艙、客船、船房
 せんじつ 先日(名) 前幾天、前者、
 ぜんしつ 禪室(名) 禪堂 「日前
 ぜんじつ 前日(名) 前一天〔試驗の
 前日〕考試的前一天
 せんじつむ 煎詰ム(下二段他動) 煎
 透 究竟起來、千言萬語講到
 歸根兒、總而言之、到底是：
 〔藥を煎詰める〕把藥煎透了
 〔貴下の説も煎詰めると私のと同
 じです〕您的説的究竟起來和我説
 的一個樣 「思萬想
 せんしばんかう 千思萬考(名) 千
 せんしふ 全集(名) 全集

せんしや 船車(名) 車船
 せんしや 占者(名) 占卦的、算卦
 的、算命的
 せんしや 撰者(名) 撰者
 ぜんしや 前車(名) 前車(前方ニ)、破
 前車(大砲)〔前車の覆るは後車の
 戒〕前車覆後車戒
 せんしやう 旋匠(名) 鏝工
 せんじやう 洗淨(名) 洗乾淨、洗
 せんじやう 戰狀(名) 戰況 「淨
 ぜんじやう 前生(名) 前世
 せんじやうばんたい 千狀萬態(名)
 千狀萬態
 せんじやく 疝癩(名) 疝氣
 せんじやく 纖弱(名) 纖弱 「同
 せんじやく 前借(名) 與さきがり

せんしやばん 旋車盤(名) 轉盤
 せんしゆ 船首(名) 船首、船頭
 せんしゆ 船主(名) 船東、船戶、船
 主、船業主
 せんしゆ 船手(名) 水夫、船家
 せんしゆ 選手(名) 選手、蓋場、冠
 場〔野球選手〕(キウ) 棒球選手
 せんしゆ 先取(名) 先取、先得〔先
 取權〕(ケン) 先取權、優先權〔先取
 特權〕(クケン) 先取特權
 ぜんしゆう 禪宗(名) 佛教一派
 ぜんしゆつ 選出(名) 選出
 ぜんじゆつ 仙術(名) 法術
 ぜんじゆつ 戰術(名) 戰術、兵術、
 兵法
 ぜんじゆつ 前述(名) 前述、上述、
 以上所說的、以前所提的〔前述

の事實) 前述之事實
 せんしよ 戰書(名) 戰書、戰表、哀
 的美教書
 ぜんしよ 善書(名) 善書、寫字的
 好手〔善書は筆を擇ばず〕善書不
 擇紙筆
 ぜんしよ 前書(名) 以上所寫的文、
 ぜんしよ 潛稱(名) 潛稱
 ぜんしよ 戰勝(名) 戰勝
 ぜんしよ 全勝(名) 全勝
 ぜんしよ 染織(名) 織染
 ぜんしよ 染色(名) 染色
 ぜんしん 專心(名) 專心、一心一
 ぜんしん 潛心(名) 潛心 「意的
 ぜんしん 先進(名) 先進
 ぜんじん 先人(名) 先人(子ガ父ヲ)
 ぜんしん 全身(名) 全身、渾身、徧

ぜんしん 前身(名) 前身
 ぜんしん 漸進(名) 漸進、逐步前
 進、由漸而進
 ぜんしん 前進(名) 前進、拔隊
 ぜんしん 善心(名) 善心
 ぜんじん 前人(名) 前人
 ぜんしんばんく 千辛萬苦(名) 千
 せんす 扇子(名) 扇子 「辛萬苦
 せんす 煎ズ(左段他動) 煎、熬、熬煎
 〔藥を煎ずる〕煎藥
 ぜんすう 全數(名) 全數、總數
 せんすべ 詮術(名) 法、法子〔詮術
 知らず〕不知道怎麼辦纔好、無
 法、沒法子
 せんずるところ 詮所(名) 究竟起
 來、總而言之、千言萬語講到歸

根兒

せんすの潜水(名) 入水、下水、潜水、碰水、扎猛子(潜水衣) (一) 潜水衣(潜水器) (一) 下水鐘、泳氣鐘、潜水器(潜水艇) (一) 潜水艇、潛行船、潛行艇(潜水夫) (一) 入水匠、下水人、碰水者、潜水人、扎猛子的

せんすの淺水(名) 淺水

せんすの泉水(名) 池水、月芽河

ぜんせん前世(名) 前世、前生、夙世(前世の因果) 前世的冤孽(彼は前世に何か罪業を造ったのだから) 前世他造了甚麼孽障了罷
センセーション(名) (Sensations) 知覺、官覺、感動、激動(センセーションを起す) 震動世界、動人

耳目、聞嘆動了、引起感動

せんせい 先生(名) 先生、教師、教習

せんせい 專制(名) 專制、獨裁、自專主(專制國) (一) 專制國(專制政治) (一) 專制政治、獨裁政治

せんせい 先聖(名) 先聖

せんせい 宣誓(名) 起誓、宣誓、盟誓、誓言(宣誓式) (一) 宣誓典禮、宣誓儀式(宣誓書) (一) 誓書(宣誓する) 起誓、發誓、盟誓、宣誓、立誓(宣誓に背く) 負誓、背誓

ぜんせい 善政(名) 善政

ぜんせい 前世(名) 前世

ぜんせい 全盛(名) 興盛、最興旺、全盛、盛極一時
せんせい 潜勢力(名) 潜伏

力、隱力、潛勢力 [Shao³]

せんせう 鮮少(名) 鮮少 (hsuan²)

ぜんせう 全燒(名) 全燒了、子虛

ぜんせう 燃燒(名) 燃燒 「烏有

ぜんせう 前哨(名) 前哨(前哨騎兵)

ぜんせう 前哨馬隊(前哨線) (一) 前哨線 「世界、寰球

ぜんせかい 全世界(名) 全世界、滿

ぜんせかい 前世界(名) 誌史以前的世界、史乘以前的、書契以前的

ぜんせき 泉石(名) 泉石 「的

ぜんせつ 前說(名) 上回所說的話、前言 「打仗得勝

せんせふ 戰捷(名) 戰捷、打勝仗、せんせん 宣戰(名) 投戰書、下戰書、宣戰(宣戰の布告) 戰書、開

戦宣言、宣戰之布告 「闘線

せんせん 戰線(名) 戰線、陣線、戰

せんせん 戰船(名) 戰船、兵船

ぜんぜん 漸漸(副) 漸漸的(風氣が漸漸に開けて来た) 風氣漸漸的開了

ぜんぜん 全然(副) 全然、完全、純然(それは全然無根の事です) 這是全然沒根兒的事情(私は全然關係がない) 我是全然不管

ぜんぜん 先月(名) 上月

ぜんぜん 前月(名) 同上

ぜんぜん 踐祚、皇上登位

ぜんぜん 先祖(名) 原祖、祖先、祖宗、祖上、上輩

せんそく 跣足(名) 光着脚、光着脚步鳴兒、赤足

せんそく 洗足(名) 洗脚(洗足盤)

ぜんそく 喘息(名) 喘病、痰喘、痰

ぜんそく 瘁症、哮喘症

ぜんそく 全速力(名) 盡速力、放足汽(汽船)

ぜんそん 全村(名) 闔村

ぜんたい 船體(名) 船身

ぜんたい 先代(名) ①先朝 ②上輩子(當主)

ぜんたい 全隊(名) 全隊

ぜんたい 全體(名) ①全身、渾身、週身、滿身 ②共總、一共、一概、全都(全體で幾らですか) 共總是多少錢(身體全體に小さい疹(シホ)が出た) 渾身長出小疹子來了(今年の作物は全體に成績がよ

せん

せんだう 先導(色) 引道、引路、帶道、領道、嚮導、先導、指導(先導者)(シヤ)引路的、引道的、帶領的、先導者、指導者

せんたう 善導(色) 善導

せんたく 選擇(色) 選擇

せんたく 洗濯(色) 洗、浣、洗淨、洗濯(洗濯板)(イタ)搓板(洗濯石鹼)(イセ)洗衣皂、洗濯胰皂、洗衣袋(洗濯曹達)(ソウダ)瀟蘇打、洗濯蘇打(洗濯鹽)(タリヒ)洗衣袋(洗濯屋)(ヤ)1. 洗衣袋的

2. 洗衣局

せんだつ 占奪(色) 佔奪

せんだつ 先達(色) ①先達 ②給修行人引道的

せんだつ 先達(同) 與先日(セツ)

せんちゆう 船中(色) 船上、船裏

せんちゆう 先住(色) 先住持

せんぢよ 仙女(色) 仙女

せんぢよ 洗除(色) 洗除

センテリットル 生的立脫爾、公勺、百分粒、蠟

せんぢん 先陣(色) ①先鋒 ②第一

せんぢん 戰陣(色) 戰場 「登城

せんづ 線圖(色) 線表

せんづ 疝痛(色) 疝氣疼

せんづ 全通(色) 全通

せんて 先手(色) 先下手的、先入手的、先動手的、先佔者、先攻打的(先手を打つ)1. 先下一棋子2. 先下手、先動手

せんてい 先帝(色) 先帝、先皇

せん

せん

せんたて 膳立(色) 擺桌子

せんたん 尖端(色) 尖端、尖頭、銳鋒(尖端をきる)在尖端走(時代の尖端を行く)站在尖端先導時代潮流

せんたん 戰端(色) 戰端、衅端

せんだん 剪斷(色) 剪斷、鉸斷

せんだん 專斷(色) 自己作主、自己裁斷

せんち 戰地(色) 戰地、戰場

ぜんち 全智(色) 全知、無所不知的

ぜんち 前知(色) 預知、先知、前知、豫察、早知道、預先知道

ぜんち 全治(色) 與全快(ぜんく)同

ぜんち 繕治(色) 拾掇、收拾

センチグラム 生的克蘭姆、

せんてい 選定(色) 選定、擇定(土地を選定する)採地方(好き日を選定する)擇定好日子、擇吉

ぜんてい 前庭(色) 前庭

ぜんてい 前定(色) 以前所定

ぜんてい 前提(色) 前提、前提、預論、引端 「兆、預表、示兆

ぜんてい 前兆(色) 兆頭、先兆、預兆

ぜんてい 前條(色) 前項

ぜんてい 洗滌(色) 洗滌、洗刷

ぜんてい 銑鐵(色) 生鐵、銑鐵

せんてん 先哲(色) 先哲、前哲

せんてん 先天(色) 先天(先天的)

せんてん 旋轉(色) 旋轉、輪轉

せん

せん

公毫、百分克、百分瓦、厘

ぜんちし 前置詞(色) 示處言、介紹字、先名字、關係字、介係字

センチメートル(色) 生的米突、公分、百分米、厘

センチメンタル(色) (Sentimental) 傷感的、多感的、情深的

ぜんちぜん のう 全智全能(色) 全知的、全能的、全知全能(神は全智全能です)上帝是無所不知無所不能的

せんちや 煎茶(色) 沏出來的茶

せんちやう 船長(色) 船主、船公、管船的

せんちやう 戰場(色) 戰場、戰地

ぜんぢやう 禪定(色) 定禪、禪那

せんちやく 先着(色) 先到

せんでん 宣傳(色) 宣傳、宣布、播揚、傳揚、傳佈(宣傳びら)傳單

せんとう 遷都(色) 遷都

セント(色) (Cent) 生脫

せんどう 先途(色) 結局

せんどう 先度(色) 上回、前幾天

ぜんどう 前途(色) 前途、前程(國家の前途を憂へる)惦记國家的前途(おの人は前途多望です)他是將來不可限量的、他的前程遠大、他的前途很有希望(私の事業は前途遠望です)我的事情前途還渺茫

せんとう 先登(色) 先登、第一登

せんとう 船頭(色) 船首、船頭

せんとう 戰鬪(色) 戰鬪、打仗(戰鬪準備)(ユビ)準備戰鬪(戰鬪開

せん

せん

始(カイ) 戰闘開始(戰闘艦) (カイ)
 戰艦(戰闘力) (リョク) 戰闘力
 せんとう 先頭(名) 前軍、前陣、先鋒(以上ハ)、先進的、先導的、先頭、首領
 せんとう 船頭(名) 船戸、水夫、船家(船頭多くて船山に上る) 木匠多蓋歪了房
 せんとう 煽動(名) 煽動、挑唆、煽惑、擻撥、撮弄、鼓吹、鼓動(人民を煽動する) 煽惑民心、挑撥愚衆、鼓動人心
 せんとう 潜匿(名) 潜匿
 せんとう 占得(名) 占取
 せんなんふ 前納(名) 先繳、預繳、先付、預交 「孫胡蘆
 せんなりべう たん千成瓢箪(名) 子

せん

ぜんなん 善男(名) 善男
 せんにつ 先入(名) 先入(先入主となる) 先入爲主
 せんによ 仙女(名) 仙女、仙姑
 ぜんによ 善女(名) 善女
 せんにな 仙人(名) 仙、仙人、仙子、仙家
 せんにな 先任(名) 先進的、比自己資格深的(先任順序) (ユニジジ) 按資格爲序、按入官年分爲序
 せんにな 選任(名) 簡任
 せんにな 專任(名) 專任
 ぜんにな 前任(名) 前任、先任(前任の官吏) 前任的官
 ぜんにな 善人(名) 善人
 せんにな しゃう 仙人掌(名) 仙人 掌、霸王樹

せん

せんぬき 桎拔(名) 酒鑽子
 せんねつ 潜熱(名) 潜熱 「些年せんねん 先年(名) 往年、早年、前せんねん 千年(名) 千年
 せんねん 專念(名) 專心
 ぜんねん 前年(名) 頭年、上年(前年營業成績はあまり好くない) 上年營業成績不大好
 ぜんのお 全能(名) 全能、無所不能
 ぜんば 前場(名) 前市
 せんばい 專賣(名) 專賣、專利、獨賣(煙草は政府の專賣です) 煙是國家的專賣品(專賣權) (ケン) 專賣權(專賣品) (ヒ) 專賣品(專賣特許) (キヨ) 專利、專賣特許、商品註冊(專賣特許權) (キヨケン) 專利權、專製權(專賣特許狀)

八一四

せん

(キヨジヤウ) 專利文憑(專賣特許品) (キヨヒツ) 專利特許品、專賣品(專賣特許證) (キヨシヨウ) 專利特許證書(專賣特許を出願する) 請領專利文憑(專賣特許を許可する) 發給專利文憑(專賣特許を取る) 取得專利特許、受專賣特許
 せんばい 先輩(名) 長輩(chang)、前期的同學(彼は私等の先輩です) 他是我們前期的同學
 ぜんばい 全廢(名) 全廢、全撤
 ぜんばい 全敗(名) 全敗
 ぜんばう 羨望(名) 羨慕
 ぜんばう 船房(名) 與船室(せん) 同
 せんばう 先方(名) 前路、前途、彼方、那邊兒、那頭兒、他們那兒

せん

「この條件では先方は承知するまい」 按着這個條件前路怕不能
 せんばう 戰報(名) 戰報 「答應罷せんばく 淺薄(名) 淺薄(淺薄なる意見) 淺薄的意見
 せんばく 船舶(名) 船舶、船隻
 せんばつ 選拔(名) 選拔、拔擢、甄拔、甄別(選拔試験) (シケン) 甄別考試
 せんばつ 先發(名) 前行、先行、在
 せんばふ 染法(名) 染法
 せんばり 桎張(名) 頂門的棍子(桎張棒) (ボウ) 同上
 せんばん 鏃盤(名) 鏃牀、車牀
 せんばん 先晩(名) 前幾天晚上
 せんばん 千萬(副) 很、極(千萬辱い) 感激不盡(氣毒千萬です) 可

せん

慘之極(失敗千萬な奴だ) 他是很不講禮的東西
 せんばん 先般(名) 上回、前幾天
 ぜんばん 前半(名) 前半(前半期) 前半屆
 ぜんばん 前晚(名) 「頭一天晚上
 ぜんばん 全般(名) 全體、滿世界(彼の不評判は全般に知れ渡って居る) 他的壞名聲滿世界都知道道(全般を推して知るべし) 拿這個可以把全體推想而知
 せんび 船尾(名) 船尾、船梢
 せんび 戰備(名) 戰備(戰備が整はない) 戰備未齊
 せんび 先妣(名) 先妣 「的款項
 せんび 戰費(名) 軍餉、軍費、軍用
 せんび 先非(名) 前非(先非を悔ゆ)

八一五

痛悔前非

ぜんび 全備(名) 俱全
 ぜんび 善美(名) 善美
 せんびつ 染筆(名) 揮筆、潤筆
 せんびん 先便(名) 前函、上回的
 信〔先便申上候〕前函所提
 せんぶ 先父(名) 先父、先君、先考
 せんぶ 船夫(名) 船戸、水夫
 せんぶ 宣布(名) 宣布、宣告、頒布、
 公布〔政綱を宣布する〕宣布政綱
 ぜんぶ 膳部(名) 飯菜〔膳部人(ニ)〕
 厨子
 ぜんぶ 全部(名) 全部、滿、全、全
 副、全都、通共、共總〔全部五十
 冊です〕全部五十本〔彼の借金の
 全部を私が負擔した〕他所該的
 錢我滿負擔了〔全部の機械〕全

副機器〔私は全部の責任を負ひま
 せう〕我可以負完全責任〔學生
 は全部出席した〕學生們全都到
 了〔全部で何個あるか〕通共有多
 少〔全部損失〕全損
 ぜんぶ 膳夫(名) 厨子 「角風
 せんぶう 旋風(名) 颶風、旋風、羊
 せんぶうき 扇風機(名) 風扇、電扇
 せんぶく 潜伏(名) 潜伏、潛藏、隱
 匿、不發現的〔潜伏期(キ)〕染症
 隱期、潜伏時間、染症伏程、隱
 藏的時期〔潜伏熱(ネツ)〕潛藏的
 熱氣、含着的熱氣、伏熱
 ぜんぶり 干振(名) 胡黃連
 ぜんぶん 前文(名) ①前文、以上
 所寫的文〔前文説きたる所は...〕
 前文所説的是... ②信上用的

時令起居〔前文御免被下度候〕套
 語弗陳、忝在愛末恕叙浮文
 せんべい 煎餅(名) 東洋糕
 ぜんべう 全表(名) 兆頭
 せんべつ 餞別(名) 贐儀、餞禮、餞
 行禮、歡送禮〔餞別品(ヒ)〕同上
 〔餞別をする〕送餞禮〔粗品數種御
 餞別の印迄に呈上仕候御笑納被下
 度候〕茲具微物數種聊表餞敬
 之忱惟祈晒存幸甚
 せんべん 先鞭(名) 先鞭〔先鞭を着
 く〕着先鞭、先下箸、先下手、佔
 人先、得佔人的先、壓人一頭、
 搶先兒、先發制人
 ぜんべん 全篇(名) 全篇
 ぜんべん 前篇(名) 前篇
 せんべん いちりつ 千篇一律(名) 千

篇一律、無變化的、平平無奇的
 せんべん ばんくわ 千變萬化(名) 千
 せんぼ 羨慕(名) 羨慕 「變萬化
 せんほう 先鋒(名) 先鋒、前鋒、前
 衛、前隊、擋頭陣
 せんぼつ 戰歿(名) 與戰死(せん)同
 せんほん しめぢ 千本占治(名) 藤
 菇之一類、一根簇生數十個、其
 色白味頗美
 せんまい 洗米(名) 洗出來的供米
 ぜんまい 薇(名) ①薇 ②發條(時計)、
 表簧(コ) ③機器
 せんまい ばり 千枚張(名) 很厚〔面
 の皮の千枚張〕千層化皮臉、沒
 羞沒臊
 せんまん 千萬(名) 一千一萬
 せんみ 鮮味(名) 新鮮的菜、新鮮

的魚
 せんみつ 千三(名) ①拉搦的(貝金ノ
 世話ナドヲ) ②愛撒謊的人(ツツキ)
 せんみやう 宣命(名) 誥命
 せんみん 賤民(名) 賤民
 せんむ 專務(名) 專務
 せんめい 闡明(名) 闡明
 せんめい 鮮明(名) 鮮明、清楚〔五
 色鮮明なる〕五色鮮明的〔印刷が
 鮮明です〕印的清楚〔自分の立場
 を鮮明にする〕表明自己所處的
 地位
 せんめつ 殲滅(名) 殲滅、夷滅、滅
 せんめつ 全滅(名) 盡滅、全滅、斷
 絶、滅絶〔一家全滅した〕滅門、
 滅族、滅戸〔一軍全滅した〕全軍
 覆滅、一敗塗地〔艦隊が全滅し

た〕艦隊完全覆滅了〕
 せんめん 扇面(名) ①扇面兒 ②扇
 せんめん 前面(名) 對面兒(自分ト反、
 前面兒(前側))
 せんもん 專門(名) 專門、專業〔專
 門語(カ)〕與じゆつご同〔專門家〕
 〔カ〕專門家、專家〔專門學校(カウ)
 專門學校〕あの人の専門の學は
 何ですか〕他專門研究的是甚麼
 學問〔専門の醫者〕專科醫士〔眼
 科の専門〕治眼科的專家〔手品の
 藝は君の専門だ〕變戲法兒是你
 的拿手活
 せんもん 前門(名) 前門
 せんや 先夜(名) 前幾天晚上、那
 天晚上
 ぜんや 前夜(名) 昨天晚上

せん

せんやう 宣揚(色) 宣揚、播揚
せんやく 仙藥(色) 仙藥、長壽藥、
靈丹妙藥

せんやく 洗藥(色) 洗藥、洗劑
せんやく 煎藥(色) 煎湯、熬煎的
藥、煎水藥類

せんやく 先約(色) 先約的、前約、
先已約定的、早已約定的、有約
在先(私は先約があるから行か

せんやく 先役(色) 前任、比自
已俸深的人

せんゆう 全癒(色) 全癒、大好了
せんゆう 專用(色) 專用
せんよう 善用(色) 善用(機會を善

せん

せんらん 戰亂(色) 戰亂 「類
せんりう 川柳(色) 日本短歌之一
せんりがん 千里眼(色) 天眼通、神
目、千里眼

せんりつ 旋律(色) 旋律、腔調
せんりつ 戰慄(色) 戰慄、震顫
せんりのこま 千里駒(色) 千里馬、
千里駒

せんりひん 戰利品(色) 戰利品
せんりやう 占領(色) 占領、占據
〔人の田地を占領する〕霸占人家
的田地〔獨逸が波蘭の都を占領す
る〕德國占據波蘭的京城〔土地
を占領する〕佔地、侵襲地方、侵
奪地方

せんりやう 千兩(色) 草名、草

せん

せん 珊瑚(色) 珊瑚(一千兩銀子(千兩箱)の)
銀鞘(千兩役者)〔クシヤ〕第一個紅
角兒

ぜんりやく 善良(色) 善良
ぜんりやく 戰略(色) 戰略、兵略、
將略、韜略

ぜんりやく 前略(色) 前略、尺
牘省略時令起居之謂、逕啓也
〔前略御免下され度候〕套語弗
陳、忝在愛末恕叙浮文 「周的
せんりよ 淺慮(色) 淺慮、思慮不
慮の一失あり」智者有千慮一
失〔愚者も千慮の一得あり〕愚
者有千慮一得

ぜんりよく 全力(色) 全力(全力を
注ぐ) 撥足了勁、儘着力兒辦

不遺餘力

ぜんりん 禪林(色) 禪林
ぜんりん 善隣(色) 善隣

ぜんれい 先例(色) 舊例、前例、先
例、向例、老例、成案、成法、前
轍(先例がある)有例可援、有例
先例(先例を作る)立先例、開端
〔先例を引く〕援引成案(先例に
ならふ)按照舊例(先例がない)
無案可援、沒有成案

せんれい 洗禮(色) 洗禮、浸禮(洗
禮を受ける)領洗禮(砲火の洗禮
を受ける)臨陣初次受礮火

ぜんれい 前例(色) 與先例(せん)同

ぜんれう 染料(色) 染料

ぜんれう 燃料(色) 燃料

せん

せんれつ 請劣(色) 請劣
せんれつ 前掛(色) 前掛

せんろ 綫路(色) 綫路、線路、路線
〔電車線路〕(ヤレシ)電車路線〔鐵道
線路〕(ツツ)火車路線、鐵道、鐵
軌、軌道

せんろ ほん 千六本(色) 蘿蔔絲兒
せんわう 專横(色) 專横、霸道、霸
氣的 「惑する」煽惑民心

せんわく 煽惑(色) 煽惑(民心を煽
惑する)

せんる 織維(色) 絲紋、紋質、絲、
織絲、纖維(肉質纖維)(ニクシ)肌
肉纖維(木質纖維)(ボクシ)木質絲
紋(筋肉纖維質)(キンク)筋肉纖
維質(植物纖維質)(シヨクツツ)植物

せんる 僭位(色) 僭位 「纖維質
ぜんる 禪位(色) 禪位(shan + uei)

せん

せんるん 船員(色) 船夥、船員
ぜんるん 全員(色) 全員

ぜんるつ 僭越(色) 僭越、僭冒、逾
分、逾越
ぜんるい 前衛(色) 前衛、前隊、前

そり

そ祖(色) 祖
そ租(色) 租
そ粗(色) 粗
そ疏(色) 疏
そ疎(色) 疎
そ素(色) 素
そ疽(色) 疽
そ其(色) 與それ同
そ勿(色) 勿、別(な來そ)勿來、別來

せんそ

そそー

ぞ(動) 特別指示一事物之助詞也、文中有此助詞則終結此文用動詞形容詞第四變化「これぞ人の道なる」(文) 是則人之道也「見てぞ知る」(文) 看而後知ぞ(動) 表疑問或指示之意、常在語句之末尾、啊也、嘿也「勉強せぬと落第するぞ」你不好好兒的用工就考不中啊「汝は誰(タ)ぞ」你是誰啊「早く行かぬと間に合はぬぞ」你得快快的去看趕不上啊

ソース(名) (Sauce) 洋醬油、醬汁
ソーセージ(名) (Sausage) 肉腸子、臘腸
ソーダ曹達(名) (Soda) 城、鹹、鹼、蘇打、皮硝「重炭酸曹達」

そーそい

そ(動) 特別指示一事物之助詞也、文中有此助詞則終結此文用動詞形容詞第四變化「これそ人の道なる」(文) 是則人之道也「見てそ知る」(文) 看而後知そ(動) 表疑問或指示之意、常在語句之末尾、啊也、嘿也「勉強せぬと落第するそ」你不好好兒的用工就考不中啊「汝は誰(タ)そ」你是誰啊「早く行かぬと間に合はぬそ」你得快快的去看趕不上啊

ソーフアー(名) (Sofa) 沙法榻、便床、沙發、長椅
そあく粗悪(名) 粗、粗糙、下等、
そい素衣(名) 素衣「粗悪、粗劣
そい粗衣(名) 粗衣裳
そい素意(名) 素願
そいつ其奴(代) ①那、這「貴下それを知らせたのですか、そいつは悪かった」您告訴他了麼那就不好了②這個東西「其奴を外へほり出せ」把這個東西趕出去
そいん疎音(名) 久違、久違芝字
そいん素因(名) 原因

そ

そう奏(名) 奏
そう僧(名) 僧、和尚
そう層(名) 層、磴「層をなす」成層「石炭層」煤磴
そう叟(名) 叟
そう總(名) 總
そう贈(名) 贈
そう宗(名) 宗
そう艘(接尾) 隻「船三艘」三隻船
そう層(接尾) 倍「十層」十倍
ソウエート(名) (Soviet) 蘇維埃「ソウエート露國」蘇俄
そういう會遊(名) 會遊
そうえき増益(名) 増益
そうえききん總益金(名) 總贏、總利、毛利
そうえん送宴(名) 餞行酒、餞別酒

そ

そうか宗家(名) 宗家、宗族、宗親
そうか増加(名) 増加、增多
そうがい咳嗽(名) 咳嗽
そうがかり總掛(名) 大家一齊動手「總掛で瞬く間に仕上げた」大家一齊動手立刻就辦完了
そうかく總角(名) 總角
そうがく奏樂(名) 奏樂 (guitar)
ぞうがく増額(名) 増額、増加額
ぞうがく増額(名) 増額、増加額
ぞうがく増額(名) 増額、増加額
ぞうがみ總髮(名) 總髮
そうかは總皮(名) 全皮書皮兒、全皮裝訂
そうがふ湊合(名) 湊合、湊集、湊
そうがふ總合(名) 總合、綜合
そうかん總監(名) 總理、總管、總辦、總監

そ

ぞうかん増刊(名) 增刊「臨時增刊」
ぞうぎ奏議(名) 奏議「臨時增刊」
ぞうきふ増給(名) 長薪水、増給
ぞうきん贈金(名) 贈金
ぞうきん走狗(名) 獵狗
ぞうくづれ總崩(名) 全軍大敗、全軍覆滅
そうくわ葱花(名) 轎頂兒
そうくわい總會(名) 總會
そうくわつ總括(名) 總括「總括して云ふ」總而言之、總說起來
そうくわん總管(名) 總管、總辦、
そうくわん送還(名) 送還「總理

そ

ぞうくわん贈官(名) 贈官
ぞうぐん總軍(名) 全軍
ぞうけい聰慧(名) 聰慧
ぞうけい崇敬(名) 崇敬
ぞうけい總計(名) 共總、通共、共計、統計、合計、總算、合算起來
ぞうげい送迎(名) 送行迎接
ぞうげだつ總毛立ッ(四段百動) 渾身的寒毛扎施
そうげっさん總決算(名) 總帳、算大帳「年末の總決算」年底總帳、年終算大帳
ぞうげん増減(名) 増減
そうこう奏功(名) 奏功「検査
そうさ捜査(名) 捜査、尋查、搜檢、
そうさい總裁(名) 總裁、督辦
そうさい總菜(名) 家常飯

そう

そうさう 送葬(名) 送喪、送葬、送殯
 そうさく 搜索(名) 找、搜索、探聽
 そうし 宗旨(名) 宗旨
 どうし 増資(名) 増資本、増添股
 そうじて 總ツテ(副) 一概、一概
 而論、總之、總而言之「今年の作は總じて良好です」今年庄稼一概説起來很好
 そうしふ 湊集(名) 湊集、湊合
 そうしやう 宗匠(名) 師傅
 そうじやう 奏上(名) 奏上、奏陳、奏明
 そうじやう 奏狀(名) 奏摺、奏書、爲主、宗主
 そうしゆ 湊聚(名) 湊集、湊合

そう

そうしゆけん 宗主權(名) 宗主權
 そうしよ 奏書(名) 與奏狀(そうじ)同
 そうしよ 總稱(名) 總名
 どうしよ 増殖(名) 増殖
 そうしん 總身(名) 渾身
 そうしん 宗親(名) 宗親、本家
 そうしん 奏申(名) 奏上、奏明、奏陳
 どうしん 増進(名) 増進、助進、増廣、増進、加上「自己の利益が増進する」助進自己的利益
 そうす 奏ス(佐助他動) 奏(皇帝に奏す)奏明皇上「音樂を奏す」奏音樂 (quell)「功を奏す」奏功
 そうす 總數(名) 總數、共數、共總的數兒
 そうせい 叢生(名) 叢生

そう

そうせい 奏請(名) 奏請、奏懇
 そうせき 踪跡(名) 踪跡
 そうせき 送籍(名) 因出嫁遷換籍
 そうせつ 總說(名) 總論
 そうそ 奏疏(名) 奏疏、奏書、奏摺
 そうそ 會祖(名) 會祖
 そうそ 忽忽(副) 忽忽的、忙忙的、匆忙、趕忙的、忙忙叨叨的
 「彼は其話を聞くと忽忽歸っていった」他一聽這話就忙忙的走了
 「忽忽荷物を纏めて出發した」趕快的歸着行李起身了
 そうぞく 宗族(名) 宗族
 そうぞく 僧俗(名) 僧俗
 そうそふ 曾祖父(名) 曾祖父
 そうそほ 曾祖母(名) 曾祖母
 そうそん 曾孫(名) 曾孫

八三二

そう

そうたい 總體(名) 全體、全身、渾身
 そうたい 總體(副) 〇 一 概的、總而言之「今度の博覽會は總體に於て進歩して居る」這回博覽會一 概的看起來有進歩似的 〇 共總「行李は總體幾個ですか」共總有幾個行李
 そうたい 總代(名) 總代表
 どうだい 増大(名) 増大
 そうだか 總高(名) 總額數
 そうたつ 送達(名) 送到
 そうたふ 贈答(名) 贈答
 そうだん 叢談(名) 叢談
 そうち 送致(名) 送到
 どうちく 増築(名) 添蓋
 そうちやう 總長(名) 監督、總長

そう

そうちやう 曹長(名) 外委千總
 どうちやう 増長(名) 大起來「奢が増長する」他的奢侈大起來了
 「我儘がだんだん増長する」他任性的脾氣慢慢的大起來了
 そうてん 總點(名) 總分
 そうでん 送傳(名) 傳送
 そうでん 送電(名) 送電力
 そうと 僧徒(名) 僧門、僧徒
 そうとう 總統(名) 總統
 そうとく 總督(名) 總督
 そうにん 奏任(名) 薦任「奏任官」(クワン) 薦任官

そう

そうばい 崇倍(名) 崇倍
 そうばい 層倍(名) 倍「五層倍大きい」五倍大
 そうばう 匆忙(名) 匆忙
 そうばう 僧房(名) 僧房、僧伽藍
 そうはつ 總髮(名) 總髮
 どうはつ 増發(名) 加開「臨時列車を増發する」加開專車
 そうばとう 走馬燈(名) 走馬兒燈
 そうばな 總花(名) 滿賞錢
 そうひつ 走筆(名) 快筆
 そうびん 聰敏(名) 聰敏
 そうふ 走夫(名) 跑腿兒的
 そうふ 送付(名) 送到、寄去、付去
 「汽船にて送付する」由輪船寄去
 「汽船便にて御送付被下度候」附輪船寄下是幸

八三三

そうへい 送兵(名) 調兵
 ぞうへい 増兵(名) 添兵
 そうべう 宗廟(名) 宗廟
 そうべつ 送別(名) 送別、餞行、送
 行(送別會)(クワイ) 餞行酒席、餞
 別酒、送行酒、送行酒筵、餞行
 筵席(送別會を開く) 設備餞行
 そうべん 總辦(名) 總辦 「酒席
 ぞうほう 増補(名) 増補、添補
 ぞうほう 増俸(名) 増俸、増薪、長
 薪水
 そうほん 送本(名) 送書、送的書
 そうほん 總本家(名) 族長の家
 そうみ 總身(名) 全體、渾身
 そうみやう 總名(名) 總名(總名代)
 (ダイ) 總代表 「裡明透
 そうめい 聰明(名) 聰明、聰穎、心

そうもくろく 總目錄(名) 總目、總
 そうもん 總門(名) 大門 「目錄
 そうもん 奏聞(名) 奏聞、奏上
 ぞうよ 贈與(名) 送給
 そうらん 總攬(名) 總攬(政權を總
 攬する) 總攬政權
 そうり 總理(名) 總理(總理大臣)首
 相、國務卿、國務總理
 そうりやう 總領(名) 嫡子、行大的
 「御總領」大世兄(總領の甚六)行
 大的沒有能耐
 そうりやうじ 總領事(名) 總領事
 そうりよ 僧侶(名) 僧人、僧家
 そうりんたふ 層輪塔(名) 千層塔
 そうろ 走路(名) 逃路
 そうろう 層樓(名) 層樓

そうろん 總論(名) 總論
 ぞうわい 贈賄(名) 賄賂、送賄賂
 そうわき 送話器(名) 送話器
 ぞうる 贈位(名) 贈爵位
 ぞうるん 増援(名) 援助、増兵、添
 救兵(増援隊)(ダイ) 救兵、援軍、
 援兵、救援隊、接應兵
 ぞうを憎悪(名) 憎惡、憎嫌、厭惡、
 憎恨、惡恨、惡俗
 ぞん 疎音(名) 與そいん同
 ぞかい 疏解(名) 疏解
 ぞがい 阻害(名) 礙、阻害、阻礙、
 關礙(此度の通商條約は貿易を阻
 害する) 這回訂的通商條約與兩
 國貿易有阻礙
 ぞかう 素行(名) 素行
 ぞかく 阻隔(名) 阻隔

そぎ 粉(名) 薄木板、木頭薄片
 そぎ 疏義(名) 疏義
 そく息(名) ①氣息 ②兒子 ③利息
 そく束(名) 束
 そく則(名) 則
 そく仄(名) 仄
 そく足(接尾) 雙(靴三足)三雙鞋
 そく束(接尾) ①相兒、插子(藁一
 束) ②相兒稻草(位)、一插子稻
 草(手ニツ) ③二百張紙
 そぐ殺(四段他動) 殺、撤(勢を殺
 ぐ) 撤勢力
 そぐ削(四段他動) 削、減(經費を
 削ぐ) 減經費(竹を削ぐ) 削竹子
 ぞく賊(名) 賊
 ぞく族(名) 族
 ぞく俗(名) ①風俗 ②俗、凡俗、陋

俗(この畫は俗だ) 這張畫畫的
 ぞく屬(名) ①屬 ②屬官、屬吏
 ぞく囁(名) 囁
 ぞく粟(名) 粟
 ぞく續(名) 續 「麗
 ぞくあく 俗惡(名) 陋俗、粗俗、俗
 ぞくいひ 續飯(名) 用飯做的糰子
 ぞくうけ 俗受(名) 叫普通一般人
 ぞくえう 俗謠(名) 俗謠 「喜愛的
 ぞくえん 族縁(名) 有親屬的縁
 ぞくおんき 測音器(名) 聲表
 ぞくか足下(名) 脚底下
 ぞくか足下(代) 足下、閣下
 ぞくか俗歌(名) 小曲兒
 ぞくかい 續開(名) 續開(談判を續
 開する) 續開談判

ぞくかい 俗解(名) 用白話註解的
 ぞくかう 續稿(名) 續稿
 ぞくかう 續行(名) 接着辦、續行、
 仍舊施行
 ぞくかく 俗客(名) 俗客
 ぞくがく 俗學(名) 俗學
 ぞくかん 俗間(名) 俗間
 ぞくかん 俗漢(名) 俗人、俗子
 ぞくかん 俗眼(名) 俗眼
 ぞくき速記(名) 速記(速記者)(シヤ)
 速記人、快字生、速記員(速記
 術)(ジュツ) 速記術(速記錄)(ロク) 速
 ぞくき俗氣(名) 俗氣 「記錄
 ぞくきよう 即興(名) ①玩耍、趣
 話 ②即興、感興(即興詩)(シ) 感
 興詩詞、即興詩曲、偶成之詩
 ぞくきよく 俗曲(名) 小曲兒、俗

そく

曲兒

そくきん 即金(名) 現錢、現付、現
 そくきん 贖金(名) 贖的錢
 そくくわ 俗化(名) 變俗
 そくぐわ 側臥(名) 歪着膝兒躺着、
 側着身子躺着、側臥 「賊頭
 そくくわい 賊魁(名) 賊魁、賊首、
 そくくわざん 熄火山(名) 熄火山、
 死火山、消火山
 そくくわん 屬官(名) 屬員、屬吏
 そくぐん 賊軍(名) 賊軍
 そくげき 側擊(名) 側擊、縱擊、攻
 具側面
 そくけつ 速決(名) 速決
 そくけつ 即決(名) 立刻決斷、立
 地判決、即刻裁決、即決、立決
 そくご 俗語(名) 俗話、白話

そく

そくこく 即効(名) 立刻見效驗
 そくこく 測候(名) 測量氣象(測候
 所) 氣象臺 「藥
 そくこく 即効紙(名) 貼傷的膏
 そくこく 即刻(名) 立刻、馬上、登
 時、即刻、即時、立即
 そくこく 屬國(名) 屬國、屬邦
 そくこん 即今(副) 即今、如今
 そくざ 即座(副) 立刻、馬上、登時
 「即座に返答する」立刻就回答了
 そくさい 息災(名) ①消災 ②平安
 「家内息災」(カナイ) 合家無災無病
 そくさい 賊寨(名) 賊寨
 そくさい 俗才(名) 俗才、俗能耐
 そくざい 贖罪(名) 贖罪
 そくさう 賊巢(名) 賊巢
 そくさん 測算(名) 測度

そく

そくし 足趾(名) 脚印兒
 そくし 即死(名) 立刻死、登時死、
 そくじ 仄字(名) 仄字 「立死
 そくじ 即時(副) 與即刻(そく)同(即
 時拂) (ホト) 即時付款、現錢現付
 そくじ 俗字(名) 簡筆字
 そくじ 俗事(名) 俗事
 そくしう 束脩(名) 束脩
 そくしう 俗臭(名) 俗氣
 そくしつ 側室(名) 側室、側房、偏
 房、姨太太、姨奶奶、妾
 そくじつ 即日(名) 即日、當天
 そくしふ 俗習(名) 習俗
 そくしや 速寫(名) 快寫
 そくしや 速射(名) 快射(速射砲)
 (ハカ) 快砲
 そくしや 屬者(名) 跟人、跟班的

そく

そくじやう 俗情(名) 俗情
 そくじやう 賊情(名) 賊情
 そくじゆ 賊首(名) 賊首、賊頭
 そくじゆ 屬從(名) 跟隨、隨從
 そくしゆつ 續出(名) 不斷的出來、
 接連的出來、層出、繼起、續發
 そくしやう 俗稱(名) 俗名兒
 そくしやう 族稱(名) 華族士族平
 民之稱呼
 そくしん 促進(名) 開引、推進、鼓
 舞、激勵、促進、加快
 そくじん 俗人(名) 俗人、凡俗
 そくす 屬ス(佐變自動) 屬、歸(鯨は獸
 類に屬す) 鯨魚屬於獸類(昔より
 我國に屬す) 自古屬於我國(我が
 管轄に屬す) 屬我管轄、歸我節
 制

そく

そくす 屬ス(佐變自動) 屬「大事を屬
 す」屬大事
 そくせい 即世(名) 死、過去
 そくせい 速成(名) 速成「速成科」
 (カ) 速成科
 そくせい 促成(名) 催着辦
 そくせい 促聲(名) 音促迫不發者
 謂之促聲、表明此音用小つ字
 こつぷ(酒杯)らっぱ(喇叭)之類
 そくせい 賊勢(名) 賊勢 「是也
 そくせい 俗世(名) 俗世
 そくせい 續生(名) 接連的出來、續
 そくせき 足跡(名) 脚印
 そくせき 側席(名) 歪坐、偏坐
 そくせき 即席(名) 即席(席ニ就ク又
 ハソノ席ヲ)
 そくせき 即席(副) 即時、立刻、當
 時、立時、臨時、即席、臨機、立

そく

そくせき 族籍(名) 籍貫
 そくせき 族戚(名) 親族、親屬
 そくせつ 俗說(名) 俗說、俗論
 そくせん 燭剪(名) 蠟夾子
 そくぞく 續續(副) 接連不斷的、
 屢續着「虎刺拉が續續發生した」
 犯霍亂病的接連着出來了「議
 員は續續上京した」議員屢續着
 上京去了「續續注文する」源源
 添貨
 (ぞくぞく) 嗖嗖的「體がぞく
 ぞく寒い」身上嗖嗖的冷

そく

そくたい 束帶(名) ①束帶(帯ヲシ) ②衣冠(ツケル)

そくだい 即題(名) 即事

そくたく 囑託(名) 囑託

そくたう 速答(名) 速答

そくたう 即答(名) 立刻回覆、立覆、即答

そくたつ 速達(名) 快送、快遞(速達郵便)(ウビシ) 快信、快遞信件、加緊信件

そくだん 速斷(名) ①快速決斷 ②

そくち 測地(名) 量地

そくち 屬地(名) 屬地

そくちやう 族長(名) 族長、族老

そくぢよ 息女(名) 姑娘

そくぢん 俗塵(名) 俗塵

そく

そくつう 足痛(名) 脚疼

そくご 速度(名) 快速、速度、速率、遲快、快慢(高速の汽關) 高速率汽機

そくご 賊徒(名) 賊徒、匪徒

そくごう 唧筒(名) 唧筒、激筒、水

そくなう 即納(名) 急上税 「龍

そくなん 息男(名) 兒子

そくなん 賊難(名) 賊難

そくはく 催促(名) 催促

そくばい 即賣(名) 當場銷賣

そくばく 束縛(名) 約束、拘束、控制、拘管、管束、束縛(人の自由を束縛する) 拘束人的自由、束縛人的自由(法律で束縛する) 以法律約束

そくばく 若干(冊) 若干

そく

そくはつ 束髮(名) ①梳頭 ②梳西

洋頭

そくはつ 續發(名) 與續出(つづ) 同

そくひ 賊匪(名) 賊匪、匪徒

そくひつ 俗筆(名) 俗筆

そくふ 族譜(名) 家譜、譜系、族譜

そくぶつ 俗物(名) 俗氣的人、勢利人、俗物

そくぶん 俗文(名) 俗文

そくぶん 續聞(名) 續聞、續訊

そくへい 賊兵(名) 賊兵

そくへん 續篇(名) 續篇

そくほ 捉捕(名) 捉捕、捉拿

そくみやう 俗名(名) 俗名兒

そくむ 俗務(名) 俗務、俗事(俗務多忙) 忙務匆匆、俗絆羈身

そくめつ 熄滅(名) 熄滅、滅没

八二八

そくめつ 族滅(名) 滅族

そくめん 側面(名) 側、邊、旁、側面、軍隊之左右翼(側面觀)(ハシク)

從旁面看(側面攻撃)(ウヂキ) 攻敵之翼、側擊敵軍

そくや 即夜(名) 當天晚上

そくやう 俗樣(名) 俗樣兒

そくよう 俗用(名) 俗事

そくらう 足勞(名) 勞駕、受乏(ト)

うも 御足勞を掛けました 勞您駕

謝謝、叫您受乏謝謝

ぞくり 俗吏(名) 俗吏

ぞくり 屬吏(名) 屬吏

ぞくりやう 測量(名) 量、測繪、測量儀器、測量器(測量術)(ジユツ)

量、測勘、繪圖(測量機械)(キカイ)

そく

測量術、量地之法(土地を測量する) 測地、量地、打地、丈量地

畝(海を測量する) 測量海、探灣

深淺(鐵道線路を測量する) 測勘

ぞくりやう 屬領(名) 屬地 「路線

ぞくりよく 速力(名) 與速度(とく)

同(全速力)(ゼン) 全速力

ぞくりよく 足力(名) 脚的力量

ぞくるる 族類(名) 族類

ぞくれう 速了(名) 猛然一想

ぞくれう 屬僚(名) 屬僚

ぞくれう 俗了(名) 變俗

そくわ 産菓(名) 粗點心

そくわ 俗話(名) 俗話

そぐわい 疎外(名) 疎遠

そくわつ 疎濶(名) 疎濶

そくゐ 即位(名) 即位、登位、登極、登基、登龍位(即位式)(シキ) 登極

そくゐん 仄韻(名) 仄韻 「禮

そげ(名) 刺(さ) (そげが立った) 扎

了一個刺了

そけい 粗景(名) 外贈、特別贈品

そけい 鼠蹊(名) 胯骨縫、腿摺窩、大腿根兒、鼠蹊

そげき 狙擊(名) 狙擊

そけん 訴件(名) 案件

そ二底(名) 底(海の底) 海底(谷の

底) 山淵底兒(足袋の底) 襪底兒

〔靴の底〕 鞋底兒(船の底) 船底

〔心の底が分らない〕 居心莫測、

不明白 怎麼個心底(財布の底を

叩く) 淨了褌裡底兒了(深くて

底が知れぬ) 沒底兒的深、深不

そくそこ

八二九

そこ

可測的

そこ 其處(代) ①那、那兒、這、這兒〔其處に何がある〕那兒有甚麼〔其處が肝腎な處です〕那就是很要緊的地方〔其處には其處がある〕這裡頭有緣故 ②你 ③那層〔其處は御心配は入りません〕那層您不用分心

そこ 齟齬(名) 齟齬

そこい 底意(名) 預期、期待

そこいぢ 底意地(名) 心裡有損起來的意思

そこ 狙公(名) ①狙猿、猴兒 ②耍猴兒的(サルマ)

そこ ぎみ わるし 底氣味惡シ(形久活)

發毛〔あまり丁寧にされると底氣味が悪い〕人家待我太恭敬我心

そこ

裡發毛

そこ 祖國(名) 本國、母國、祖國、故國、父母之邦

そこ 忙忙叨叨的〔話もそこそこにして歸って行った〕說話還沒說完哪就忙忙叨叨的走了 ②潦草、敷衍、草率、草草〔仕事をそこそこにする〕敷衍過去、作事草率、浮面皮兒的作〔そこそこに視察する〕忙着看、草草看、走馬看花

そこ 粗忽(名) 草率、疎慢

そこ ち 底土(名) 地理的土

そこ づみ 底積(名) 與そこに同

〔そこで其處ア(接) 於是、於是乎、這麼着、可就〔其處で二人は喧嘩をはじめた〕於是他們倆打起架

そこ

八三〇

來了〔私は再三再四問ひ詰めた其處で彼は本當の事を話し出した〕我再三再四的盤問他可就說出實話來了

そこ 損(名) ①損、害、損害、損傷、傷害、損壞〔人を損ひ己を利す〕損人利己〔感情を損ふ〕傷人的感情、傷人心、得罪人〔自分の身を損ふ〕害自己〔名譽を損ふ〕敗名聲、毀名譽、壞名譽 ②錯〔損ふ〕辦錯了〔書き損ふ〕寫錯

そこに 底荷(名) 壓載之物、壓載、〔そこねる 損ネル(下二段他動) 與損ふ同〔腹を損れる〕鬧肚子〔人の感情を損れる〕與感情を損ふ同 ③ぬけ 底抜け(名) ④沒有底兒

そこ

⑤沒規矩的(シヤリ) ⑥喝大酒的人、酒鬼(底拔驢)〔サリギ〕喝的亂七八遭、喝的馬仰人翻

そこ ね 底值(名) 底碼

そこ ばく 若干(量) 若干

そこ ひ 底翳(名) 白內障、白障眼

そこ まめ 底豆(名) 翻彊子

そこ もと 其許(代) ①那兒、那裡

②你

〔そこら 其處邊(名) ①這邊、這溜兒、就近、左近〔そこらに有るのだからよく捜しなさい〕這個東西在這邊溜兒了罷你好好兒的找一找〔そこの交番所〕左近的巡警派出所 ②個〔五圓かそこらで買へます〕有個五塊錢可以買〔外國へ三ヶ月そこら行つて居て何

そき

の事情が分りませう) 上個三個月的外國怎麼能明白外國的事

情呢

そき い 蔬菜(名) 蔬菜、青菜

そき ざう 沮喪(名) 沮喪

そき ざう 粗相(名) 差錯、錯處、過失

〔粗相のないやうに氣を付けなさい〕你好好兒的留神別有過失

〔一寸した粗相から大事に及んだ〕爲一點兒差錯弄出大事來了

そき ざう 塑像(名) 塑像、泥塑人

そき ざう 粗造(名) 粗造、做的粗

そき ざつ 粗雜(名) 粗、粗雜

そき し 素志(名) 素願

そき し 阻止(名) 阻止、攔阻

そき し き 組織(名) 組、組織、合成、

そし

八三一

組成、構成、規模、規矩、局面

〔細胞組織〕〔サイ〕細胞組〔組織せる機關〕組設的機關〔組織を改める〕改組〔學會を組織する〕組織學會〔內閣を組織する〕組織內閣、組閣〔共同で會社を組織する〕打夥開辦一個公司〔貴下の事業はどんな組織ですか〕您的事業是怎麼個局面呢〔組織を立てて事をする〕按着規矩辦事

そし 素質(名) 性質、素性、素質

〔そして(接) 而〔此事は私一人でしたのですそして彼には關係がない〕這件事是我一人兒辦的而於他沒關係 ②然後〔私は御飯を食へそして行きます〕我吃完了飯然後再走

そし

そしな粗品(名) 微物、粗東西
 そじやう訴狀(名) 呈子、狀子、狀詞、狀紙
 そじやく咀嚼(名) 嚼咀、嚼(食物を咀嚼す)嚼吃食(彼は私の話を咀嚼し得ない)他把我的話咀(嚼)不進滋味兒去
 そじやく租借(名) 租、租借
 そしゆ麴酒(名) 粗酒、小酌、薄酌
 [來る何日何時麴酒差上度候間御來駕被下度候]某日某時略備小酌奉請臺駕降臨
 そしよ訴書(名) 呈子、狀子、狀詞、
 そしよ訴訟(名) 訟、訴訟、訟事、
 争訟、告狀、官司(訴訟を起す)打官司、投訴、告狀、相訟(訴訟好き)好訟、愛打官司的(訴訟事

そしそせ

件(ジケン)訟事、訟案、打官司的
 案件、案件、案
 そしよく粗食(名) 粗食
 (そしらぬかほ)假粧不知道的樣子
 そしる謗ル(四段他動) 毀謗、誹謗、罵、訕謗、搔弄、譏笑、譏諷、譏刺[目の前で謗る]當面搔弄人
 [蔭で謗る]在背地裡搔弄人、背地毀謗
 そす蘇ス(從段自動) 蘇醒
 そすい疏水(名) 運河
 そせい蘇生(名) 蘇醒、還醒、還生、
 回甦、復生、起死回生
 そせい索性(名) 索性、本來的性
 そせい粗製(名) 做的粗、粗造(粗製品)(粗)粗貨、粗製品、劣貨、

そせそそ

劣品(粗製糖)(粗糖(粗製濫造)(シラ)粗造劣品
 そせき礎石(名) 礎石、基石
 そせん祖先(名) 祖先
 そせん疎箕(名) 稀鬚子
 そそう祖宗(名) 祖宗
 (そそかし違シ(形志久活) 草率、疎忽(違しく事をやっつてはいけない)別草率辦事(舉動が違しい)學動草率
 そそく(下二段自動) 披、髮鬆(髮がそそける)披髮(髮がそそける)髮角鬆鬆
 そそぐ注グ(四段他動) 灌、注、澆(田に水を注ぐ)往水田灌水(意を注ぐ)注意、留心(酒を瓶に注ぐ)把酒灌在瓶子裡(草花に水を注ぐ)

澆花兒、花兒上澆水
 そそぐ注グ(四段自動) 注(江河東に注ぐ)江河東注
 そそく鼠賊(名) 鼠賊、鼠竊
 (そそかしい)違イ(形志久活) 與そ
 そかし同
 そそのかす唆ス(四段他動) 挑唆、挑撥、慫恿、撻撻、教唆、煽惑
 そそめく(四段自動) 嘈吵、喧吵、吵鬧
 (そそる(四段自動) 嘈吵、喧吵、吵鬧
 ③出入花柳之界
 そぞろに漫ニ(副) 無故的、不由
 的、不知不覺的 「柴網
 そだ粗朶(名) 柴火把子、草把子、
 そだい粗大(名) 粗而大

そそそた

そたう鼠盜(名) 鼠賊、鼠竊、小毛
 そたう祖道(名) 祖道(張ルコト)賊
 そだち育(名) ①生長(chang)②家好(あの人は育がよい)小孩兒生長的
 [子供の育がよい]小孩兒生長的
 [好]他們家是世家所以人品高超[若様育]公子哥兒出身的
 そだつ育ツ(四段自動) ①喂養、養活
 [牛乳でも子供は育ちます]用牛奶可以喂養小孩子[子供が育たない]小孩子養活不大
 ②伏活
 [雞は幾つ育ちました]伏活了幾隻小雞子
 ③生長(chang)冬は寒いから草木が育たない]冬天冷所以草木不生長
 そだつ育ツ(下二段他動) ①養育、養活[子供を育てる]養活小孩子、

そた

養兒④教訓、教育(男の子は女の子よりも厳しく育てなくてはならぬ)男孩子比女孩兒總得嚴嚴的教訓
 そだて育(名) 養育之法、教育之法
 そち措置(名) 處置
 そち其方(代) 你
 ソヂウム(名) (Sodium) 鈉
 そちや粗茶(名) 糙茶
 そつ卒(名) 卒子、兵丁、兵
 (そつ) ①花費、濫費 ②不成、無效[する事一つもそつがない]所辦的事情沒有一件不成的
 そつう疎通(名) 疏通、了然(雙方の意思が疎通しない)兩面的意見都不彼此了然、兩方面的意思不能疏通[政府と商人の意思

そたそつ

そたそつ

そつ

が疏通せぬ」官商有隔膜「豫め意思の疏通をはかる」預爲疎通意
 そつきよ卒去(名) 卒 「見
 (そつくり(副) 與そつくり同
 (そつくり(副) ①全都、全然「金から衣類までそつくり盗まれた」連
 銀子帶衣裳全都叫賊給偷了②
 彷彿「顔付が母親そつくりです」
 他的模樣長的和他母親彷彿③
 完全「そつくりした物は一つもない」
 ④一個完全的東西也沒有⑤
 穩穩當當的「毀すといけないからそつくりしておけ」你把這個東西穩穩當當的攔着看壞了
 そつけない素氣ない(形容) 與すげなし同
 そつげぶ卒業(名) 卒業、畢業「卒業

そつ

式(シキ)畢業禮「卒業試験」(シケン)畢業考試、卒業考試「卒業證書」(ヨウシヨ)畢業文憑、卒業文憑「卒業生」(セ)畢業生、卒業生
 そつじ率爾(副) 率爾
 そつす卒ス(佐變自動) 卒
 そつせん率先(名) 率先、爲魁、指導、先導 「昏倒、昏迷如死
 そつたう卒倒(名) 暈過去、氣盡、そつち其方(代) 與そち同
 (そつちのけ其方退(副) 扔在一邊兒、扔開「勉強を其方退にして遊びまはる」把學問扔在一邊兒滿世界玩儿「今は忙しいからそんな事は其方退だ」現在很忙這麼樣的事情先扔在一邊兒
 そつちゆう卒中(名) 腦血中風、中

そつ

風、血氣上攻、血湧入腦「卒中風」(フ)同上
 そつちよく率直(名) 直率、直爽、耿直、粗直「率直に云ふ」爽快快樂的說、嘴直心快的說
 (そつと(副) ①悄莫聲兒的、悄悄的、偷偷兒的、暗中「人に知らせない様にそつと話しなさい」悄莫聲兒的說別叫人知道「そつと歩く」悄莫聲兒的走「そつと彼を逃してやった」暗中把他放了②靜靜兒的、輕輕兒的「其儘そつと置いておく」就這麼靜靜兒的擱下
 (ぞつと(副) ①積伶、發戰、發戰慄、肉麻的慌「恐れてぞつとする」刺心的害怕、嚇的「積伶「聞いてもぞつとする」聽着一扎心「蛇

そつ

が出たのでぞつとすると「長蟲出來了嚇的」積伶「此畫はあまりぞつとしない」這個畫兒我不觸目驚心②寒毛發扎施「ぞつと身の毛がよだつ」嚇的寒毛發扎施
 (そつば反齒(名) 暴牙
 ソップ(名) (Soup)肉湯、羹湯
 そで袖(名) 袖子
 そであき袖開(名) 與そでぐち同
 そでうつし袖移(名) 從袖口裡褪給人家東西
 そでがうろ袖香爐(名) 手爐
 そでがき袖垣(名) 八字兒籬笆
 そでがらみ袖摺(名) 鈎竿子
 そでぐち袖口(名) 袖口兒
 そでごひ袖乞(名) 乞丐、花子、要
 そでじるし袖標(名) 袖章「飯的

そつ

そでだご袖風(名) 小風等
 そでつ蘇鐵(名) 鐵樹、蘇鐵、鳳尾松、鳳尾蕉
 そでつけ袖付(名) 搥肩
 そでつま袖襖(名) 袖子和裾邊「袖襖を引く」拉着衣袖挑情
 そでなし袖無(名) 坎肩兒、背心
 (袖無羽織(オオリ)同上
 (そでのした袖下(名) 賂賄、買奉
 そでまくり袖捲(名) 挽袖子
 そと外(名) 外、外頭「外で遊ぶ」在外頭玩儿「外は寒いが室内は暖い」外頭冷屋裡暖和「外は立派(バツ)だか中はきたない」外頭好そと(副) 與そつと同「看裏頭隣そとあし外足(名) 撇脚
 そとうみ外海(名) 外海

そと

そとがまへ外構(名) 房子的外面
 そとく素讀(名) 竟念不講、開蒙
 そとぐるま外車(名) 外輪子
 そとぐるわ外郭(名) 外郭
 (そとすずめ外雀(名) 野脚的人
 (外へ出(ルヲ出ム人)
 (そとせん外鐵(名) 圓刃兒鉤子
 そとで外出(名) 出門
 そとのり外法(名) 外口
 そとば卒堵婆(名) 石塔
 そとぶどころ外懷(名) 外壞兒
 そとべ外方(名) 外面
 そとほり外壕(名) 護城河
 そとまはり外圍(名) 外圍
 そとまはり外廻(名) 跑外的、走

そとそな

街的、外櫃〔外廻の手代〕跑外的
夥計

そとも外面(色) 外面、外頭
〔そとわに外罎(色) 與そとあし同
そなた其方(代) ①這兒、那兒②
你

そなはる備ル(四段自動) 備、具、具
備〔何もかも完全に備る〕一概俱
全〔徳の備った人〕有徳的人
そなふ備フ(下二段他動) ①備、預備、
防備〔萬一に備ふ〕預備於萬一
〔砲臺を築き敵に備へる〕築造砲
臺防備敵人〔米を積んで凶年に
備へる〕存米預備饑年〔參考に備
へる〕預備參考〔急の用に備へ
る〕預備急需〔急場に備へる〕
預備遇急兒、備急②供、上供

そな

(Nunagi)〔神に供物を備へる〕供神
供物、上供

そなへ備(色) ①備、防備、預備(備
を嚴重にする)嚴備〔敵の備無き
に乗ず〕乘敵不備〔不時の備に貯
へておく〕存着預備不時②排隊
〔軍隊の備を立てる〕排隊

そなへつく備付ク(下二段他動) 安、安
上、定置〔大砲を備付ける〕安置
大砲〔電氣燈を備付ける〕安電燈
そなへつけ備付(色) 安、安置、装
備、裝設、設備〔備付の大砲を下
す〕把安置の大砲撤下來〔室内
の備付〕屋裡裝備、屋内裝設、屋
裡擺設

そなへもち備餅(色) 供神的年糕
そのうち其内(色) ①改天(其内に
又お目にかかりませう)啓門改
天再見②過些日子(其内に病氣
もよくなるでせう)再過些日子
他的病也見好罷

そなその

そなへもの供物(色) 供獻、供物
そにん訴人(色) 打官司的人、告
狀的

そねまし嫉シ(形志久遠) 可妬、可恨
そねみ嫉(色) 嫉、妬
そねむ嫉ム(四段他動) 嫉恨〔人の成
功を嫉む〕嫉恨人的成功

その園(色) 花園子
その其(代) 其、這個、那個、他〔其
花は何ですか〕這個花兒是甚麼
花兒〔其事は後で話ませう〕這
個事情回頭再說罷〔彼が死ぬと
其子も程なく死んだ〕他死了不
多的日子他的兒子也死了〔家
庭の起源と其發達〕家庭的起源
和它的發達

そのうち其内(色) 其中

そのうへ其上(色)

①在……上頭
〔私が倒れた其上に塀が倒れた〕
我倒(two)了在我身上牆也倒下
來了②再高、再好〔其上はずっと
値段が高くなります〕再高的價
錢貴多了

そのうへ其上(色) 而且、又、兼
之、又搭着〔値段も安く其上品も
よい〕價錢又便宜東西又好〔學
問があり其上才能がある〕有學問
而且有才幹〔日曜で其上天氣も
よい〕是禮拜又搭着天氣好

その

そのすぢ其筋(色) ①該管的官署

〔其筋に届出る〕呈報該管的官
署②在行的、行家(ウツ)〔其筋の
人に尋ねる〕跟在行的人打聽
そのせつ其節(色) 與そのとき同
そのたうぎ其當座(色) 那個當兒
〔留學して來た其當座は淋しくて
耐らなかつた〕我留學來的那個
當兒很寂寞的了不得

そのとき其時(色) 這個時候、這
個當兒、此時
そののち其後(色) 與そのご同

その

そのはう其方(代) 你

そのひかせぎ其日暮(色) 現打鐘
そのひぐらし其日暮(色) ①過日
子現打鐘〔其日暮(ウケタ金) 一日打柴
一日燒、對付一天、當天拚當天
花、日拚日吃、沒隔日糧、一天
一光②今日有酒今日醉(其日暮
カマハス)〔其日暮に困る〕吃早起的

そのひかせぎ其日暮(色) 現打鐘
そのひぐらし其日暮(色) ①過日
子現打鐘〔其日暮(ウケタ金) 一日打柴
一日燒、對付一天、當天拚當天
花、日拚日吃、沒隔日糧、一天
一光②今日有酒今日醉(其日暮
カマハス)〔其日暮に困る〕吃早起的

その

その

謀晚上的、吃一頓挨一頓

そのびと園人(名) 園丁、看園子

そのふ園生(名) 花園子

そのまま其儘(副) ①就這麼、就

那麼「煮なければ其儘では食べられない」若不煮就那麼不能吃

「例の事はまだ其ままになって居る」那件事情還就是那麼着哪

「彼は怒って歸って其儘もう來ません」他生氣走了就這麼着老

沒來②仍舊「四五百年前の家屋や庭が其儘残って居る」四五百年

前的房子院子甚麼的仍舊還存

着哪

そのむき其向(名) ①這麼個方向

②同道的人③該管的官署

そのむかし其昔(名) 古來、古代

そのそは

的時候

そのもと其許(代) 你

そのもの其物(代) ①這個東西②

倒「金其物は惜しくないが金入は親譲のだから惜しい」錢倒不可

惜就是那個錢褙種兒是我父親

的念想兒

そは粗葉(名) 糙葉子、糙烟

そば側(名) ①傍邊兒「側に坐る」在

傍邊兒坐「側から口を出す」挿

嘴、挿言②隨「聞く側から忘れ

る」隨聽隨忘「儲ける側から使

ふ」隨揮隨花「雪が降る側から融

ける」下雪隨着下隨着化

そば蕎麥(名) 蕎麥「蕎麥搔」(カキ)

蕎麥疥癩兒湯「蕎麥滓」(カス) 1. 蕎麥皮兒 2. 糞子 (糞) (カス) 1. 黃

そは

癩、雀斑、曬斑「顔一面のそばかす」滿臉黃癩「蕎麥殼」(ガラ) 蕎麥

皮兒「蕎麥切」(キ) 蕎麥老鼠尾

兒「蕎麥粉」(コ) 蕎麥麵「蕎麥煉」

(ネリ) 與蕎麥搔同「蕎麥饅頭」(マン

ヂュ) 蕎麥麵做的饅頭「蕎麥屋」(マシ

切麵舖(生) (マシ) 大貨舖(生) (マシ)

切麵舖(生) (マシ) 大貨舖(生) (マシ)

そば蕎麥湯(マシ) 蕎麥麵茶

そはう粗放(名) 輕率、粗忽、不慎

そばう粗暴(名) 粗暴、粗魯、粗鹵、

「魯莽、倔喪、倔氣

そばそば(副) ①慌慌忙忙的、不

安靜的、沒坐性、坐立不安、坐臥

不安、坐不安睡不寧的「心がそ

はそばする」心慌慌忙忙的、心

裡慌慌張張的、心不安靜、心中

志忑「舉動がそばそばする」坐不

そふ添フ(四段自動) ①添、増、增多

「數が添ふ」數兒添上了②附「魂

(タビ) 身に添はず」魂不附體「永年

添うた妻」好些年同牀妻

そふ副フ(四段自動) 副(名實相副ふ)

名實相副

そふ沿フ(四段自動) 沿、靠、順「海に

沿うたる地」沿海的地方「河に沿

うて上る」靠(順)着河沿兒往上

走

そふ添フ(下二段他動) ①増、添、増

多、加、加添「又た一つ病氣を添

へた」又添上了一樣兒病「二段

の興味を添へた」更加上高興了

「入學願書に履歷書を添へて出す」

入學志願書和履歷一塊兒呈上

「並に手紙一封添へおき候間御受

安睡不寧的、行坐不安、坐立不

安②颯颯的「風がそばそばする」

風颯颯的颯

そばだつ峙ツ(四段自動) 峙立

そばだつ欵ツ・側ツ(四段他動) 欵、側

「目を側てて視る」側目而視「耳

を側てて聴く」側耳而聽

そばづかへ側仕(名) 貼身的跟人

「そばはつく(四段自動) 與そはそは同

そばづとめ側勤(名) 與側仕(そばづ

かへ) 同

「そばづる傍杖(名) 帶累、連累、

吃掛落(Lao) 兒、城門失火「喧嘩

の傍杖を食ふ」打架連累了我了

そばむく側向ク(四段自動) 扭着身子

そばめ妾(名) 妾、姨奶奶、姨太太

そばゆ戯ユ(下二段自動) 玩耍

そばる添ル(四段自動) 添、增多

そはん粗飯(名) 粗飯、粗茶淡飯

そびく(四段他動) 探「人の心をそび

く」探人心

そひね添寢(名) 就伴兒睡覺「母が

子に添寢する」母親和小孩子就

伴兒睡覺

そひぶし添臥(名) 同上

そびやかす聳ス(四段他動) 聳、端

「肩を聳す」聳肩、端着肩膀兒

そびゆ聳ユ(下二段自動) 聳

「そびれる(下二段自動) 失機會「寢そ

びれる」混過覺去

そふ粗布(名) 粗布

そふ祖父(名) 祖父、爺爺

そふ添フ(四段自動) ①添、増、增多

「數が添ふ」數兒添上了②附「魂

(タビ) 身に添はず」魂不附體「永年

添うた妻」好些年同牀妻

そふ副フ(四段自動) 副(名實相副ふ)

名實相副

そふ沿フ(四段自動) 沿、靠、順「海に

沿うたる地」沿海的地方「河に沿

うて上る」靠(順)着河沿兒往上

走

そふ添フ(下二段他動) ①増、添、増

多、加、加添「又た一つ病氣を添

へた」又添上了一樣兒病「二段

の興味を添へた」更加上高興了

「入學願書に履歷書を添へて出す」

入學志願書和履歷一塊兒呈上

「並に手紙一封添へおき候間御受

そふそへ

取被下度候」並附上信一件即請
 查收是荷②就「御飯に何の菜を
 添へますか」您吃飯就甚麼菜③
 助、幫「歌を歌ひ興を添へる」唱
 歌助興致「一臂の力を添へる」助
 一臂之力「心を添へる」提補、照
 そふく粗服(名) 縫衣裳 「應
 そふく素服(名) 素服
 そぶつ粗物(名) 粗東西
 そぶり素振(名) 舉動、行爲、樣
 子、動作、態度「彼の素振が怪し
 い」他的行爲可怪「そんな素振は
 ちっとも見せない」一點兒也不
 叫人看出那麼樣兒的舉動來
 そへ添(名) ①添、増、增多、加
 副②菜
 そへがき添書(名) 再啓、再者的

そへ

話、再筆、追申 [Chia?]
 そへがみ添髪(名) 假髻、假髮
 そへかん添翰(名) 介紹之信
 そへぐるま添車(名) 副車
 そへじやう添狀(名) 介紹之信
 そへしよ添書(名) 同上 「吃
 そへぢ添乳(名) 睡着的時候給奶
 そへてがみ添手紙(名) 與添書(そへ)
 同
 そへふで添筆(名) 加添文字
 そへふみ添文(名) 與添書(そへ)同
 そへまし添増(名) 添上、増加、加
 添
 そへもの添物(名) 外贈、加添的
 そへやく添役(名) 副役

そほそま

そほ祖母(名) 祖母、奶奶
 そほう素封(名) 素封「素封家」か
 そほく素朴(名) 素朴 「同上
 そほそほ(副) 蕭蕭「雨がそほそほ
 降る」雨蕭蕭的下 「山人
 そほづ案山子(名) 茅人、草人、按
 そほぬる(下二段自動) 淋濕
 そほふる(四段自動) 雨蕭蕭的下
 そほん素本(名) 沒點句的書
 そほん粗笨(名) 粗笨
 そま柚(名) ①出木料的山②從山
 上伐下來的木料③伐木匠、木
 そまい租米(名) 貢米、漕米「把
 そまぎ柚木(名) ①山上長的木料
 ②從山上伐下來的木料
 そまつ粗末(名) ①粗、粗糲②不
 要緊「此品は粗末ですが差上げま

そまそむ

す「這不過是粗東西奉送您罷
 「これは珍しい品だから粗末にし
 てはいけない」這是稀罕的東西
 別拿着不要緊「何も御馳走はな
 くて甚だお粗末です」沒有甚麼
 菜不成格局得很「親を粗末にし
 る」不敬老家兒「粗末ながら進呈
 仕候」區區微物尚祈賞收
 そまびと柚人(名) 伐木匠、木把
 そまやま柚山(名) 出木料的山
 そまり染(名) 染的
 そまる染ル(四段自動) 染、沾染「惡風
 に染る」沾染不好的習氣「赤く
 染る」染紅
 そみつ粗密(名) 疎密、稀密
 そむ染ム(四段自動) 染「惡風に染む」
 沾染惡俗

そむ

そむ染ム(下二段他動) 染「布を染む」
 染布「筆を染む」染筆
 そむ初ム(下二段他動) 乍「見初む」乍
 見「聞初む」乍聽「思初む」乍想
 そむく背ク(四段自動) ①背、違背、
 不合「約束に背く」背約「規則に
 背く」違背規章「君に背く」背君
 「親の命に背く」違背父母之命
 「入道に背く」違背人道、反乎人
 道「道理に背く」背理、不合理「良
 心に背く」背良心「人情に背く」
 不順人情、不合人情、拂人之性
 ②反、叛、背叛③辜負「人の好意
 に背く」辜負人的美意
 そむく背ク(下二段他動) 背「顔を背け
 る」背着臉「燈火を背けて坐る」
 背着亮兒坐

そめ

そめ染(名) 染、染白
 そめあぐ染上グ(上二段他動) 染得了
 そめいだす染出ス(四段他動) 染出
 そめいと染糸(名) 染線
 そめいろ染色(名) 染得了的顏色
 そめかた染方(名) 染法
 そめがた染形(名) 染出來的花樣
 そめがたがみ染形紙(名) 模子紙
 そめかは染革(名) 染皮
 そめかへし染返(名) ①回染②回
 染的布
 そめかへす染返ス(四段他動) 回染
 (そめく(四段自動) 嘈吵、吵鬧、喧
 鬧、吵嚷
 そめくさ染種(名) 染料
 そめつく染付ク(下二段他動) 染上

そめそや

そめなす 染成ス(四段他動) 同上
 そめぬき 染抜(名) 雙鉤
 そめぬく 染抜ク(四段他動) 染雙鉤
 そめもの 染物(名) 染的布(染物師)
 師(シ) 染匠(染物屋)
 2. 染匠 「花様」
 そめもやう 染模様(名) 染出來的
 そめやう 染様(名) 染法
 そめわく 染分ク(下二段他動) 花染
 そも抑(接) 原來
 そもじ(代) 你
 (そもそも抑(名)) 起根兒(抑から云へばかうだ) 起根兒上說是這麼着
 そもそも抑(接) ①抑②原來
 そや征矢(名) 打仗用的箭
 そや粗野(名) 粗野、俗野、粗魯

そやそら

そやう 素養(名) 素、工夫(學問の素養がある) 學問有素、學問有工夫
 そやす(四段他動) 讚美、稱讚、稱美、稱揚
 (そやつ 其奴(代)) 他那個東西
 そよ(副) 溜溜(風そよ吹く) 風溜溜的
 そよぐ 戦(四段自動) 被風颯的動
 そよそよ(副) 與そよ同
 そら空(名) 天、天空、大空、穹蒼
 (空が晴れた) 天晴了「空が曇った」天陰了「空で覺える」暗記、記住「一卷の書を空にする」背一本書(空泣をする) 假哭(chie)
 (そら(代)) 那「そら私は知りませぬ」那我不知道「貴下の持つて居るのはそら何です」您手裡拿着的那是甚麼東西
 (そら(感)) 哎呀「そら火事だ」哎呀着了火了
 そらあひ 空合(名) 天、天氣、天象
 (空合が悪くなった) 天不好了、天陰起來了
 そらいろ 空色(名) ①天青色、品月②天、天象、天氣 「朝天そらうそぶく空嘯ク(四段自動)」仰面そらおそろし 空恐シ(形志久活) 不由的害怕
 そらおほえ 空覺(名) 記
 そらぐもり 空曇(名) 天陰
 そらこころ 空心(名) ①心不定、心慌②偽心
 そらごと 空言(名) 虛言、謊話

そら

そらよみ 空讀(名) 背書
 そらわらひ 空笑(名) 嗜樂(chi)
 そらゑひ 空酔(名) 粧醉
 そらんず 讀(在變他動) 背、讀
 そり橋(名) 水床、雪車、橋
 そり反(名) 彎、彎曲(板に反をつける) 把板子弄彎了「二人は反が合はぬ」他們倆不投機(不合)
 (そり剃刀(名)) 剃頭刀
 そりがた 反形(名) 彎形兒、弓形、彎弓的樣子
 そりかへる 反返ル(四段自動) 彎腰、打挺兒「子供が泣いて反返る」小孩兒哭着打挺兒「後へ反返る」往後頭彎腰
 そりけ 剃毛(副) 頭髮渣子
 (そりぞり(名)) 吱吱的(頭をぞり)

そら

そらじに 空死(名) 粧死
 そらす 逸ス(四段他動) 逸、失、岔、轉、空(鷹を逸す) 鷹放空了「機會を逸す」失機會「人を逸さぬ」應酬的周到「銃丸を逸す」打岔了
 槍了「話を逸す」轉話頭兒、打岔
 そらす 反ス(四段他動) 叫東西彎
 そらたのみ 空頼(名) 嗜盼望
 そらつんほ 空尊(名) 粧尊
 そらぢけ 空解(名) 鬆了扣兒了、還扣
 そらとほけ 空惚(名) 粧不知道
 (そらとほける 空惚ける(下一段自動)) 粧不知道、假粧不知道、粧作不知
 そらなき 空泣(名) 假哭(chie)
 そらなみだ 空涙(名) 猫哭耗子、

そら

白掉眼淚
 そらに 空似(名) 長(chang) 的像似
 そらね 空音(名) 像似的聲音
 そらね 空寢(名) 粧睡(空寢入)
 同上
 (そらのみこみ 空吞込(名)) 假明白
 そらほけ 空惚(名) 與そらとほけ同
 そらまけ 空負(名) 假粧着輸
 そらまめ 空豆(名) 蠶豆
 そらみみ 空耳(名) ①聽錯了②粧聽不見
 そらめ 空目(名) ①看錯了②仰眼看(空目遣)
 (ツカヒ) 仰眼看
 そらもやう 空模様(名) ①天、天象、天氣②光景
 そらゆく 空行ク(四段自動) 在天上走

そらそり

そらよみ 空讀(名) 背書
 そらわらひ 空笑(名) 嗜樂(chi)
 そらゑひ 空酔(名) 粧醉
 そらんず 讀(在變他動) 背、讀
 そり橋(名) 水床、雪車、橋
 そり反(名) 彎、彎曲(板に反をつける) 把板子弄彎了「二人は反が合はぬ」他們倆不投機(不合)
 (そり剃刀(名)) 剃頭刀
 そりがた 反形(名) 彎形兒、弓形、彎弓的樣子
 そりかへる 反返ル(四段自動) 彎腰、打挺兒「子供が泣いて反返る」小孩兒哭着打挺兒「後へ反返る」往後頭彎腰
 そりけ 剃毛(副) 頭髮渣子
 (そりぞり(名)) 吱吱的(頭をぞり)

そりそれ

そり剃る「把腦袋吱吱的剃
 そりはし反橋(名) 彎橋
 そりみ反身(名) 忝身、忝身疊肚
 (そりや(接) 那、這「そりや面白
 い」這個有趣兒
 (そりや(感) 與そら同
 そりやく粗略(名) 輕視、疎忽、疎
 慢「粗略に取扱ふ」待人疎慢
 そる剃ル(四段他動) 剃、刮「髮を剃
 る」剃頭「顔を剃る」刮臉
 そる反ル(四段自動) 彎
 そる逸ル(下二段自動) ①放空「鷹が
 逸れる」鷹放空了②打斜「銃丸
 が逸れた」槍子兒打斜了
 それ其(代) 這、那「其は何です」那
 是甚麼「其より下りては」等而下
 之、等而下之「それはさうです

それ

が「話は這麼説
 それ某(代) 某「某の年」某年
 それ(接) 夫
 (それ(感) 與そら同「それ見ろ罰
 が當った」你瞧遭了報了不是
 それがし某(代) ①某、某甲②我
 (それから(接) 和、跟、與「私は手
 袋と帽子とそれから靴を買ひま
 す」我要買手套和帽子和鞋
 (それから(副) 然後、其後「御飯
 を食へそれから行かう」吃完了
 飯然後再走「私は歸朝してそれ
 から五年になる」我回國之後已
 經有五年了
 それこそ(副) ①真是、實在②那
 それさうおう夫相應(名) 按着、
 照着「人は皆夫相應に暮さればな

それ

らね」人都得按着本分過日子
 「子供は子供で夫相應は智慧があ
 る」小孩兒有小孩兒智識
 (それしや(名) ①長於此道的人
 ②妓女「あの女はそれしやの果で
 す」他是從良的女子
 それぞれ夫夫(副) 各人各人、各
 各兒、都「人には夫夫辯(名)があ
 る」各人有各人的脾氣「皆夫夫
 の仕事を持って居る」各人有各人
 的工作「功のある者に夫夫褒美を
 やる」有功勞的人各各兒都有
 賞格「夫夫勝手熱を吹く」各人
 説於各人便宜的話
 それたか逸鷹(名) 放空的鷹
 (それだから(接) 因爲、所以、故
 此「今賣ると必ず損するそれたか

それ

ら賣らない」現在賣必定吃虧所
 以我不賣「彼は狡猾ですそれだ
 から私は交際しない」他爲人奸
 詐所以我不和他來往
 (それなのに(接) 然而「私は色色
 と忠告したそれなのに聞かない」
 我再三再四的勸他了然而他不
 聽
 それだま逸丸(名) 飛彈、打飛了
 (それで(接) ①與それだから同
 ②纔「かうしてそれで始めて朋友
 の義理が立つ」如此纔是盡朋友
 之道哪③還是「あんなに働いて
 それで貧乏とはどう云ふわけだ
 う」他那麼努力操作還是那麼
 窮是怎麼個緣故呢
 それでこそ(副) 那纔是「それでこ

それ

そ國民の義務を盡したものであ
 る」那纔是盡了國民一份的義
 務
 それでは(副) 那麼就、既是這麼
 着、既然如此「それでは仰に従ひ
 ます」那麼就遵命了「それでは無
 理にお引止め致しません」既然如
 此我不敢強留了
 (それとなく夫ト無ク(副) 暗含着、
 含而不露的「夫となく彼の心を
 探って見やう」我要暗含着探探
 他的意思「夫となく云ひ聞す」暗
 含着訓戒他
 (それとも(接) 還是「私の意見に
 従ひますかそれとも別に考があり
 ますか」你按着我的意思啊還是
 單有別的意思呢

それ

(それなり(副) 與そのまま同
 (それに(副) 與それだのに同
 (それにしても(副) 雖然如此可
 是……、雖然……可還是「それ
 にしても安い」雖然如此可還是
 便宜
 (それほど其程(副) ①這麼、那麼、
 如此「貴下が其程頼むなら私も不
 承知はない」你既這麼央告我也
 沒有不答應你的「其程心配する
 に及ばぬ」你不用這麼操心「三
 度の飯が食へない程其程窮して居
 らない」他不是連三頓飯也吃不
 上的那麼樣窮②不很、不大、不
 甚「病氣は其程ひどくはない」病
 的不大利害
 それや逸矢(名) 流矢

それそろ

それゆゑ夫故(送) 所以、故此

そろ候(動) 與さふらう同

そろう疎漏(名) 疎漏、不周到、疎

忽、潦草(調(シラ)が疎漏です) 查的不到

「そろそろ徐徐(副) 慢慢的(「そろ

そろ歩く) 慢慢的走(召使は慣れ

るとそろそろ横着(ワウチ)を初めま

す) 底下人使喚長了就慢慢的

躲起懶來了

「ぞろぞろ(副) ①唵拉唵拉的(西

洋婦人はぞろぞろ裙を引きする)

西洋婦女唵拉唵拉的拉着裙子

②咕咕嚷嚷的(蟲がぞろぞろ爬

ひ出す) 蟲子咕咕嚷嚷的爬出來

了

そろっと(副) 輕輕兒的、偷偷兒的

そろ

「そろっと起き上る」 輕輕兒的起

來了「そろっと戸を開ける」 輕輕

兒的開門

そろばん算盤(名) 算盤(算盤を彈

く) 打算盤(算盤が合はない) 算

的不對、算盤不對、算盤打的不

對(算盤が取れない) 合不着本兒

「彼の算盤は確かだ」 他的算盤打

的清着呢

そろひ揃(名) 齊整、一樣(三人揃

の着物を着る) 三個人穿一樣的

衣裳

そろひつけ揃付(名) 都是(今の内

閣は敏腕家の揃付です) 現在的

内閣都是有能耐的人

そろふ揃フ(四段自動) 齊、整、齊整

「客が揃ふた」 客人都來齊了(調

そろ

子が揃ふ) 腔調兒很整(後先が揃

はぬ) 前後不符(操練がよく揃

ふ) 操練的很齊整(花が咲き揃

ふ) 花都開齊了(字がよく揃ふ)

字很齊極

そろふ揃フ(下二段他動) ①齊、整、齊

整(聲を揃へて喝采する) 齊聲兒

喝采、齊聲叫好兒(口を揃へて

云ふ) 一口同音的說(足を揃へて

歩く) 齊着步兒走(足を揃へて跳

ぶ) 把脚並齊了(軍勢を揃へ

る) 排齊了隊(散らばった書物を

揃へる) 把落書都齊理了(前髪

を切り揃へる) 把劉海髮剪平了

(一式揃へて五圓です) 整份兒是

五塊錢(預備(入用だけ揃へて

置く) 就是所要的都預備下了

そろへ揃(後尾) 套(着物一揃) 一套

衣裳

「そろり(副) 與そろそろ同

そゑん 訴冤(名) 訴冤

そゑん 疎遠(名) ①疎遠 ②久違、

疎闊

そん損(名) ①損(滿は損を招き謙

は益を受く) 滿招損謙受益(文) ②

賠、虧、損失、損耗、不上算(損

をして賣る) 賠錢賣、虧本賣(三

百圓損をした) 吃了三百元的虧、

賠了有三百塊錢(これとそれと

交換すると損です) 這個和那個

一換我不上算(あの人は損な性

分です何をして人も人に好く思はれ

ない) 他是不得人的性情無論

做甚麼人家老不想他好 ③沒益

そろそん

處(「そん」な事を云つて人に憎まれ

るだけ損だ) 說這樣兒的話討

人嫌實在沒益處

そん 巽(名) 巽

そん 村(名) 村、村莊、鄉村、屯

そん 孫(名) 孫、孫子

そん 尊(名) 尊

そん い 尊意(名) 尊意、高見、貴意

そん い 存意(名) 意思、意見

そん い う 損友(名) 損友

そん え い 尊影(名) 尊像

そん え き 損益(名) 損益、盈虧、贏

虧(損益計算をする) 核算損益、

損益計算(損益勘定帳) 比較贏

虧的帳、盈細帳、盈虧清帳(差

引損益なし) 合算起來沒有損益

そんか 村家(名) 村舍

そん

そんか 尊家(名) 府上、尊府

そんが い 損害(名) 損害、損傷、損

耗、傷害、毀損、虧損(損益賠償)

(イシヤウ) 賠還、賠償、賠償、賠償

損失

そんが う 尊號(名) 尊號

そんか ん 尊翰(名) 華翰、雲翰

そんが ん 尊顏(名) 尊顏、尊範、芝

そんき 尊貴(名) 尊貴

そんき よ 蹲踞(名) 蹲下、蹲踞

そんき ん 損金(名) 賠的錢、虧空

的錢

ぞんぐわい 存外(副) 與意外(外)

ぞんくん 尊君(代) 老兄、兄臺、閣

下

そんけい 尊敬(名) 尊敬、恭敬、敬

重、尊重、敬仰、欽仰、佩服

そん

そん

そんけい 尊兄(名) 令兄
 そんけい 尊兄(代) 老兄、老哥、兄
 そんげん 尊嚴(名) 尊嚴 「臺
 そんげん 損減(名) 減損
 そんざい 存在(名) 存在
 (ぞんざい) (形ナ活) ①不好好兒
 的、草率、敷衍、潦草、草草(手紙
 をぞんざいに書く) 亂七八糟的
 寫信、把信寫的很草率(物をぞ
 んざいに取扱ふ) 不好好兒的使
 東西、作事草率、敷衍過去 ②粗
 野(ぞんざいな口のきき方をす
 る) 說粗野的話
 そんさつ 尊札(名) 華翰、雲翰
 そんじ 尊師(名) 尊師
 そんじ 損(名) 損害、損壞
 ぞんじ 存(名) 知道、認得、認識

そん

「貴下はまだ御存ないのでですか」
 您還不知道麼(貴下の御存の方)
 您認識的人
 ぞんじがけない 存掛無イ(形久活)
 想不到、意外(御尊父様が今頃お
 隠にならうとは存掛無い事とし
 た) 想不到老伯大人這麼個時
 候去世 「耗、損害、傷害、虧損
 そんじつ 損失(名) 損失、虧空、傷
 そんじやう 損傷(名) 損傷、損壞、
 殘傷、傷損、損
 ぞんじやう 存生(名) 生存 「翰
 そんじよ 尊書(名) 華翰、玉函、雲
 そんじよ 損所(名) 壞了的地方
 そんじよ 尊稱(名) 尊稱
 そんじよ 遜色(名) 讓過、下的、
 次的、較遜、亞於(舶來品に比べ

そん

て遜色がない) 不亞於洋貨、比
 洋貨不讓過兒 「左近
 (そんじよそこら) 這溜兒、這
 (ぞんじよらず不存寄) 想不
 到、意外
 (ぞんじより存寄) 意見、主意
 (ぞんじよる存寄ル) (四段自動) 想到、
 想出來
 ぞんじん 存心(名) 存心
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 (ぞんじよる存寄ル) (四段自動) 想到、
 想出來
 ぞんじん 存心(名) 存心
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 (ぞんじよる存寄ル) (四段自動) 想到、
 想出來
 ぞんじん 存心(名) 存心
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 そんす 存ス(佐變自動) 存
 (ぞんじよる存寄ル) (四段自動) 想到、
 想出來

八四八

そん

ぞんず 存ズ(佐變自動) ①想(それは
 存じかけない事でした) 實在我
 想不到(了) 認識、知道、懂得
 「貴下は彼を御存じないのでですか」
 您不認識他麼(有難く存じます)
 多謝多謝(殘念に存じます) 抱歉
 そんせい 尊姓(名) 貴姓 「抱歉
 そんそう 尊崇(名) 尊崇
 そんぞく 存續(名) 永存
 そんたい 存尊(名) 尊體、貴體
 そんたい 尊台(代) 老兄、兄臺、老
 哥
 そんたい 尊大(名) 自大、尊大、狂
 そんたいじん 尊大人(名) 令尊、尊
 大人
 そんたう 村道(名) 村道兒
 そんたう 尊堂(名) 府上、尊府

そん

そんたく 尊宅(名) 同上 「復
 そんたふ 尊答(名) 回音、示覆、玉
 そんちやう 村長(名) 莊長、村長、
 鄉長
 そんちよう 尊重(名) 尊重、看重、
 重視(禮儀を尊重する) 尊重禮儀
 「彼の意見を尊重する」 重視他的
 意見(上官が彼を尊重する) 上憲
 器重他(人の人格を尊重する) 尊
 重人的人格
 そんたく 損得(名) 損益、得失
 (そんな) 那麼様、這麼様(そ
 んな事は私には言はない) 這麼様
 兒的事情我不知道(そんな人は
 知らない) 我不認得這麼様兒的
 人(そんな勝手を云ふな) 你別說
 這麼様兒任意的話

そん

(そんなに) 與それほど同
 (そんなら) 那麼、然則(今日
 は汝が行かす私も行かぬそんなら
 誰を遣るので) 今天你也不去
 我也不去那麼叫誰去呢
 ぞんねん 存念(名) 存心
 そんばい 存廢(名) 存廢
 そんばう 存亡(名) 存亡
 そんび 尊卑(名) 尊卑
 そんぶ 尊父(名) 尊大人、令尊
 そんぶうし 村夫子(名) 村夫子
 ぞんぶん 存分(副) ①飽、十分(思
 ふ存分食へた) 飽吃了一頓 ②傾
 心吐胆的(思ふ存分云ってやった)
 傾心吐胆的説人 「母大人
 そんぼ 尊母(名) 令堂、老太太、伯
 そんまう 損亡(名) 損失、虧空、耗

八四九

そんな

損、耗失
 そんみん 村民(名) 村夫、村戸
 そんめい 尊命(名) 臺命、雅囑
 そんめい 尊名(名) 尊名、貴姓
 ぞんめい 存命(名) 生存、活着、在世
 世「亡父の存命中」先父在世時
 「彼はまだ存命ですか」他還活着
 ぞんめつ 存滅(名) 存亡 「麼
 そんよう 尊容(名) 尊容 「駕
 そんらい 尊來(名) 光臨、駕臨、枉
 そんらく 村落(名) 村落、村莊、鄉
 そんらん 尊覽(名) 臺覽 「村
 そんり村里(名) 與村落(そん)同
 ぞんりう 存留(名) 留存
 そんりつ 存立(名) 存立
 そんりよ 尊慮(名) 錦懷
 ぞんりよ 存慮(名) 意思、意見

そんなた

そんれう 損料(名) 賃錢「損料賃」
 (ガシ) 出賃「蒲團の損料賃」出賃鋪
 蓋
 そんれうがり 損料借(名) 賃「着物
 の損料借をする」賃衣裳
 そんわう 尊王(名) 尊王「尊王攘夷」
 (ヤウジ) 尊王攘夷
 そんる 尊位(名) 尊位
 そんる 遜位(名) 退位、讓位

た

た手(名) 手
 た多(名) 多
 た誰(代) 誰「彼は誰ぞ」他是誰
 (た) (助動タラ・タ・タレ) 表示事情已過
 去或既然而助動詞、了、過「月
 が出た」月亮出來了「雨が止ん
 だ」雨住了「私は一度行ったこと
 がある」我去過一邊「彼に遇った
 ら宜しく云って下ない」您見他了
 請您替我問好
 た(接頭) 冠於動詞形容詞之上頭
 助其語氣「た走る」走「た易し」容
 易
 た駄(名) ① 駝、駝載(駝、背に載せ) ②
 駄子「薪一駄」一駄子柴火 ③ 拙、
 醜「不好」駄小説「做的不好的小
 説」 ④ 舵

八五〇

たいた

「たいた」(動詞) 與「たいた」同「これ
 は僕の馬車だ」這是我的馬車「あ
 の人は以前官吏だった」他原先做
 了官了「あの人は商人だらう」他
 許是買賣人罷
 ダース(名) (Dosen) 打、打子「鉛筆
 一ダース」一打子鉛筆
 タービン(名) (Turbin) 荷葉機、蒸
 氣荷葉機
 ターペン(名) (Turpentine) 松脂、
 松油、松節油、松脂精、松油精、
 丁列綿油
 タール(名) (Tar) 柏油、松漿、松脂
 たあい 他愛(名) 愛他
 たい 隊(名) 隊「隊を組む」排隊
 たい 體(名) ① 身體、身「體を養ふ」
 養身體「體をかける」閃身 ② 容

たいた

貌、模樣、様子、形「體が備はって
 居る」様子很齊整的「此字は體が
 くづれて居る」這個字不像字樣
 兒「職人體の男」要手藝様子似
 的人
 たい對(名) ① 對 ② 比「甲對乙の訴
 訟事件」某甲對某乙的案事件「彼
 は私に對して甚だ丁寧です」他對
 我很恭敬「日本と米國の野球マッ
 チは八と三の對で日本が勝った」
 日本和美國比賽棒球八與三之
 比日本得勝了「八對三之比日
 本勝了」以八對三日本贏了
 たい 態(名) 態、態度
 たい 帶(名) 帶
 たい 胎(名) 胎
 たい 他意(名) 他意、別的意思「決

たいた

して他意は無い」決沒有別的意思
 思
 (たい) (接尾) 要、願意、打算、盼望
 「私は牛乳が飲みたい」我願意喝
 牛奶「某君に面會したうございま
 す」我要望看某兄「さう有りた
 いものです」但願如此「私は今日は
 不快だから行きたくない」我今天
 覺着不舒服不樂意去
 だい 臺(名) ① 臺 ② 坐兒「花瓶を臺
 の上に乗せる」把花瓶擺在坐兒
 上 ③ 高原 ④ 接根兒「桃の臺に梅
 を接ぐ」桃樹根兒上接梅樹 ⑤ 胎
 「銀臺に鍍金する」銀胎兒上鍍金
 だい 大(名) ① 大 ② 大建(大)
 だい 題(名) 題、題目
 だい 代(名) ① 代理、代辦、代表 ②

八五一

當家の時候「親の代」父親當家の時候「子の代」兒子當家の時候「代が變った」換了當家的時候、價錢「米の代を拂ふ」給米錢
①替工兒「代を立てる」按下一個替工兒「私は父の代で来ました」我是替我父親來的
②朝代、國朝、朝

だい 第(名) ①第、宅第 ②次第
だい 第(接頭) 第(第三) 第三
だい 大(接頭) ①大(大日本) 大日本
②很、甚「酒は大好です」很愛喝酒
だい 臺(接尾) 輛、關「車一臺」一輛
車「對外爲換は五十圓臺です」外國匯價就在五十元關
たいい 大意(名) 大意、大旨

たいい 胎衣(名) 與えな同 「思
だいい 題意(名) 題意、題目的意
たいい いく 體育(名) 體育
だいい ち 第一(名) 第一、甲「第一
義」(一) 第一義「第一流」(一) 第一
流「天下第一」甲於天下「第一に
必要なのは何です」第一要緊的
是甚麼「健康第一」健康是最要緊的

たいいん 退院(名) 出病院
たいいん 退隱(名) 隱退、退歸(官吏)
たいいん 太陰(名) 太陰、月亮(太陰曆)
たいいん 代印(名) 替人打圖書
たいいん 大雨(名) 大雨
たいいん 韻運(名) 背運
たいいん 退嬰(名) 退嬰

だいいい 題詠(名) 題詠、照題歌
詠
たいえう 大要(名) 大意、大概
たいえき 退役(名) 罷役「退役の軍
人」罷役的軍官
たいえつ 大悅(名) 大悅、很喜歡
だいえんしふ 大演習(名) 大閱、大操

たいおう 對應(名) 相對、相合、相
だいいん 大恩(名) 大恩
だいいん 大音(名) 大聲、大聲音
「大音聲」(一) 同上
たいか 大家(名) ①大房子 ②濶家
(金持) ③大家「建造」(人) 老手、專家
たいか 大厦(名) 大厦「大厦覆らんとす」一木の支ふる所にあらす」大厦將顛非一木所支也(名)

たいが 臺(名) 臺、子
たいが 胎芽(名) 子胚
だいか 代價(名) 價、價錢、代價、買價「代價表」(一) 價目單
だいが 大河(名) 大河、大江
だいがい 大概(名) 大概、大略「大概を説く」説大概「大概の事は話せる様になった」大概的話都說得上來了「一つの癖位は大概の人は皆有ります」差不多的人總有一兩個毛病「大概の事なら許してやるが」こればかりは承知ならん」若是稀鬆平常的事我也可
以饒你就是這個我不答應
だいがい 大概(副) 大概、大略、許
「大概何里ありますか」大概有多
少里「彼は大概留守だらう」他許

不在家「試験は大概大丈夫でせう」考試許沒有錯兒「この調(調子)は大概にしておかう」這件事情大概的查一查罷
だいかい 大海(名) 大海、大洋
だいがい 大害(名) 大害
たいかう 大行(名) 大行「大行は細瑾を顧みず」大行不顧細瑾(名)
たいかう 大綱(名) 大綱 「校
たいかう 退校(名) 退學、告退學
たいかう 對抗(名) 抵制、對抗、抵抗、抗衡、對付、作對、對立
たいかう 退行(名) 倒退、退步
だいかう 題號(名) 書簽
たいかく 體格(名) 身軀兒、體格、身段、身體、身挺兒、軀體、身子

たいがく 退學(名) 退學、告退學
校「退學を命ずる」掛牌退學、革出學校
だいがく 題額(名) 題額
だいがく 大學(名) 大學校「大學校」(一) 同上「大學生」(一) 大學校學生「大學總長」(一) 大學校長「大學院」(一) 大學院「大學豫科」(一) 大學預科
だいがくしや 大學者(名) 大學者、碩儒、鴻儒
だいかぐら 大神樂(名) 耍獅子
だいかつ 大喝(名) 大喝「大喝一聲」
大喝一聲
たいかん 耐寒(名) 耐寒
たいがん 對顏(名) 見面、會面

たい

たいがんと對岸(名) 對岸
 だいかん大寒(名) 大寒
 たいき大器(名) 大器(大器晚成す)
 大器晚成
 たいき大氣(名) 大氣、空氣、雰圍
 たいき大儀(名) ①勞駕、累您(大儀ながら一寸行つて来て下さい) 勞駕您先給我去一盪罷②慢怠着、懶怠(寒くなるを何をすにも大儀です) 天氣一冷作甚麼都懶怠(大儀さうに身を起す) 慢怠着站起身來了③沈重的責任(大儀の役を申付かる) 他吩咐我 很沈重的責任
 たいぎ大義(名) 大義
 だいき壺木(名) 接根兒(接木)
 たいきう耐久(名) 耐久、耐長、經

たい

久(耐久性) (せい) 可耐長性、可經久性
 だいきせいち代議士(名) 國會議員
 だいきち大吉(名) 大吉
 だいきふ大急(名) 緊急、至急、急要
 たいきやう滯京(名) 旅京、旅居
 だいきやうじ大經師(名) 裱糊匠
 たいきやく對客(名) 對客
 たいきやく退却(名) 退後、退却、退軍、退陣(敵が退却した) 敵兵退却了
 だいきやく大逆(名) 大逆
 だいきゆう大弓(名) 大弓
 たいきよ大虛(名) 大虛

たい

たいきよ退居(名) 隱居
 たいきよ退去(名) 退去、離去
 たいきよく大局(名) 大局
 だいきるん代議院(名) 下院、衆議院
 たいきん大金(名) 巨款
 たいきん大禁(名) 大禁
 だいきん代金(名) 價、價錢、代價、款項(代金取立) (リタト) 款項代收(代金引換) (キカ) 貨到付銀(代金引換郵便) (イヒキカ) 代貨主收價、代物主收價包裹(代金引換拂) (カハラヒキ) 交貨付款
 たいく體軀(名) 體軀、身體
 だいく大工(名) 木匠
 たいく大空(名) 天、天空、大空
 たいくう待遇(名) ①待、接待、應酬(あの宿屋は待遇がよい) 那個

八五四

たい

客店會應酬客人、那個客店應酬人很周到(彼はよく私を待遇してくれ) 他待我很好②噲(官吏ニ本官以上ノ待遇ヲ與フルヲ云フ) ③薪水、薪俸(向うは待遇がよいでせう) 那邊兒薪水還豐富罷
 たいぐう對偶(名) 偕偶(ツレ)、伴
 たいくつ退屈(名) 悶、累(一日家にばかり居るのも退屈です) 整天家竟在家裏坐也是悶得慌(退屈に小説を讀む) 看小說解悶兒
 たいくわ耐火(名) 耐火的、火不能燒的、攔得住燒(耐火粘土)
 (ネド) 火粘土(耐火煉瓦) (シゲツ) 火磚、耐火磚
 たいくわ大火(名) 大火

たい

たいくわ大禍(名) 大禍、巨禍
 たいくわ滯貨(名) 滯貨、停滯的貨
 たいくわ退化(名) 退化、衰微
 たいくわい大會(名) 大會
 たいぐわい對外(名) 對于外國、對外(對外政策) (イサク) 對外政策
 たいくわうたいこう太皇太后(名) 太皇太后
 たいくわん大患(名) ①大患(大ナル)
 たいくわん退官(名) 與退職(たいし)
 だいくわん大願(名) 大願
 たいくわんしき戴冠式(名) 加冕禮
 たいくん帶勳(名) 有勳章的
 たいくん大勳(名) 大勳、大功
 たいくん大軍(名) 大軍
 たいぐん退軍(名) 退軍、退兵、退陣

たい

だいくん大勳位(名) 大勳位
 たいけ大家(名) 富貴人家、潤家
 たいげ帶下(名) 白帶、赤帶
 たいけい大慶(名) 大喜
 たいけい體形(名) 形體
 たいけい大計(名) 大計
 だいくわん大叫喚(名) 大叫喚、大喊
 たいけつ對決(名) 對審、對質
 たいげふ大業(名) 大業
 たいけん帶劍(名) 帶刀
 たいけん體験(名) 體驗、經驗、閱歷
 たいけん大權(名) 大權
 たいげん大言(名) 大話(大言を吐く) 說大話、誇口、吹噓
 たいげん體言(名) 名詞代名詞等之總稱

八五五

たい

たいげん 退減(名) 減退
たいげん 代言(名) ①替人辯論 ②

律師(代言人)(ニ) 律師

だいげん 大言(名) 與たいげん同

だいげん 大元帥(名) 大元帥

たいこ 太鼓(名) 大鼓 [太鼓醫者]

(イシヤ) 竟奉承人沒有能耐的大

夫(太鼓を叩く) 1. 打大鼓、敲鼓

2. 奉承(オベツカ) [太鼓叩](タタキ)

1. 打大鼓的 2. 奉承、奉承人的

人(太鼓女郎)(ヨラウ) 灌米湯的妓

女(太鼓橋)(バシ) 螺蝸兒橋(太鼓

腹)(ハラ) 鼓膨膨的肚子(太鼓饅

頭)(ビヤウ) 帶帽兒的釘子(太鼓虫

(ムシ) 水螳螂(太鼓持)(モチ) 1. 相公

(カゲ) 2. 奉承人的人
たいこ 大呼(名) 大叫、大喊

たい

たいこ 太古(名) 太古 「酒量大

たいこ 大戸(名) ①富戸、濶家 ②

たいご 隊伍(名) 隊伍

たいご 對基(名) 對手棋

たいご 大悟(名) 大悟(恍然として

大悟す)(タ) 恍然大悟

(だいこ) 大根(名) 與だいこん同

だいご 大語(名) 與大言(だいご)同

だいご 醍醐(名) 醍醐

たいこう 太后(名) 太后

たいこう 大功(名) 大功

たいこう 乃公(代) 乃公、迺公

たいこく 大國(名) 大國

だいこく 大黒(名) ①財神之名(大

僧妻(大黒天)(テン) 財神之名(大

黒柱)(バシ) 柱石、臺柱子(伊藤公

は日本の大黒柱です) 伊藤公是

たい

日本柱石之臣(あの番頭は店の

大黒柱です) 那個掌櫃的是舖子

的臺柱子

だいこん 大根(名) 蘿蔔(大根卸)

(オロシ) 蘿蔔泥(大根漬)(ヂケ) 鹹蘿

蔔 [清海、正參領(清海

軍) 上校(海軍) 總領

たいさ 大佐(名) 大差

たいさ 大差(名) 大差

たいざ 對坐(名) 對坐

たいざ 臺座(名) 坐兒

たいさい 太歳(名) 太歳

たいさい 大才(名) 大才

たいざい 滯在(名) 旅居、逗遛

たいざい 待罪(名) 待罪

たいざい 大祭日(名) 大祭日、

國祭日

八五六

たいさう 大喪(名) 國服、國喪、國

孝(御大喪がすむ) 國服屆滿、國

孝滿期

たいさう 體操(名) 體操 [體操場]

(ヂヤウ) 體操場、體操所、練身場

[柔軟體操](ジュナ) 柔軟體操 [器械

體操](キカイ) 器械體操 [體操をす

る] 練體操 「太早的、過早的

たいさう けい 大早計(名) 太早計、

たいさく 對策(名) ①對策(科學ノ試

トク) ②對付方法(對抗)、應付策

略

たいさく 大作(名) 大作、大著述

だいさく 代作(名) 代作

たいさん 退散(名) 退散

たいさん 大山(名) 大山

たい

だいさん 代參(名) 代祭

だいさん しゃ 第三者(名) 第三者、

第三方

たいさん ぼく 大山木(名) 荷花玉

たいし 太子(名) 太子、儲皇、皇太

たいし 大使(名) 大使 「子

たいじ 胎兒(名) 胎兒、人胚、胎裡

的孩子

だいし 臺紙(名) 裱紙、托紙、襯紙

[寫眞の臺紙] 照像卡紙

だいし 題詩(名) 題詩

だいじ 大事(名) ①大事(國家の大

事) 國家大事 ②要緊(大事な用

事) 要緊的事情(これは大事の品

物です) 這是要緊的東西(大事な

し) 不要緊、無礙 ③保重、愛惜

[身を大事にする] 愛惜身體(御

たい

病後は特に大事になさいまし)

您這善後是更要保重一切(大

事を取る) 保重、鄭重其事的、做

事慎重(御道中御大事に) 路上保

重保重 ④好好兒的(大事に仕舞

つて置く) 好好兒的收着 ⑤孝敬、

敬重(親を大事にする) 孝敬父

母、孝順老家兒(亭主を大事にす

る) 敬重丈夫 ⑥寶貴、貴重(大事

の品) 貴重物、寶貴的東西(命は

最も大事です) 性命是最寶貴的

[將來の爲に身を大事にする] 寶

留其身預備將來有事的時候 ⑦

慇懃勤懇的(あの旅館は客を大

事に取扱ふ) 那個客店慇懃勤懇

的待客人 「火事は大事になら

ないで済んだ」 火沒着的利害就

たい

八五七

下去了

だいじ 大字(名) 大字

だいじ 題字(名) 題字

たいしき 體式(名) 體式

(たいした大シタ(形) 很、甚、大

(大した間違もない) 沒有大錯兒

(彼の身代(シ)は大したものだ)

他の産業甚大

だいじだいひ 大慈大悲(名) 大慈

たいしつ 體質(名) 體質 「大悲

たいしつ 對質(名) 對質、質訊

(たいして大シテ(副) 很、甚、大

(大して高價ではない) 不很貴(病

氣は大してひどくない) 病不很

利害 「緊、不礙、無礙

(だいじない 大事無イ(形久通) 不要

たいしや 代赭(名) 赭石、赤赭

石、黄赭石、黄丹粉、黄堇(ゲ)

栗色、赭色

たいしや 大赦(名) 大赦、恩赦

たいしや 退社(名) 把報館擱下

(新聞社) 辭報館(詞) 把公司擱

下(會社)

たいしや 代謝(名) 「(シ)新舊代謝

たいしや 大蛇(名) 大長蟲、蟒

たいしや 大將(名) ①將軍、元

帥②上將(海軍) 統帥(海軍)

たいしや 大將(代) 師傅 「目

だいしやう 代償(名) 賠償、賠償

たいしやう れうはふ 對症療法(名)

對症療法

たいしやく 貸借(名) 借貸(貸借對

照表) 出入表、出入數目

表、決算表、貸借對照表、貸借

比較單、質債平衡單、結清簿

「貸借勘定」(シヤウ) 貸借賬目、出

入賬目 「的人

たいしゆ 對手(名) 相對、對面兒

たいしゆ 大酒(名) 喝大酒、酒量

たいじゆ 大樹(名) 大樹 「大

たいしゆ 大衆(名) 大衆

たいしゆ 退縮(名) 退縮

たいしゆ 退出(名) 散出去、走

たいじゆ 體術(名) 拳法、柔道

たいしよ 大暑(名) 大暑

だいしよ 代書(名) 代筆、代書、代

寫(代書人) 代書、代筆人、

代寫的、代筆先生、替寫的

だいじよ 代署(名) 代人簽名

たいじよ 大序(名) 開場戲

たいしよく 對證(名) 對證

たいしよく 退職(名) 去官、致仕、

辭官、退職、下野、罷官、歸田、

告老、告退、引退

たいしよく 退色(名) 退色、落色、

變色、走顏色、掉色

たいしよく 大食(名) 吃的多、食

食、貪嘴、饕餮(大食家) 大肚

兒漢、貪吃的、饕餮的人

だいじり 臺尻(名) 槍尾

たいしん 大身(名) 富貴人家

たいしん 耐震(名) 能耐地震的

たいしん 對審(名) 對審、對質

たいしん 大人(名) 大人 「人

だいしん 代診(名) 替大夫診脈的

だいじん 大臣(名) 大臣、各部部

長

だいじん 大盡(名) ①潤家、富戶、

財主 ②迷蕩鬼兒

だいじんぐう 大神宮(名) 天照皇

太神的神廟 「豪傑

だいじんぶつ 大人物(名) 大人物、

だいしんらん 大審院(名) 大理院

(大審院長) (チヨウ) 大理院正卿

たいす 體ス(佐變他動) 體(よく) 人情

たいす 對ス(佐變他動) 善體人情

たいす 對ス(佐變他動) 對 「子

たいす 臺子(名) 擱茶碗茶壺的架

たいす 題ス(佐變他動) 題

たいす 大數(名) ①大概的數 ②

多數、大數 「代數(數學)

だいすう 代數(名) ①世代的數 ②

たいす 大水(名) 大水

たいす 滯水(名) 積水、汪着水

たいする 大醉(名) 大醉

たいせい 大勢(名) 大勢、大局

たいせい 大聲(名) 大聲

たいせい 大成(名) 大成

たいせい 體制(名) 體制

たいせい 大政(名) 大政

たいせい 泰西(名) 泰西、西洋

たいせい 對照(名) 對一對、對照

(間違ないか兩方を對照する) 把

兩邊兒對一對看看有錯兒沒有

(原文と對照する) 和原文對一對

たいせい 大笑(名) 大笑、鬨堂大

笑 「小建(建) ③大刀小刀

だいせい 大小(名) ①大小 ②大建

たいせき 大石(名) 大石頭

たいせき 退席(名) 起席

たい

だいてん 大篆(名) 大篆
 たいと 泰斗(名) 泰斗
 たいと 態度(名) 態度、體態、形態、儀容、舉動、様子、形跡、行止〔彼の態度は曖昧です〕他的形跡可疑〔嚴格な態度で話す〕端端正正の様子説〔此に對し君はどんな態度を取りますか〕對這件事情您怎麼個行止〔彼の態度は中威嚴がある〕他的儀容很有威風〔反對の態度を取る〕取反對的態度
 たいとう 大統(名) 大統
 たいとう 對等(名) 平等、並等、同等、一樣、對等〔對等の交際〕對等的交際〔對等に交際する〕與人對等交際〔夫婦對等〕夫婦並等

たいとう 擡頭(名) 擡頭
 だいでうせうい 大同小異(名) 大同小異
 たいとうりやう 大統領(名) 大總統、伯理璽天德
 たいとく 胎毒(名) 胎毒 「和尚
 だいでく 大德(名) ①高僧 ②僧、
 だいでくじん 大德人(名) 潤家、財主
 だいでころ 臺所(名) 厨房〔臺所道
 たいない 胎内(名) 胎内、胎裡
 だいなし 臺無(名) 丟、壞了的、糟塌的〔顔を臺無にした〕丟臉〔泥が飛んで着物は臺無です〕濺泥的把衣裳糟塌了
 だいなふ 滯納(名) 滯稅、未繳
 ダイナマイト(名) (Dynamite) 炸

藥、代那美脫
 ダイナモ(名) (Dynamo) 發電機、
 代拏木、電磁互生機
 たいなん 大難(名) 大難 (nam)
 だいに 第二(名) 第二
 たいにん 大任(名) 大任
 たいにん 退任(名) 退任、謝任
 だいにん 大人(名) 大人、長大了的人
 だいにん 代人(名) 替工、替手兒
 だいにん 大熱(名) 大熱
 だいのう 大農(名) 大農家
 だいは 臺場(名) 礮台
 たいはい 大敗(名) 大敗
 たいはい 頽廢(名) 頽廢、頽敗、殘壞、衰朽
 たいはい 大盃(名) 大酒盃

たいはう 大砲(名) 砲、礮〔大砲一門〕一尊礮
 たいはう 大方(名) ①大方(度量) ②たいはう 大望(名) 大望 「四方
 たいばかり 臺秤(名) 洋稱、磅秤
 たいはく 太白(名) ①金星、太白
 ②白糖(ウタ) ③關東糖(カ) ④大白(カヅキ)
 だいはちぐるま 大八車(名) 貨車、重車、廠車、大車、重載車〔大八〕同上
 たいばつ 體罰(名) 體罰、鞭苔、身
 たいはん 大半(名) 多一半兒、強半
 たいばん 胎盤(名) 胎盤、胎衣、胞
 だいはん 臺盤(名) 食檯

だいはんじやく 大盤石(名) 巖石
 たいひ 對比(名) 比較、對比、對較
 たいひ 堆肥(名) 堆積廢物做的肥料
 たいひ 貸費(名) 借學費、借給膏
 たいび 大尾(名) 尾末、末了
 タイピスト(名) (Typist) 打字者
 だひつ 代筆(名) 代筆、代寫、代書
 たいびやう 大病(名) 大病、重病
 だひやう 大兵(名) 大漢
 たいふ 大夫(名) 大夫(長官)
 たいふ 大夫(名) ①生意人(遊藝者)
 ②妓女
 タイプ(名) (Type) 樣本、表樣、模
 たいぶ 大部(名) 卷數多的、本數

多的、大部的、浩瀚的
 だいぶ 大分(名) ①頗、稍、頗頗的、稍稍的〔朝晩は大分涼しくなりました〕早晚兒頗頗的涼起來了〔彼の品行は大分改つて來た〕他的品行稍稍的改了一點兒了〔彼の事業は大分見込が立つて來た〕他辦的事情現在頗有起色了
 ②些個〔彼の友達には大分悪い人が居る〕他的朋友裡頭有些個壞
 たいふう 大風(名) 大風
 だいく 大福(名) ①富潤 ②餽餽之名〔大福帳〕(チャウ) 原總帳、萬金帳〔大福長者〕(ヤウジャ) 潤家、大財主〔大福餅〕(モチ) 餽餽之名
 だいぶつ 大佛(名) 大佛
 だいぶつ 代物(名) 替用的東西

たいぶん 大分(副) 與だいぶん同
タイプライター(名) (Type-writer)
打字機器

タイプライテング(名) (Type-writing)
打字機使用術、打字術
たいへい 太平(名) 太平、天下太平

たいへい 大兵(名) 大兵、大軍
たいへいらく 太平樂(名) ①古樂
之名②寛心腸兒的「太平樂を云ふ」
説寛心腸兒的話、自鳴得意

たいへう 大廟(名) 大廟
だいへう 代表(名) 代表「代表者」
(シ)代表者、代表的人「大別

たいべつ 大別(名) 草草的分別、
たいへん 大變(名) 大變、大變故
「風俗が大變した」風俗大變了

「さあ大變だ」哎可了不得
たいへん 大變(副) 很、甚「今日は
大變暑い」今天很熱

だいべん 大便(名) 大便、大恭、屎
だいべん 代辦(名) 代辦
たいほ 退歩(名) 退歩、倒退
たいほ 逮捕(名) 捕拿、捉拿、緝
捕、拏獲、逮捕

たいほく 大木(名) 大樹
たいほん 大本(名) 大本
だいほんえい 大本營(名) 皇幄營、
たいま 對馬(名) 對馬「大本營

たいまい 瑤瑁(名) 瑤瑁
たいまい 大枚(名) 好些個錢、許
多的錢「大枚の金を出して買ふ」
拿出好些個錢來買

たいまう 大望(名) 大望
たいまつ 松明(名) 火把
たいまん 怠慢(名) 怠慢、疏忽、玩
忽、鬆懈

だいまやう 大名(名) 大侯、藩王
だいまやく 代脈(名) 與代診(だい)
同 「代理的事情

だいちむ 代務(名) 替人所辦的事情、
だいちめ 代目(接尾) 第……世、第……
輩、第……代「始祖から五代
目」從始祖算第五輩

たいめい 大命(名) 大命
たいめい 待命(名) 待命、聽候簡
任、免職另候任用

たいめい 大名(名) 大名
だいちめい 代名詞(名) 代名詞、
稱代字、代字

たいめん 體面(名) 體面、臉、臉面
「私の體面に關します」關乎我的
臉面「體面を重んずる」要臉面、
顧惜體面

たいめん 對面(名) 會面、見面
だいまく 題目(名) 題目
だいまつ 代物(名) 與代金(だいま)同

だいまん 大門(名) 大門
だいまん 大紋(名) ①大花樣②古
代表裳之名

たいや 逮夜(名) 熬夜
タイヤー(名) (Tire)車胎、輪件、
輪胎、輪圈、車瓦、車箍、輪箍

「ゴムタイヤー」橡皮車胎、皮輪
子、象皮輪圈、橡皮瓦、膠皮瓦
たいやう 太陽(名) 太陽、日頭、老
爺兒「太陽が光る」太陽光照「太

陽が照りつける」太陽曬「太陽が
出た」太陽出來了「太陽が出かか
る」太陽冒嘴「太陽が落ちた」日
落、日沒、日頭平西「太陽の斑
點」日斑「太陽斑」(レキ)陽歷、西歷

たいやく 退役(名) 去官、致仕、辭
官、卸任
たいやく 對譯(名) 合璧、對譯

たいやく 大役(名) 重任、沈重的
責任 「剛石、金剛鑽、鑽石
ダイヤモンド(名) (Diamond)金
ダイヤモンド 北斗

たいゆうせい 大熊星(名) 北斗
たいよ 貸與(名) 借給人、出借、貸
だいやう 代用(名) 替用、借用、代
用、替代「代用品」(ピン)代用品、
替代物「郵便切手代用」(ソウペンキ)
郵票代洋「郵便爲換不通の處は

三錢郵券代用(割増) 郵匯不通
處代以三分郵票九扣計算

だいやう 大用(名) 與大便(だい)同
だいやく 大慾(名) 大慾、貪心不
たいらん 大亂(名) 大亂「足
たいらん 台覽(名) 臺覽、臺鑒

たいり 大内(名) 大内、禁裡
だいら 代理(名) 替辦、代辦、署
理、代理、代行、經理、代作「人
の代理をつとめる」替人辦事、代
爲辦理「私が代理で受取っておき
ます」我可以替您收下「職務を代
理する」代行職務「主人代理で
もてなす」代東應酬「代理公使」
(コウシ)署理公使「領事代理」(リヤウ)
代理領事官「國庫代理」(コクコ)代

理國庫(代理買入) (エイカ) 代購、代爲購辦(運漕代理) (ウシヤ) 運載
 經理(代理官) (クワン) 署理官(代理者) (シヤ) 與代理人同(代理商) (シヤウ) 經理人、代辦的人(代理店) (テン) 經理處、代理處、代辦公所、代辦行、經理、代理店(代理人) (ニシ) 代辦的、署理的、替辦的、替工、代理人、理事人
 たいりりう 滯留(色) 與逗留(りう) 同
 だいらりき 大力(色) 勁頭兒大、力
 だいらりく 大陸(色) 大陸「氣大
 だいらせき 大理石(色) 大理石、雲石、桃花石
 たいりりつ 對立(色) 對立
 たいりやう 大量(色) ① 度量大量、大度 ② 大批(大量生産) 大批製造

たいりやう 體量(色) 體量
 たいりやく 大略(色) 大略、大概
 たいりやく 大略(副) 與大概(たいりやく) 同
 たいりよく 體力(色) 體力
 たいれい 大禮(色) 大禮、大典(御即位大禮) (キョウキ) 登位大禮、即位大典(大禮服) (フク) 朝服、大禮服
 だいらりう 代料(色) 與代金(だいらり) 同
 たいれつ 隊列(色) 隊行
 たいれん 對聯(色) 對子、對聯
 たいろ 大路(色) 大道
 たいろ 退路(色) 歸路、退路、後路(敵の退路を斷つ) 截住敵兵退軍的路、截斷敵兵的路
 たいわ 對話(色) 當面說話、對談、對語、對話(對話體) (ダイ) 對話體、問答體的

だいわう 大黃(色) 大黃
 たいわんばう 臺灣坊主(色) 脫頭髮病 「位(職海) 大尉(海軍) 正軍校(海軍) 正
 たいる 退位(色) 退位、讓位、辭位
 たいをん 體溫(色) 身熱、體熱、體溫
 たう 刀(色) 刀(日本刀) 日本刀、東
 たう 糖(色) 糖(見さたう條下)
 たう 盜(色) 盜
 たう 黨(色) 黨、黨派、政黨(自由黨) (ジユウ) 自由黨(保守黨) (ホシユ) 保守黨(民黨) (ミン) 民黨(政府黨) (セイフ) 政府黨(在野黨) (サイヤ) 在野黨(社會黨) (シヤクワ) 社會黨(偏黨) (ヘン) 無偏無黨

たう 臺(色) 檯兒(此大根は臺が立つ) 這個蘿蔔檯兒長出來了
 たう 當(接頭) 本、這(當六月) 本月、這個六月(當人) (ニシ) 本人(當國) (タウ) 此國
 だう 堂(色) ① 堂(未だ堂に至らず) 未詣於堂(タウ) ② 祠堂、佛堂
 だう 道(色) 道
 たう あみ 唐綢(色) 撒的綢 「裳
 たう い 擣衣(色) 擣衣、搥衣
 たう い 糖衣(色) 糖衣、糖皮
 たう い と 唐絲(色) 洋線
 (たう い) 意(色) 當意即妙(色) 靈敏、巧智機發、隨機應變、見景生情、巧發奇中(當意即妙の答) 捷於巧答、敏捷巧妙的對答、回

復的巧、答應的靈敏、回答的機
 だう いん 導引(色) 按摩 「警
 たう う す 唐白(色) 與すりうす同
 たう うち は 唐團扇(色) 中國團扇
 たう えい 倒影(色) 倒影兒 (カウ) 漢音吳音以外
 たう おん 唐音(色) 漢音吳音以外
 たう か 踏歌(色) 踏歌 「之字音
 たう か 刀架(色) 刀架子
 たう か 道家(色) 道家
 たう が い 當該(色) 該(當該官廳) (シヤウ) 該署、該衙門、該官廳
 たう が く 道學(色) 道學
 たう が さ 唐瘡(色) 楊梅瘡
 たう が ら し 唐辛(色) 秦椒、辣椒
 たう かん 盜汗(色) 盜汗

たう かん 唐雁(色) 鵝
 たう き 當期(色) 暫時、一時(當期) 凌に、これを使ふ) 暫時對付着使
 這個
 たう き 陶器(色) 陶器、密貨、瓦器(陶器師) (シ) 陶人、密匠、密戶(陶器を作る) 燒密器
 たう き 討議(色) 討論
 だう き 道義(色) 道義、道德(道義心) (シ) 道義心
 たう き う 討究(色) 研究
 たう き よ く 當局(色) 當局、當道(當局者) (シヤ) 當局者、當道
 たう き ん 當今(色) 當今、老佛爺(今上天皇) (テウ) 當今
 たう き ん 當金(色) 與現金(きん) 同

たう

たうぎん 當銀(名) 同上
たうぐ 道具(名) ①傢伙、傢俱、用具、什物、工具、應用的器具 ②兵器 ③陽物(人の道具に使はれる) 當人的走狗、被人利用(人を道具に使ふ) 拿人當傀儡要(道具方) 檢場(芝居)、走場(廻) (道具立) (タテ) 1. 陳設、擺設 2. 切末(芝居)、戲具(廻) (道具箱) (バコ) 傢伙箱子(道具屋) (ヤ) 古玩舖(店) (骨董店) 鐵舖(磁器金物家具ナド) (古道具ヲ賣ル)

たうぐは 唐鍔(名) 鍔頭
たうぐわ 唐畫(名) 中國畫
たうぐわ 陶瓦(名) 琉璃瓦
たうぐわ 導火(名) ①引火管、導火線、藥線 ②因由兒(これが兩國

たう

戰爭の導火となった」這成了兩國打仗的因由兒了「導火線」(セシ) 與導火同
たうげ 當家(名) 這一家兒
たうげ 峠(名) ①嶺 ②到頭兒、關口、關頭(今が相場の高い峠です) 現在是在行市長到頭兒了的時候「此峠を越すと熱が下ります」過了這個關口熱就下去了「仕事も難しい峠を越した」這件事也過了最難的關頭了

だうけ 道化(名) 滑稽、招樂兒、鬪眼(道化形) (カク) 淨(道化芝居) (シヤ) 耍戲
だうけう 道教(名) 道教
たうげつ 當月(名) 這月、本月

たう

だうける 道化ル(下一段自動) 招樂兒、鬪眼、鬪笑
たうけん 刀劍(名) 刀劍
たうけん 唐犬(名) 葵
たうこう 陶工(名) 燒料匠、陶人
たうこう 刀工(名) 刀匠
たうこく 島國(名) 島國
たうこく 當國(名) 此國
たうごばう 唐牛蒡(名) 商陸
たうごま 唐胡麻(名) 蓖麻
たうごま 唐獨樂(名) 空中
たうこん 刀痕(名) 刀傷 「今たうこん 當今(名) 現在、現時、如たうご 當座(名) 一……時候、當時(來た當座は様子に分らん

たうさん 倒産(名) ①倒産(身代カ) 傾家倒産(身代カ)
たうざん 唐山(名) 中國
たうし 唐紙(名) 竹紙
たうし 盜視(名) 偷看
たうじ 當時(名) ①那個時候、當時 ②現在、現時(私が北京へ來た當時はまだ馬路がなかった) 我到北京來的那個時候還沒有馬路哪(今から當時を追想すると實に面白い) 從現在回想當時實在有趣兒(當時流行の色は何ですか) 現在時興的顏色是甚麼顏色
たうじ 當事(名) 當事、當局(當事者) (シヤ) 當事者、當局者、當手人 (契約當事者) (ケイヤ) 立約的兩造

たう

だ) 我一來的時候這邊兒情形全都弄不明白(當座の褒美に金時計をやる) 給金表暫且做當時賞格的意恩(北平に行つた當座は旅館に居た) 我乍到北平去住在客店裏(當座淺きの方法) 權宜之法、將就法子、對付的事、權變之法(當座預) (ジカリ) 浮存、往來存款(當座預) (アツケ) 浮存、往來存款(當座貸) (ガシ) 浮借、往來存款(當座借) (ガリ) 淨借(當座帳) (チャウ) 流水帳(當座預金) (ヨキ) 浮存、活期存付、活期存款、往來存款、逐日川換來往(當座預金帳) (シヤウ) 淨往來帳
たうさい 當歲(名) 一歲(當歲兒)
(シ) 一歲的小孩兒

たう

たうじつ 當日(名) 那天、即日、當天(式の當日は禮服を着用しなさい) 行禮那天得穿禮服(當日歸つて來る) 當天回來(當日限使用) 即日可用逾期作廢
たうじや 當社(名) ①本公司(社) ②本廟(社) 的
だうじや 導者(名) 引道的、帶道
だうじや 道者(名) ①道人 ②香客
たうじやう 刀傷(名) 刀傷

たう

たうじつ 當日(名) 那天、即日、當天(式の當日は禮服を着用しなさい) 行禮那天得穿禮服(當日歸つて來る) 當天回來(當日限使用) 即日可用逾期作廢
たうじや 當社(名) ①本公司(社) ②本廟(社) 的
だうじや 導者(名) 引道的、帶道
だうじや 道者(名) ①道人 ②香客
たうじやう 刀傷(名) 刀傷

たうしやう 刀匠(名) 刀匠
 だうじやう 道上(名) 道路上
 だうじやく 瞳若(名) 瞳若(後に瞳若たり)(交) 瞳若乎後 「人
 たうしゆ 當主(名) 現居停、現主
 たうしゆ 黨首(名) 黨首、黨魁
 たうしゆ 盜取(名) 偷
 たうしよ 當初(名) 當初
 たうしよ 到處(名) 到處
 たうしよ 當處(名) 此地、這兒、本
 たうしよ 島嶼(名) 島嶼 「地
 たうしよく 當職(名) 本職
 たうしん 刀身(名) 刀身兒
 たうしん 盜心(名) 賊心、盜心(金
 錢を見て盜心を起す)見財起意

たうじん 刀刃(名) 刀刃兒
 たうじん 蕩盡(名) 消散、蕩盡、揚
 完了(Lan? wan? to) (家産を蕩盡
 する)傾家蕩産、消散産業、浪
 費家業
 たうじん 陶人(名) 燒料匠、陶人
 たうじん 黨人(名) 黨人、黨夥(黨
 人政府)(セイ)黨人政府
 たうじん 唐人(名) ①中國人②外
 國人、西洋人(毛唐人)(ク)西洋
 人(唐人笛)(ブエ)喇叭(唐人豆
 (豆))落花生
 だうしん 道心(名) 道心
 だうじん 道人(名) 道人
 たうせい 倒生(名) 倒長、倒生
 たうせい 當世(名) ①當世、如今

たうせつ 當節(名) 現在、如今
 たうせん 當選(名) 得選、當選
 たうせん 當籤(名) 得籤兒、籤兒
 抽着了
 たうせん 唐扇(名) 中國扇子
 たうせん 當千(名) 當一千(一騎當
 千)(イツキ)一以當千
 たうぜん 當然(副) 當然、理該、該
 當、應當(理の當然)理所應當
 「この金は私が拂ふのが當然です」
 這筆錢我給那是應當的(それは

たうぜん 陶然(副) 陶然
 たうそ 逃走(名) 逃跑、逃走
 たうぞく 盜賊(名) 賊、盜賊、盜
 匪、竊賊
 たうだ 淘汰(名) 淘汰、裁汰、澄清
 (老朽淘汰)(ラウキ)裁汰老朽無能
 的人
 たうだい 當代(名) ①當世②當代
 たうたう 滔滔(副) 滔滔(水勢滔滔
 たり)水勢滔滔(辯舌滔滔)(ベンゼ
 説的天花亂墜、滔滔辯論、言語
 滔滔的
 だうだう 堂堂(副) 堂堂(堂堂の陣)
 堂堂之陣(容貌堂堂)(ウウバ)相貌
 堂堂

たうたつ 到達(名) 到、抵、至、來到
 たうち 當地(名) 此地、本地
 たうち 湯治(名) 洗溫泉
 だうぢやう 道場(名) 道場(佛道ヲ修ム
 練武的廠子)(武道)
 たうちやく 到着(名) 到、抵、至、
 來到(汽車は何時に到着します
 か)火輪船幾點鐘到(港に到着
 する)到了口、抵了港(荷は到着
 したか)貨到了沒有
 だうちゆう 道中(名) 路上(道中御
 無事に)您一路平安、一路吉祥、
 一路福星、順風相送(道中御用
 心なさい)路上得多小心(道中萬
 事御用心成さるべく候)途中諸
 凡珍重是禱(道中紀)(キ)紀行

たうちよく 當直(名) 當值、上班、
 該班、值班兒
 たうちりめん 唐縮緬(名) 羽綢
 たうてい 到底(名) 究竟、總是(彼
 の英語はいくら上手でも到底英國
 人には及ばん)他的英國話怎麼
 好究竟不如英國人(この病氣は
 到底助からない)這場病總是(究
 竟)不好
 だうてい 道程(名) 路程
 たうてう 當朝(名) 當朝、本朝
 たうてん 唐天(名) 洋絨
 たうてん 當店(名) 本舖子、小號
 たうでん 盜電(名) 偷電
 たうど 唐土(名) 中國
 たうど 陶土(名) 陶土、白土、澄漿

泥、黏土、膠泥

たうど 當度(副) 今回、此次

たうと 道途(名) 道途、路途

たうとう 到頭(副) 到底、臨完了、

末末了兒(敵は到頭降参した)敵

人到底投降了(到頭罰が當った)

末末了兒遭了報了(彼は到頭店

を疊みました)他到底把舖子關

了

たうとく 道德(名) 道德、道義、倫

たうとつ 唐突(名) 唐突、造次

たうなす 唐茹(名) 倭瓜 「賊

たうなん 盜難(名) 鬧賊、失盜、失

たうにゆう 糖乳(名) 洋奶子

たうにん 當人(名) 本人兒(當人を

呼び出して訊問する)傳出本人

兒來訊問(當人が不承知なら縁

談は整ひません)既是本人兒不

答應這門親不好說

たうねうびやう 糖尿(病) 糖尿

病、消渴、瘡

たうねん 當年(名) ①今年 ②當年

たうのいも 唐芋(名) 芋頭

たうは 黨派(名) 黨派、朋黨(黨派

心) 湯婆子

たうは 湯婆(名) 湯婆子

たうは 刀背(名) 刀背

たうはう 當方(名) 我這邊兒

たうばう 逃亡(名) 逃亡、跑、遠颺

たうばう 道傍(名) 路傍、道傍邊

たうばつ 討伐(名) 討伐

たうはん 盜犯(名) 賊案

たうばん 當番(名) 上班、當值、該

班兒、當班、值班兒

たうひ 當否(名) 當否、當不當(說

の當否は姑くおきて論ぜず)說的

當不當姑且不論

たうひ 唐柏(名) 香柏

たうひつ 唐筆(名) 中國筆

たうひつ 刀筆(名) 刀筆(刀筆の吏)

刀筆吏

たうふく 當腹(名) 嫡出

たうぶつ 唐物(名) 洋貨(唐物屋)

たうぶん 當分(副) ①暫時、一時、

暫且(學校は當分休です)學校暫

時放學(當分着手することが出來

たうらう 蟻螂(名) 蟻螂(蟻螂の斧)

猶蟻螂之怒臂以當車轍(文)

たうらく 道樂(名) ①爲樂(ソナ)、所

好(ソナ)、嗜好、偏好、癖愛、迷

②浪蕩、放蕩(女道樂) (ソナ) 色

迷(芝居道樂) (シバキ) 戲迷(食道

樂) (シ) 食美家、嗜口腹的、嘴

饞的(道樂息子) (ムスコ) 荒蕩的兒

子、浪蕩子弟、敗子、浪子(道樂

者) (モ) 蕩子、荒蕩鬼、浪子、花

花公子、浪蕩子、貪花浪子、酒

色鬼、酒色之徒、浪費子、傾家

敗產人(私の道樂は棋と玉で

す)我所好的是下棋和撞球(彼

は骨董道樂です)他是古玩迷(彼

は寫真道樂です)他是專愛照像

的(あの息子は近頃道樂を覺えて

たう

八七三

ない)一時不能下手の現時(私

は當分用がない)我現時沒有事

情 糖質

たうぶん 糖分(名) 甜味兒、糖分、

たうほく 唐墨(名) 中國墨

たうほん 唐本(名) 中國書

たうま 馱馬(名) 馱馬子

たうまる 唐丸(名) 九斤黃(唐丸籠)

たうみ 唐箕(名) 扇車子、風車、颺

たうみつ 糖蜜(名) 糖蜜、糖漿、烏

糖漿

たうみやう 唐名(名) 中國名字

たうみやうじ 道明寺(名) 飯乾兒

たうめん 當面(名) 眼前(當面の敵)

眼前的敵人(當面の事實)眼前

的事實(當面の急務)當務之急

(當面の問題)緊急的問題

たうもめん 唐木綿(名) 洋布

たうもり 堂守(名) 看廟的

たうもろこし 玉蜀黍(名) 玉米、老

玉米、包米、玉蜀黍、珍珠米、包

穀、棒子 「天晚上

たうや 當夜(名) ①今天晚上 ②那

たうやく 湯藥(名) 湯藥(ヤク)

たうよ 黨與(名) 黨羽

たうよう 當用(名) 急事(當用日記)

たうらい 當來(名) 後來

たうらい 到來(名) 來到(到來物)

(モ) 人家給的東西、得的東西

たう

惡所通をする」他的兒子近來迷着頭了竟上下處去「私は何も道樂がない」我沒有甚麼嗜好

たうり當理(名) 合理、合乎道理

たうり駄賣(名) 躉賣

たうり道理(名) 道理(道理詰)(ナ) 按大道理說話(道理外)(ハナ)出乎道理

たうりで道理(名) 怪不得、怨不得、無怪(彼は支那に十年居た道理で支那語は上手です)他在中國有十年了怪不得中國話說的那麼好(彼は病氣だ道理で出席しなかつた)他有病無怪他沒來

たうる當路(名) 當局、當路

たうる道路(名) 道路、街道

たうたえ

たうろん討論(名) 講論、辯論、論說、議論

たうわく當惑(名) 爲難

たうわた唐綿(名) 綿花

たうゑ田植(名) 插秧兒(田植歌)

たえいる絶入ル(名) 嘸氣、死

たえき唾液(名) 吐沫

たえず不絶(名) 不斷的、不住的

たえだえ絶絶(名) 奄奄(息も絶絶なり)氣息奄奄

たえて絶(名) 總、簡直的(絶て音信が無い)總沒有信兒

たえて殊(名) 殊

たえはつ絶果ツ(名) 絶斷

たえま絶間(名) 斷、絶(朝から晩

たおたか

八七四

まで客の絶間がない」從早到晚客人不斷(車馬の往來絶間なし)車馬來往不絶 「羊肚兒手巾タオル(名) (Towel) 毛巾、面巾、(たおろし駄卸(名) 躉賣

たか鷹(名) 鷹

たか高(名) ①數兒、額數、項(有高)現存的額數(儲け高が少ない)賺的錢數不多 ②不過(高が巡查ですもの)他不過是個巡警(高が知れたものだ)有限(高をくくる)看輕了、瞧不起

たか多寡(名) 多寡

たか籠(名) 籠(籠を入れる)把籠籠上(籠がゆるむ)1. 籠鬆了2. 老糊塗了、上歲數兒糊塗起來了(銅の籠)銅籠(竹の籠)篋子籠

たか

たかあしだ高足駄(名) 雨屐

たかい他界(名) 去世、逝去、逝世

たかいびき高軒(名) 打大呼、打

たかう多幸(名) 多幸 「沈呼

たかう他行(名) 出門 「籠桶匠

たがかげ籠掛(名) ①把籠籠上 ②鷹的

たかがひ鷹飼(名) 養活鷹、養活鷹的 「放鷹抓鳥

たかがり鷹狩(名) 放鷹、撒鷓鷹、

たかく多角(名) 犄角兒多

たかく多額(名) 多額、額數兒多

たかく多額納稅者(名) 納稅多額者(多額納稅議員)(ゼイシヤ)

たかく多額納稅議員(名) 納稅多額議員

たかあげた高下駄(名) 與高足駄

たかこゑ高聲(名) 高聲、大聲(高

たか

聲で談す)高聲兒談話

たかさ高サ(名) 高、高矮(高さ五寸)有五寸高、高有五寸、五寸高(身體の高さ)身量高矮

たかし高シ(名) 高(聲が高い)聲音高、聲音大(米の相場が高く)米行市提高(漲)了(見識が高い)見識高(山が高い)山高(背の高い人)身量高的人(鼻が高い)1. 鼻子高 2. 得意、得意揚揚(生活程度が日日高くなる)生活程度日見甚高 ②貴、大(相場が高い)行市大(位が高い)爵位大、位尊、位高(利息が高い)利錢大(頭が高い)自大、傲慢(お高い事は申しません)我們不能多算錢的

たか

八七五

たかしほ高瀬(名) 海嘯 「的名

たかしまだ高島田(名) 女人梳頭

たかじやう鷹匠(名) 放鷹的、鷹把式 「(高瀬船)(ボネ)同上

たかせ高瀬(名) ①瀬、湍 ②河船

たかだい高臺(名) 高地

たかだか高高(名) ①至多、至貴(彼の俸給は高高五十圓位だろ)我想他的薪水至多不過五十元 ②高高的(聲高高と讀上げる)高高的聲音念起來了

たかたかゆび高高指(名) 中指

たかつ蛇蝎(名) 蛇蝎(蛇蝎視する)蛇蝎視之、嫌厭、嫌惡

たかつき高坏(名) 高把兒碟子

たかてこて高手小手(名) 横三豎

たか

四的〔高手小手に縛上る〕横三堅
四的拵上

たかごの高殿(名) 高樓

たかとび高飛(名) ①飛の高②遠

〔遠ク出〕③驢(高ク跳)④跳高(タカトビ競争)

〔棒高飛〕(ボウ)撐竿跳高

たかなみ高波(名) 高波

たかね高嶺(名) 山峯

たかね高聲(名) 高聲

たかね高直(名) 價錢貴、貴價、高價、行市大(相場)〔高直で買ふ〕以

貴價買

たがね鑿(名) 鑿

たかの鷹野(名) 放鷹、玩鷹 「箒

たかばうき竹箒(名) 竹箒、掃

たかばうし高帽子(名) 高帽子

たかばなし高話(名) 大聲說的話

たか

たかばい高匍(名) 爬

たかばやし竹林(名) 竹林、竹叢

たかはり高張(名) 掛燈〔高張提灯〕

〔ヤウチヤ〕同上 「之差

たがひ違(名) 差〔毫釐の違〕毫釐

たがひ互(名) 彼此、兩面兒、俾

們、互相〔お互様〕彼此彼此〔お

互日本人は〕俾們日本人〔かうす

ればお互都合がよい〕這麼辦兩

面兒都合式

たかひく高低(名) 高矮

たかびしや高飛車(名) 高壓手段、

強迫手段、強硬手段、武斷、霸

氣〔高飛車に出る〕同上

たがひせん互先(名) 對手棋

たがひちがひ互違(名) 交錯

たか

たがひに互(副) 彼此、互相、誰

也……誰〔互に譲合ふ〕彼此推

讓〔互に約束する〕彼此約會〔互

に助合ふ〕互相幫助〔互に争ふ〕

誰也不讓誰

たがふ違(下二段他動) 違、犯、違背、

干犯〔約束に違ふ〕違背約會〔法

に違ふ〕犯法

たがふ違(下二段他動) 違、違背〔約

束を違へる〕把約會兒違背了

たかふだ高札(名) ①掲牌②封貨

最大の籤子(高札)

たかぶる高ル(四段自動) ①傲慢、自

大〔高ぶった事を云ふ〕說傲慢的

話②撤回〔氣が高ぶって眠られな

い〕心發撤回睡不着、心跳氣急

的睡不着

たがへす耕ス(四段他動) 與たがや

たかまくら高枕(名) 高枕

たかまのはら高天原(名) 天上

たかまる高ル(四段自動) 大了、大

起來、高起來、舉、舉起、高舉、

擡舉〔市價が高る〕行市大起來

〔生活程度が高る〕生活程度增高

〔心が高まる〕心志激揚起來了

〔聲が高まる〕聲音大起來了〔鼓

動が高まる〕心跳、心亂跳

たかみ高處(名) 高地方〔高處の見

物〕袖手傍觀、坐山看虎鬪、仗

馬作壁上觀

たかみくら高御座(名) ①寶座、御

座②皇位、龍位

たかむ高ム(下二段他動) 長(chang?)

たか

弄大〔價を高める〕長價錢〔信用

を高める〕把信用弄大了〔關稅を

高める〕提高關稅〔外國を漫遊し

て見識を高める〕遊歷外國去開

たかむしろ竹席(名) 竹席〔開眼

たかむら竹叢(名) 竹林、竹叢

〔たかもり高盛(名) 滿滿兒的盛

(chang?)

たかやうじ高揚枝(名) ①飯後使

牙籤兒②吃飽了的樣子〔武士は

食はれど高揚枝〕武士雖沒有恒

産可有恒心

たがやす耕ス(四段他動) 種、栽種、

耕作、種地、耕種〔田を耕す〕耕

田、種地

たかやぶ竹籜(名) 竹林、竹叢

たから寶(名) ①寶、寶貝、珠寶②

たか

金銀、財帛〔家代代の寶〕傳家之

寶〔寶の持腐〕拿着寶貝不用

たからか高らか(副) 高〔高らかに

讀上る〕高聲朗誦

たからのやま寶山(名) 寶山〔寶の

山に入りて手を空しくして歸る〕

入寶山空手歸

たからぶね寶船(名) 七位財神帶

着種種寶貝坐船之圖 「寶物

たからもの寶物(名) 寶貝、財寶、

たかる集ル(四段自動) 集、聚、綜〔蠅

が集る〕蒼蠅綜〔見物人が集る〕

看熱鬧的人綜上了〔木に蟲が集

る〕樹上長了蟲子

たがる(接尾ラリル) 愛、想、情

願〔子供が菓子を食へたがる〕小

孩子想吃點心〔女は好い着物を

たか

たかたき

着たがる」女人愛穿好衣裳

たかわらひ 高笑(名) 大笑

たき瀧(名) 瀑布

だき情氣(四段他動) 懶怠的心

だきあふ 抱合フ(四段他動) 懷抱、擁

だきう 打毬(名) 打毬 「抱、摟抱

だきおこす 抱起ス(四段他動) 抱起來

「たきおとし」焚落(名) 柴火的炭

火兒 「來、摟抱、摟住

だきかかふ 抱抱フ(下二段他動) 抱起

だきかご 抱籠(名) 竹夫人

たきがは 瀧川(名) 急湍 「灰(香)

たきから 燼空(名) 柴火灰(薪)、香

たきぎ薪(名) 薪、柴火、劈柴「薪を

抱きて火を救ふ」抱薪救火「的

たきぎこり 薪伐(名) 樵夫、打柴

たき

だきこむ 抱込ム(四段他動) ①揣進

來②引誘、籠絡、牢籠、羅致「彼

は上手に人を抱込む」他會牢籠

人「味方に抱込む」引誘人入我

的黨類 「頭兒

たきさし 焚殘(名) 燒剩下的柴火

だきしむ 抱緊ム(下二段他動) 緊抱着、

抱住、摟住、摟抱着

たきつく 焚附ク(下二段他動) ①弄火

(kungi) 挑唆、煽惑、煽動「スト

ープの火を焚附ける」弄上洋爐

子的火「焚附けて喧嘩をさせる」

挑唆人叫他打架 「住

だきつく 抱付ク(四段自動) 摟上、摟

たきつけ 焚附(名) 劈柴、柴火

たきつせ 瀧津瀧(名) 急湍

たきつほ 瀧壺(名) 瀑潭

たきたく

だきとむ 抱留ム(下二段他動) 攔腰抱

住

たきび 焚火(名) 燒火、弄火(kungi)

たきもの 焚物(名) 薪、柴火、劈柴

だきもり(名) 看媽媽

たきやう 他郷(名) 他郷

たぎやう 他行(名) 出門

たぎらかす 滾ス(四段他動) 使滾開

たぎる 滾ル(四段他動) ①滾開「湯が

滾る」開水滾開②湧出來「水が

滾る」水湧出來③出衆

たく宅(名) 房、宅、家「お宅は何處

です」府上在那兒住、貴寓在那

兒「先生はお宅ですか」先生在家

了麼「昨日は宅に居ないで失禮し

ました」昨天沒在家失迎「宅で

お待ちします」我在家恭候您來

八七八

たく卓(名) 桌子

たく焚ク(四段他動) ①燒「火を焚く」

燒火、弄火「香を焚く」燒香②煮

「飯を焚く」煮飯

たく長ク(下二段自動) ①大、深②出

衆「日長く」已分時「齡長く」歲數

兒大了「世事に長く」老於世故

「更長く」夜深了「奸智に長く」奸

詐出衆

だく諾(名) 諾

だく濁(名) 濁

だく跑(名) 顛着跑「跑ふむ」同上

だく抱ク(四段他動) 與「だく同」子

供が母に抱れる」小孩子叫他母

親抱着「牝雞に卵を抱かせる」叫

母鷄伏窩

だくあし 跑足(名) 與「だく同

たく

たくあん つけ 澤庵漬(名) 鹹蘿蔔

だくおん 濁音(名) がぎくげごさ

じずぞだぢづでどばびぶべ

ぼ之二十音謂之濁音

たくけい 磔刑(名) 磔刑

たくげん 託言(名) ①託言、藉詞

②託的話

「たくさん 澤山(副) ①許多、很多、

好些個「澤山の人が居る」有好些

個人「澤山金を儲けた」賺了許多

的錢了②殼「酒はもう澤山です」

酒我已經殼了 「兒(長)

たくし 托子(名) 茶托兒(キル)、茶船

たくし 卓子(名) 桌子

タクシー(名) (Taxi) 出租的汽車、

街頭摩托車

たくしや 宅舎(名) 房子、房屋

たく

たくしやう 托生(名) 托生

たくじやう えんぜつ 卓上演説(名)

たくしゆ 濁酒(名) 混酒 「席談

たくしゆつ 擇出(名) 選出、擇出、

たくしよ 謫所(名) 配所 「揀出

たくしよく 澤色(名) 寶色

たくしよく 拓植(名) 拓地殖民、

拓殖、開拓

たくしん 宅診(名) 看門脈、門診

たくす 託ス・托ス(佐變他動) 託、托

「病に托して行かす」托病不去

だくす 諾ス(佐變他動) 諾、答應、肯

だくす 濁水(名) 混水 「應

だくせい 濁聲(名) 悶聲音、悶腔

兒、啞嚥兒

だくせい 濁世(名) 濁世

たくぜつ 卓絶(名) 卓絶、超越

たく

八七九

たく

たくせん 謫遷(名) 謫遷 「諭
 たくせん 託宣(名) 託宣、神託、神
 たくぜん 卓然(副) 卓然
 たくそ 託送(名) 託送「託送人」
 (一)寄貨人「託送書」(二)托運單
 たくち 宅地(名) 地基、地皮
 たくち 拓地(名) 拓地、開地
 たくはつ 托鉢(名) 托鉢、化縁
 たくはふ 貯フ・蓄フ(下二段他動) 貯、
 蓄、存、儲蓄、貯存「髪を蓄へる」
 蓄髪、留髪「力を蓄へる」蓄力「妾
 を蓄へる」蓄妾、養活妾「錢を貯
 へる」貯財、存錢
 たくはへ 貯・蓄(名) 貯、蓄、儲
 たくばん 宅番(名) 看家的
 たくひ 類(名) 類、比、儔、比類「類
 稀なる美人」絶世美人

たく

たくひ 諾否(名) 答應不答應
 たぐふ 類フ(四段自動) 類、比、比類
 たくほく 啄木鳥(名) 啄木鳥
 たくま 琢磨(名) 琢磨 「刷刷木
 たくまし 逞シ(形容詞) ①雄壯、魁
 偉「逞しき男」雄壯的男子、魁偉
 的的男子「逞しき馬」雄壯的馬②
 逞「威勢を逞しくす」逞威勢「想
 像を逞くす」逞想像、恣意於空
 想
 たくみ 工匠(名) ①工匠②木匠
 たくみ 巧(名) 巧、巧妙
 たくみ 巧鳥(名) 巧鳥、巧婦鳥
 たくみ 巧(名) 巧、妙「巧に支
 那語を話す」中國話說的很巧
 たくみのかみ 内匠頭(名) 營造司
 郎中(職)

たく

たくみ 内匠寮(名) 營造司
 たくむ 工ム(四段他動) 謀、圖、計、
 打算「謀叛を工む」打算謀叛「こ
 れは彼等二人が工んだ事です」這
 是他們兩人打算出來的事情
 たくむ 拓務(名) 掌管拓
 地殖民之中央官廳
 たくらぶ 比フ(下二段他動) 與くらぶ
 たくらみ 計策、計謀 「同
 たくらむ (四段他動) 與たくむ同
 たくらう 濁流(名) 濁流 「去
 たくり 卓立(名) 卓然而立
 たくり 手繰込ム(四段他動) 掏進
 たくる 捨(入)物(名) 捨(入)物
 たくる 逃(入)物(名) 逃(入)物
 たくる 手繰ル(四段他動) ①掏「風の

八八〇

たく たけ

糸を手繰る「搦風箏線」拉、扯、
 拖「網を手繰る」拉網「手綱を手繰
 る」扯着扯手「拉着」
 たくれ 宅料(名) 房錢
 (たくれる (下二段自動) 縦着「すぼん
 がたくれて居る」褲子縦着哪
 たくろん 卓論(名) 卓論
 たくわ 多寡(名) 多寡
 だぐわし 駄菓子(名) 糙點心
 たくわん 澤庵(名) 與たくあん同
 だくわん 兌換(名) 兌、換、兌換
 「兌換券」(一)兌換券、兌換紙幣
 たくえつ 卓越(名) 卓越、出衆、超
 羣
 たけ丈(名) ①身量「身の丈が高い」
 身長高②尺寸、長「着物の丈を
 取る」量衣裳的尺寸「すぼんの丈

たけ

が長すぎる」褲子太長③盡、傾
 「思のたけを云ふ」傾心而談
 たけ 竹(名) 竹子
 たけ 茸(名) 蘑菇、菌類
 たけ 嶽(名) 山嶽、山岳
 たけ 他家(名) 别人的家「他家を繼
 ぐ」過繼在别人的家裏
 だけ (接尾) ①就是、便是、獨、單、
 竟、只「私は五圓だけ持って居る」
 我帶着就是有五塊錢「私は今年
 だけは避暑に行かない」我就是
 今年不避暑去「彼だけは酔はな
 かった」只有他没喝醉、除他以
 外全都喝醉了「夢に見るだけで
 も愉快だ」就是(便是)夢見也快
 活「命だけは助けて下さい」請您
 只要留命就得了、就求您留命

たけ

「一回だけでない」不止一次、不
 是一回兩回了②些個、所有、都
 「これだけ皆買ひますか」這些個
 東西你要都買麼「有るだけの金
 は皆使ひ果した」所有的錢都花
 完了「調べるだけは調べたが分ら
 ない」能查的都查過了可還是
 不明白③無怪「支那人は支那人
 だけに漢文を書く」と上手だ」他是
 中國人無怪寫起漢文來很妙④
 那麼様、這麼様「私は逆もあの人
 だけに學問が出来ない」我到底
 沒有他那麼樣兒學問⑤多少：
 多少、儘着「賃金は前前の云ふ
 だけ遣らう」工錢是你多少給
 多少「毎月入るだけづつ銀行から
 取出す」每月用多少從銀行裡撥

八八一

たけ

多少〔飲めるだけ飲む〕能喝多少
喝多少、儘量兒喝〔成るだけ〕儘
着〔有るだけの金を出して買ひな
さい〕儘着你有的錢買罷〔出來
るだけ〕儘着力兒〔手の盡せるだ
け盡す〕用盡手段 ⑥不過〔ほん
の一面識だけです〕不過是一面
之交〔あんな人と交るだけ損で
す〕和那麼様人交往簡直的沒
有益處〔これだけ忠告してもまだ
聽かないか〕我這麼様勸你還不
聽我的话麼

多藝的人、作百技的人〔多藝多
能〕多才多藝
たけうま竹馬〔名〕 ①高踏、高橋、
高蹠、高脚、高蹠腿兒〔竹馬に乗
る〕登高蹠、踞高蹠 ②竹馬、棍
兒當馬
たけがき竹垣〔名〕 竹牆子
たけがかり茸狩〔名〕 採蕨姑
たけがむり竹冠〔名〕 竹字頭兒
だけき打撃〔名〕 ①打、打撃、吃虧、
受傷〔銀の下落で外國商は大打撃
を受けた〕銀盤兒往下落外國商
人很受大傷了〔受了大打撃了〕
〔二打撃を加へる〕加一打撃 ②苦
子〔あまり得意で居るから一打
撃を加へてやらう〕他很得意了
總得給他一個苦子
たけきれ竹切〔名〕 竹子的頭兒
たけくぎ竹釘〔名〕 竹釘兒
たけざいく竹細工〔名〕 篋貨
たけし猛シ〔形久語〕 猛、勇猛

たけ

たけ

たけす竹簀〔名〕 竹蓆
たけすだれ竹簾〔名〕 竹簾子
たけたかゆび丈高指〔名〕 中指
たけだけし猛猛シ〔形志久語〕 勇猛、
大膽〔盗人猛猛し〕賊人膽大
たけたば竹束〔名〕 竹捆子〔タバ〕、籐
牌〔タバ〕
たけつ多血〔名〕 ①血旺 ②熱心腸
兒〔ナサケブ、火性人〔激シヤ〕〔多血
漢〕〔カン〕熱心腸兒、火性人〔多血
質〕〔シ〕急性子、心熱的、有血性
的、多血質
たけなは竹繩〔名〕 火繩
たけなは醋・闌〔名〕 醋、闌、正盛、
極點、絶頂〔夜闌なり〕夜闌、夜
深〔戦正に醋なり〕戰正闌
たけのかは竹皮〔名〕 竹殼

八八二

たけ

たけの二筒〔名〕 筭、筒
たけのこいしや筒醫者〔名〕 庸醫、
土大夫、蒙古大夫、生意大夫
たけのこがさ筒笠〔名〕 竹笠
たけのその竹園〔名〕 竹園〔竹園生〕
〔五〕同上
たけのは竹葉〔名〕 ①竹葉兒 ②酒
たけのみ竹實〔名〕 竹實
たけぼうき竹帚〔名〕 掃帚
たけやしご竹梯子〔名〕 竹梯子
たけばやし竹林〔名〕 竹林
たけふ妥協〔名〕 通融辦理、互讓
調處、互相退讓
たけべら竹篋〔名〕 竹篋子、竹軋
たけや竹屋〔名〕 賣竹子的、賣竹
子舖
たけやぶ竹藪〔名〕 竹林、竹叢

たけたこ

たけやらい竹矢來〔名〕 竹子柵欄
たけやり竹槍〔名〕 竹子做的鎗
たけり〔名〕 用牲口勢所做的藥
たける猛ル〔四段自動〕 積伶逆跳〔馬
が猛る〕馬積伶逆跳
たけを丈夫〔名〕 丈夫
たけん他見〔名〕 別人看〔他見を憚
る〕怕別人看〔他見を許さず〕不
許別人看
たげん多言〔名〕 多言、多嘴
たげん他言〔名〕 洩漏、說出來、宣
たご蛸〔名〕 八代魚、章魚〔出來
たご風〔名〕 風箏
たご胼眠〔名〕 腦子〔耳にたごが生
へた〕聽慣了、聽膩了
たご擔桶〔名〕 水桶〔たごノ器源〕
だご唾壺〔名〕 痰盒兒、痰桶、痰罐、

たごたさ

痰孟子、唾壺、吐沫盒兒
だご打鼓〔名〕 打鼓
たごく他國〔名〕 他國、外國、他鄉
たごし手輿〔名〕 肩輿、小轎兒
たごつほ蛸壺〔名〕 拿章魚的罐兒
〔たごにふだう蛸入道〔名〕 ①八代
魚、章魚 ②禿驢〔俗ヲ驢
たごのほう擔桶棒〔名〕 扁擔
たごぼうず蛸坊主〔名〕 與蛸入道
たごん他言〔名〕 與たげん同 〔同
たさい多妻〔名〕 多妻
たさい多罪〔名〕 多罪
たさい打碎〔名〕 打碎
たさく駄作〔名〕 拙作
たさつ他殺〔名〕 被殺
たさん打算〔名〕 算計、打算

八八三

たし

たし足(名) 補、墊補(本月分の餘を來月の小遣の足にする) 拿本月剩下的錢墊補下月的零用(こればかりでは何の足にもならぬ) 就是這個不穀墊補甚麼的(少しは足になる) 不無小補

たし(形久活) 很、甚(憂たし) 很可愁(愛たし) 很可愛

たし(形久活) 願意、打算、要、盼望

たじ多時(名) 多時

たじ多事(名) 多事(國家多事の際) 國家多事之際

だし山車(名) 會車

だし出(名) ①出 ②東南風 ③汁水 兒(盤節を出にする) 拿木魚做汁水兒(支那料理は出がよい) 中國茶汁水兒好 ④頂名兒、隱身草

たし

兒(人を出に使ふ) 拿人頂門、拿某人頂名兒、他拿我當他的隱身草兒、拿我墊喘兒 ⑤托、藉(病氣を出に學校を休む) 托病在學校告假

だしあひ出合(名) 湊錢、攢錢(二人出合で家を買ふ) 兩人湊錢買房子

だしあふ出合(四段他動) 湊錢、攢錢、公攤(銘銘金を出合ふ) 各自拿錢(會錢) 數人金を出合つて商賣を初める 幾個人攢錢開買賣

〔金が不足なら私共で出合ひませう〕 若是錢不穀得們大家往外公攤

だしいれ出入(名) ①出入、出納

〔金の出入〕 銀錢出入 ②裝拿(、

たし

の靴は物の出入が面倒です) 這個皮包裝拿東西很費事 ③贖當當當(kang) ④(季節で質屋は質の出入で忙しい) 現在是在年底當舖因爲人家贖當當當的很忙

たしか確・慥(名) 切實、實在、磁實、確、準、沒錯兒、靠得住、可靠(あの人なら確です) 若是他沒

有錯兒(此時計は確です) 這個表很準、這個表走的準確(あの銀行は確です) 那個銀行可靠(あの店は土臺が確です) 那個舖子根

兒磁實(貴下の聞いたのは確ですか) 您聽說是切實麼(記憶は確です) 記得的確(成功は確です) 成功是不錯的(目方は確です) 分量都稱準了(これが確な證據で

八八四

たし

す) 這是切實的證據(確なたより) 可靠的消息、確信、確音、確耗

たしか確・慥(名) 大概(私も忘れてたが確五十圓位でしたらう) 我也忘了大概是(估摸是) 五十元上下罷了

たしかに確・慥(副) 一定、必定、實在、確乎、的確、無疑、不錯

〔確に受取りました〕 一定我收了

〔確に間違ない〕 的確不錯

〔確に間違ない〕 的確不錯

〔確に間違ない〕 的確不錯

〔確に間違ない〕 的確不錯

たし

下無誤

たしかむ確ム・慥ム(下二段他動) ①對對、查明白、打聽明白(確實の所を確める) 對對事情的所以然、查其確實、打聽明白事故由于

〔事實確め御報申上へ候〕 查悉事實(確查事實) 再奉聞可也 ②

定規、定準(日を確めてから又通知します) 趕定規日子再知會

たじし(名) 牛

だじじる出汁(名) 汁水兒

たじたじ(副) 幌幌搖搖的(子供がたじたじ歩く) 小孩子幌幌搖搖的走

たじつ他日(名) 他日、改天

たしなし足無シ(形久活) 稀罕(これは足無い品です) 這是稀罕物

たし

たしなみ嗜(名) ①嗜好 ②用意

たしなむ嗜ム(四段他動) 嗜、嗜好、愛、喜歡(酒を嗜む) 嗜酒、好喝

酒 ③對、難爲、責備、申叱

たしなめる奢メル(下二段他動) 擠

だしぬく出抜ク(四段他動) 瞞、晒

〔友達を出抜いて獨で出かける〕 瞞着朋友一個人去(昨日彼は私を出抜いていくら待っても來ません) 昨天他晒了我了我怎麼

等他也沒去

だしぬけ出抜ケ(副) 突然、造次、冒然、抽個冷子(出抜に來て人を驚す) 抽個冷子來驚動人

たしまへ足前(名) 墊補、搭補

たしむ嗜ム(四段他動) 與たしなむ

八八五

たし

同 多謝 (名) 多謝

たしやう 他生 (名) 他生

たじやう 多情 (名) 水性揚花、多情、好色 (多情の女) 水性揚花的

だじやう 打傷 (名) 打傷 「女人

だじやうくわう 太上皇 (名) 太上皇 「相、丞相

だじやうだいじん 太政大臣 (名) 宰

だじやうてんわう 太上天皇 (名) 太

上皇

たしやく 他借 (名) 跟別人借

だじやく 懦弱 (名) 懦弱、志弱

だじやくれ 駄洒落 (名) 異性話、兩

歧戯詞 「意思 很有趣兒、很有

たしたす

だしゆ 唾手 (名) 唾拳

だしゆ 舵手 (名) 舵工、舵人、梢

工、掌舵的

だしゆ 打手 (名) 擲手

たしゆ 他宗 (名) 別的教派

たしゆ 多衆 (名) 衆人

たしゆつ 他出 (名) 他出、出門

たしよ 他所 (名) 別的地方、別處

たじろく 田印 (名) 鄉下人、鄉下

老

たじろく (四段自動) 尾 (weil) 縮、退

たしん 他心 (名) 他意、別的意思

だしん 打診 (名) 打診、敲診 (打診

器) (一) 問病筒

たす 足 (四段他動) ① 加、添、補、

搭、採 ② 上 (不足を足す) 把不穀

添上、找補 (五に三を足す) 五加

たす

三、五搭三 (石油をつぎ足す) 續

上煤油、添上煤油 (言葉を云ひ

足す) 把話找補上、加一句話、

加上話

たす 出 (四段他動) 與いだす同 (力

を出す) 使勁 (精を出す) 發憤、憤

勉、儘着力兒 (新に新聞を出す)

新出報紙 (顔を出す) 1. 出頭 2.

出去、出來 (涙を出す) 流淚 (氣息

を出す) 呼氣 (烟を出す) 冒烟、冒

出烟來、發出烟來 (光を出す) 射

光、放光、發光 (金を出す) 拿出

錢來 (手紙を出す) 送信、發信、

寄信 (貯金を出す) 提存款 (泣き

出す) 哭出來 (雨が降り出した)

下起雨來了

たす 多數 (名) 多數 (多數の意見

に從ふ) 從多數人的意見 (贊成

者が多數です) 贊成的人居多數

〔多數決〕 (ケツ) 多數決、按着多數

人的意思決定

たすかる 助ル (四段自動) ① 救得出、

保全 (命が助った) 命救出來了、

保全了性命 ② 省事、省得 (君が

手傳ってくれたので助った) 你給

我幫忙兒了我很省事了 (金を無

駄にせず助った) 省得我白花錢

③ 活動 (此金があれば大に助かり

ます) 有這一筆錢我就活動了

たすき 襪 (名) ① 襪 (日本ノタスキ)

又子 (十文字ヲナメニ) (襪をかける)

打叉子

たすく 助ク (下二段他動) ① 助、扶、佐、

輔、幫、祐、扶助、扶持、幫助 (自

たす

ら助くる者は天之を助く) 惟自助

者天始助之 (天は善人を助く) 天

祐善人 (金を出して助ける) 助

銀、助錢、資助、捐助 (貧民を助

ける) 助賑窮人、救濟貧民 (助け

て馬に乗らす) 扶之上馬 (事務を

助ける) 幫助事務 (君を助けて政

を執る) 佐君執政 (一人で食べき

れないから助けて下さい) 我一個

人吃不了你幫我吃罷 ② 救、拯

救、救援 (人の命を助ける) 救生、

救活、救命、打救人命 (兵を派し

て助ける) 出兵救援 ③ 接濟 (彼

は暮が立たないから私は毎月三十

圓づつ助けて居る) 他過不了日

子我每月接濟他三十元

たすけ 助 (名) 助、救、祐、幫 (神の

たす

助) 鬼神的助祐 (人に助を乞ふ)

求人救助 (單獨で助がない) 隻身

無助 (此城は孤立で助がない) 這

個城孤立無助 (金儲をするには

資本の助によらねばならぬ) 人要

賺錢就得仗着本錢的幫助

たすけ ぶね 救船 (名) 保命船、救

たせい 他姓 (名) 外姓 「生船

たせい 多勢 (名) 衆、衆人 (多勢に

無勢) 寡不敵衆

だせい 惰性 (名) 惰性、慣性

たせう 多少 (名) 多少

たせう 多少 (副) 多少、多少有點

兒 (多少の批難は免れない) 未免

得多少有點兒口舌 (多少に拘は

らず) 不拘多少 (多少損害はあり

ませう) 多少有點兒損害罷 (支

たす たせ

那語は多少分ります」中國話多
少總懂得一點兒

たそがれ 黄昏(名) 黄昏、掌燈的

時候、天傍黑的時候「黄昏時」

だそく 拿捉(名) 捉拿 「(トキ)同上

だそく 蛇足(名) 與じやそく同

たた 多多(副) 多多「多多益辨す」多

多益辨(文)、越多越好

ただ 唯・惟(副) 唯、惟「ただ命これ

従ふ」惟命是聽、惟命是從「ただ

一人あり」惟有一人「ただ利をこ

れ視る」惟利是視

ただ 只(副) ①白、空「只で遣る」

白給、白送「見本は只で送ってく

れる」貨樣是可以給白送來②平

常「これは只事でない」這不是平

常的事、非同小事③不過、就

是、光、竟、只於「只君一人」光你

一個人「あの店は只雜貨をあきな

ひます」他們舖子光賣雜貨「只

一錢しか無い」不過就有一個銅

子兒「何もせず一日只遊んで居

る」一天不做甚麼竟閒着「只一

回です」就是一回「これは甚だよ

いが只少し古い」這個很好只於

「就是」舊點兒④平白無故的「あ

れは只の人です」他是平白無故

的人、他是凡人 「顧んでも只

は起きない」無寶不落

ただ だ(名) 磨(no.)、鬧磨「子供がだ

だをこれる」小孩子磨人、小孩

子鬧磨

ただ だ(名) 很大、甚大、極大

「多大の損害を受けた」受了很大

的損害「多大の同情を寄せる」表

極大的同情

だたい 墮胎(名) 打胎、化胎

だたい 只今(副) ①現在、目下、

現今、現時「只今は二十世紀の時

代です」現在是在二十世紀的時代

「只今父は東京に居ります」現在

家父在東京住「只今の模様では

今年も豊年です」按着目下看今

年也算是豐收了②剛、剛纔、纔

剛「只今五時を打ちました」剛打

了五下兒了③就、這就「只今參

ります」這就去

だたう 妥當(名) 妥當

たたうがみ 疊紙(名) 手紙

たたかひ 戦(名) 戰、打仗

たたかひがまへ 闘構(名) 闘門兒

ただし 但(副) 但、但是「但し十

二歳未満は半額とす」但是未到

十二歳の子減半「一金五百圓

也但利子一ヶ月五分」五百元正其

利息每月五分

ただし 正(形) 正、端正、周

正「正しい人」正人君子「品行が

正しい」品行端正「正しく書く」

端正的寫

ただし 但書(名) 附言、附條、

但書、例外、例外規定條款

ただす 正(四段他動) ①正「心を正

す」正心「行を正す」正行「誤を正

す」正誤、改正錯處「色を正す」

正色②糾「罪を正す」糾罪③質

「疑はしきを正す」質疑

たたずむ 佇(四段自動) 佇

たた

たたかふ 戦(四段自動) 打仗、戰

闘、交鋒、交戰

たたき 叩・敲(名) ①打、叩、敲②杖

③與たたきつち同

たたきがね 敲鉦(名) 小鑼兒

たたきころす 敲殺(四段他動) 打死

たたきだいく 敲大工(名) 笨木匠

たたきだす 敲出(四段他動) ①趕出

去(通)②打起來(タタキ)③打出

去(テ外ニ出ス)

たたきつち 敲土(名) 三合土

たたきばなし 敲放(名) ①打放②

白使喚不給錢

たたきばらひ 敲拂(名) 同上

たたきふす 敲伏(下二段他動) ①把

他打伏了②把人說伏了

たたく 叩ク・敲ク(四段他動) ①打、

たた

叩、敲「人を叩く」打人「門を敲

く」敲門、叩門、拍門「大鼓を敲

く」敲大鼓「鐘を叩く」打鐘「意見

を叩く」叩其意見②拍、鼓「手を

叩く」拍手、鼓掌③說「無駄口を

叩く」說淡話、胡說八道、多嘴

多舌④捶「肩を叩く」捶肩膀兒

ただごと 只事(名) 平常的事、小

可「只事にあらず」不是平常的

事、非同小可

たださへ 本就「只さへ貧乏

が此不景氣で大弱です」本就窮

又趕上市面兒緊很覺困難「只

さへ虚弱な質がこの病氣に取付か

れては逆も助からない」本就是

軟弱的資質又得了這麼大病總

是救不了命了

た

た

たた

ただちに直ニ(副) ①直、一直的

〔此河は露國の界を過ぎて直に海に入る〕這道河過俄國直流入海

②立刻、趕緊的就〔電報を受取る〕と直ちに歸國した〕一接了電報立刻就回國去了

〔だだっこ(名) 愛磨人的小孩子

〔だだっぴろい(形) 形久活 敵、大(だだっぴろい庭)敵院子(だだっぴろい顔)大臉盤兒

ただなか直中(名) 中間兒、中正

ただに徒ニ(副) 白、空、徒

ただに音ニ(副) 音〔音に雲泥の差のみならんや〕(又) 豈音雲壤之差乎

ただのり只乘(名) 坐踏車(脚踏車)、白坐車(脚)、坐踏船(汽船)、白坐船

たた

た(副) 〔平白無故の人

ただびと徒人(名) 凡人、平常人、

たたふ 湛フ(下二段他動) 湛

たたふ 湛フ(下二段自動) 湛

たたふ 稱フ(下二段他動) 稱、稱讚、稱

たたへ 稱辭(名) 稱辭

ただほうこう 只奉公(名) 枵腹從

たたまる 疊ル(四段自動) 推積、積上

たたみ 疊(名) 炕蓆(疊)の上の水練

紙上談兵

たたみいす 疊椅子(名) 馬扎子

たたみいと 疊絲(名) 縫蓆的線

たたみおもて 疊表(名) 蓆

たたみかく 疊掛ク(下二段自動) 接連

たたみかた 疊方(名) 疊法〔着物の疊方〕衣裳的疊法

たた

たたみこむ 疊込ム(四段他動) 摺上、摺疊

たたみさし 疊刺(名) 做蓆的人

たたみべり 疊縁(名) 緣(yari)蓆邊

兒的布

たたみめ 疊目(名) 摺兒、摺痕〔着物の疊目〕衣裳的摺兒〔疊目をつける〕摺成痕印

たたみや 疊屋(名) 蓆店

たたむ 疊ム(四段他動) 疊、摺、疊籠、摺疊〔着物を疊む〕疊衣裳〔蒲團を疊む〕疊鋪蓋〔紙を四つに疊む〕把紙摺爲四摺兒〔店を疊む〕關鋪子、收買賣〔疊み合す〕摺合

ただよふ 漂フ(四段自動) 漂、漂流

た(名) 〔船が浪のまにまに漂ふ〕船隨着波浪漂流〔各地を漂ひ歩く〕漂流

在各地方〔水上に漂ふ〕在水面上漂着

たたら 踏躑(名) 脚踏的大風箱

たたらかす 爛ス(四段他動) 使爛

〔だだらだいじん 駄駄羅大盡(名) 迷蕩鬼兒

たたり 祟(名) 祟〔怨靈の祟〕屈死

鬼做的祟〔觸らぬ神に祟なし〕不

燒紙不引鬼、不知者不作罪

たたりめ 祟目(名) 鬼做祟的時候

〔弱目に祟目〕越窮越見鬼

たたる 祟ル(四段自動) 做祟、加殃〔怨

靈が祟る〕屈死鬼做祟、怨鬼作

祟

たたる 爛ル(下二段自動) 爛、糜爛〔目

が爛れる〕眼邊兒紅了〔肉が爛れる〕肉爛了〔皮膚が爛れる〕皮膚

たた

爛了、皮膚糜爛了

ただれめ 爛目(名) 爛眼兒、爛眼

たたん多端(名) 忙、多端〔用事が

多端で暇がない〕事情忙不過來

沒有工夫

たち 太刀(名) 大刀、刀

たち 館(名) 公館

たち立(名) ①立、站〔此子はまだ

獨り立が出来ない〕這個小孩子

自各兒還不能站着

②起身、動身、起程、起行〔明日のお立は何

時です〕明天幾點鐘起身〔一人

立の旅客〕孤行客兒

③套〔二正立の馬車〕二套車

④過〔月日の立が早い〕歲月過的快

⑤着〔お早の〕蠟燭の立が早い〕蠟着的快

たち 質(名) 資質、天分〔此子は學

たち

問の質がよい〕這個小孩子有學問的資質〔彼は虚弱な質です〕他是軟弱的資質〔一年位支那語を習つて、こんなに上手とは誠に質がよいです〕學過一年的中國話能說的這麼好您實在是天分高

たち 達(接尾) 們、等〔あの人達〕他們〔私達〕我們〔子供達〕小孩子們

たちあがる 立上ル(四段自動) ①站起來、起來

②出衆、出羣、超衆

たちあひ 立會(名) ①會同、眼同

〔立會でしらべる〕眼同相驗、會同驗明〔立會で署名する〕會同簽名

②證見人、作證人〔立會人〕

〔二〕同上〔立會裁判〕(イ) (イ) 會審、合訊

たち

たちあふ^ツ立會フ(四段自動) ① 遇見、
 碰見^②會同、會同監査(驗屍に
 巡査が立會ふ) ③ 巡警會同驗屍^④
 兩面都站起來 ④ 打架(ケンカ)
 たちあふ^{オイ}ひ蜀葵(名) 蜀槿花 「板
 たちいた^名裁板(名) 作臺、安板、裁
 たちいづ^{下二段自動}立出ヅ(下二段自動) 出去
 たちいへ^名建家(名) 房子、房屋
 たちいる^{四段自動}立入ル(四段自動) ① 進去、
 入(構内に立入ることを禁ず) 禁
 止入内、禁止擅進界内^②干涉、
 管、干與(人の内事に立入るのは
 よくない) 干涉人家的家務不成
 「喧嘩に立入る」 干涉打架「何事
 も立入らぬやうにする」 一概不
 聞不問、置若罔聞、一概不干與

たち

③ 深、細(彼も憚(か)る様だから
 私も立入って尋ねなかつた) 他有
 避諱的意思我也沒深問(私共は
 親密の間柄だから随分立入った話
 もします) 僭們是親密的交情連
 細話都說
 たちうち^名立打(名) 站擊
 たちうち^名太刀打(名) 拿刀打架
 たちうち^名立賣(名) 串地方賣東西
 たちうち^名裁賣(名) 切着賣(水瓜の
 裁賣) 切着西瓜賣
 たちうを^名太刀魚(名) 與たちのう
 たちえ^名立枝(名) 用枝兒 「を同
 たちおくる^{下二段自動}立後ル(下二段自動) ① 劣、
 不好、不如^②候時機、錯過機會
 たちおと^名太刀音(名) 刀聲 「水
 たちおよぎ^名立泳(名) 立着身子浮

たち

たちかか^ルかかる立掛ル(四段自動) 要站
 起來
 たちかぜ^名太刀風(名) 耍刀帶的風
 たちかは^リはりいりかはり立代入
 代(副) 接連不斷的、陸續着(立
 代入代客が来る) 接連不斷的有
 客人來
 たちかへ^ルる立返ル(四段自動) 回來
 「立返って考へる」回想(途中より
 立返る) 從半道兒上回來(善心
 に立返る) 回心向善、改邪歸正
 「昔に立返る」返古、復古(本問題
 に立返って云ふ) 仍回本題說(昨
 日の題目に立返って論ずる) 仍歸
 昨天的題目而論
 たてがみ^名鬣(名) 鬣、鬚
 たちかれ^名立枯(名) 樹木乾死

八九二

たち

たちぎえ^名立消(名) ① 火着(choco)
 到半路滅了「この炭は立消がす
 る」這個木炭着着(choco) 着着就
 滅了^②不提「あの話は其後立消
 になつた」那話之後就不提了、
 後來那話烟消火滅了
 たちぎき^名立聞(名) 聽賊話兒、竊
 聽、偷聽、暗聽(人の話を立聞す
 る) 聽賊話
 たちぎく^名立聞(四段他動) 聽賊話
 たちきる^名斷切ル(四段他動) 切斷、截
 斷、斬斷、斷絶(刀で真二つに斷
 切る) 拿刀切爲兩斷(聯絡をたち
 きる) 斷絶聯絡(襖(うす)で部屋を
 斷切る) 拿扇扇隔(chiel?) 斷屋
 子(退路を斷切る) 截斷後路
 たちぎれ^名裁切(名) 裁剩下的布

たち

たちくだ^ルたる立下ル(四段自動) 劣、不
 好、不如、亞
 たちぐ^名立食(名) 站着吃
 たちぐら^名らみ立暗(名) 站起来頭暈
 たちこ^名む立込ム(四段自動) 人馬輻湊
 たちこ^名ゆ立越ゆ(下二段自動) 與まさ
 る同 「繁茂、茂盛
 たちさか^名ゆ立榮ユ(下二段自動) 茂盛、
 たちさ^名る立去ル(四段自動) 走
 たちさわ^名ぐ立騒グ(四段自動) 吵鬧
 たちすぐ^名む立竦ム(四段自動) 退縮
 たちつか^名ひ太刀遣(名) 耍刀、耍刀
 的
 たちつけ^名裁着(名) 褲子一類
 たちど^名ころに立所ニ(副) 立、立
 刻、馬上、即時、即刻、立即、立
 時(病魔立所に退く) 病魔立退

たち

「立所に相談が纏つた」 立刻就商
 量妥了「立所に死ぬ」 即死、立
 死、立刻死(此を食ふと犬でも猫
 でも立所に死ぬ) 一吃這個無論
 猫狗立刻就死
 たちど^名まる立止ル(四段自動) 站住
 たちどり^名太刀取(名) ① 拿刀的人
 ② 劊子手 「ぶ同
 たちなら^名ぶ立並ブ(四段自動) 與なら
 たちぬ^名ひ裁縫(名) 裁縫
 たちのう^名を太刀魚(名) 帶魚
 たちのき^名立退(名) 擡、逐出(立退
 を命ぜられた) 叫人擡了(立退場)
 (一) 避難處
 たちのく^名立退ク(四段自動) ① 擡、搬
 「東京を立退く」 擡出東京「三日
 内に此家を立退かればならぬ」我

八九三

たち

三天以内總得挪出這個房子去
 ②避難「日本人は皆公使館へ立退いた」日本人都避難到公使館去了
 「が立上る」烟冒上去
 たちのほる立上ル(四段自動) 冒(煙)
 たちは起端(名) 告辭的時候「起端を失ふ」抓不着告辭的機會
 たちは立場(名) 地步、立足的地步、立脚地、站脚的地步、站脚梁兒、根據、憑藉「自己の立場を明にする」把自己的地步明顯出來「さうなると私の立場がなくなる」若這麼一來就沒了我立足的地步了「安全の立場に立つ」立於安全的地位「議論の立場」論據、議論的根據
 たちばうちやう裁庖丁(名) 裁紙

たち

刀(紙)裁衣刀(駐立)「たらく同
 たちはたらく立働ク(四段自動) 與は
 たちばな橋(名) 橋子
 たちはなる立離ル(下二段自動) 離、離
 たちふさがる立塞ル(四段自動) 攔
 阻、攔擋、攔截、攔頭「さる同
 たちまさる立勝ル(四段自動) 與ま
 たちまじる立交ル(四段自動) 混在
 一塊兒
 たちまち忽チ(副) 忽然、抽個冷
 子、一會兒的工夫「三斤の肉を
 忽ち平けてしまった」三斤肉一會
 兒的工夫就淨了「忽ち風がさつ
 と吹いて来て燈を消した」忽然來
 了一陣風把燈滅了「忽ち暴雨
 が降って来た」抽個冷子下起暴
 雨來了

たち

たちまちのつき立待月(名) 十七
 晚上的月亮
 たちまはり立廻(名) ①唱戲的遶
 灣(從者) ②打架(ケン)、打羣架(大勢)
 たちまはる立廻ル(四段自動) 遶灣兒
 (たちまへ立前(名) 工錢
 たちみ立見(名) 站着瞧「抗衡
 たちむかふ立向(四段自動) 抵抗、
 たちめぐる立廻ル(四段自動) 與た
 ちまはる同
 たちもち太刀持(名) 拿刀的
 たちもとほる徘徊ル(四段自動) 徘
 徊、盤桓、遶灣兒
 たちもどる立戻ル(四段自動) 回來
 たちもの建物(名) 與たてもの同
 たちもの裁物(名) 裁東西(裁物板)

八九四

(イタ)裁板、安板、作臺(裁物庖丁)
 たちもの斷物(名) 所忌的東西
 たちやく立役(名) 生脚、正末
 たちゆく立行ク(四段自動) ①過、經
 過「歲月立行く」歲月經過②擱
 得住、過得了「不景氣で商賣が立
 行かない」市面蕭索舖子擱不
 住「暮が立行かない」日子過不了

たちよる立寄ル(四段自動) ①挨、挨
 近「側に立寄って見る」挨着傍邊
 兒去看「立寄れば大樹の蔭」大樹
 底下好尋涼、挨着大樹有柴燒
 ②到、上「歸りに百貨店に立寄る」
 往回裡上百貨店③歇「木蔭に立
 寄る」在樹陰底下歇着
 たちわうじやう立往生(名) ①站

着死④進退兩難、進退維谷、煞
 住脚了「後れて行ったので席が無
 く立往生した」我去晚了沒有座
 兒了直沒坐下
 たちわかる立別ル(下二段自動) 離別、
 たちる起居(名) 起居、坐臥
 たちゐる立居ル(上一段自動) 站着
 たちん駄賃(名) 水脚、脚價、運費
 (たちんばう立坊(名) 賣力氣的
 たつ龍(名) 龍
 たつ辰(名) 辰
 たつ達(名) 達
 たつ立(四段自動) ①立(身立つ)身
 立、身子立住「志立つ」志立「反
 對側に立つ」立於反對方面、執
 反對之意見「立っても居ても居ら
 れない」坐又不安立又不寧②過

たちたつ

「三年立つ」過了三年「日數立つ」
 過了日子了③站「橋の上に人が
 立つ」人在橋上站着「立つに立た
 れぬ」站也站不住④盡「友人の義
 理が立たない」不能盡朋友的情
 義⑤蓋「家が立つ」房子是蓋了
 ⑥起「風が立つ」起風「埃が立つ」
 起土、土飛「明朝六時に立つ」明
 天早起六點鐘起身「席を立つ」
 起座、站起来「波が立つ」波浪起
 來「泡が立つ」起水花兒「評判が
 立つ」風聲起來了⑦飛「鳥が立
 つ」鳥兒飛起來⑧吓「喉に骨が立
 つ」嚜子裡頭骨頭吓了⑨射上
 「矢が立つ」箭射上了⑩着(chao)
 「蠟燭が立つ」蠟着了⑪交「春立

たちたつ

八九五

たつ 交了春天了 冒(烟が立つ) 冒烟、烟冒起來了(湯氣が立つ) 熱氣兒冒上來了 有(益)に立つ 有益處、有用處(證據が立つ) 有了見證、證據可憑(男が立つ) 有臉、有臉面(意見が立たない) 沒有主意 顯(目に立つ) 顯眼(此布はよ、これでもよ、これ目が立たぬ) 這塊布招了髒了可不大顯眼 開(市が立つ) 開市、市場開了(店が立つ) 舖子開了 關(戸が立ててある) 門關着哪 當、做(證人に立つ) 當保人、做保(代人に立つ) 當代理人、當替工 扎(手に刺が立つ) 手上扎刺 從、居(中に立って仲裁する) 從中說和、居中調停 去(見送に

たつ 立つ 送行去 掛(旗が立つ) 旗子掛着哪 「太子立つ」 皇太子受封了(湯が沸立つ) 水滾開(生ひ立つ) 生長(産婦が肥立つ) 産婦還起元兒來了(腹が立つ) 生氣、有氣(齒が立つ) 1. 咬得動 2. 敵得住(氣が立つ) 居たから負傷したのも知らなかった 那個時候我氣兒攻着哪雖受傷也沒理會(恐くて聲も立たない) 嚇的連聲兒也沒有(あの人の聲はよく立つ) 他的聲音很洪亮

たつ 絶、裁、斷、截、切(交を絶つ) 絶交(口に絶たず) 不絶於口(食を絶つ) 絶食、絶粒、斷飲食(女を絶つ) 絶色(着物を裁つ) 裁衣裳(絲

振作人心 開(市を立てる) 開市(學校を立てる) 開一個學校 關(戸を立てる) 關門 作(證據を立てる) 作證據 停(車を立てる) 停車 對(證人を立てる) 對保 盡(友達に義理を立てる) 在朋友身上盡情分 留(鬚を立てる) 留鬚子 尊敬(先輩を立てる) 尊敬長輩 齊楚(飾り立てる) 打扮的齊楚 擺設的齊楚(神様) 許(神様に願を立てる) 在神仙跟前許願 劃定(境界を立てる) 劃定界綫 鏗、鏗(鋸の目を立てる) 鏗鋸齒兒(白の目を立てる) 鏗磨牙 樹(一本柱を立てる) 樹一根柱子(記念碑を立てる) 樹紀念碑(泡を立てる) 打

たつ 起沫(浪) 來(軍艦が波を立てて進む) 兵艦分着波浪浪往前進(人の顔を立てる) 給人做臉(腹を立てる) 生氣、有氣(聲を立てる) 做聲、喊出來(益) に立てる 叫他有用(風呂を立てる) 燒洗澡水(泣き立てる) 大哭、哭起來(答め立てる) 責問(租税を取り立てる) 徵收租税(見立てる) 鑑別

たつ 骨縫、脱落關節、手腕出節(手)、大腿骨髀白脱(大股) (脱臼をなほす) 將脱節復原

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たつ

たづさふ 携フ(下二段他動) 携、帶、拉
〔手を携へる〕拉着手〔妻子を携へる〕携妻子、帶着妻子〔杖を携へる〕拉着棍子

たつし 達者(名) 告示

たつじ 脱字(名) 落字

たつしがき 達書(名) 告示的文書

たつじま 立稿(名) 百摺花樣

たつしめん 脱脂綿(名) 脱脂綿、食

たつしや 達者(名) 好(達者に英語

を話す)英國話說的很好、他是一口的好英國話

〔御兩親様は御達者ですか〕令尊令堂二位老人都康健

〔お蔭で達者です〕托您福都很康健

〔あの記者は筆が達者です〕那個

たつ

主筆筆底下很潤 ①硬朗(あの老人は足が達者です) 那個老頭兒腿脚很硬朗 ②能、會(口が達者です)能說、會說話

たつしゆ 奪取(名) 奪取

たつしゆつ 脱出(名) ①脱出來 ②墜

脱(露ナド)、脱露(上) 「去色

たつしよく 脱色(名) 脱色、除色、

たつじん 達人(名) 好手、妙手、精

通的人

たつす 達ス(佐變自動) ①達、通達(天

聽に達す)上達天聽(事理に達す)通達事理(數學に達しておる)通

達算學(此結論に達す) 達此結論 ②到(子供が六歳に達したら小

學校に入る)小孩子到了六歲就上小學校

〔この汽車は五時半に

たつ

天津に達します) 這個火車五點半鐘到天津 ③足、足穀(定額に達す)足額

たつす 達ス(佐變他動) ①達、到(目的

を達す)達目的、達到目的、如了願了 ②通知、告知(規則を官報

で達する)把章程登在官報上通

知

たつす 脱ス(佐變他動) 脱、去、落、脱

離(衣服を脱す)脱衣裳(俗を脱

す)脱俗(また田舎訛(チナカ)を脱せ

ない)他還去不了鄉下的土音

〔靴を脱す〕脱鞋〔圍を脱す〕脱圍

〔三字を脱す〕落三個字〔苦境を脱す〕脫離苦境

たつせい 脱稅(名) 走私、偷私、漏

稅、偷稅、偷漏稅項、偷漏不上

税

だつせき 脱籍(名) 出籍

だつせん 脱線(名) ①出軌、出轍、

脱軌、越軌(汽車が脱線する)火車出軌(脱線の行爲)越軌的

行動 ②說到旁念兒去、逸出本

題、離題、出題(貴下の話が又脱

線した)您又說到旁念兒去了、

您說的又出了題了

だつそ 脱痘(名) 說痘、壞疽

だつそ 脱走(名) 脱逃、逃跑、逃

走、私逃、逃奔

だつぞく 脱俗(名) 脱俗

(たつた(副) 與唯(は)同 「同

(たつたい(副) 與唯(は)同 「同

だつたう 脱刀(名) 脱刀

だつたう 脱黨(名) 出黨、脱黨

たつ

だつちやう 脱腸(名) 小腸氣、小腸

疝、小腸墜入腎囊

(たつて(副) 強、硬、一死兒的(たつ

て頼むから承知した) 他一死兒

的托附所以我答應了(たつて辭

(は)はる)一死兒的推辭

(たつて(助) 縱然、雖然、怎麼、也

〔風は吹いたつて船は出る〕雖然

颶風也要開船(いくら忠告したつ

て駄目です)雖然怎麼勸他也不行

(だつて(助) 同上(酒を飲んだつて

酔はない)怎麼喝也不成醉(私

だつて困ります)我也爲難(あの

人だつてそんな事は出来ない)他

也不能做那麽樣的事情

だつと 脱兎(名) 脱兎(始は脱兎の

たつ

如く後は處女の如し) 始如脱兎

後如處女

たつとし 貴シ(形久活) 與たふとし

たつとぶ 貴ブ(四段他動) 與たふとぶ

同

たつとむ 貴ム(四段他動) 與たふとむ

たつな 手綱(名) 扯手

たつぬ 尋ヌ(下二段他動) ①尋、找(失

つした物を尋れる)找丟的東西、

尋找失物(尋ね當てた)找着了

(いくら尋ねても尋れ出せない)

怎麼找也找不着 ②訪、瞧、拜

望、望看(友達を尋れる)拜望朋

友、瞧朋友去 ③問、打聽(道を尋

れる)問道、打聽道路

たつねもの 尋物(名) 找東西

たつのおとし 龍落子(名) 海馬

たつ

たつのくち龍口(名) 龍頭
たつのみや龍宮(名) 龍宮海藏

だつばう脱帽(名) 脱帽、摘帽子
〔脱帽敬禮する〕脱帽鞠躬、脱帽

行禮
たつびつ達筆(名) 〔章、好筆墨〕

たつぷり(名) ①放〔此着物はたつぷりに仕立てて下さい〕這件衣裳給我放着點兒做(肥着點兒做)

②足、足殼〔天津まではたつぷり三十里ある〕到天津足有三十里

③寛〔この料理は汁をたつぷりにした方が旨い〕這個菜寬着點兒

汁水兒(湯)倒好吃〔寸法をたつぷり取る〕把尺寸量殼了

たつぶん達文(名) 好文章、好筆
たつぶん脱文(名) 脱落下的文字、

たつたて

脱落文字的文
たつべん達辯(名) 會說話的、能

たつまき龍卷(名) 龍上水、旋雲筒

たつみあがり(名) 異
言行粗暴

たつもう脱毛(名) 脱毛

たつらく脱落(名) 脱落

たつり脱離(名) 脱離
〔搶劫〕

たつりやく奪略(名) 奪掠、搶掠

たつろう脱漏(名) 脱漏
たて盾(名) 盾、干、盾牌、籐牌、擋牌〔盾をつく〕抗衡、抵抗〔盾に取る〕頂門

たて

是綿花線④堅〔縦に切る〕堅着
たて(名) 草做的苞

たて立(名) 剛、纒〔炊き立の飯〕剛煮得了的飯〔生み立の卵〕剛下來的蛋〔蒸し立の饅頭〕纒出鍋

〔世〕的饅頭〔塗り立の壁〕剛抹得了的牆

たて蓼(名) 蓼〔蓼食ふ蟲も好き好き〕人各有所好、好者爲樂

たて伊達(名) 浮華、華美、好打扮

たて立(接尾) 様子〔あの女は顔立がよい〕那個女人模樣好〔賢立をする〕逞能〔男立〕義氣、俠氣

たて立(接尾) 套〔一頭立の馬車〕單套車〔二頭立の馬車〕二套車

たてあひ立合(名) 對待
たてあふ立合フ(四段自動) 對待

たてあみ立網(名) 與ぢあみ同

たていし立石(名) ①山石、山子
石兒(石)②道路牌

たていた立板(名) 立着的木板子
〔立板に水〕懸河之辯、天花亂墜、口若懸河

たていと經絲(名) 經線

たてう舵鳥(名) 舵鳥

たてうす立白(名) 石頭白子

たてかく立掛ク(下二段他動) 立、靠在壁に梯子を立掛ける〕牆上立個梯子〔壁に傘を立掛ける〕把傘靠在牆上

たてかふ立替フ(下二段他動) 墊〔貴下が都合が悪ければ私が立替ておきますせう〕您若是沒有錢我可以給您墊〔五圓だけ立替て下さい〕墊

たて

給我五元〔代價は一時御立替へ願上候〕該價若干暫請代爲墊付

たてかふ建替フ(下二段他動) 翻蓋

たてかへ立替(名) 墊的錢、代替

たてがみ鬘(名) 鬘、髮

たてぎ伊達着(名) 華美的衣裳

たてきる立切ル(四段他動) ①隔斷〔部屋を立切る〕把屋子隔斷開

②守住〔後家を立切る〕守住寡

たてきる閉切ル(四段他動) 關〔戸を閉切る〕關上門

たてぐ建具(名) 榻扇窓戶等之總

たてくび項(名) 脖子

たてこむ閉込ム(四段他動) 關

たてこもる立籠ル(四段自動) 據城

たてじま堅縞(名) 有柳條的、有條紋的

たて

たてしや伊達者(名) 花花公子、好修飾的人、好打扮的人

たてしゆう伊達衆(名) 俠客

たてたし建足(名) 耳房

たてつく立衝ク(四段自動) 抗衡、抵抗

たてつく立付ク(下二段他動) ①關嚴了

②連着、連續着

たてつけ立付(名) ①關的嚴(シキル)

②連着、連續着〔立付三杯〕連飲三杯

たてつほ建坪(名) 蓋房子的片場

たてどひ堅樋(名) 立蛤蜊板

たてとほす立通ス(四段他動) 守住

〔操を立通す〕守住了操守〔獨身で立通す〕終身不娶、一生不成家〔後家を立通す〕守住寡

たてぬき經緯(名) 經緯

たて

たて

たてば立場(名) 尖站

たてばな立花(名) 佛花

たてひき立引(名) 塾(タテカ)

たてひく立引ク(四段他動) 給人塾

(タテカ)

たてひぎ立膝(名) 翹着腿坐

たてふだ立札(名) 掲牌、告示牌、

禁牌

たてまつる奉ル(四段他動) 奉、奉獻

(書を奉って諫言する) 奉書諫言

(大隈伯が開國五十年史を清國皇帝に奉る) 大隈伯把開國五十年

史奉獻清國皇帝

たてまつる奉ル(四段自動) 奉、常在

(動詞之下表恭敬之意) (賀し奉る) 奉賀 (願ひ奉る) 奉懇、奉託

(大隈の至に存じ奉り候) 不勝可

たて

賀之至 「抵抗

たてむかふ立對(四段自動) 對待、

たてもの立物(名) 好角色(役者)、好

角兒

たてもの建物(名) 房子、房屋

たてもの堅物(名) 堅幅

だてもの達者(名) 與だてしや同

だてもやう達模様(名) 華美的花

様

たてや建家(名) 房子、房屋

たてやま立山(名) 禁止打獵的山

(だてら) 不顧(女だてら) 出し

やばる(接尾) 他不顧是個女人竟愛冒

失

たてよこ縦横(名) 長寬、縦横

(たて) 騰(一一段他動) 騰(腫物をたて)

たてたと

たてゑほし立烏帽子(名) 員外巾

だでん打電(名) 打電、拍電、打電

報

たどう他動(名) 謂節制事物之動

作、例如「父子を教ふ」(父教子)

「人犬を打つ」(人打狗)之教打

是也(他動詞)同上

(たたと) 搖搖幌幌的

たとひ縦ヒ・假令(副) 縱然、即或、

任憑、那怕(na's p'at) 彼處は要

害だからたとひ幾萬の敵兵來ると

も恐るるに足らず」那邊是險要

的地方即或有幾萬敵兵來不用

害怕(貴下の爲なりたとひ火の中

水の中でも厭はせぬ)爲那怕

是赴湯投火呢(假令金があつて

も智識が無くては駄目です)縱然

有錢沒有智識不成(縦ひどうな

らうとも私は構はない)任憑怎

麼様我不管

たとふ譬(下二段他動) 譬、比方(之

を譬ふ)譬之「譬へて云へば」比

方說「何とも譬へ様がない」不可

言狀 「同

(たとへ) 縦へ・假令(副) 與たとひ

たとへ譬(名) 譬、比反、比喻(二つ

譬を取って言へば)做一個比方

說、舉一個例說罷

たとへば譬(副) 譬如、比

方、設若、譬若、例如(譬は貴

下が此場合に當つたらどうします

か)比反您處(おれが)這個時候怎

麼辦呢、設若閣下居我這個地

たと

たとたな

たな

九〇三

たな

たなちゃん店賃(名) 房錢

たなばた柵機(名) ①乞巧 ②乞巧

日 ③與柵機祭同(柵機月) (ツキ) 巧

月、蘭月(柵機津女) (ツメ) 1. 織女

2. 織女星(柵機祭) (ツリ) 乞巧奠

たなびく柵引ク(四段自動) 爰 爰、拖

曳 「勞夥計們

たなぶるまひ柵振舞(名) 鋪子犒

たなまた手股(名) 手丫巴兒

たなもと柵元(名) 厨房(柵元道具)

(ダウク) 厨房用具 「計(代)

たなもの店者(名) 掌櫃的(支配)

たならし田均(名) 塾莊稼地

たなん多難(名) 多難

たに谷(名) 山澗

だに蝸(名) 狗豆子、狗蝨、扁蝨

だに駄荷(名) 馬駄着送來的行李

たに

だに(名) 尙、尙且、也(糟糠にだに

飽かず) 糟糠尙且不能飽(夢に

だに知らない) 夢也不知道

たにあひ谷間(名) 山澗

たにがは谷川(名) 溪流、溪水、山

澗河、山澗的水

たにし田螺(名) 大田螺蝸

たにそ二谷底(名) 山澗底下、山

澗的底兒

たにの谷戸(名) 山澗的口兒

たにふとこる谷懷(名) 山懷兒

たにま谷間(名) 與たにあひ同

たにみづ谷水(名) 與たにがは同

(だ) によつて(接) 因爲……所以、

故此

たにん他人(名) ①別人(他人の云

ふこはうつとも聞かない) 別人

たにたね

説的話他簡直的不聽 ②外人

〔彼は私の親戚でなく全く他人で

す〕他不是我的親戚簡直的是

外人(今日は他人は居ないからく

つろいで話ませう) 今天沒有

外人們開懷暢談罷

たにんず多人數(名) 衆人

たぬき狸(名) ①狸 ②假粧

たぬきおやぢ狸爺(名) 老不要臉

たぬきねいり狸寝入(名) 粧睡

たぬきねむり狸眠(名) 同上

たぬきばばあ狸婆(名) 老食婆

たね種(名) ①種子、子兒、子粒、

核兒(以上ハ)、籽種(穀物) ②手彩兒

(手品の種) 變戲法兒的手彩兒

③原因(喧嘩の種を蒔く) 起打架

的原因 ④頭兒(話の種) 話頭兒

(だの(接尾) ①甚麼的、等、等項、

等類、等等(海には鯛だの章魚

だのが居る) 海裡頭有大頭魚

八代魚甚麼的 ②這麼着那麼着

〔私が誘ふといつても何だの彼だの

云つて辭ります〕我一約他老是

說這麼着那麼着(有這個事那

個事的) 推托不去

たのう多能(名) 多能

たのくさ田草(名) 在水田長的草

たのし樂シ(形志入活) 樂(シ) 快、

快樂、快活、愉快(樂しく月日を

暮す) 快樂度日、過快活的日子

〔一生の中には楽しい事も苦しい

事もある) 人的一輩子也有樂事

也有苦事

たのします樂ス(四段他動) 歡、歡娛

たね

⑤肥(麵包の種) 麵肥、酵母、發麵

藥 ⑥胎(種を宿す) 受胎 ⑦後嗣、

子孫、苗裔 ⑧材料(新聞の種) 登

新報的材料 ⑨根、根苗(禍の種)

造禍的根苗 ⑩彩(手紙を種にし

て詐偽を働く) 拿信做彩誑騙人

〔蒔かぬ種は生えぬ〕 春不種秋

不收(種を蒔く) 種子兒(柿の種)

柿子子兒(西瓜の種) 瓜子兒(杏

の種) 杏核兒(朝顔の種) 勤娘子

的兒

たねあぶら種油(名) 菜油

たねいた種板(名) 乾片、原板、底

片(以上ハ)、影戲片、影片(以上ハ活、

映畫玻璃板(寫眞) 動寫眞) 同

たねおろし種下(名) 與たねまき

たねがしま種子島(名) 烏槍

たね

たねがはり嵐變(名) ①異父之子

②異種

たねがみ種紙(名) 蠶子兒紙

たねずみ田鼠(名) 田鼠

たねせん種錢(名) 樣錢 「り同

たねちがひ胤違(名) 與たねがは

たねとり種取(名) ①爲下崽兒養

活的牲口(種取ノタメノ新類) ②訪事(新聞)

湊報料兒(珣) ③訪員(新聞)

たねほん種本(名) 編書參考書

たねまき種蒔(名) 下種兒(chung)

たねもの種物(名) 子兒(種物屋)

たねわた種綿(名) 帶子兒的綿花、

子花

たねん他念(名) 他念、別的心

たねん多年(名) 多年

たの

たの

〔耳目を樂す〕歡娛耳目

たのしみ樂(名) 樂(名)、權、歡、樂
趣、快樂、喜樂、喜歡、歡娛〔父
母は子供の出世を樂にして居る〕
父母很樂意他兒子發跡〔音樂を
奏するのは私の第一の樂です〕奏
音樂(verb) 是我第一的樂事〔天
下に三樂あり〕天下有三樂(good)
〔文〕〔樂極りて悲生ず〕樂極生悲
〔束の間の樂〕一瞬之歡娛、眼前
歡

たのしみ樂(四段他動) 樂、樂意(天
命を樂む) 樂(心) 天命〔知者は水
を樂む〕知者樂(心) 水(文)

たのしみ樂(四段自動) 樂、喜樂、
快活、快樂、暢快(衆と樂む) 與
衆樂

たのしみ樂(四段他動) 樂、樂意(天
命を樂む) 樂(心) 天命〔知者は水
を樂む〕知者樂(心) 水(文)

たの

たのもう頼(名) マウ(感) 叫門的聲兒

たのみ頼(名) ①奉懇、奉托、求〔私
は一つ頼が有って來たのです〕我
來是有一件奉懇您的事情〔頼
を辭る〕辭托 ②靠、倚頼〔彼は頼
にならぬ〕他那個人靠不住〔君は
人を頼に事をするからいけない〕
你靠着人辦事所以不成〔頼少
い〕1. 沒有倚靠的 2. 愀心(心細)
沒有主心鼓兒(詞)〔頼の綱も切れ
果てた〕沒了一息的指望了

たのみ田實(名) 稻子兒
たのみいる頼入(四段他動) 重托、
好好兒的托、懇求
たのむ頼(四段他動) ①托、求〔私
の留守中は萬事宜しく頼みます〕
我不在家的時候求您多多照應

たのむ頼(四段他動) ①托、求〔私
の留守中は萬事宜しく頼みます〕
我不在家的時候求您多多照應

たの

たのたは

〔仲裁を頼む〕托人說合 ②仗、
恃、恃仗、倚靠、倚頼、仰頼〔威
權を頼む〕仗勢、恃仗權威〔多勢
を頼む〕仗着人多〔親とも頼む〕
像父母似的那麼倚頼 ③禱(神に
頼む) 禱神 ④請(教師を頼む) 請
一位教師
たのむ頼(感) 與たのまう同
たのも田面(名) 水田上
たのもし頼母子(名) 抓錢會(頼母
子講)〔カウ〕同上
たのもし頼(形志久語) ①有望、
有出息兒〔頼しき青年〕有望的
青年、有出息兒的年輕人 ②可
靠的〔頼しき人〕可靠的人
たば東(名) 搨兒
たば巻(名) 燕尾兒

たのむ頼(感) 與たのまう同
たのも田面(名) 水田上
たのもし頼母子(名) 抓錢會(頼母
子講)〔カウ〕同上
たのもし頼(形志久語) ①有望、
有出息兒〔頼しき青年〕有望的
青年、有出息兒的年輕人 ②可
靠的〔頼しき人〕可靠的人
たば東(名) 搨兒
たば巻(名) 燕尾兒

たは打破(名) 打破、除破(情實を
打破する) 除破情面

たば 馱馬(名) ①馱子、馱東西的
馬匹 ②駑馬

たはい他輩(代) 他們

たはう他邦(名) 外國、他邦

たはう他方(名) 他方、別的方面

たばう多望(名) 很有望、很有指
望

たばう多忙(名) 忙、匆匆(只今は
大變多忙です) 現在我很忙(俗務
多忙にて御無沙汰致し候) 俗務匆
匆未能趨候

たばうめん多方面(名) 無一不好、
無一不會〔あの人の趣味は多方
面です〕他無一不好(bad) 彼の

たは

學問は多方面です 他的學問無
一不會

たばかり謀(名) 算計、暗計、誑騙
たばかり謀ル(四段他動) 算計、暗
計、誑騙

たはく戲(下二段自動) ①玩耍、玩
兒、談諧 ②調戲(女ニフ)

たはけ戲(名) ①玩耍、玩兒、談諧

たは糊塗、愚

たはけもの戲者(名) 笨人、蠢人、
たば二煙草(名) ①煙、烟、菸、淡巴
姑 ②煙葉子(煙草) ③煙草(草)、蔞
草(詞) ④刻煙草(キザミ) 烟絲、皮絲
烟(卷煙草) ⑤煙捲兒、紙烟、
香烟(嗅煙草) ⑥鼻烟兒(葉卷
煙草) ⑦呂宋烟、雪茄烟(烟

草入(カ) 烟荷包、烟口袋(卷烟
草入) ⑧香烟夾(烟草盆) ⑨
抽烟的盤子、烟盤子(片煙) ⑩烟
草屋(ヤ) 烟兒舖(烟草商) ⑪烟
草製造人、煙商(煙草を吸ふ)
吃烟、抽烟

たは

たはこと戲言(名) ①玩笑的話、
玩耍的話、胡話、胡說、胡言亂
語 ②(コト) 謔語、夢話(戲言を云
ふ) 別說夢話、別糊說

たはこと戲事(名) 玩笑的事情
たばさむ手挟(四段他動) 夾、挾(腋
に手挟む) 挾在胛胛窩裡

たはし(名) 簾帚、炊帚、刷帚
たはしる手走ル(四段他動) 逆

たはた田島(名) 水田和莊稼地

たばぬ束(下二段他動) 挽、攏(髪を

たは

たは

束れる」挽髪〔藁を束れる〕攏上
稻草

たはむる戯ル〔下二段自動〕
①戯、玩

兒、玩耍、戲耍、鬧着玩兒〔毬を
投げて戯れる〕扔球兒玩兒〔蝶が
花に戯れる〕蝶戲花、蝴蝶兒採
花兒〔戯れて言ふ〕玩笑、耍笑、
鬧着玩兒說②調戲〔藝者に戯れ
る〕調戲妓女

たはむれ戯色 戲、玩兒、玩耍、
戲耍、鬧着玩兒〔戲を云ふ〕説着
玩兒〔造化の戯〕自然的惡劇、造
化的惡劇〔戯にもそんな事はす
るな〕鬧着玩兒也別做那麽樣
兒事情〔本氣でしたのては、ない戯
にしたのです〕不是成心做的是
鬧着玩兒哪

たはむれ戯色 戲、玩兒、玩耍、
戲耍、鬧着玩兒〔戲を云ふ〕説着
玩兒〔造化の戯〕自然的惡劇、造
化的惡劇〔戯にもそんな事はす
るな〕鬧着玩兒也別做那麽樣
兒事情〔本氣でしたのては、ない戯
にしたのです〕不是成心做的是
鬧着玩兒哪

たびげいしや 旅藝者〔色〕 走路的
妓女

たびげいにん 旅藝人〔色〕 走路的

たびごころ 旅心〔色〕 旅懷

たびごろも 旅衣〔色〕 行裝

たびさき 旅先〔色〕 在外頭、出家

在外 ①裝②行裝

たびじたく 旅支度〔色〕 ①豫備行

たびしやうぞく 旅裝束〔色〕 行裝

たびしよ 旅所〔色〕 神輿暫住之處

たびずまひ 旅住〔色〕 旅居

たびそ 旅僧〔色〕 容僧

たびだち 旅立〔色〕 起身、動身、起
程、起行

たびたび 再度〔色〕 再三、再三再
四的、三番兩次、屢次的、疊次
的、迭次、重三疊四的〔再度災難

たひ

たはたひ

たはむれがき 戲書〔色〕 戲書、戲筆

たはむれごと 戲事〔色〕 玩笑的事

たはら 俵〔色〕 苞

たはる 戯ル〔下二段自動〕 與たはむる
同

たはれめ 遊女〔色〕 妓、嫖子、妓

たはれを 蕩子〔色〕 蕩子、荒蕩鬼、
浪子、浪蕩子

たひ 鯛〔色〕 大頭魚、海鯽魚〔蝦で
鯛を釣る〕抛磚引玉、打抽豐、將
蝦釣蟹

たび 旅〔色〕 出外、走路、行旅、行
路〔旅は道連〕吃飯要發兒走路
要件兒

たび 足袋〔色〕 襪子〔足袋屋〕襪
たび度〔色〕 ①回、次、邊、頓

たびごころ 旅所〔色〕 客店
たびね 旅寢〔色〕 住店
たびのそら 旅空〔色〕 走路、出外、
行旅、行路
たびはだし 足袋跳足〔色〕 光着襪
たびびと 旅人〔色〕 走路的人、行
路的客人、旅客

たびぢ 旅路〔色〕 走道的道路
たびづかれ 旅疲〔色〕 行路疲乏
たびづと 旅苞〔色〕 旅行帶回來的
土物兒

たびごころ 旅所〔色〕 客店

たびね 旅寢〔色〕 住店

たびのそら 旅空〔色〕 走路、出外、
行旅、行路

たびはだし 足袋跳足〔色〕 光着襪

たびびと 旅人〔色〕 走路的人、行
路的客人、旅客

たびぢ 旅路〔色〕 走道的道路

たびづかれ 旅疲〔色〕 行路疲乏

たびづと 旅苞〔色〕 旅行帶回來的
土物兒

たびごころ 旅所〔色〕 客店

たびね 旅寢〔色〕 住店

たびのそら 旅空〔色〕 走路、出外、
行旅、行路

たびはだし 足袋跳足〔色〕 光着襪

たびびと 旅人〔色〕 走路的人、行
路的客人、旅客

たひ

たひ

たひまくら 旅枕〔色〕 與たびね同

たひみそ 鯛味噌〔色〕 大頭魚做的
醬

たひやう 多病〔色〕 多病、愛病

たひやくしや 旅役者〔色〕 走路的
唱戲的

たびやつれ 旅糞〔色〕 走路受累

たびよそほひ 旅裝〔色〕 行裝

たひら平〔色〕 ①平②山間之平原
③蹙着腿坐

たひらか 平〔色〕 平、平正、平靜、
平齊、平川、平坦〔心平ならず〕
心不平〔此道は平です〕這條道
路半正〔浪が平です〕波浪平靜

たひらかに 平に〔副〕 平、平平的、
平靜、平齊〔世平に治まる〕天下

たひまくら 旅枕〔色〕 與たびね同
たひみそ 鯛味噌〔色〕 大頭魚做的
醬
たひやう 多病〔色〕 多病、愛病
たひやくしや 旅役者〔色〕 走路的
唱戲的
たびやつれ 旅糞〔色〕 走路受累
たびよそほひ 旅裝〔色〕 行裝
たひら平〔色〕 ①平②山間之平原
③蹙着腿坐
たひらか 平〔色〕 平、平正、平靜、
平齊、平川、平坦〔心平ならず〕
心不平〔此道は平です〕這條道
路半正〔浪が平です〕波浪平靜
たひらかに 平に〔副〕 平、平平的、
平靜、平齊〔世平に治まる〕天下

たひ

たま

來了②不常〔偶來たのに御馳走
もしない〕我不常來的人連款待
也不款待〔今日は偶ですから緩
り話ませう〕您是不常來的人
今天閒談閒談罷

たまだれ玉垂〔名〕珠簾

たまつき玉突〔名〕檯球兒、小彈
子、彈子戲〔玉突臺〕〔名〕球兒
臺、打檯球的檯子〔玉突場〕〔名〕球
兒房、檯球房、彈子房〔玉突棒〕
〔名〕球兒杆兒、球杖、檯球棍子
〔玉突をする〕打檯球兒、打插
球兒、打小彈子

たまつくり玉造〔名〕與たますり
たまつばき玉椿〔名〕①茶花②香
棒

たまてばこ玉手箱〔名〕玉匣子

たまふ給フ〔四段他動〕常在動詞之
下表恭敬之意〔旅に出で立たせ
給ふ〕動身、啓程〔君暇せ〕にちっ
と遊に來給へ〕您有工夫請到舍
下來談一談

たまへん玉偏〔名〕斜玉旁兒
たままつり魂祭〔名〕祭祝魂靈
たまみづ玉水〔名〕房簷上滴下來
的雨水

たまむし玉蟲〔名〕吉丁蟲
たまもの賜物〔名〕所賜的東西、
賞號

たまや靈屋〔名〕祠堂、祖先堂
たまや玉屋〔名〕賣玉器的、玉器
舖

〔たまらない堪ラナイ〔形久遠〕了不
得、受不了〕寒くて堪らない〕冷

たま

たま

たまどり丸取〔名〕耍球兒
たまな球菜〔名〕洋白菜、椰菜、包
心菜、捲心菜

〔たまなし玉無〔名〕無何有〔初の
見込は玉無になった〕當初打算的
都歸無何有了

〔たまに適ニ・偶ニ〔副〕偶然、偶
爾、間或、往往兒、有時、有時候
〔偶に來ると金の無心です〕偶然
來了就尋錢〔偶には芝居でも見
たがよい〕有時候兒也可以聽戲
去罷〔偶には珍しい骨董品が手に
入る〕偶然也有得希罕的古玩
的時候

たまねぎ玉葱〔名〕葱頭、洋葱
たまのあせ玉汗〔名〕汗珠子
たまのうてな玉臺〔名〕玉檯

的了不得〔痛くて堪らない〕疼得
了不得〔こら堪らない火事だぞ〕
噯・了不得了着了火了

たまり溜〔名〕①坑〔水溜〕滲坑、
水坑②息待所、候房〔溜に扣へ
る〕在息待所歇着

たまりぢ溜血〔名〕瘀血
たまりみづ溜水〔名〕存着の水
たまる溜ル〔四段自動〕①存着、汪着
〔水が溜る〕水存〔汪〕着〔胃の中に
溜る〕存在胃裏②攢着〔金が溜
る〕錢攢着、錢存着③漬〔垢が溜
る〕泥漬着、漬着泥〔埃塵が溜る〕
塵埃漬着

〔たまる堪ル〔四段自動〕受得、了得
〔かう物價が高くなつては堪つたも
のではない〕物價這麼一長實在

たま

たま

たまのかんばせ玉顔〔名〕玉顔、
花顏

たまのこし玉輿〔名〕錦輿〔氏なく
して玉の輿〕隨夫賤隨夫貴
たまのさかづき玉盃〔名〕玉卮、
玉杯

たまのすがた玉姿〔名〕玉貌
たまのを玉緒〔名〕①串玉的線②
命、生命、性命、魂靈、命脈、命
線

たまはりもの賜物〔名〕賞號、所
たまはる賜ル〔四段他動〕賜、賞、給、
賞賜〔爵位を賜る〕賜爵、賜給爵
位〔死を賜る〕賜死〔勳章を賜る〕
賞賜勳章〔謁見を賜る〕蒙賜謁
見

受不了了〔さう催促されて堪
るものか〕你這麼催我我受得了
麼
だまる黙ル〔四段自動〕默、無言、不
言語〔黙って何も言はない〕閉口
無言、悶着甚麼話也不說〔自分
の利害に關するから彼も黙つては
居まい〕關于他自己的損害得失
他也不能閉口無言罷〔あの人に
告げないで黙つて居て下さい〕你
不用告訴他別言語就得了〔黙つ
て學校を休む〕不告假缺席、偷
學〔You? tsuichi?〕黙つて見て居なさ
い〕不言語你就看罷〔黙つて居
られない〕看不過〔視カ〕、聽不過
〔キキカ〕、不能默默而止〔そんな無
禮をされて黙つて居る者がありま

たま

たみたむ

すか) 人家如此待我無禮還有不言語的麼

たみ民(名) 民、人民、百姓、蒼生、黎民、平民、庶民

だみごゑ 訛聲(名) 啞嗓兒、啞聲、濁聲

だみん 惰眠(名) 懶惰

たむ 矯ム(下二段他動) 矯、彎(命を矯む) 矯命(枝を矯める) 彎樹枝兒

たむ 矯ム(下二段他動) 矯、彎(命を矯む) 矯命(枝を矯める) 彎樹枝兒

たむ 矯ム(下二段他動) 矯、彎(命を矯む) 矯命(枝を矯める) 彎樹枝兒

たむ 矯ム(下二段他動) 矯、彎(命を矯む) 矯命(枝を矯める) 彎樹枝兒

たむ 矯ム(下二段他動) 矯、彎(命を矯む) 矯命(枝を矯める) 彎樹枝兒

たむため

人の書を溜めて居る) 他家裡存着好些個古字

だむ(名) (Dum) 節流隄、壩

たむく 手向ク(下二段他動) 供(Bungu)

たむけ 手向(名) ①供(Bungu) ②餞

たむし 田蟲(名) 狗皮癬

だむだむだん(名) (Dumdam) 達姆達姆彈

たむろ 屯(名) ①屯 ②巡捕房

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

ため

は爲にならん) 矯養小孩子倒是害他哪(於小孩子沒有益處(貴下の爲に私も大變迷惑した) 爲您我也很爲難了(國家の爲に盡す) 爲國家盡力(友人の爲に骨を折る) 爲朋友爲(wee)力、給人出力、給人效勞、替人代勞(後で困難せぬ爲に今から金を溜めておく) 爲得是後來不爲(wee)難起現在就存下錢(私の爲には甚だ好都合だ) 於我很方便(私は運動の爲に車には乗らぬ) 我不坐車爲得是活動身子(保養の爲に温泉に行く) 爲得是保養身子(洗温泉去(世の中の人々が苦勞するのは利の爲か名の爲である) 世上人辛辛苦苦的不是爲利就是爲名

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たむろす 屯ス(佐變自動) 屯、屯駐

たもたや

たもつ 保ツ(四段自動) 保

たもつ 保ツ(四段自動) 保、享(天下を保つ) 保天下(百年の齡を保つ) 享一百歳の年歲(此城は糧食が無いからもう保てまい) 這個城缺糧食再保不住了

たもと 袂(名) ①袖子、袂(袂を分つ) 分袂、分手 ②脚、根兒(山の袂) 山脚、山底下、山根兒(橋の袂) 橋的海漫

たもと おとし 袂落(名) 襜褕兒

たもと ざけい 袂時計(名) 錶

たやう 多様(名) 樣式多的、種類多的

たやす 絶ス(四段他動) 使絶、使滅、使斷(爐の火を絶やさない様にする)

たやす 絶ス(四段他動) 使絶、使滅、使斷(爐の火を絶やさない様にする)

ため

ため

「風の爲に家が倒れた」 因爲颶風房子塌了(お爲こかしを云ふ) 嘴裡爲人說好其實圖自己的便宜

「だめ 駄目(名) 不行、無益、不成、糟、壞(君の様な者はいくら勉強しても駄目だ) 像你這麼樣的人怎麼用工也不行(あの病人はもう駄目だ) 那個病人已經不成了(今度の試験は駄目だった) 這回考試糟了(電が降って作物が駄目になった) 下了雹子了(庄稼都遭場了(駄目だ) 休矣、完了) 嘆

ためいき 溜息(名) 長嘆、長吁短

ためいけ 溜池(名) 水塘、塘池

ためし 例(名) 例(古からかう云ふ例がない) 自古沒有這個例

ためし 試(名) 試(一つ試に使って見

ため

ため

たや たゆ

る)別叫火爐子的火滅了(この花の種は絶しました) 這個花兒の子兒絶了

たやすく 輒ク(副) 容易

たやすし 容易シ(形久語) 容易、不難、輕(云ふのは容易いが行ふのは難しい) 説着容易辨着難(さう容易くは出来まい) 怕不能那麼容易辨(さう容易く返事しないでよく考へなさい) 你別這麼

輕答應得好好的思想
たゆ 絶ユ(下二段自動) ① 断[息が絶えた] 断氣了、喘氣了[深更になると往來が絶える] 到了深更半夜断了人的來往[絲が絶えた] 線断了 ② 乾[洋燈の油が絶えた] 洋燈的油乾了 ③ 絶[子孫が絶えた]

たゆ たよ

絶了子孫了[涙の絶ゆる時がない] 沒有不流淚的時候[兩人的交が絶えた] 兩人的交際絶了[勇武人に絶ゆ] 武勇絶倫 [望の綱が絶えた] 沒有指望了[絶え入る] 喘氣[絶え入るばかりに泣く] 哭的死去活來

たゆし 懈シ(形久語) 發猷、乏、困倦

たゆたひ 搖蕩(名) ① 搖蕩 ② 游移不定

たゆたふ 搖フ(四段自動) ① 搖蕩 ② 游移不定

たゆみ 弛(名) 弛、懈怠[弛無く勉強する] 不斷的用工

たゆむ 弛ム(四段自動) 弛、懈怠[心が弛む] 心弛、懈怠

たよう 多用(名) 事情很多、很忙

たよ

九一八

たよく 多欲(名) 多欲
たよたよ(副) 搖搖幌幌的(タドタド) 顛顛微微的(カナリ)

たより 便(名) ① 信、音信、信息、消息、風聞[よき便] 喜信、佳音 [此頃は一向便がない] 近來一點兒消息也沒有 ② 便[此次便がある時にお送り致します] 下次得便給您送去

たより 頼(名) 倚靠、倚賴、靠、仗、恃[事をするには人を頼にしてはならぬ] 做事別倚賴別人[彼は親戚も朋友もなく頼無き者です] 他也沒有親戚朋友實在沒有倚靠的人[私は何事も貴下を頼にして居ます] 甚麼事我都倚靠您

たよる 頼ル(四段自動) 倚靠、依賴、

「靴が泥だらけです」 鞋上竟是泥、一鞋的泥[體中泥だらけになった] 開了一身的土[此着物はつぎだらけだ] 這個衣裳竟是補叮[座敷中血だらけになった] 滿屋子都是血、一屋子的血[あの人は借金だらけだ] 他滿世界都是賒

だらう(助動) 許、罷[今日は雪が降るだらう] 今天許下雪[これだけの金は集らないだらう] 許湊不出這些個錢來[彼も承諾するだらう] 他也答應罷[今日は日曜だらう] 今天是禮拜不是、今天是星期罷

だらからず(四段他動) 與たらす同

だらく 墮落(名) 墮落、下流、下道、沒出息兒[あの人も友達に誘はれ終に墮落した] 他叫朋友引誘到底流為下道了[今の書生には墮落したのが多い] 現在的學生裡頭多有沒出息兒的[墮落書生] 沒出息兒的學生

だらけ(接尾) 一、滿、竟[手が墨だらけになった] 弄了一手的黑

だらしない(形久語) ① 沒規矩、無次序、懶散、邋邋、懶賴[あの女はだらしない] 那個婦女沒規矩、那個女人很懶賴 ② 敞胸露懷、敞着開兒[だらしない風をする] 敞胸露懷[彼は何をすにもだらしない] 他做甚麼拖泥帶水的沒有個俐擻

だらける(下二段自動) 懶[暑いので體がだらける] 因為熱身體懶

だらしない(形久語) ① 沒規矩、無次序、懶散、邋邋、懶賴[あの女はだらしない] 那個婦女沒規矩、那個女人很懶賴 ② 敞胸露懷、敞着開兒[だらしない風をする] 敞胸露懷[彼は何をすにもだらしない] 他做甚麼拖泥帶水的沒有個俐擻

だらけ(接尾) 一、滿、竟[手が墨だらけになった] 弄了一手的黑

だら たら

たら 九一九

たよ たら

仰賴、仗、恃、靠[友人に頼る] 倚靠朋友[財に頼る] 仗着錢財[貧乏で頼る方がない] 窮的沒落子[頼る所がない] 無所倚靠、沒有倚靠[彼等は何を頼って暮を立てて居りますか] 他們指着甚麼過日子呢 「嫩、柔嫩、孱弱、軟弱、孱弱、軟弱、孱弱、嬌」 若是、了、了就[花が咲いたら見に行かう] 若是花開了就看花去罷[本を讀んだら散歩に行く] 念完了書就逛逛去[彼はもう歸ったらう] 他已經回來了[罷] [昨日行ったら留守だった] 我昨天去了他沒在家

だら 弗(名) 與ドル同
たらう 太郎(名) 行大、大爺

たよ たら

たら

たらず垂ス(四段他動) ①垂、搭拉、懸、掛(兩手を垂す)搭拉着兩隻手(帶を垂す)搭拉着帶子(犬が尾を垂す)狗搭拉着尾巴 ②流、滴(涙を垂す)流眼淚(鼻を垂す)流鼻涕(水を垂す)滴水 ③放(簾を垂す)放下簾子

騙、引誘、勾引(女をたらず)誘姦婦女
「たらず(四段他動) 哄、誑、騙、誑」
「たらずまへ」不足(名) 不穀的地方
「たらたら(名) 滴滴打打的(汗がたらたら流れる) 汗滴滴打打的流(血がたらたら出る) 血滴滴打打的流出來了

べからず(文) 父雖不父子不可以不子 ②的「堂堂たる男子」堂堂的丈夫
「たり人(接尾) 個(二人の人) 兩個人(幾人の友達) 幾個朋友
「たり(助動) 又……又、與たり同」
「飲んだり食ったり」又喝又吃
ダリア(名) (Dahlia) 西蕃蓮、天竺牡丹
たりう他流(名) 別派、異派
タリウム(名) (Thallium) 鉛、錒、多留謨、台利武母鉛、里恩

たりき他力(名) 依靠別人
たりよう多量(名) 多、量多
たりる足リル(下一段自動) 與たる同
たる樽(名) 樽、罐
たる足(四段自動) 足、穀(十圓あ

たりたる

たら

不平
「たらたら(副) ①與たらたら同(汗をたらたら流す) 滴滴打打的流汗(節がたらたら融け出した) 糖滴滴打打的化起來了 ②離離拉拉(帶をたらたら垂す) 把帶子離離拉拉的拉着 「たらたら下り」一慢坡兒
「母 たらちね 垂乳根(名) ①母親 ②父たらひ 鹽(名) 鹽、盆(洗面盥) 洗臉盆(洗濯盥) 洗衣裳盆(洗足盥) 洗脚盆(行水盥) 洗脚盆(ギョウズ) 洗澡盆 「吃飽了たらふく(副) 飽(たらふく食ふ)」
「たらり(副) ①滴楞打楞的(絲瓜がたらり) ②滴楞打楞的(搭拉着) 搭拉着(頭を垂れる) 垂頭、低頭、

れば足りません」有十元就穀用(足るを知らば安し) 知足則安(子供が乳が足りない) 小孩子缺奶(これでは足りない) 這還不穀用(他は論ずるに足らず) 他不足爲論(人手が足りない) 人手不齊(彼はまだ力が足りない) 他的力量還不足
たる垂ル(下一段自動) 垂、搭拉、滴打(髪が垂れる) 頭髮搭拉着(帶が垂れる) 帶子搭拉着(血が垂れる) 滴打血(汗が垂れる) 汗滴滴打(この急須は漏って水が垂れる) 這把茶壺漏了滴水
たる垂ル(下一段他動) 垂、搭拉着、放下(手を下に垂れる) 把手往下搭拉着(頭を垂れる) 垂頭、低頭、

たる
たる

たらたり

九二〇

着(巴) 打的(雨の滴がたらりと顔に掛った) 雨點兒巴打的滴打(たらり(副) 同上 「臉上たり(助動タラ・タリ・タル・タレ) 了、過、矣(食ひたり) 吃了(聞きたり) 聽過、聞矣(文)

たり(助動) 又……又、來去、忽(泣いたり笑ったり) 又哭又笑、行(Wang) 哭就笑(降ったり照ったり) 又下又晴(願ったり叶ったり) 又如願又可心、又如意又趁心、你情我願(行ったり來たり) 走來走去(暑かったり寒かったり) 忽熱忽冷
たり(助動タラ・タリ・タル・タレ) ①爲(人の人たる所以は) 人之所以爲人(父父たる所以は) 子之所以爲子

垂首、把腦袋搭拉着(小便を垂れる) 撒溺(大便を垂れる) 拉屎(屁を垂れる) 放屁(涙を垂れる) 流眼淚(鼻を垂れる) 流鼻涕(簾を垂れる) 放下簾子(恩惠を垂る) 垂恩惠(名を後世に垂る) 名垂後世(枝を垂れる) 樹枝兒垂下來
たるがき標柿(名) 漚(Yan) 的梯子
たるき垂木(名) 椽木
たるい(形久活) 懶、沒勁、沒精神、酸、發倦、倦怠(身體がたるい) 身體懶、身體覺着發倦、身體酸懶、四肢無力(腰がたるい) 腰酸

たるい(形久活) 同上
たるだ(樽代) 代酒(送禮物之用語與代鈴喜敬祝敬等語同)

たる

九二一

たるたれ

たるぬき樽拔(名) 漚(Lun)梯子

たるひ垂氷(名) 與つらら同

だるま達摩(名) ①達摩、達摩老

祖②攀不倒(オキヤガリ)③妓女

たるみ弛(名) 鬆、弛

たるむ弛ム(四段自動) 鬆、弛(繩が弛んで居る) 繩子鬆着(氣が弛む)

精神不振、大意

たるむ弛ム(下二段他動) 鬆、弛(繩を弛める) 鬆繩子

たれ垂(名) ①垂②轎簾兒③烤肉

たれ誰(代) 誰

だれ誰(代) 同上「彼は誰だ」他是誰啊「誰も行かない」誰都不去

「これは誰のですか」這是誰的「たれかれ誰彼(名) 誰、誰和誰(誰彼の差別なく) 不分誰和誰、無

たれたわ

論誰和誰、無論甚麼人

たれこむ垂籠ム(下二段他動) 閉居、

在家裡悶着

たれさがる垂下ル(四段自動) 垂下、

搭拉下來

たれながし垂流(名) 隨地便溺

たれぬの垂布(名) 簾子

たれびと誰人(名) 誰

たれみそ垂味噌(名) 醬湯兒 「朶たれみみ垂耳(名) 兩耳垂肩的耳

「だれる」(下二段自動) ①膩「演説が長いので聴衆がだれて来た」因爲演説太長聽的人都膩了②衰敗、

委頓「元氣がだれる」精神委頓「身代がだれて来た」產業衰敗起

だるう能樓(名) 能樓 「來了」(たわいない(影久語) ①謔語、夢

たわたん

話「たわいもない事を云ふ」說謔語、說夢話、糊說②糊塗、迷糊

「酔うてたわいが無い」醉糊塗了「よく眠ってたわい無い」睡迷糊了

「たわい無い奴だ」他是沒本事了「たわむ撓ム(四段自動) 彎 「的人

たわむ撓ム(下二段他動) 使彎

だるん橢圓(名) 長圓、橢圓、橢圓、

鶯蛋形、腰圓

たをやか(名) 與しなやか同

たをやめ手弱女(名) 婦女、女人

たをる手折ル(四段他動) 折(chiwei)

たん單(名) 單

たん歎(名) 歎

たん膽(名) 膽、膽子

たん短(名) 短

たん且(名) 且(影久語)

たん痰(名) 痰「痰を吐く」吐痰、哮喘「痰を切る」祛痰「痰が出る」出痰、生痰「痰が喉につまる」痰壅

たん端(名) 端 「住嚙子

たん丹(名) 丹

たん段(名) ①以兩丈八尺爲一段

たん淡(名) 淡 「②三百歩(一歩爲方

だん斷(名) 斷

だん男(名) ①男、男子②子「某の男」某之子③男爵

だん段(名) ①磴兒、階級、臺階、

級「階段」(カイ)樓梯「この階段は十二段ある」這個樓梯有十二級

「梯子の段」梯子的磴兒「段をつける」做出磴兒來②程度「二人

的能耐差程度(差着層次)、兩

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

たん

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

九二二

たん

(Bank) 參劾(政府の不法行為を彈劾する) 彈劾政府の不法行為

だんがい 斷崖(名) 山崖、懸崖

たんかう 炭坑(名) 煤礦、煤窰(炭坑主)(シユ) 經營煤山的人

たんかう 單行(名) 單行(一人デタ)、自

己單走(同) 單行本(ホシ) 成一卷的書

だんかう 斷行(名) 一定辦、辦定的

たんかく 蛋殼(名) 雞蛋殼兒、雞蛋皮兒

だんがふ 談合(名) 商量、商議

たんかん 單簡(名) 簡斷、簡捷、簡便

たんき 短期(名) 短期(短期手形)(テリタ) 短期期票(短期貸附)(シツカ)

たんげつ 端月(名) 端月、正月

だんげつ 斷決(名) 決斷、斷定、斷明

だんけつ 團結(名) 結團、團聚(團結心)(シ) 團體精神、團體相護的

たんけん 短劍(名) 短劍、短刀

たんけん 短見(名) 短見

たんけん 探險(名) 探險、探索、探察、探尋(蕃地を探險する) 探尋蕃地、往蕃地探險(探險家)(カ) 探險家、探尋的(探險隊)(カ) 探險隊

たんげん 端巖(名) 端巖

だんげん 斷言(名) 斷言

たんご 短袴(名) 短褲子

たんご 單語(名) 單語

たん

たん

短期放款

たんき 單騎(名) 單騎、獨馬

たんき 短氣(名) 急性子、不耐煩、

たんき 膽氣(名) 膽氣 「心急

たんき 單記(名) 單記 「條

だんき 彈機(名) 逆簧、逆弓子、發

だんき 暖氣(名) 暖天氣、暖氣的

だんぎ 談議(名) 商量、商議

だんぎ 談義(名) 講道理(事ノ理ヲ)

だんぎ 説法(名) 説法(説法、説經)(上)

たんきり 痰切(名) 探痰

たんきり 痰切(名) 祛痰(痰切館)

たんく 短句(名) 短句 「劑

たんく 單句(名) 單句

たんく 短體(名) 身體兒矮

たん

タンク(名) (Tank) ①大桶、大槽、

水櫃 ②裝甲戰車、當克、坦克

(瓦斯タンク) 油槽、煤油桶、油池

油タンク) 油槽、煤油桶、油池

子、煤油池棧

タンゲステン(名) (Tungsten) 鎢

金、鎢鑛、探司登

たんくわ 炭火(名) 炭火

たんくわ 炭礦(名) 煤窰、煤礦

たんくわ 蛋黃(名) 蛋黃

たんぐわん 歎願(名) 哀求、哀訴

だんぐわん 彈丸(名) 彈丸、槍子

兒(彈丸雨飛)(ウ) 槍林彈雨、彈如雨下

たんけい 端溪(名) 端硯

たんげい 端倪(名) 端倪

だんけい 男系(名) 男系

九二四

たん

たんご 單坐(名) 獨坐

たんざ 端坐(名) 端坐

たんざ 探査(名) 探査、試探

だんご 斷獄(名) 斷獄

だんご 痰癆(名) 與こぶ同

だんご 男根(名) 與なんこん同

だんご 探査(名) 探査、試探

だんご 端坐(名) 端坐

だんご 單坐(名) 獨坐

たんご 淡紅(名) 淡紅

たんご 鍛工(名) 鍛工、鐵匠

たんご 斷口(名) 切的岔兒、截

だんご 男工(名) 男工 「口

だんご 暖國(名) 氣候溫和的國

たん

だんご 團坐(名) 團坐 「舞妓

だんご 短才(名) 短才、菲才

だんご 淡彩(名) 淡彩色

だんご 斷罪(名) 殺罪、斬罪

だんご 端莊(名) 端正、端莊

だんご 淡粧(名) 淡粧、素粧

だんご 男裝(名) 女扮男裝

だんご 探索(名) 探索、探訪(犯

人の行方を探索する) 探索犯人

的下落(探索の結果事件の真相が

分つた) 探索了探索纔明白了事

情的所以然 「る」切長方條兒

たんざく 短冊(名) 詩箋(短冊に切

たんざん 炭酸(名) 炭酸(炭酸瓦斯)

九二五

汽水〔炭酸曹達〕(ソーダ) 與ソーダ
 たんざん 炭山(名) 煤山 「同
 だんじ男子(名) ①男子、男孩子
 (男) ②男子漢、大丈夫、爺們(私
 も男子じゃ決して食言せぬ) 我也
 是男子漢決不食言(男子に生れ
 た甲斐がない) 白生爲男子了、
 白是個爺們了(男子を生んだ) 生
 了一個男孩子
 だんじ男兒(名) 同上
 だんじ談次(名) 言次
 たんじう短袖(名) 短袖子
 だんじかん 短時間(名) 不多時、暫
 且、片時
 だんじき 斷食(名) 戒食、禁食、斷
 食、絶食、絶粒

たんじつ 炭質(名) 煤的身分兒
 たんじつ 短日(名) 天短、短天
 たんじつ 誕日(名) 生日
 だんじつ 煖室(名) 煖洞子
 だんじて 斷ッテ(副) 斷、斷然、斷
 乎、絶、萬(斷じて承知出来ない)
 我萬不能答應、我斷不能應承
 (斷じてそんな理屈はない) 斷無
 此理 「青、膽水、肝膽汁
 たんじふ 膽汁(名) 膽汁、黃水、膽
 たんじや 丹砂(名) 丹砂
 だんじや 團社(名) 打夥
 たんじやう 嘆賞(名) 嘆賞
 たんじやう 淡粧(名) 淡粧、素粧
 たんじやう 誕生(名) ①生、生産
 (此子は今年三月の誕生です) 這

個孩子今年三月生的 ②生日、
 壽旦、生辰(二た誕生の子供) 兩
 生日的孩子、兩週歲的孩子(誕
 生日) ①生日、生辰、壽誕、誕
 辰、誕日(誕生日を祝ふ) 祝壽、
 拜壽、賀壽誕之喜、慶壽(誕生日
 の祝をする) 辦生日
 だんじやう 男娼(名) 相公
 だんじやう 壇上(名) 壇上
 (たんじやく短尺(名) 與たんざく
 だんじやく男爵(名) 男爵 「同
 たんじゆ 丹朱(名) 丹朱
 たんじゆ 短銃(名) 手槍
 たんじゆ 短縮(名) 縮短、縮減、
 減短、截短(期限を短縮する) 縮
 短期限(労働時間を短縮する) 縮
 短工時(操業を短縮する) 減紡棉

たんじゆん 單純(名) 單一、單純、
 簡單、一個(彼の思想は單純で
 す) 他的思想是一條道、他的思
 想是率真的(單純な機械) 簡單
 的機器(單純な理由) 就是一個
 理由兒
 たんじよ 短所(名) 短處(人にはそ
 れぞれ長所短所がある) 各人有
 各人的所長所短(人の短所を掲
 げる) 揭人家的短處
 たんじよ 端書(名) 與はがき同
 たんじよ 端緒(名) 端緒、頭緒
 だんじよ 男色(名) 男色、男風、
 だんじり 樂車(名) 會車 「鷄姦
 たんじん 誕辰(名) 誕辰、誕日、生
 誕、壽誕、生日

たんしん 丹心(名) 丹心、赤心、誠
 心
 たんしん 單身(名) 單身、單丁、形
 隻影單、隻身一人、單人獨馬
 たんす 箏筒(名) 櫃子、衣櫃、衣厨、
 衣服櫃子(箏筒屋) 櫃箱舖
 たんず 彈ズ(佐他動) 彈(琴を彈ず)
 たんず 歎ズ(佐他動) 歎 「彈琴
 ダンス(名) (Dance) 跳舞、舞踏
 [ダンスホール] 跳舞場
 だんず 談ズ(佐他動) 談(時事を談
 ず) 談時事(兵を談ず) 談兵
 (だんじる 談ッル(佐他動) ①談 ②
 商量、商議
 だんず(佐他動) 斷(獄を斷ず) 斷獄
 たんずる 淡水(名) 淡水
 だんずる 斷水(名) 斷水(水道が斷

水になつた) 自來水斷了水了
 たんせい 丹誠(名) ①丹心、誠心
 ②盡心竭力、苦心、費力的、用
 功的(丹誠して書いた繪) 盡心竭
 力畫的畫兒
 たんせい 丹青(名) 丹青
 たんせい 歎聲(名) 歎聲(歎聲を漏
 す) 長吁短歎、噯呀的一聲
 たんせい 端正(名) 端正、端方、端
 莊
 だんせい 男性(名) ①男、陽、雄、公
 ②男類、雄類、陽類、男性、男造
 だんせい 男生(名) 男學生(男生
 徒) 同上
 たんせう 短小(名) 短小
 だんせう 談笑(名) 談笑
 たんせき 旦夕(名) 旦夕(危きこと

且夕にあり「危在旦夕」病篤且夕
夕を保し難し「文」病篤且夕不保夕
「且夕に迫る」文 迫於旦夕
たんせき痰咳「色」吐痰咳嗽、痰
咳「痰咳止」(一)化痰止咳、祛痰
鎮咳
たんせつ鍛接「色」并鐵、接鐵、煨
たんせつ短折「色」短命 「接
だんせつ斷截「色」與截斷(せん)同
だんぜつ斷絶「色」斷絶「音信が斷
絶した」音信斷絶了「子孫が斷絶
した」子孫斷絶了「國交斷絶」斷
絶國交「一家斷絶」絶戸
たんせん單線「色」單線、單軌
たんぜん丹前「色」①襖之一類②
與下語同「丹前姿」(まけ)俠客的
打扮

だんせん團扇「色」①團扇②江瑤
柱 「斷線した」電線斷了
だんせん斷線「色」線斷了「電線が
だんぜん斷然」(副) ①斷然、斷乎、
斷斷乎「斷然承諾せぬ」斷斷乎
不答應②極、極端「斷然痛快だ」
痛快極了「僕は斷然賛成だ」我是
極端的賛成 「碳素紙
たんそ炭素「色」碳、碳素「炭素紙」
だんそう彈奏「色」彈奏 「節
だんそう斷層「色」斷層、地層錯
たんそく歎息「色」歎息、歎氣、嗟
嘆、唉聲、嗟嘆氣 「三
だんぞく斷續「色」斷續、接二連
だんそんぞよひ男尊女卑「色」男
たんだい探題「色」探題 「尊女卑
だんたい團體「色」團體、夥伴「團

體を組む「結團體、打夥伴、合夥
「民衆團體」(マッシュ)民衆團體
たんたう擔當「色」擔當、擔任
たんたう短刀「色」短刀、短劍
たんたう坦道「色」坦道、平道
だんだう彈道「色」彈道
たんたうちよくにふ單刀直入「色」
直截的、斬截的、明白的、單刀
直入
だんだら段段「色」與下語同「段段
縞」(シマ)各樣顏色橫道兒的布
タンタル「色」(Tantalum)鉭、祖
塔蘭
たんたん坦坦「副」坦坦、平坦
だんだん段段「色」階級、品級、樓
梯、階兒「段段を上って行く」上樓

梯去「段段なつける」按燈兒「段
段になつた段」歩歩的臺階兒
だんだん段段「副」①漸漸的「段
段寒くなる」一天比一天冷、漸
漸的冷「世の中が段段開けて來
る」世面兒上漸漸的開通起來
了②越發的「話が段面白くな
る」話越發的有趣兒了③各樣、
諸、諸多「段段と御世話様になっ
て有難うございます」諸事蒙您
照應實在多謝了
たんち探知「色」探知 「地方
だんち暖地「色」暖地方、暖和的
たんちやう丹頂「色」朱頂鶴
たんちやう探聽「色」探聽
だんちやう斷腸「色」斷腸、摘心、

斷了腸子の
だんちゆう檀中「色」施主
だんぢよ男女「色」男女「男女同
權」(ウインド)男女平權「男女共學」
(ヤウガク)男女同學
だんつう段通「色」毡子、毯子
(だんつく)老爺
たんつほ痰壺「色」與唾壺(ゴト)
たんてい端艇「色」小船、小艇、舢
板
たんてい探偵「色」探子、包探、偵
探、細作、奸細、眼線、耳目、包
打聽、探訪的、刑事巡警「探偵
掛」(かり)管偵探的「探偵吏」(リ)
偵探員「探偵が密偵する」偵探密
訪到各處
だんてい斷定「色」斷定、決定「斷

定を下す」下斷定、斷就、斷出
だんてい彈程「色」彈力所及
たんてう單調「色」①單音、單調
②沒有意思、平平無奇、千篇一
律的、無變化的、單調「下宿屋生
活は單調です」在公寓裡住沒有
意思「此問題は頗る單調です」這
件事是平平無奇的「單調な演
説」板滯無變化的演說「單調な
生活」單調生活、平庸生活
たんてき端的「副」立刻、眼看「因
果は端的に來る」因果立刻就來
たんてき耽溺「色」耽溺、沈溺、沈
醉、熱中
たんてつ鍛鐵「色」鍛鐵、鍊鐵
たんでん炭田「色」煤田、煤盤池
たんでん丹田「色」丹田

たん

(たん) 許多、很多

だんと 檀徒(名) 施主 「斷頭機

だんとう だん 斷頭臺(名) 斬首機

たんとく 丹毒(名) 赤遊、天火、丹

毒

たんごく 單獨(名) 單人兒、單身、

單人獨馬、隻身一人、單獨、孤

身、獨自一人、獨自個兒

だんごく 檀得(名) 東洋芭蕉 「序

だんごり 段取(名) 打算、預備、次

だんな 旦那(名) ①施主、檀越、檀

那 ②老爺、大人、先生(旦那那)

大老爺(若旦那) 少爺(少旦那) (且

那) 御宅ですか) 你們老爺在家

了麼 (且那人力車に召しません

か) 老爺要洋車不要(あの妾は且

那に見離された) 那個姨奶奶老

たん

爺把他休了 ③主顧(主) ④良人、

男人(旦那寺) (テ) 所歸依之寺

院(旦那取) (トリ) 做小、當姨奶奶

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん 膽囊(名) 膽囊、膽胞

たん

さう親切にしてやれば先方もたんのうします) 您這麼待他有情有

義的他也滿足了

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たん

だんばつ 斷髮(名) 剪髮(斷髮の娘)

だんばな 段鼻(名) 曲曲灣灣的鼻

たんばつじゆう 單發銃(名) 單響

たんばん 膽礬(名) 膽礬 「槍

だんばん 談判(名) 商議、磋商、協

商、交渉、商酌、磨對、談判(兩

國間の談判が破裂した) 兩國的

交渉破裂了、兩國的談判決裂

了(媾和の談判を始めた) 開了講

和的交渉了(この事件は私が彼

に談判しませう) 這件事情我可

以跟他動交涉(値段が高いから

もう一度談判しなさい) 他要的

價太大你再和他磨對磨對去

たんび 嘆美(名) 嘆美、讚嘆

たん

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

だんぶら 段平(名) 大砍刀

たん

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たんばう 探訪(名) ①探訪、偵探

たん

圖〔横断面〕(ワウ) 横断面〔縦断面〕
(ジユウ) 縦断面

〔たんもち痰持〕有痰病的人

たんもの反物〔色〕 綢緞之類

たんや 鍛冶〔色〕 鍛冶 「月節

たんやう 端陽〔色〕 端陽、端午、五

だんやく 彈藥〔色〕 彈藥、子藥〔彈

藥車〕(ジ) 子藥車

たんゆう 膽勇〔色〕 膽勇

だんらく 段落〔色〕 ①段落、段兒

〔文章の段落〕文章の段兒 ②着

落 (cho. to) 〔い〕で此事情も一段

落がついた 這麼着這事也有着

落了 〔一段落を告げる〕告一段落

たんらん 貪婪〔色〕 貪婪

だんらん 團圓〔色〕 團圓、團圓〔一

家團圓〕一家子團圓

ち乳〔色〕 ①乳、奶 ②乳兒(チ) ③環

兒〔旗の乳〕旗子環兒〔幕の乳〕

帳子の環兒

ち地〔色〕 地〔此地の人〕本地的人

〔地を接す〕接地〔主客地を易ふ〕

主客易地〔一頭地を抜く〕出人

一頭、出一頭地〔此地は瘦せて何

も出来ない〕這塊地是瘠田甚麼

也不能種〔此地は桑に適してお

る〕這兒的地土種桑樹很相宜

ち治〔色〕 治

ち茅〔色〕 茅

ち智〔色〕 智

ち答〔色〕 答

ち痴・癡〔色〕 痴、癡

ち知〔色〕 知

ち千〔色〕 千、一千

ち

たん

たんり 貪吏〔色〕 貪吏、貪官汚吏

たんりやく 膽略〔色〕 膽略

たんりよ 短慮〔色〕 急性子

たんりよく 膽力〔色〕 膽力

だんりよく 弾力〔色〕 逆力、弾力、

躍力、縮力、彈性、自復性、反跳

力、彈回力、躍回力

だんりん 檀林〔色〕 檀林、和尚廟

たんれん 鍛錬〔色〕 鍛錬

たんろ 坦路〔色〕 坦道、平道

だんろ 煖爐〔色〕 火爐子(コロン)、洋

火爐子(ヒト)

だんろん 談論〔色〕 談論、言談、叙

だんわ 暖和〔色〕 暖和

だんわ 談話〔色〕 談話、說話、言

談、叙談、交談、談論、會話〔談

話體〕(タ) 白話的文體、語體文

ち桂〔色〕 琴馬兒

ち地〔色〕 地、質、質地〔地の人〕本

地的人〔地の産物〕地道貨〔地を

ならず〕塾地〔赤い地に白い模様〕

紅地兒白花様〔この羅紗は地が

うすい〕這個呢地兒薄〔白粉がは

けて地が見えて居る〕粉落了看

出地兒來了〔地がまだ乾かない〕

地還沒乾哪

ち痔〔色〕 痔、痔瘡、痔核(イボ)、痔

ち治〔色〕 治

ち路〔色〕 ①道路 ②路程〔二日路〕

〔ラッカ〕兩天的路程〔陸路〕(タガ) 旱

路〔海路〕(ウナ) 水路〔山路〕(ヤマ) 山

路〔大路〕(オホ) 大道

チース〔色〕 (Cheese) 乾黃油、牛奶

酥、牛奶餅、奶豆腐、奶餅

ちち

たんち

〔談話會〕(クワイ) 談話會

たんの單位〔色〕 一、單、獨一、公

匿 (unit) 準箇、起碼數

だんろん 團圓〔色〕 ①團圓(ルキ) ②

了結、團圓

だんをち 檀越〔色〕 施主、檀越

ち

ち

ち血〔色〕 血〔血を吐く〕吐血〔血が

流れる〕血流〔血の涙を流す〕流

血涙〔血で血を洗ふ〕以血洗血、

以暴易暴〔血を分けた兄弟〕骨肉

弟兄、親哥兒們〔血の雨を降ら

す〕打的血漂似的〔血を取る〕取

血、放血、刺絡〔血を流して得た

る〕流血而得的、拼命取來的

チム〔色〕 (Team) 一隊、一團、一

組〔蹴球のチム〕踢球隊〔野球

のチム〕野球隊

ぢあひ 地合〔色〕 地兒

ぢあみ 地網〔色〕 趕網

ちあれ 血荒〔色〕 小産(サシ)

ちあん 治安〔色〕 治安、公安〔治安

妨害〕(ウガイ) 妨害治安

ちい 地異〔色〕 地異

〔ぢい 祖父〕 祖父

〔ぢい 爺〕 老頭兒

ちいう 知友〔色〕 知友、知己的朋

ちいく 智育〔色〕 智育

ちいみ 血忌〔色〕 黑道日

ちいん 知音〔色〕 ①知音、親友、知

己、相好的 ②認識的(シリア)

ちいん 遅引〔色〕 耽延、遲延

ちち

九三三

ちか

す)不可近於惡人、別和壞人來往(暖爐に近いて坐る)挨着洋爐子坐(近いて見る)臨近了看(快(正月が近いて來た)快到了年下了(戰爭ももう終に近いた)打仗也快完了)

ちかづく(下二段他動)

①近、親近(小人を近け君子を遠く)近小人遠君子(貴下は彼を近けなざるな)您別和他親近

ぢかに直ニ(副)

①親自、自各兒、自己(直に談判する)親自商酌(直に手渡する)親自交給、直接手交(光(しやつ)を着す直に上着を着る)光穿馬褂兒不穿汗榻兒

ぢかね地金(名) ①生金、生成金

ちか

塊、生銀、荒金、荒銀(胎兒、地兒(鍍金(キツ)がはけて地金が出た)鍍金掉了露出胎兒來了(本心、本性、本來面目(あの男も終に地金を出した)他到底露出他的本心來了(地金の鏽)生來的毛病)

ちかひ誓(名) 誓、盟、盟誓、誓言、宣誓(誓を立てる)起誓、立誓、發誓、宣誓、發願(誓に背く)犯誓、背誓、負誓(血を飲つて誓をする)歃血爲盟

ちがひ差(違)(名) 差、錯(毫厘の差が千里の謬となる)差之毫釐謬之千里(私と彼とは三つ違です)我和他差三歲(それに違はありませぬ)那是不錯的、那是一定

ちがひ違(下二段他動)

了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちか

了、那是錯不了的(二人の性質は大違です)他們倆人的性格兒差得很(大した違はありませぬ)不差甚麼的、差不了多少(雲泥の差)差得天地懸隔(まるで雪と炭との差です)簡直的是雪和炭的分別似的(思違)想錯了(言違)說錯了(「孺子

ちがひだな違棚(名) 上下交錯的

ちがひなし違無シ(形容) 沒有錯兒、一定(それに違無い)那是不錯的、那是一定的了、那是錯不了的(明日は違無く行きます)明天一定去

ちかひぶみ誓文(名) 誓文、誓書

ちがひめ違目(名) 不一樣的地方、所差的地方、不同之處、相異之處

ちかふ誓(四段他動) 誓、盟、起誓、發誓、立誓、宣誓(神佛に誓ふ)在神佛跟前發誓(誓って義兄弟になる)結盟拜把子(誓って此仇を返す)誓必報這個仇

ちがふ違(四段自動)

①差、錯、不對、不一樣(貴下方は考が違つて居る)你們想錯了主意了(計算が違ふ)算的不對(前と違つた方法です)用和上回不一樣的方法(前後口が違ふ)說話前後不符(昔と違つて今は交通が便利です)現在和古時候兒不同交通很方便(筋の違つた事をする)做不正經的事情(毎日相場が違ふ)一天一個行市(壞、糟(當にし

た事が違つた)指望的事情都壞了(背、違背(それでは約束が違ひます)若這麼一來就背約了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちがひ違(下二段他動)

了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちがひ違(下二段他動)

了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちがひ違(下二段他動)

了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちがひ違(下二段他動)

了(氣が違ふ)瘋了(約束を違へる)背約、違背(約會了意、誤會(書き違へる)寫錯了(數へ違へる)算錯、算差、誤算、打錯了算盤(見違へる)看錯了(聞き違へる)聽錯了(云ひ違へる)說錯了、說差了、言差了(換(道を違へて行く)換個道路走(方法を違へる)換個法子(服裝を違へる)換個服色(扭、筋扭、腰(筋を違へる)扭了筋了(骨を違へる)矮骨頭

ちか

ちか

ちか

九三七

九三六

ちか

近、挨〔悪友を近寄せる〕近乎
 壞人〔椅子を近寄す〕把椅子弄
 近了一点兒〔さう近寄せて見る
 と目が悪くなる〕你這麼儘挨着
 看眼睛就壞了〔敵を近寄せない
 爲に壕を掘り壁を築く〕爲得是
 不叫敵人挨近挖護城河砌城牆
 〔壁に近寄せて柱を立てる〕挨着
 牆立柱子
 ちかよる 近寄ル〔四段自動〕 挨、近、
 挨近、臨近、走近、快〔近寄って見
 る〕挨近着看、臨近了看〔試験が
 近寄る〕考試快到了〔正月が近寄
 った〕快到了年下了〔品行が端正
 なれば悪人は近寄らない〕人若是
 品行端正壞人不能近〔私の方へ
 近寄ってお掛けなさい〕挨着我這

ちか

兒坐〔危險で側へも近寄られな
 い〕危險的不能挨近〔城門に近
 寄る〕走近了城門
 ちから力〔名〕 力、力量、力氣、勁
 兒、勁頭兒〔藥の力〕藥力〔學問
 の力〕學問的力量〔筆の力〕筆力
 〔金錢の力〕財力〔一臂の力を添へ
 る〕助一臂之力〔暗記をする〕語
 學の力がつく〕一背念語學就有
 進步〔力の及ぶだけ盡す〕盡我力
 所能及〔到底私の力には及びませ
 ん〕我的力量總是擔不了、究竟
 非我力之所能〔力盡きて降參す
 る〕力盡投降〔Niang〕力を入れ
 る〕使勁、用力、使力〔言葉に力
 を入れて話す〕話使勁兒的說〔國
 家の爲に力を盡す〕爲國家盡力

ちか

〔彼はひどく力を落した〕他很灰
 心了〔彼の今日あるは細君内助の
 力です〕他有今日は虧他夫人内
 助之力〔實に力のある文章です〕
 實在有力量的文章〔この畫は力
 が這入ってない〕這張畫兒沒有
 神氣〔牛は力が強い〕牛勁頭兒大
 〔傍から力をつけてやる〕在傍邊
 兒拿話勉勵人〔力がつく〕長力
 量〔力と頼む人〕最倚賴的人〔信
 用の力と云ふものは大したもの
 です〕信用的力量實在可驚〔私の
 力で出来る事なら何なりと致しま
 す〕無論甚麼事只要是我力量
 所能的事請您吩咐罷〔互に力を
 併せて事をする〕彼此協力辦事
 〔力を借す〕助力、爲力〔彼はあれ

ちか

だけの家族を養ふ力がない〕他没
 有力量養活那些個人口〔力は正
 義なり〕強權是公理
 ちからいし力石〔名〕 制石、誌石
 ちからおとし力落〔名〕 灰心
 ちからがね力金〔名〕 摻子
 ちからくらべ力競〔名〕 角力、賽
 勁頭
 ちからこぶ力瘤〔名〕 胳膊上的蝦
 蟄咕朶、筋壯〔力瘤を入れる〕1.
 使勁2.盡心力3.給人爲力
 ちからじまん力自慢〔名〕 顯賣自
 己的力氣
 ちからだめし力試〔名〕 試力氣
 ちからづく力盡〔名〕 以力、用強
 力、用暴力、力壓〔力盡で取る〕
 以力取

ちか

ちからづく力付ク〔四段自動〕 〇復
 元、還元 ②勁頭兒長〔病後逐
 逐に力付く〕病後漸漸的還元了
 〔毎日武術を練るので力付いて來
 た〕每天練武所以勁頭兒長起
 來了
 ちからづく力付ク〔下二段他動〕 鼓舞、
 勉勵、提精神〔彼は失望して居る
 から力付けてやりなさい〕他灰心
 了你再給他提提精神
 ちからぬけ力脱〔名〕 力氣衰敗、
 喪胆、垂頭喪氣
 ちからまかせ力任〔名〕 使力、使
 勁〔力任にひたたくる〕使全身的
 力氣搶過來了
 ちからまけ力負〔名〕 使過了勁輸
 ちからみづ力水〔名〕 擦跤時喝的

ちか

水
 ちからもち力持〔名〕 練力氣的生
 ちからわざ力業〔名〕 練武
 ぢかり地借〔名〕 租地、租地的人
 ちかん痴漢〔名〕 痴漢、傻子
 ちき穉氣〔名〕 孩子氣、孩氣、孩子
 皮氣
 ちき知己〔名〕 知己、知己的朋友
 ちき扛秤〔名〕 與ちきり同
 ちぎ干木〔名〕 房脊頭兒
 ちぎ地祇〔名〕 地祇
 ちぎ遲疑〔名〕 遲疑、遲疑不斷、游
 移不定、三心二意的
 ぢき直直 ①就、這就、立刻、馬
 上〔私は直來ます〕我就來〔覺え
 てもちき忘れる〕雖然記住立刻
 就忘 ②快、不遠〔此處からはも

ちくじやう築城(名) 築城
 ちくせき逐斥(名) 斥退、趕出去
 ちくせき蓄積(名) 蓄積、蓄聚、聚積 「奶奶」
 ちくせふ蓄妾(名) 蓄妾、養活姨
 ちくたう竹刀(名) 竹刀
 ぢぐち地口(名) 兩岐戲詞、雙關
 戲話、雙關的笑話
 ちくちく(副) ①一陣一陣的「齒がちくちく痛む」牙一陣一陣的疼
 ②一扎一扎的「針でちくちく刺される様だ」拿針一扎一扎的様子
 ちくでう逐條(名) 按着條款、逐款、逐條、分條、一條一條的、一項一項的

ちくてん逐電(名) 亡命、逃亡、逃跑、遠颺、遠走高飛
 ちくでんち蓄電池(名) 蓄電池、積聚電壘、電倉
 ちくば竹馬(名) ①竹馬(馬ノ玩具ナリ) ②與たけらま同「竹馬の友」竹馬好、總角之交
 ちくはく竹帛(名) 竹帛
 ちくはぐ(名) 單彌兒的「方方が壞れてちくはぐになった」壞了一隻成了單彌兒的了
 ちくはつ蓄髮(名) 蓄髮
 ちくび乳首(名) 乳頭、砸子頭兒、奶頭、啞啞兒
 (ぢぐも蜘蛛(名) 與ちぢぐも同
 ちくやう畜養(名) 蓄養
 ちくりよくき蓄力器(名) 堆力機、

積力機、力倉
 ちくりん竹林(名) 竹林
 ぢぐるま地車(名) 重載車、貨車、大車、做車 「口、牲畜」
 ちくるる畜類(名) 畜類、畜生、牲
 ちくれん竹籬(名) 竹籬子
 ちくろ舳艫(名) 舳艫
 ちくろく逐鹿(名) 逐鹿 「餅ちくわ竹輪(名) 以竹管所串之肉
 ちぐわいはふけん治外法權(名) 治外法權、領事裁判權
 ちくわん遲緩(名) 遲緩、遲慢、弛緩「遲緩劑」(チ) 緩瀉劑、通便劑
 ちくわん置換(名) 換過來擱着、換置、調換、易置
 ぢげ治下(名) 治下、駕前
 ちけい地形(名) 地形、地勢

ちけい答刑(名) 答刑
 ちけい智慧(名) 智慧
 ちげう知曉(名) 知道、曉得
 ちけふ地峽(名) 土腰、地頸、地腰
 ちげふ地形(名) 地基「地形を固める」
 ちけむり血煙(名) 鮮血迸出的様
 ちけん地券(名) 地契、紅契(登記ス)、白契(登記セ)、田單(田地)「地券狀」(ジャウ) 同上
 ちげん知言(名) 知言
 ちご稚兒(名) ①毛孩子、娃娃(アカ) ②孩子、小孩子 ③和尚的徒弟
 ぢご持碁(名) 合棋
 ちこく遅刻(名) 悞時刻、來遲、遲到、上課遲到

ちこく治國(名) 治國
 ぢこく地獄(名) ①地獄、阿鼻地獄 ②冥府、陰間、黃泉、泉下 ③土娼、私娼、私科子「死んで地獄に落ちる」死了墮阿鼻地獄、死了落在地獄「地獄の沙汰も金次第」有錢使得鬼推磨、錢能通神「地獄で佛」絶處逢生「地獄落」(オトシ) 持子(Child)「地獄溜」(ダイ) 撲滿、悶葫蘆罐兒「地獄腹」(バラ) 竟生女孩兒的胎「地獄耳」(ミミ) 好耳性「地獄繪」(エ) 地獄的畫兒
 ちこつ耻骨(名) 耻骨
 ぢごる地聲(名) 本來的聲音
 ちさ蒿菜(名) 生菜、蒿苳
 ちざい答罪(名) 答罪
 ちざい治罪(名) 治罪、辦罪

ちさかひ地境(名) 地境、境界
 ちさし小シ(形久活) 與ちひさし同
 ちさと千里(名) 千里
 ちさん遲參(名) 來遲、遲到、悞時
 ちさん治産(名) 治産業 「刻來ぢさん持參(名) 拿、帶、持「金は持參して居ります」錢是我帶來了「會費御持參の事」隨帶會敬「持參金」(キン) 押箱錢「手形持參人」(テカタ) 持票人、支票持來人「持參人拂」(バラヒ) 認票不認人付錢「持參人拂手形」(ヒテカタ) 認票支票、憑票即付之票
 ちし致仕(名) 致仕

ちし

ちし致死(名) 弄死、致死
 ちし地誌(名) 地誌、地理書
 ちし痴子(名) 痴子、傻子、馱子
 ちし稚子(名) 稚子、小孩子
 ちし稚兒(名) 同上
 ちし知事(名) 知事、縣知事
 ちしき智識(名) 智、智識(智識を廣める) 廣開智識(彼は法律の知識はない) 他沒有法律學的智識(智識階級) [イキフ] 智識階級
 ちしつ地質(名) 地質
 ちしつ地質(名) 質地、地兒(この羅紗は地質があまり薄い) 這塊哈喇地兒太薄(地質が丈夫だ) 質
 ちしつ痔疾(名) 痔瘡 「地堅固
 ちしつ地澁(名) 地漿
 ちしほ血汐(名) 流血

ちし

ちしや智者(名) 智者
 ちしや痴者(名) 痴漢、傻子、馱子
 ちしや高苜(名) 生菜、蒿苜
 ちじやう痴情(名) 痴情、癡情、慾情、痴愛、溺愛(痴情の果は皆、の通だ) 情癡的結果都是如此
 ちじやう地上(名) 地上(地上權)
 ちしやく地借(名) 租地
 ちしゆ地主(名) ①土地神(ツガミ) ②地主(土地主)
 ちじゆつ治術(名) 治國之法
 ちしよ地所(名) ①地基、地皮、地
 ②地産、地業、産業(地所持) (モチ) 有地産的、業主、地主
 ちじよく耻辱(名) 羞辱、耻辱、羞耻、領額

ちしちせ

ちしる乳汁(名) 奶
 ちしろ地代(名) 地錢 「的人
 ちじん知人(名) 認得的人、認識
 ちじん痴人(名) 痴子、傻子、馱子
 ちじん地神(名) 地祇
 ちしん地震(名) 地動、地震(地震計) (ゲイ) 測震機、地震表
 ちすぢ血筋(名) ①血脈 ②血統、宗支、宗系、世系
 チストマ(名) (Distoma) 一口蟲、
 ちする治水(名) 治水 「肝蛭
 ちする池水(名) 池水
 ちせい治世(名) ①治世(オサマ)、
 ちせい地勢(名) 地勢 「在位
 ちせい地稅(名) 與ちそ同
 ちせき治績(名) 治績
 ちせつ持説(名) 所懷之論、已見

〔持説を曲げない〕固執已見

ちせん地氈(名) 地氈
 ちそ地租(名) 地租、地稅、地丁、錢糧、田賦
 ちそち馳走(名) ①菜 ②吃飯(今日は何も馳走かない) 今天沒甚麼菜(昨日は御馳走様) 昨天叨擾叨擾(人を招いて御馳走する) 請人吃飯(昨日は御馳走に相成有難く存候) 昨厚擾謝謝
 ちそち地層(名) 地層
 ちそく遅速(名) 遲早、遲速
 ちぞく持續(名) 接續、長遠、長久、耐久、經久、接連不斷、永續、連續(持續しない) 不能長遠(この良風は何時までも持續させたい) 這樣好風俗我願意老叫

ちせちそ

他接續着有(病氣が同じ状態を持續して居る) 病老是這麼様

ちぞめ血染(名) 血染的、血沾的、
 ちたい痴態(名) 痴態 「血汚的
 ちたい遲滯(名) 遲滯、遲緩
 ちたい地體(名) 元來
 ちたい地代(名) 地租、地金、屋基
 ちたう薙刀(名) 雙手帶 「租
 ちたう地道(名) 地道
 ちだつ褌奪(名) 褌奪、喪失、剝奪、褌革(公權を褌奪する) 褌奪公權、剝奪公權
 ちだつ答撻(名) 答撻
 ちたび千度(副) 好些回
 (ちだま血珠(名) 紅珊瑚子
 チタン(名) (Titanium) 錯、知答
 紐謨、替旦

ちそちた

〔ちだんだ(名) ①脚跳の大風箱 ②蹠手蹠脚的(ちだんだ踏んでくやしがる) 蹠手蹠脚的發恨(ちだんだ踏んで泣く) 蹠着脚哭

ちち乳(名) ①乳、奶 ②咂兒(チブ) 「子供に乳を飲ます」 奶小孩兒、
 哺乳孩子、喂孩子奶
 ちち千千(副) 紛紛(千千に心を碎く) 千思百想
 ちち祖父(名) ①祖父、爺爺 ②老頭兒、老翁(ちちい) 同上
 ちちうへ父上(名) 父親、老父親
 ちちかた父方(名) 父族、父黨(父

ちたちち

方の親族「本家」(父方の伯父)伯父、大爺(父方の伯母)伯母、大(父方の叔父)叔父、叔叔(父方の叔母)叔母、嬭兒(父方の從兄弟)叔伯弟兄
 ちぢかまる 縮ル(四段自動) 與次語
 ちぢかむ 縮ム(四段自動) 抽、拘栗、拘攣(寒くて手が縮む)冷的手拘攣「布(キ)が縮みました」布抽抽了
 ちぢぎみ 父君(名) 與ちぢうへ同
 ちぢく 地軸(名) 地軸 「さし同
 ちぢくさし 乳臭シ(形久活) 與ちぢく
 ちぢくび 乳首(名) 與ちぢく同
 ちぢくりあひ(名) ①男女玩笑
 ②男女勾串(ズル通)
 (ちぢくりあひ(四段自動) ①男女玩

笑、男女耍骨頭②男女釣棒、男女勾串、男女調情
 ちぢくる(四段自動) 同上 「大人
 ちぢご 父御(名) 令尊、尊翁、令尊
 (ちぢごまる 縮ル(四段自動) 與ちぢむ同
 「私孩子、私生子、私子
 ちぢなし 父無子(名) ①孤兒
 ちぢはは 父母(名) 父母、爹娘、爹媽
 「老公母倆、老兩口子
 ちぢばば 翁媪(名) 老頭老婆兒、老頭老婆
 ちぢまる 縮ル(四段自動) 與ちぢむ同
 ちぢみ 縮(名) ①縮②縹布
 ちぢみあがる 縮上ル(四段自動) 抽、縮「この布は一度洗濯したら、こんなに縮りました」這塊布一洗就這麼抽抽「恐くて縮上る」嚇縮了

ちぢみおひ 縮織(名) 縹布
 ちぢみこむ 縮込ム(四段自動) 縮進去、縮回去
 ちぢむ 縮ム(四段自動) 抽、縮、縹、縮短、縮小、縮攏(洗濯すると縮む)
 一洗就抽抽、一洗就縮「このフ
 ランネルは水に漬けても縮まない」這個法蘭絨也不縮水「乾いて縮む」枯乾了、乾抽抽(皮膚が縮む)肉皮子發縹(か)心配すると壽命が縮みます」這麼懸心壽命就不能長(chōng)「怒鳴(オ)り付けると縮み上る」一嚷就退縮「隅の處に縮んで居る」在嘎啦兒蹲縮着「寒くて身が縮む」冷的身體直不起來、凍得拱肩縮背
 ちぢむ 縮ム(四段自動) 縮、縮短(期

眼を縮める「縮短期限(首を縮める)縮着脖子(大きな繪を縮めてかく)把大畫縮短着(往小裡畫「領土を縮める」縮少領地②去「着物を五寸はがし縮める」把衣服去個五寸上下③蹲(足を縮めて飛び下りる)蹲着腿往下跳④矮(身を縮めて下をくぐる)矮着身子往下躡⑤減少「一家の經濟を縮める」減少一家子的經費、把家計往小裡緊一緊
 (ちぢむさし(形久活) 隣、膾隣
 ちぢやう 治定(名) 定規、定安
 ちぢゆ 蜘蛛(名) 蜘蛛
 ちぢゆ 蜘蛛(名) 蜘蛛
 ちぢゆ 地中(名) 地裡
 ちぢゆう 池中(名) 池子裡

ちぢよう 持重(名) 持重
 ちぢる 縮ル(下二段自動) 捲、抽「毛が縮れる」頭髮捲捲兒、頭髮捲縮「布が縮れる」布抽抽 「髪ちぢれげ 縮毛(名) 捲毛兒、捲頭
 ちぢんさい 地鎮祭(名) 打夯的禮
 ちつ 帙(名) 書套(布ニテ、板套(板造レル)板套)
 ちづ 地圖(名) 地圖、地理圖
 (ちつき 地搗(名) 打夯、打碎
 ちつきよ 蟄居(名) 蟄居、竟在家裡蹲着
 ぢつきん 昵近(名) 親交、親近、昵
 (ちつきり(副) 一點兒「近、昵近
 ちつけ 乳附(名) 開口的奶
 ぢっこん 昵懇(名) 與ぢっこん同
 ちっし 窒死(名) 握死(wote)(物ニ被、
 燻死(ガスノ)

ちつじよ 秩序(名) 秩序、次序、次第、秩次(秩序を紊亂する)擾亂秩序「無秩序」雜亂無章「秩序を維持する」維持秩序、保秩序「秩序正しく並べる」安排、排列起來「秩序井然」井然秩序、有條不紊
 ちつそ 窒素(名) 淡氣、氮(gas)、氮(Noun)
 ちつそく 窒息(名) 廠住氣、氣廠往、背過氣去、窒息、閉氣、停止呼吸
 ぢつづき 地續(名) 接壤、地隣
 (ちつと(副) 與ちと同
 (ぢつと(副) ①低着頭「ちつと耐へる」低着頭忍②定(ちつとにらむ)定着眼睛看、目不轉睛的看③老實「ちつとして居て動かない」老

ちつ

老實實の一點兒也不動
 (ちつとも) 一點兒也(沒)、毫
 (無)、總(沒)、並(沒)、簡直的
 (沒)「私はちつとも知らなかった」我
 總沒知道「人の云ふことをちつとも
 も聞かない」他一點兒也不聽人
 家的話「値段はちつとも負りませ
 ん」價錢一點兒也不讓「ちつとも
 面白くない」簡直的沒有意思
 チップ(名) (Tip) 酒錢、賞錢、花紅
 ちつほ地坪(名) 地面、地面數目、
 面積
 (ちつほけ) 小、小小的 (tsiao³
 tsiao¹ ts³)「ちつほけな家」小小的
 房子「ちつほけななりをして生意
 氣を云ふな」你這麼小小的孩子
 別說冒失的話

ちつちと

ちつろく 秩祿(名) 祿秩
 ちてい 地底(名) 地底下
 ちてん 地點(名) 地點
 (ちと) ① 一點兒、稍微、稍稍
 「あまり高いからちと負けなさい」
 這個太貴讓一點兒罷「ちつと召
 上つて下さい」請您再喝(吃)一
 點兒「ちと御話に入らして下さ
 い」有工夫請您來閒談閒談②
 一會兒「ちつとの間」一會兒的工
 夫「ちと待って下さい」請您少待
 ちとせ 地動(名) 地動 「一會兒
 ちとせ千歳(名) 千載 (tsai³) 千年
 ちとめ 血止(名) 止血「血止藥」
 (グスリ) 止血藥(血止綿)(ワタ) 止血
 綿
 ちどり 千鳥(名) ① 好些個鳥兒②

ちとちぬ

呼嘲鳥「千鳥足」(アシ) 一溜歪斜
 的走道路、東倒兒西歪
 ちどり 地取(名) ① 立四基兒(地取ヲ
 スル) ② 練捺(スマウ) ③
 ちどん 遲鈍(名) 遲鈍、悟性不好
 「感覺が遲鈍」感覺遲鈍的
 ぢない 地内(名) 界内
 ちなう 智囊(名) 智囊(チエウ)
 ちなまぐさし 血腫シ(形久話) 有血
 腥味兒 「再說、附說
 ちなみ (名) 因、因由(因に云ふ)
 ちなむ 因ム(四段自動) 因、按(地名
 に因んで名を付ける) 按地名起
 名字
 ぢならし 地均(名) 整地、平整地
 ぢなり 地鳴(名) 地鳴、地響
 ぢぬし 地主(名) 有地產的、業主、

ちぬちは

田主、地主、土主「大地主」有地
 產的財主「地主階級」(イキウ) 有地
 階級、有地階級的人「地主派」
 (一) 地主派、地主黨
 ちぬる 蠶ル(四段自動) 蠶、血
 ちねずみ 地鼠(名) 地鼠兒
 ちのう 智能(名) 智能
 ちのみご 乳呑子(名) 吃奶的孩子
 ちのほせ 血逆(名) 上火
 ちのみち 血道(名) 血經病(彼はあ
 の女に血道をあげて居る) 他痴愛
 那個女人、他被那個婦人迷住
 ちのみば 乳呑齒(名) 奶牙 「了
 ちのり 血粘(名) 血膠
 ちのり 地乘(名) 四六步(馬ヲソコッ、
 慢歩走)(同) 四六步(ロ歩マス)、
 ちはう 地方(名) ① 地方「あの地方

ちは

は虎刺拉が流行して居ます」那一
 帶的地方現在鬧霍亂病「今年は
 南支那地方は豊年です」今年南
 方是好年頭兒「地方官が地方を
 治める」地方官治理地方② 郷下
 「地方の人が南京に出て来る」郷
 下人上南京去「地方議會」(クワイ
 諮議局、省議會(地方行政)(クワイ
 地方行政(地方官)(クワン) 地方官、
 外任官、外官、臨民的官(地方裁
 判所)(バンシヨ) 地方審判廳(地方
 自治)(ジチ) 地方自治(地方長官)
 (ウクワン) 縣知事
 ちばしる 血走ル(四段自動) ① 血蹟
 出來(血ガホトバ) ② 紅了眼(怒リテ目ガ
 出来(シリ出ヅ) ③ 紅了眼(怒リテ目ガ
 眼睛有紅(ニテ) ④ 紅了眼(怒リテ目ガ
 ちはつ 薙髮(名) 薙髮、剃頭髮

ちはちひ

ちばなれ 乳離(名) 斷奶
 ぢばふ 治法(名) 治法
 ぢばむ 血ム(四段自動) 血印了
 ぢばん 地盤(名) ① 地基(地盤を固
 める) 硬地基② 地位(文部省で彼
 の地盤は頗る堅固です) 在教育
 部他的地位很牢固
 (ちび) 恨天高(身ノ丈ノヒツキ)
 ちびき 千引(名) 好些個人拉不動
 的「引網」(アミ) 趕網
 ぢびき 地引(名) ① 拉網② 趕網(地
 ぢひさし 小シ(形久話) 小「膽が小
 い」膽子小「靴が小くて足が痛い」
 鞋太緊所以脚疼「小さい鼠」小耗
 子「私の小さい時はまだ汽車がな
 かった」我小的时候兒還沒有火車
 「彼は氣が小さいから小さい事ばかり

ちひ

氣を付ける「他是小器人竟愛在小事上留神」
「小い事から大事になる」
因小而致大「小な聲で話す」
用小聲兒說話「小な事を大きく云ひふらす」
小題大做「小い模様」
碎花兒
「ちびちび」
滋潤着、一點兒一點兒的「ちびちび酒を飲む」
把酒滋潤着喝「小遣錢をちびちび遣ふ」
把日用錢一點兒一點兒的花
ちひびき地響(名) 震地「地響して倒れる」
咕噠震了地一聲摔倒了「大八車が通ると地響がする」
重車在外頭過就震地
ちびふで 秃筆(名) 秃尖兒筆
ちびやう持病(名) 老病

ちひちへ

ちひろ千尋(名) 千尋
ちぶ禿(上二段自動) 禿「筆が禿びた」
筆尖兒禿了
ちぶく地幅(名) 闕、門礮兒
ちぶくろ地袋(名) 與袋棚(ダケ)同
ちぶさ乳房(名) 奶、嘔兒、嘔嘔兒
ちぶス窒扶助(名) 熱病、瘧病、窒
ちぶつ地物(名) 地物「扶斯
ちぶつ持佛(名) 護身佛「持佛堂」
チフチリヤ(名) (Diphtheria) 馬脾風、假皮症、白鵝、疥
ちぶね干船(名) 好些個船
ちぶるひ血振(名) 血暈、血虛
ちへい治平(名) 治平
ちへいせん地平線(名) 地平界、地平圖、地平線、天際線

ちへちま

ちへん地變(名) 地變「占地歩ちほ地歩(名) 地歩「地歩を占める」
ちほう智謀(名) 智謀
ちほそ地細(名) 細線の布
ちまい地米(名) 本地的米
ちまき糶(名) 粽子
ちまた岐・巷(名) ①岐、巷②地方
ちまつり血祭(名) 鬻
ちまなこ血眼(名) 紅眼兒「血眼になつて捜す」
紅了眼似的找
ちまはり地廻(名) 本地的「地廻の酒」
本地的の酒
ちまぶれ血塗(名) 血塗似的「二人が血塗になつて喧嘩する」
兩個人血塗似的打架、兩個人血人似的打架
ちまよふ血迷(上二段自動) 急瘋了

九五〇

ちまん遅慢(名) 遲慢、遲緩

ちみ地味(名) 地味、地皮
「ちみ地味(名) 老乾、不華美、無花彩的「地味な服装をする」
打扮的老乾「暮が地味です」
過日子
ちみち血道(名) 血脈
「樸素
ぢみち地道(名) ①慢走②四六步(チボロ馬)、慢歩走③誠實、正經、老實「地道に働く」
老老實實的做活「あの人は地道で掛引などはない」
他人很正經不會調度「地道な人」
按部就班的人
ちみつ緻密(名) 精細、細緻、細密
「あの繪は緻密です」
這個畫兒畫得很精細「この細工は中中緻密です」
這個活做的很精細「彼は緻密な頭を持って居る」
他有精細

ちまちみ

ちみちの心思(考が緻密だ) 心思細密

ちみぢる血塗(名) 與ちまぶれ
ぢむし地蟲(名) 肉蟲子
ちめい地名(名) 地名
ちめい知名(名) 有名、出名
ちめい致命(名) 致命、致死「致命傷」
(シヤウ) 致命傷、致命的傷、要命的傷、死傷
ぢめん地面(名) 地、地基、地皮「地面がまだ乾かない」
地還沒乾哪「地面を買つて家を建てる」
買地基蓋房子
ちもと千本(名) 好些棵
ぢもん地紋(名) 布原來的紋兒
ちや茶(名) 茶(茶)、茶葉(茶)「濃茶」
(一) 醃茶「薄茶」(ウス) 淡茶「磚茶」
(タン) 磚茶「紅茶」(コウ) 紅茶「綠茶」

ちみちや

(一) 綠茶、清茶「粉茶」(コナ) 茶末、茶葉末兒「葉茶」(シ) 茶葉「茶の木」
茶樹「茶の罐」茶罐、茶葉罐子「茶を摘む」
採茶「茶を製する」
製茶、做茶葉「茶を飲む」
喝茶「茶をすすめる」
敬茶「茶をつぐ」
倒茶「茶を入れる」
沏茶、泡茶「茶を煎じる」
燉茶「茶を焙する」
烤茶葉「お茶を濁す」
說講混的話「人を茶にする」
嘲弄人、愚弄人「お臍で茶を沸す」
可笑極了「お茶の子」
很容易「お茶を引く」
妓女掛不上客、空

ちや(動) 與である同、是「それはかう云ふ譯(ウ)ちや」
那是這個緣故「今は夏ちやから暑い」
現在
是夏天所以熱

ちや

九五二

チャーター(名) (Charter) 專雇、

雇賃「船をチャーターする」雇船、賃船

「ぢやあ(接) 那麼、那麼着「ぢやあ貴下の云ふ通にやりませう」那麼照您所說的話辦罷「ぢやあ出掛けませう」那麼得們走罷

「ぢやあ(助) (不)是麼「君も人間ぢやないか」你也不是人麼

ちやいれ茶入(名) 茶葉罐兒

ちやいろ茶色(名) 茶色

ちやう町(名) ①鎮、鎮店②以三百六十尺爲一町③以一千步爲一町(尺見方)④街道的段兒

ちやう丁(名) 偶數、雙數

ちやう帳(名) ①帳子(外)②帳簿、

帳(商品賣上帳)「シヤウヘン」總清簿

「元帳」(ト)總簿「現金出納帳」(キンウシタ)銀圓錢總簿、銀錢滾存簿

「商品買入帳」(シヤウヘン)進貨流水簿、貨源簿、進草簿、進貨日記簿、進貨草簿「商品仕入帳」(シヤウヘン)批發流水簿、售貨草簿

ちやう疔(名) 疔

ちやう廳(名) 官署、公署、衙署

ちやう長(名) 長(chang)「我に一日の長あり」我有一日之長「長を取り短を捨つ」取長捨短

ちやう腸(名) 腸子

ちやう丁(接尾) ①頁(書物ノ枚、篇、編)「此本の五丁目にある」在這本書的第五頁上②塊「豆腐三丁目」三

塊豆腐

ちやう挺(接尾) ①塊「墨一挺」一塊

墨、一錠墨②杆、支「銃三挺」三枝

蠟④輛「人力車一挺」一輛洋車

⑤頂「駕籠一挺」一頂轎子⑥把「小刀一挺」一把小刀子「鋏一挺」一把鋏頭

ちやう張(接尾) ①張「琴三張」三張

琴「弓一張」一張弓②架「幕一張」一架帳子

ぢやう丈(名) ①丈(ト)②尺寸「丈が足らぬ」尺寸不敷③老板「役者ヲ呼ぶ」
ぢやう定(名) ①定禪、禪那②常久的、一定的「定得意」(ト)「常主顧」(定客)「ト」常來的客

ぢやう嬢(名) 姑娘

ぢやう杖(名) 杖

ぢやう錠(名) 鎖、鎖頭、吊鎖、掛鎖「戸の錠」暗鎖、門鬼鎖「南京錠」鈴鐺鎖「海老錠」同上「錠を下ろす」鎖、鎖上、鎖起來

ちやうあひ帳合(名) 對賬

ちやういん長音(名) 長音(ch'ang)

ちやうえう長幼(名) 長幼(chang)

ちやうおん長音(名) 長音(ch'ang)

ちやうか町家(名) ①街上的房子

②買賣舖子、商家

聞覺

ちやうかたる腸加答兒(名) 痢疾

ちやうかん聽感(名) 與ちやうか

ちやうき長期(名) 長期「く同

ぢやうぎ定規(名) ①畫線板②榜

ちやうきう長久(名) 長久

ちやうきやく長脚(名) 長腿

ちやうきよ聽許(名) 允可、允許

ちやうきより長距離(名) 長途「長距離競走」(ヤウキ)長途賽跑

ちやうく長句(名) 長句

ちやうく長驅(名) 長驅

ちやうく長軀(名) 高身量

ぢやうぐわい場外(名) 場外

ちやうくわん長官(名) 長官、掌

印官

ちやうくわん聽官(名) 聽官、聽

ちやうけ茶請(名) 茶食、茶點

ちやうけい長計(名) 長計「哥

ちやうけい長兄(名) 長兄、大哥

ちやうけし帳消(名) 折賬、勾賬、打賬「雙方帳消にする」把賬目兩清了

ちやうけん町間(名) 丈勘

ぢやうごふ定業(名) 定業、定數

ちやうざ長座(名) 久坐、坐的工夫大「昨日は長座致しました」昨天實在耽悞了您的工夫了「錠

ぢやうざい錠劑(名) 藥片、藥餅、

ぢやうざい 杖罪(名) 杖罪
ぢやうざう 醸造(名) 醸造、蒸酒、
焼酒(醸造所) (シ) 蒸酒作坊、焼
鍋、槽坊
ちやうし 長子(名) 長子、大兒子
ちやうじ 停止(名) 停止(鳴物停止)
停止音樂
ちやうじ 丁子(名) 丁香 (丁子油)
(ア) 丁香做的油 (丁子頭) (ガ) 丁子
燈花如丁香花者有吉慶
ぢやうし 娘子(名) 女子、婦女、娘
兒們
ちやうしう 長袖(名) 長袖子
ちやうじかん 長時間(名) 長工夫、
工夫大
ちやうしき 定式(名) 定式、定例

ぢやうしぐん 娘子軍(名) 娘子軍
ちやうじつ 長日(名) 長天(夏ノ長)
ぢやうじつ 定日(名) 定規的日子
ちやうじや 長者(名) ①長者、長
輩 (chang) ②君子 ③財主 (カネ)、
潤家 (潤) ④族長 (ch ang)
ちやうじやう 長上(名) 長輩
ちやうじやう 頂上(名) ①頂兒(山
の頂上) 山頂兒上 ②頂上頭、頭、
極處、極點 (今は日の長い頂上で
す) 現在天長到頭兒了 (國民の激
激昂は頂上に達した) 國民的激
忿到頭兒了
ちやうじやう 長城(名) 長城 (ch an-
g) 尺寸
ちやうしやく 丈尺(名) 尺寸
ちやうしゆ 脹腫(名) 腫

ちやうじゆ 長壽(名) 長壽、延年、
長命 (ch ang) (長壽法) 長命術、
保壽法
ぢやうしゆ 釀酒(名) 釀酒、造酒
ちやうしゆ 聽衆(名) 聽衆、聽客
ちやうしゆん 長春(名) ①長春 (シ) 春
(ハ) 月季花、月月紅
ちやうしよ 長所(名) 所長
ちやうしよ 聽訟(名) 聽訟、斷
案、過堂
ちやうじり 帳尻(名) 賬目、賬尾
〔帳尻が合はない〕 賬目不對
ちやうしん 長身(名) 高身量
ちやうしん 聽診(名) 聽脈、聞診
〔聽診器〕 (カ) 問病筒、聽心器

ちやうす 茶臼(名) 茶磨
ちやうず 長ズ (佐) 長 (ch ang)
〔一藝に長ず〕 長於一藝 (我より
長する、こと三歳) 比我大三歳
ちやうすう 丁數(名) ①偶數、雙
數 ②書的篇數兒
ちやうせい 長生(名) 長生 (ch ang)
ぢやうせい 釀成(名) 釀成、鬧出
來 (禍亂を釀成した) 釀成禍亂、
鬧出禍亂來
ぢやうせき 定席(名) ①定的座兒
(定リタ) ②與寄席(セ) 同 「多言
(ル) 多言」
ちやうぜつ 長舌(名) 多舌、多嘴、
ちやうぜん 長髯(名) 長髯、長鬚
子

ちやうそく 長足(名) 長足、很大
〔長足の進歩をした〕 有了長足進
歩
ちやうだい 頂戴(名) 領、收、拜領、
拜收、惠賜、敬受、送、給 (結構な
品々頂戴して有り難うございま
す) 蒙您厚賜謝 (それは頂戴
致します) 那麼敬領罷 (昨日は大
變に頃戴致しました) 昨天叨擾
叨擾 (これは先生に頂戴したので
す) 這是老師送我的 (頂戴致し
たのも同前です) 只可心領就是
了 (ビールを頂戴します) 給我卑
酒 (借して頂戴) 借給我 (一寸其
小刀を取って頂戴) 遞給我那把小
刀子 (紹介状一本頂戴致度候) 請
即惠賜薦書一封

ちやうだい 長大(名) 長大 (ch ang)
(スル)
ちやうたう 長刀(名) 長刀 (ch ang)
ちやうたん 長短(名) 長短 (ch ang)
ちやうだんす 帳簿(名) 賬本子
ちやうチブス 腸窒扶斯(名) 熱病、
瘟病、腸窒扶斯
ちやうちやう 打打(副) 梆梆的
ちやうちやう 町長(名) 鎮長
ちやうちやうはし 打打發止(副)
丘登丘登的 (ping' teng' pang'
teng' ti)
ちやうちやく 打擲(名) 打、擊打
ちやうぢよ 長女(名) 大女孩兒、
大姑娘、大女兒

ちや

ちやうちん 提燈・提灯(名) ①燈、燈籠、手燈子、掛燈(ゲタル)〔提燈を着ける〕點手燈子、打燈籠〔提燈を下げる〕1.掛燈籠 2.提溜燈籠〔提燈に釣鐘〕天地懸殊、差得太火 ②鼻涕泡兒〔提燈行列〕(ヤウレツ)提燈會、提燈游行〔提燈屋(ヤ)燈籠舖〔提燈持〕(モチ) 1.打燈籠 2.受人挑唆的人

ちやうづけ帳付(名) ①上賬(帳ニツ) 記賬(同) ②管賬的(帳ヲツケル人)

ちやうづけ丁付(名) 記篇數兒(本) 記頁數(同)

ちやうづめ 腸詰(名) 臘腸、香腸

ちやうづめ 定詰(名) 長川當差

ちやうてい 長程(名) 遠程、遠路

ちや

ちやうてい 長堤(名) 長堤、長河壩

ちやうと 長途(名) 長途、遠道路

ちやうとトト(副) 梆梆的〔丁と打つ〕梆梆的打

ちやうと丁度(副) ①正、整、整整的、恰巧、恰好〔丁度好い所へ入らしやうた〕來來的正好〔丁度好い時〕正是時候、恰巧的時候〔私が東京に來てから丁度三年になる〕我到東京來現在整三年〔數が丁度合ひました〕數兒整對了〔丁度八時です〕現在正八點鐘〔丁度百個あります〕整整的有一百個〔其時丁度汽車が來た〕恰好這個時候火車來了 ②好像似〔丁度富士山の様だ〕好像富士山

ちや

似的

ちやうない 町内(名) ①一個胡同

ちやうない 場内(名) 場裡頭

ちやうなみ 町並(名) 各街

ちやうなん 長男(名) 長子、大兒子、行大、行一、排大、頭生兒、長房、元子

ちやうにん 町人(名) 買賣人、商

ちやうねん 長年(名) 長命、長生

ちやうのひ 丁日(名) 雙日子

ちやうば 帳場(名) 櫃上、賬房、櫃房

ちやうはうけい 長方形(名) 長方形

ちやうはつ 長髮(名) 長髮、長頭髮

九五六

ちや

ちやうはふ 定法(名) 一定的法子

ちやうはん 丁半(名) ①骰子的單雙數兒(サイノ) ②擲攤(茶碗ノ中ニサイシフリ動カシ) テノ半ヲ定ム)

ちやうび 丁日(名) 雙日子

ちやうびやう 長病(名) 纏綿的病

ちやうふ 丈夫(名) 丈夫、大丈夫

ちやうぶ 丈夫(名) ①健壯、康健、強健 ②結實、堅固〔御兩親は御丈夫ですか〕令尊令堂二位大人身體康健呢〔この頃は體が丈夫になつた〕現在身體健壯起來了〔丈夫に荷造する〕結結實實的打行李〔格好は悪くても丈夫であればよい〕様子不好不要緊只要結實就得丁了〔この工事は甚だ丈

ちや

夫です〕這個工程很結實

ちやうぶつ 長物(名) 長物、廢物

ちやうぶん 長文(名) 長文章、長

ちやうへん 長篇(名) 長篇

ちやうほ 帳簿(名) 帳簿、帳本、帳冊、簿子〔帳簿方〕〔カ〕管賬的、簿記人、寫帳簿的人

ちやうほ 釀母(名) 酒母

ちやうほん 張本(名) ①原由、原因、所以然 ②頭目人兒、張本

ちやうまへ 錠前(名) 與錠(ちや)

同

ちやうまん 脹滿(名) 鼓症、腹脹

ちやうみやう 定命(名) 壽數

ちや

ちやうみん 町民(名) 鎮店上住的人

ちやうむ 定務(名) 擔任的職務

ちやうめい 長命(名) 長命、延年

「長命丸」(ゲワン) 春藥、媚藥

ちやうめん 帳面(名) 與ちやうぼ同〔帳面方〕〔カ〕與帳簿方同〔帳面〕(ツ) 賬目〔帳面が合はな

い〕賬目不對

ちやうもと 帳元(名) 園主兒(興行場ノ)

ちやうもん 聽聞(名) 聽講

ちやうもん 定紋(名) 各人家兒的記號、同族章記

ちやうよう 聽容(名) 許可、允許

九五七

ちや

ちやうらう 長老(名) 長老(高徳ノ僧又ハ年ヲベキ人)

ちやうらがし(名) 損、要笑(トナリカ)

ちやうらがす(四段他動) 損(ヒヤカシ)

要笑(トナリカ)

ちやうりやう 丈量(名) 丈量

ちやうれい 定例(名) 定例

ちやうろく丈六(名) ①一丈六尺 ②一丈六尺的老佛爺 ③蹙着腿坐(カク)

ちやかす茶滓(名) 沏剩下的茶葉、喝白了的茶葉、乏茶、剩茶

ちやかす(四段他動) 挖剝、損(以上シラシラ)、調笑、耍笑、耍戲(以上ハシラシラ)

ちやかっしよく 茶褐色(名) 棕色、褐色、猪肝色

ちやくしゆ 着手(名) 着手、下手、動手「工事に着手する」下手動工、動起工來

ちやくしゆつ 嫡出(名) 嫡出

ちやくしよく 着色(名) 着色、染色、施彩色、上顏色、題色、描寫

「着色印刷法」顏料印法、套板印法 「信到了」

ちやくしん 着信(名) 到的信件、

ちやくす 着ス(佐變自動) 到、至(船天津に着す)船到了天津了「この手紙が着する頃には彼は出發したらしい」這封信到了的時候他已經起身了罷

ちやくす 着ス(佐變他動) 穿「衣服を着す」穿衣裳

ちやくせき 着席(名) 與着座(トナリ)

ちや

ちや

ちやがま 茶釜(名) 茶魚(茶鍋)

ちやがら 茶殻(名) 與ちやかす同

ちやき茶器(名) 茶具

ちやきちやく(名) 出色的人、有角色的、有角兒的

ちやきん 茶巾(名) 擦茶碗的布

ちやく着(名) 到、至「東京着は午前十時です」到東京午前十點鐘

「着の上は御受取願上候」至乞查收、到請查收「着の上は何卒御一報下され度候」至時煩賜收條是荷

ちやく着(接尾) 套「洋服一着」一套

ちやく持薬(名) 常服的藥

ちやくい 着衣(名) 穿衣裳、穿的衣裳

ちやくかん 着岸(名) 到岸

ちやくせん 着船(名) 船到了

ちやくそん 嫡孫(名) 嫡孫

ちやくたい 着帶(名) 婦女有身第五月之禮節

ちやくたう 着到(名) 到、至

ちやくだんきより 着彈距離(名) 彈力所及、遠力、擊遠、彈距、射擊界

ちやくちやく 着着(副) 着着、逐次的「着着功を奏す」着着奏功

「事業が着着進捗する」事情着着的有進歩

ちやくぢん 着陣(名) 臨陣

ちやくなん 嫡男(名) 嫡子

ちやくに 着荷(名) 貨到「着荷拂」

「見貨付錢、交貨給錢、兩手換」

ちや

ちや

ちやくがん 着眼(名) 着眼「彼は疾く此事業に着眼して居た」他早就在這個事業上着眼了「偉人は着眼點がちがふ」英雄的見識和別人不同「彼の着眼は高い」他的眼力高

ちやくぎよ 着御(名) 駐蹕

ちやくこ 着袴(名) 穿褲子

ちやくざ 着座(名) 落座、就座、坐下、入席、就席

ちやくさう 着想(名) 着想、設想

ちやくし 嫡子(名) 嫡子、正出

ちやくじつ 着實(名) 着實、認真、老實「彼は役所で仕事は大變着實です」他在公署辦事很認真「あの商人は着實です」那個商人着實

ちやくふく 着服(名) 穿衣裳、穿的衣裳 ②吞、侵吞、吞沒、私用、竊用、侵用「公金を着服する」侵吞公款

ちやくもく 着目(名) 與着眼(トナリ)

ちやくよう 着用(名) 穿「禮服用」穿禮服

ちやくりう 滴流(名) 嫡派

ちやくりく 着陸(名) 着地、降下、停止「着陸場」下降場

ちやくわ 茶菓(名) 茶點「茶菓を饗す」應酬茶點「茶菓を用意する」預備茶點

ちやくわい 茶會(名) 品茗會

ちやくわし 茶菓子(名) 茶食、茶

ちやくこ 與チヨク同

ちやくこし 茶漉(名) 茶葉漏子

ちや

ちや

ちやさじ茶匙(名) 茶匙、茶勺兒
 ちやし茶肆(名) 茶店、茶葉舖
 ちやしつ茶室(名) 品茗室
 ちやしぶ茶盞(名) 茶鏽、茶臟
 ちやしやく茶杓(名) 昏茶的杓子
 (支那ニハ) ②好茶者
 (コレナシ) ①好喝茶的人
 ちやじん茶人(名) 茶具之名
 ちやせん茶筵(名) 茶托(キマル)、茶
 船(キ長)
 ちやだい茶代(名) 茶錢(茶屋又ハ旅店ニ
 茶水錢(旅店ニ拂フ)、酒錢(付)
 ちやたう茶湯(名) 供佛爺的茶
 ちやだう茶道(名) 品茗的法子
 ちやたく茶卓(名) 茶几
 ちやたう茶道具(名) 茶具

ちや

ちやたく茶托(名) 與茶臺(だい) 同
 ちやだし茶出(名) 茶壺
 ちやだな茶棚(名) 擱茶具的榻子
 ちやだんす茶算筭(名) 擱茶具的
 櫃子
 (ちやちや) 妨礙、攔、踢掉了
 (ちやちやを入れる) 同上
 (ちやちやくる) (四段自動) 男女勾
 申、男女釣棒、男女調情
 ちやぢやわん茶茶碗(名) 茶中皿兒、
 茶碗、茶杯
 ちやづけ茶漬(名) ①用茶泡的飯、
 吃茶泡飯 ②粗茶淡飯(粗茶(茶漬
 飯(メシ)同上(茶漬茶碗(ヤワシ)飯
 碗(茶漬屋(ヤ)小飯舖兒
 (ちやっびい) 多舌多嘴的
 人、不穩正的姑娘、多事的姑娘

ちや

ちやつほ茶壺(名) 茶罐兒
 ちやつみ茶摘(名) 採茶(茶摘女)
 採茶女
 ちやてい茶亭(名) 茶館(メナ)、茶
 攤兒(風)
 ちやてん茶店(名) 同上
 (ちやと) 立急馬滑、趕快的
 ちやのき茶樹(名) 茶樹
 ちやのこ茶子(名) ①茶食、茶點
 ②早點心(朝飯前) ③很容易
 ちやのま茶間(名) ①飯廳(堂) ②與
 茶室(シヤ) 同
 ちやのみぢやわん茶飲茶碗(名) 茶
 碗(丸形)、茶中皿(長形)、茶杯(耳ノツ)
 蓋碗兒(フタツ)、茶缸子(長形)、把
 兒缸子(短ノツ)、茶悶子(冬日用フタを
 取リ)、折中皿兒(茶中皿ニテ)

ちや

ちやのゆ茶湯(名) 與次語同
 ちやのる茶會(名) 品茗會
 ちやばうき茶帚(名) 羽毛笄(品茗
 所用)
 ちやばこ茶箱(名) 茶葉箱子
 ちやばしら茶柱(名) 茶葉棍兒
 ちやばたけ茶烟(名) 茶圃、種茶
 的地
 ちやばなし茶話(名) 茗談、喝茶
 ちやばら茶腹(名) 茶飽兒(茶腹も
 一時(イツ)喝茶可以暫免飢寒
 ちやばん茶番(名) ①茶房(茶飲ヲ云
 下男) ②與下語同(茶番狂言)(キヤ
 ウダ) 玩笑戲、優伶戲
 ちやびん茶瓶(名) 茶壺
 ちやぶくろ茶袋(名) 茶葉口袋
 (ちやぶたい) 飯桌兒
 (ちやぶちやぶ) 瀾瀾的(ちや

ちや

ぶちやぶ洗ふ瀾瀾的洗
 (ぢやぶぢやぶ) 同上
 ちやぶね茶船(名) 河船之一類
 ちやぶや(名) 在通商口岸開的小
 ちやぶろ茶風呂(名) 茶鼎「酒館
 ちやほ矮鷄(名) 短脚鷄、矮鷄
 ちやほん茶盆(名) 茶盤
 ちやみせ茶店(名) 茶攤兒(カケチ)、
 茶棚(同上)、茶館(キツサ)、茶肆(同上)
 ちやめし茶飯(名) 茶煮的飯(此物支
 ナシ)
 ちやや茶屋(名) ①(茶ヲ賣)茶店、茶
 葉舖 ②酒館兒(カヤ)、茶室(女郎屋
 ③與茶店(ちや) 同(茶屋小屋)(コヤ)
 小班兒(破機)、堂名(同上)、茶室(出前
 (茶屋小屋遊)(アッビ)遊堂名兒(茶
 屋小屋通)(ヤゴヒ)常遊堂名、常

ちや

遊烟花柳巷(茶屋女) (チヤ) 在酒
 館兒等處應酬客人的女人
 (ちやらちやら) ①七言八語
 的「ちやらちやらとおべっかを云
 ふ」七言八語的奉承人 ②唧拉
 呱拉的、嘩嘩嘩的(財布の中
 で銀貨がちやらちやらと鳴る) 在
 錢褡褳兒裡頭洋錢唧拉呱拉的
 響
 (ちやらんちやらん) 唧拉呱
 拉的(軍人が剣をちやらんちやら
 んと引ずって行く) 軍官把洋刀唧
 拉呱拉的拉着走
 (ちやり) 詼諧、玩笑、笑謔、詼
 諧的話、玩笑的話
 ちやるめら(名) 噴吶
 ちやわ茶話(名) 茶話(茶話會)(クワイ)

ちや

茶會、茶叙、茶話會

ちやわん茶碗(名) ①飯碗(飯茶碗)

②與茶飲茶碗(茶碗) 同(茶碗酒)

ちやるん茶園(名) 茶圃、種茶的

地 「黒松油

チヤン瀝青(名) 瀝青、柏油、松脂

(ちやん(名) ①爹、父親 ②罵中國

人的話(ちやんころ)同上

(ちやんちやん(名) ①癩子 ②罵中

國人的話 ③砍肩兒、背心(ツキ)

(ちやんちやん(副) ①麻俐着、規

規矩矩的 「すべき事はちやんち

やんとする」該辦的事情麻俐着

辦(ちやんちやんと片付ける)把

東西麻俐俐兒的歸着 ②訂

瑞的(鐘がちやんちやんと鳴る)

ちや

鐘叮瑞的響 ③呱呱的(機)

ちやんちやんと織る) 用機呱

呱的織布 「心

(ちやんちやんこ(名) 砍肩兒、背

(ちやんちやんばうず(名) 罵中

國人的話

(ちやんと(副) ①麻俐俐兒的、

規規矩矩的 「取出したらちやん

と元の通にしておきなさい」你拿

出來了還是照舊麻俐俐兒的

收下(身なりをちやんと繕(ツク

ふ)麻俐俐兒的整理衣冠(金

はちやんと受取りました)錢是照

數都收了 ②立刻、馬上(藥を一

服呑んだらちやんと治った)吃了

一服藥立刻就好了 起武、打武

ちやちゆ

チヤンピオン(名) (Champion)勇

將、戰士、鬪士、蓋場、冠場、選

手 「くろ同

(ちやんぶくろ茶袋(名) 與ちやぶ

(ちやんほん(名) 攪、攪和、混在

一塊兒(ビールと日本酒をちやん

ほんに飲む)把卑酒和日本酒攪

ぢゆ治癒(名) 治好 「着喝

チユーブ(名) (Tube)管、筒、錫管、

錫鐵筒 「外國荷花

チユーリップ(名) (Tulip)山慈姑、

ちゆう註(名) 註、旁註、側註、註解

ちゆう中(名) ①中、中庸(大きく

もなく小さくもなく中位のが入用

です)要不大不小合其中的罷

中等(彼の成績は中です)他的成

績是中等的 ②正在時候兒(彼は

獨逸留學中に死んだ)他在德國
留學的時候兒死了(學校は今休
暇中です)現在正是學校放學的
時候兒 ④中、裡頭(國中)國裡
頭(水中)水裡頭

ちゆう仲(名) 仲

ちゆう誅(名) 誅

ちゆう忠(名) 忠

ちゆう住(名) 住

ぢゆう重(名) 與重箱(ぢゆう)同

ぢゆう中(接尾) ①通、滿、遍(體中)

(カラダ)遍身、通身、一身、渾身

(顔中)滿面、滿臉 (國ちゆ

う)通國、滿天下、普天下、遍天

下 ②儘着(今日中に返事しなけ

ればならぬ)儘着這一天得回復

ちゆ

ちゆうあう中央(名) ①中央、中

間兒、當中、在中、中心 ②首善

之地、京城、首都、京都(中央集

權)(ウケン)中央集權(中央政府)

(セイフ)中央政府

ちゆうい注意(名) ①留神、留心、

小心、留意、仔細、謹慎、檢點、

注意(この事は注意を要する)這

件事須要注意(衛生に注意する)

在衛生上留神(あの人は細い所

まで注意が届く)那個人連細微

的地方都小心的到(私の注意が

足りなかつた)我想的不到到了

(注意深い)小心、謹慎、仔細、注

意(注意して聞く)留心聽、傾耳

而聽(人の注意を引く)引人注意

②提補(私が忘れたら注意して下

ちゆ

さい)若是我忘了請你提補我

個醒兒(彼はまた年が若いから何

かに注意してやって下さい)他還

年輕諸事請你提補提補他(注

意人物)(シジ)警界注意的人、注

意人物(注意力)(リヨ)留神的心

ちゆういん中陰(名) 人死後四十

九日之間謂中陰

ぢゆうえう重要(名) 重要、要緊、

緊要、重大、切要 「親上加親、

ぢゆうえん重縁(名) 親上加親、

ちゆうか仲夏(名) 仲夏 「國

ちゆうか中夏(名) 中夏、中華、中

ぢゆうか住家(名) 家、住房、住的

房子

ちゆうかい註解(名) 註解、註釋

ちゆうかう忠孝(名) 忠孝

ちゆ

ちゆ

ちゆうがく 中學(名) 中學校(中學校)^(カウ) 中學校(中學生)^(セイ) 中學校學生

ちゆうがた 中形(名) 勻溜兒的花

ちゆうがへり 中返(名) 與宙返(ちうが)同

ちゆうかん 中間(名) 中間兒(中間物)^(カ) 中間物、居間的物件

ちゆうき 中氣(名) 中風(chung¹)、癱瘓病(中氣病)^(ヤ) 有中風的人

ちゆうぎ 忠義(名) 忠義

ちゆうぎ 重器(名) 重器

ちゆうぎよ 蟲魚(名) 蟲魚

ちゆうきよ 住居(名) 住房、寓所、住址(御住居は何處です) 貴寓在那兒(私は横濱に住居して居ます) 我住在横濱(彼は神戸に住居

ちゆ

ちゆうけん 中堅(名) 中堅(中堅たる人物) 中堅的人物

ちゆうげん 中元(名) 中元節

ちゆうげん 忠言(名) 忠言(忠言耳に逆ふ) 忠言逆耳

ちゆうげん 中間(名) ①中間 ②與下語同(中間男)^(オト) 跟班的(オト)、底下人(男)

ちゆうこ 中古(名) 中古

ちゆうこう 中興(名) 中興

ちゆうこく 忠告(名) 勸、勸戒、勸言、諫勸、忠告

ちゆうこく 中國(名) 日本山陰山陽兩道一帶地方

ちゆうごし 中腰(名) 低身

ちゆうこん 重婚(名) 同時有兩夫或兩房的、重婚

ちゆうぐわい 中外(名) 中外

ちゆうぐわい 重科(名) 重罪

ちゆうぐわん 中浣(名) 中浣、中澣、中甸

ちゆうくわん 重患(名) 大病、重病

ちゆうくん 忠君(名) 忠君

ちゆうぐん 中軍(名) 中軍

ちゆうけい 中啓(名) 扇子

ちゆうけい 仲兄(名) 仲兄、一哥哥

ちゆうけい 重刑(名) 重刑

ちゆ

ちゆうけん 中堅(名) 中堅(中堅たる人物) 中堅的人物

ちゆうげん 中元(名) 中元節

ちゆうげん 忠言(名) 忠言(忠言耳に逆ふ) 忠言逆耳

ちゆうげん 中間(名) ①中間 ②與下語同(中間男)^(オト) 跟班的(オト)、底下人(男)

ちゆうこ 中古(名) 中古

ちゆうこう 中興(名) 中興

ちゆうこく 忠告(名) 勸、勸戒、勸言、諫勸、忠告

ちゆうこく 中國(名) 日本山陰山陽兩道一帶地方

ちゆうごし 中腰(名) 低身

ちゆうこん 重婚(名) 同時有兩夫或兩房的、重婚

ちゆうぐわい 中外(名) 中外

ちゆうぐわい 重科(名) 重罪

ちゆうぐわん 中浣(名) 中浣、中澣、中甸

ちゆうくわん 重患(名) 大病、重病

ちゆうくん 忠君(名) 忠君

ちゆうぐん 中軍(名) 中軍

ちゆうけい 中啓(名) 扇子

ちゆうけい 仲兄(名) 仲兄、一哥哥

ちゆうけい 重刑(名) 重刑

九六四

ちゆうごん 重言(名) 重複的話(chung²)

ちゆうさ 中佐(名) 中校(海軍陸)

ちゆうざ 中座(名) 暫且離座

ちゆうさい 仲裁(名) 勸、從中勸和、說和、調停、居中調處、排解、公斷(喧嘩を仲裁する) 勸架

ちゆうさい 葛藤を起して居るか 仲裁してやんなさい) 他們兩家有纏繞你給他說和去罷(仲裁に立つ) 當說和人(仲裁條約)

ちゆうさい 公斷條約(仲裁人)^(ウヤク) 公斷的、公斷的人、居中調處的人、公斷的人、調停人、居間人

ちゆうざい 駐在(名) 駐在、駐劄(駐在所)^(シ) 巡警駐在所、巡警派出所

ちゆうざい 重罪(名) 重罪(chung³)

ちゆうざい 重罪(名) 重罪(重罪犯)^(シ) 要犯、犯重罪

ちゆうざい 重創(名) 重傷

ちゆうざつ 駐劄(名) 駐劄

ちゆうざら 中皿(名) 大碟子、小盤子

ちゆうし 注視(名) 注視、注目、釘中指

ちゆうし 中指(名) 中指

ちゆうし 忠死(名) 忠死

ちゆうし 中止(名) 中止、作罷、暫時作罷、停頓

ちゆうし 重視(名) 重視、看重、珍重

ちゆうしゅう 仲秋(名) 仲秋

ちゆうしゅう 中秋(名) 中秋(八月十五)

ちゆうじき 中食(名) 晌飯

ちゆうじこ 中扱(名) 再往細裡鉋

ちゆうじつ 忠實(名) 實誠、忠實

ちゆうしや 注射(名) 注射、射入、針射、射進去(豫防液を注射する) 注射預防漿(注射液)^(エキ) 射水藥類、射劑(コカイン注射液) 蹇喀茵射劑(モルヒネ注射液) 麼菲射劑(注射器)^(キ) 藥水針、射藥針、射皮針、空針節、射藥空針

ちゆうしや 中傷(名) 搥生分、中將(海軍)

ちゆうじやう 中將(名) 中將(海軍)

ちゆうじやう 重傷(名) 重傷

ちゆうじやう 重賞(名) 重賞、重賞格

ちゆ

ちゆ

ちゆ

九六五

ちゆ

ちゆうしやう重症(名) 重病、大病
 ちゆうしやく註釋(名) 註解、註釋
 ちゆうしゆん仲春(名) 仲春
 ちゆうじゆん中旬(名) 中旬、中
 浣、十幾兒
 ちゆうしよ中暑(名) 中暑、受暑
 ちゆうしよ住所(名) 寓所、住處、
 住址、寓處、居處、居所、住的地
 方〔住所姓名〕姓名住址
 ちゆうしよく重職(名) 重職
 ちゆうしよく住職(名) 住持
 ちゆうしん忠信(名) 忠信
 ちゆうしん忠臣(名) 忠臣
 ちゆうしん衷心(名) 衷心
 ちゆうしん注進(名) 申報
 ちゆうしん中心(名) 心、中心、中

ちゆ

心點、集中點〔倫敦は世界商業の
 中心です〕倫敦是世界通商總匯
 的の地方〔商務總匯處〕〔中心を取
 り損〕れて倒れた〕走歪了摔倒
 了〔人民の怨恨の中心〕人民之怨
 府〔圓の中心〕圓心、圈中心〔地球
 の中心〕地心、地球中心〔中心人
 物〕頭目人、主腦人物
 ちゆうじん中人(名) 中等人兒
 ちゆうじん厨人(名) 厨子
 ちゆうしん重心(名) 重心、重點
 ちゆうしん重臣(名) 重臣
 ちゆうす誅ス(佐變他動) 誅
 ちゆうす沖ス(佐變自動) 沖〔天に沖
 す〕冲天
 ちゆうす住ス(佐變自動) 住〔東京に
 ちゆうすう中樞(名) 中樞

ちゆ

ちゆうせい忠誠(名) 忠誠
 ちゆうせい中性(名) 中性〔中性反
 應〕〔シオウ〕中性動物〔中性動物〕
 (ウツド) 中性動物、無生類
 ちゆうせい中世(名) 中世
 ちゆうぜい中背(名) 中等身量、
 身材合中
 ちゆうせう中宵(名) 中宵、半夜
 ちゆうせき柱石(名) 柱石
 ちゆうせき重石(名) 重石、西里
 愛得
 ちゆうせきそう沖積層(名) 沖積、
 ちゆうせつ忠節(名) 忠節
 ちゆうぜつ中絶(名) 中絶、中止、
 ちゆうそう住僧(名) 住僧
 ちゆうたい中隊(名) 連〔中隊長〕
 連長

ちゆ

ちゆうたい重體(名) 大病、病的
 利害、病得沈重、病危
 ちゆうだい重代(名) 世世、世世
 代代〔家重代の寶物〕傳家之寶
 ちゆうだい重大(名) 重大(chung)
 重要、切要、極要、大要緊〔重大
 な事件〕重大的事情〔重大な責
 任〕重大的責任、沈重的責任
 〔事柄が重大です〕事關重大、事
 體重大
 ちゆうだう中道(名) 中道、半途、
 半路、中途、半路途中
 ちゆうたく住宅(名) 住宅、住房、
 住舎、住家、住的房子
 ちゆうだん中斷(名) 中斷、中絶
 ちゆうだん中段(名) ①樓梯的中
 間兒 ②把刀平舉

ちゆ

ちゆうぢ住持(名) 住持、長老、方
 丈
 ちゆうちゆう(名) ①老鼠、耗子
 ②家雀兒
 (ちゆうちゆう) ①唧唧呱呱
 的〔雀がちゆうちゆうと鳴く〕家
 雀兒唧唧呱呱的叫喚 ②特兒嚕
 兒的〔汗をちゆうちゆうと吸ふ〕
 把湯特兒嚕兒的喝
 ちゆうぢゆう重重(副) 屢次的〔重
 重恐れ入りました〕屢次對不起
 慙
 ちゆうちん重鎮(名) 重鎮(オモキ)
 ちゆうづめ重詰(名) 提食盒
 ちゆうてい中庭(名) 院子
 ちゆうてん中天(名) 中天、半懸
 空裡
 ちゆうてん冲天(名) 冲天

ちゆ

ちゆうと中途(名) 半道路、半途、
 半路途 中〔中途で止める〕半路
 途中而止、半途而廢〔中途で退
 學する〕半路途 中告退〔中途で出
 合ひました〕在半道路上碰見了
 〔鐵道はまだ中途までしか出來な
 い〕鐵路不過纔修到半路途 中
 ちゆうとう中等(名) 中等
 ちゆうとう仲冬(名) 仲冬
 ちゆうどく中毒(名) 中毒(chung)
 受毒氣、癡〔彼は鴉片中毒で死ん
 だ〕他是烟癮死了〔酒精中毒〕中
 酒、酒毒成患、酒精中毒、上了
 酒癮、中酒狂、酒癮、撒酒瘋兒
 (ちゆうとはんば) 中途半端(名) 半
 路途 中〔中途半端にしておいては
 いけない〕別把事情辦的半路途

ちゆ

中摺下

ちゆうとん駐屯(色) 駐屯
ちゆうにかい中二階(色) 矮樓
ちゆうにく中肉(色) 人骨髒兒
ちゆうにち中日(色) 春分之日、
秋分之日

ちゆうにふ注入(色) ①注入②培
植、栽培(愛國の思想を注入する)
把愛國思想培植在人心上

ちゆうにん仲人(色) 說合人(仲人スル人)

媒人(結婚)、中人(チカダチ)

ちゆうにん住人(色) 住的人

ちゆうにん重任(色) 重任、連任

ちゆうねん中年(色) 中歳、中年、
年富、壯年

ちゆうのうち重内(色) 頭の東西
提食盒裡

ちゆうばい仲媒(色) 說合、做媒

ちゆ

ちゆうはう重砲(色) 重砲

ちゆうはう重寶(色) 重寶

ちゆうばこ重箱(色) 提食盒(重箱)

の隅を楊枝でつつく愛管細小

的事情(重箱面)方臉(重箱

讀)以漢音和訓而混讀之

謂、例如重(ウジュ)係漢音箱(ゴ)係

和訓

ちゆうばつ誅罰(色) 誅罰

ちゆうばつ重罰(色) 重罰(chung)

ちゆうはん中半(色) 與はんは同

ちゆうはん重版(色) 偽版、假版

ちゆうひつ駐蹕(色) 駐蹕

ちゆうびやう重病(色) 大病、病

的利害、病危

ちゆうひん中品(色) 中等的東西

ちゆうぶ中部(色) 中央地方

〔註文取〕(トリ)跑外的夥計

ちゆうやく重役(色) 董事(重役

會)董事會

ちゆうゆう忠勇(色) 忠勇

ちゆうゆう重油(色) 重油

ちゆうよう中庸(色) 中庸

ちゆうよう重用(色) 重用

ちゆうりゅう中流(色) ①中流、江

心②中等、中流(中流の人)中流

人、中等人、中等社會

ちゆうりく誅戮(色) 誅戮

ちゆうりつ中立(色) 中立、置身

局外、局外中立(中立を宣告す

る)宣布中立(中立を守る)守中

立(中立國)中立國、局外國

〔中立者〕(シヤ)中立者、局外者(中

立地帯)中立世界(中立黨)

ちゆ

ちゆうぶ中風(色) 與次語同

ちゆうぶ中風(色) 中風、癱瘓

病、癱瘋、癱病

ちゆうふく中腹(色) 山半腰

ちゆうふく重履(色) 重履(chung)

ちゆうぶる中古(色) 半舊、半新

不舊

ちゆうへい駐兵(色) 駐兵

ちゆうほく忠僕(色) 忠僕

ちゆうみん住民(色) 住民

ちゆうもく注目(色) 注目、注視、

釘着看、定眼看、注目看視

ちゆうもつ重物(色) 要緊的東西

ちゆうもん中門(色) 中門、二門

ちゆうもん註文(色) ①定、定做、

批、叫願、願意、盼望(軍艦を

英國へ註文する)在英國定做兵

〔死〕中立黨

ちゆうりやく忠良(色) 忠良

ちゆうりやく重量(色) 重、分量、

重量、斤兩

ちゆうりやく中略(色) 省略中段

ちゆうりやく重力(色) 重力

ちゆうれつ忠烈(色) 忠烈

ちゆうれん駐輦(色) 駐輦

ちゆうれん柱聯(色) 抱柱對聯

ちゆうる中尉(色) 中尉(海軍)

ちよ千代(色) 千年千載(千載)

ちよ著(色) 著、箸、著作

ちよ女(色) 女

ちよ除(色) 除

チヨーク(色) (Chalk) ①粉、石

粉、白土、白堊 ②粉筆(ボク)〔チャ

コで筋を引く〕打粉線、拿粉打

ちゆ

船(東京の書店へ本を註文する) 在東京的書舖定買書(郵便で註文する)函購、寫信訂購(これは註文通に出來てない)這個和我所定的不同(あの事件は貴下の註文通になりました)那件事情辦的不了您的心了(事が註文通に行かない)事情不順心(私は己に料理を註文しました)我已然把菜叫下了(この事件は貴下の註文が多過ぎるから出來ません)這件事情您盼望的大多了所以不成(御註文の品取揃へ御送申上候)承命之貨點齊發去、蒙訂各貨已經配齊發奉(前に註文の品未だ御送無之)前定之貨未蒙裝來(註文書)取貨單、購貨單

ちゆ

〔註文取〕(トリ)跑外的夥計
ちゆうやく重役(色) 董事(重役會)董事會
ちゆうゆう忠勇(色) 忠勇
ちゆうゆう重油(色) 重油
ちゆうよう中庸(色) 中庸
ちゆうよう重用(色) 重用
ちゆうりゅう中流(色) ①中流、江心②中等、中流(中流の人)中流人、中等人、中等社會
ちゆうりく誅戮(色) 誅戮
ちゆうりつ中立(色) 中立、置身局外、局外中立(中立を宣告する)宣布中立(中立を守る)守中立(中立國)中立國、局外國
〔中立者〕(シヤ)中立者、局外者(中立地帯)中立世界(中立黨)

ちゆ

〔死〕中立黨
ちゆうりやく忠良(色) 忠良
ちゆうりやく重量(色) 重、分量、重量、斤兩
ちゆうりやく中略(色) 省略中段
ちゆうりやく重力(色) 重力
ちゆうれつ忠烈(色) 忠烈
ちゆうれん駐輦(色) 駐輦
ちゆうれん柱聯(色) 抱柱對聯
ちゆうる中尉(色) 中尉(海軍)
ちよ千代(色) 千年千載(千載)
ちよ著(色) 著、箸、著作
ちよ女(色) 女
ちよ除(色) 除
チヨーク(色) (Chalk) ①粉、石粉、白土、白堊 ②粉筆(ボク)〔チャコで筋を引く〕打粉線、拿粉打

九六九

九六八

線〔チヨークで黑板に字を書く〕
 黑板上用粉筆寫字
 ちよい女醫(名) 女大夫、女醫生、
 醫婆子 「優、女伶、坤角
 ちよい女優(名) 女旦、女戲、女
 (ちよいちよい) 時不常的〔彼
 はちよいちよい學校を休む〕他
 時不常的在學校告假〔この頃は
 ちよいちよい雨が降る〕這程子
 時不常的下雨
 (ちよいと) 與ちよと同
 (ちよいと) 咳〔ちよいと貴下〕
 ちよう寵(名) 寵 「咳懲納
 ちようあい寵愛(名) 寵愛
 ちようあく懲惡(名) 懲惡
 ちようえき懲役(名) 懲役
 ちようかい懲戒(名) 懲戒〔懲戒免

職(シヨク)懲戒褫職
 ちようきう重九(名) 重九、九月
 九、重陽節
 ちようぐう寵遇(名) 寵遇
 ちようご重五(名) 重五、端午、端
 陽節
 ちようこう徵候(名) 徵候、勢頭、
 ちようさん重三(名) 重三、上巳
 節
 ちようじ寵兒(名) ②時派の人(時メ
 ちようしう徵收(名) ①疼愛的兒子
 ちようしう徵收(名) 征收、抽、
 徵收〔租税を徵收する〕徵收賦
 税、抽税、收税
 ちようしふ徵集(名) 徵集〔兵馬を
 徵集する〕徵集兵馬
 ちようす徵(佐他動) 徵〔これを
 史書に徵するに〕徵諸史書〔意見

を徵す〕徵求意見
 ちようす寵(佐他動) 寵、寵愛
 ちようぜい徵稅(名) 徵稅
 ちようせう寵招(名) 寵招
 ちようぢ懲治(名) 懲治〔懲治監〕
 (カン)懲治監、罪犯習藝所
 ちようてい重訂(名) 重訂〔ch'ung?
 ちようでふ重疊(名) ①重疊(ch'ung-
 chieh?)〔山嶽重疊〕山嶽重疊②
 可以的〔彼の技術ではこれが重疊
 です〕像他如此能耐到這個地
 步也就可以的了〔三千圓も儲か
 れば重疊です〕賺個三千兩銀子
 也算可以的
 ちようにん重任(名) 連任
 ちようはう重寶(名) ①與ちゆう
 はう同②方便、多能〔家傳の重

寶)傳家之至寶〔重寶な物を頂戴
 して有難うございます〕蒙您賞
 給我好東西謝謝〔あれは中中重
 寶な男です〕他是很多能的人
 ちようはつ徵發(名) 徵發、收用
 (馬匹を徵發する)徵發馬匹
 ちようばつ懲罰(名) 懲罰、懲辦
 ちようはん重犯(名) 再犯 〔pu〕
 ちようふく重復(名) 重復〔ch'ung〕
 ちようへい徵兵(名) 徵兵、募兵、
 令服兵役、使入軍籍、當兵〔徵
 兵忌避(キビ)規避當兵
 兵忌避(キビ)規避當兵
 ちようほ徵募(名) 徵募、召募
 ちようやう重陽(名) 重陽節
 ちようり重利(名) 與ふくり同
 (ちようろ)女郎(名) 妓女、娼妓、
 嫖子、審妓兒

ちようる重圍(名) 重圍
 ちよがく女學(名) 女學〔女學校〕
 (カウ)女學校〔女學生〕(セ)女學生
 ちよがみ千代紙(名) 花紙、花紅
 的紙
 (ちよきちよき) 嘎味嘎味的
 (剪刀でちよきちよき切る)用剪
 子嘎味嘎味的絞
 ちよきよ除去(名) 除去
 ちよきふ女給(名) 女酒保、女堂
 宿、女看座的
 ちよきん貯金(名) 存錢、攢錢、儲
 金、儲款〔郵便貯金〕(シウビ)郵政
 儲金〔小口貯金〕(コグチ)小數目儲
 金〔貯金通帳〕(ヒチャウ)存簿
 ちよく勅(名) 勅
 ちよく直(名) 直

ちよく猪口(名) 酒盃
 ちよくかう直行(名) ①直行(キヤ)
 ②一直、直行〔直行車〕(シ)直
 行車〔この汽車は天津まで直行し
 ますか〕這個火車一直到天津去
 麼
 ちよくかう直航(名) 直放〔直航
 船〕(セ)直放船〔この船は大連ま
 での直航です〕這隻船直放到大
 連
 ちよくかく直角(名) 直角、方角、
 ちよくがく勅額(名) 御筆匾額
 ちよくかつ直轄(名) 直轄、直接
 管轄
 ちよくきよ勅許(名) 奉旨依議
 ちよぐわい除外(名) 除去、除此、
 扣去、除此之外〔除外例〕(イ)特

例、特別之事、出章程的辦法、破格辦法、例外辦法

ちよくがん 勅願(名) 御禱

ちよくけい 直系(名) 宗親、宗支、直系

ちよくけい 直徑(名) 直徑、徑線

ちよくげん 直言(名) 直言、嘴直

ちよくご 勅語(名) 上諭、聖諭

ちよくさい 勅裁(名) 聖裁

ちよくさい 勅祭(名) 奉旨祭祀

ちよくさい 直裁(名) 親自裁決

ちよくさい 直截(名) 直截、斬截、坦白

ちよくし 勅使(名) 天使、欽使

ちよくし 勅旨(名) 諭旨

ちよくし 直視(名) 直視、注視、注

目、釘着看

ちよくしや 直射(名) 直射

ちよくじやう 直上(名) 直上

ちよくしん 直進(名) 制書、詔書

ちよくせつ 直接(名) 一直的前進

〔直接に談判する〕 直接的交渉

〔直接に取引する〕 直接的交買

賣、直接交易〔直接行動〕(ワドク)

直接行動〔直接税〕(ゼイ) 直接税

〔直接叙述〕(ヨシユジ) 直接叙述

ちよくせん 勅宣(名) 諭旨

ちよくせん 勅撰(名) 欽撰、欽定

ちよくせん 勅選(名) 欽選〔勅選議

員〕欽選議員

ちよくせん 直線(名) 直線

ちよくたふ 直答(名) 立刻回答

ちよくたふ 勅答(名) ①回奏(勅ニ答)

②批答(上奏ニ對シ陛下ノ下)

ちよくぢやう 勅誼(名) 聖旨、勅

ちよくつう 直通(名) 直通到、一

直的到、直達〔直通運輸〕(ウシユ)

通運車務〔直通列車〕(ツシヤ) 直達

車、直行車、通行列車、通行的

車

ちよくにん 勅任(名) 欽命、簡命、

簡授、簡任〔勅任官〕(クワン) 簡任

ちよくひつ 勅筆(名) 御筆

ちよくめい 勅命(名) 勅命、聖旨

ちよくめん 勅免(名) 奉旨豁免

ちよくやく 直譯(名) 直譯、逐字

翻譯

ちよくゆ 勅諭(名) 勅諭、上諭

ちよくりつ 直立(名) 直立、樹立、

堅立、堅起、堅直

ちよくれい 直隸(名) 直隸

ちよくれい 勅令(名) 諭旨、勅令

ちよくわ 直話(名) 親口說的話

ちよくわう 直往(名) 直往

ちよくわう 女皇(名) 女帝

ちよくわん 女官(名) 宮女兒

ちよけつ 女傑(名) 女傑、女豪、女

英雄

ちよこう 女工(名) 女工、工女〔女

工場〕(メ) 女工場

〔ちよごい〕 猪口才(名) 冒失、不

安分、傲慢、不知輕重〔子供が猪

口才を云ふな〕 你一個小孩子別

說冒失的話〔俺(オレ)に反對すると

は猪口才な〕 你敢反抗我實在不

知輕重

ちよこしゆ 女戸主(名) 女當家

〔ちよこちよこ〕 (副) ① 蹂躪〔大通

へ子供がちよこちよこ走り出てあ

ぶない〕 小孩子在大街上蹂躪蹂

躪的走實在的危險② 時不常的

〔彼はちよこちよこ私の家へも來

る〕 他時不常兒的也上我這兒

來③ 荒荒兒〔あの子はちよこち

よこして居て落付かない〕 那個小

孩子荒荒兒似的一點兒也不安

頓

チヨコレイト(名) (Chocolate) 蘇

哥刺、諸古力、朱古力茶〔チヨコ

レート色〕 朱古力色

ちよごい 貯財(名) 存錢、攢錢

ちよごう 貯藏(名) 貯藏、貯存、存

貯、貯收、收貯、存儲、藏收〔貯

藏所(シヨ) 收貯所、貯藏所、存貯

所、堆房〔貯藏室〕(シ) 伙食房

ちよさう 女裝(名) 男扮女裝

ちよさく 著作(名) 著作、作書、著

書、撰著〔著作者〕(シヤ) 著書者、

著書者

ちよし 女子(名) 女子、婦女

ちよし 女史(名) 女史、女士

ちよじ 女兒(名) 女兒、女孩兒、女

孩子、姑娘

ちよしう 女囚(名) 女犯

ちよじつ 除日(名) 除夕、除日、除

夜、大年三十兒

ちよしや 著者(名) 作書者、作書

人、著書家、著書者、編書人

〔ちよしやう 女將(名) 掌班的(妓樓)

飯館客店等女掌櫃的、主母、女

主人 「著述、撰著」
 ちよじゆつ 著述(名) 著作、著書、
 ちよしよ 著書(名) 著作的書、著
 ちよしよく 女色(名) 女色 「書
 ちよしん 女神(名) 女神、娘娘
 ちよす 除ス(佐變他動) 除(服を除す)
 除服(官を除す) 除官(三を以て
 九を除す) 用三除九
 ちよする 貯水(名) 攢の水(貯水
 槽(一) 水塔(貯水池) (二) 池、塘、
 貯水池、積水池
 ちよせい 女性(名) 女的、女流的、
 婦女的、婦女様式的、屬於女流
 的 「徒(一) 同上
 ちよせい 女生(名) 女學生(女生
 ちよせい 女婿(名) 女婿、東林
 ちよせき 除籍(名) 銷籍

ちよせき 除夕(名) 與除夜(ちよ) 同
 ちよたい 除隊(名) 出隊、退營
 ちよちく 貯蓄(名) 儲蓄、存錢(貯
 蓄銀行) (一) 儲蓄銀行(貯蓄債
 券) (二) 儲蓄票、儲蓄券
 ちよちよう 女丈夫(名) 娘子軍
 士、女丈夫、巾幗的英雄、女將、
 女武士
 ちよちゆう 女中(名) ① 女僕、老
 媽兒、使女、女使喚人 ② (モシ) Y
 頭、Y 鬢
 (ちよ) かい (名) 管閒事(關係のな
 い事) ちよ) かい 出する) 你不用
 管閒事這事和你不相干
 ちよ) かく 直覺(名) 直覺、接知
 ちよ) っき (名) 坎肩兒、背心、背襟
 ちよ) ぐわつ 直轄(名) 直轄、直隸

「文部省の直轄學校」教育部直轄
 的學校
 ちよ) 一寸(副) ① 暫且、一會兒
 「一寸お待ち下さい」請等一會兒
 「一寸來て一寸歸ってしまつた」一
 會兒來一會兒走 ② 一點兒「一
 寸した事から仲違になつた」因爲
 一點兒念兒他們倆犯的心「一
 寸奇麗な女」俏皮一點兒的女人
 ③ 先(私は一寸買物に行く)我先
 買東西去 ④ 一時、忽然(この病
 氣は一寸治らない)這場病一時
 好不了「一寸返事は出來ない」一
 時不能回答(彼も一寸承知しま
 すまい)他也不能一時就答應
 「ちよ) と思ひ出せない」忽然想
 不起來

ちよてい 女帝(名) 女帝
 ちよてつ 女姪(名) 姪女兒
 (ちよ) 一寸(副) 與ちよ) 同
 ちよなん 女難(名) 爲女色所累、
 桃花難 (man) 桃花運
 ちよはふ 除法(名) 除法
 ちよふく 除服(名) 除服、起服
 ちよふく 女服(名) 女衣兒
 (ちよ) ほい ち 樗蒲(一) 賭博之名
 (ちよ) ほくれ (名) 唱曲兒的
 (ちよ) ほちよほ (名) 點點、一點
 一點的 「式」開幕禮
 ちよまく 除幕(名) 銅像開幕(除幕
 ちよめい 著名(名) 著名、有名、出
 名 「著
 ちよめい 著明(名) 著明、顯明、顯
 ちよめい 除名(名) 除名、開除、除

名不算、革除名字
 ちよや 除夜(名) 除夜、除夕、年夜
 除日、大年三十兒
 ちよゆう 猪勇(名) 豬突豨勇
 ちよらう 女郎(名) 娼妓、妓女、嫖
 子、婬子、密妓兒、賣笑的(女郎
 になる) 落水、作妓女(女郎上
 (アガリ) 從良的妓女(女郎買) (カヒ
 逃下處、荒蕩、逃密子、嫖婬子、
 嫖妓、娼娼(女郎屋) (ヤ) 妓館、下
 處、青樓、娼窩、密子、堂名兒
 ちよりう 女流(名) 女流、婦女、女
 人、女類、女界、坤道、婦道
 ちよりつ 佇立(名) 佇立
 ちよれい 女禮(名) 女子禮節(女禮
 式) (シキ) 同上 「蝶兒
 ちよろぎ 草石蠶(名) 草石蠶、甘

(ちよ) ちよ) ちよ) 一點兒一點
 兒的「水がちよ) ちよ) ちよ) 流れる」
 水一點兒一點兒的流、細緩而
 流、點滴而流
 (ちよ) ころ) かももの (名) 粗心的人
 (ちよ) ころ) ます (四段他動) 偷摸、掠
 ちよ) わう 女王(名) 女王 (queen)
 (ちよ) ん) きな (名) 滑拳的一類
 (ちよ) ん) ぎる (四段他動) 去一點兒
 (ちよ) ん) ちよ) ん (副) 梆梆的(拍子木
 (ちよ) ん) の) ま (名) 一點兒的工夫、
 片時、片刻、頓刻、一晃兒
 (ちよ) ん) びり (副) 一點兒
 (ちよ) ん) ぼり (副) 同上
 (ちよ) ん) ま) げ (名) 日本古時男子
 結髻之名、抓髻
 ちらい) くわ) 地雷火(名) 地雷
 ちよ) ちら) 九七五

ちら

ぢらう地牢(名) 地牢

(ちらかす散(四段他動) ①亂七八遭的②稀爛「道具を散さないで片付る」別把東西弄的亂七八遭的歸着歸着「肴(サカ)を食ひ散らす」把菜吃的稀爛

(ちらかる散(四段自動) 亂七八遭、散「本が方に散る」書東一下了西一下了亂七八遭

ちらし散(名) ①散的②傳單(ヒキ)

ちらしがみ散髪(名) 披散頭髮

ちらしだいこ散太鼓(名) 散戲的鼓

ちらす散(四段他動) 散、發散「風が花を散す」風把花兒颯散「敵を逐ひ散す」把敵人追散「塵物を散す」發散灰塵「金を借り散す」東

ちら

摘西借

(ちらちり(副) ①一片兒兩片兒的「雪がちらちら降る」雪一片兒兩片兒的下②燥的「眼がちらちらする」眼睛燥的很③恍恍惚惚「さう云ふ噂はちらちら耳に入ります」恍恍惚惚的聽見過這個風聲

(ちらつく(四段自動) 同上

(ちらと(副) 一燥兒、一閃眼、一展眼「ちらと目につく」一燥兒瞧見了

ちらばら(副) 散(san)擱着「ちらばらにしないで一緒に置く」別散擱着歸在一塊兒

(ちらばる(四段自動) 亂七八遭、散「部屋がちらばってゐる」屋裡亂

ちらちり

七八遭的

ちらふ地臘(名) 土臘、石臘

(ちらぼら(副) ①一朵兒兩朵兒的「梅の花がちらほら咲き初めた」梅花一朵兒兩朵兒的開了②恍恍惚惚、與ちらちら同

(ちらり(副) 與ちらら同

(ちらりほらり(副) 與ちらほら

ちらん治亂(名) 治亂

ちり塵(名) ①塵、塵埃②土③絲

毫、一點兒「塵を拂ふ」揮土、把土抖擻下「塵を捨てる」倒土「彼は塵程も私がない」他絲毫沒有私弊「お鬚(ヒゲ)の塵を拂ふ」諂媚、拂鬚「塵積れば山となる」積少可

以成多、積土成山

ちりれんげ散蓮華(名) 調羹

ちり散(四段自動) 散、謝「花が散る」花兒謝「目が散る」眼神不定「氣が散る」心不定「墨が散る」墨印了「紅葉が一面に散り敷く」紅葉飄散的滿地裏

ちれう治療(名) 治、醫、治療、療

治、治病、醫治、調治「治療法」與

れうはふ同

ちれきせい地瀝青(名) 地瀝青

チレンマ(名) (Dilemma) 事屬兩

難、進退兩難、左右爲難「チレン

マにかかる」同上

ちろ地爐(名) 地爐子

「漏

ぢろう痔漏(名) 痔漏、漏瘡、肛門

ちろり銚盞(名) 酒婆子、酒鑽子

ちり地理(名) 地理、輿地「地理學」

(ガク)地理學

ちりあくた塵芥(名) 塵芥

ちりかた散方(名) 要謝、要散「花

も散方になった」花兒也到了要

謝的時候

ちりがみ塵紙(名) 粗紙

ちりけ身柱(名) 脖梗兒底下

(ちりちり(副) ①縹縹「紙がちりち

りになった」紙縹縹了②慌慌憚

憚的「父の前では子供がちりちり

して居る」在父親跟前小孩子們

慌慌憚憚的

ちりぢり散散(副) 散(san)班、四

散「二家散散になる」一家子散了

班兒了「敗兵は散散に逃げた」敗

兵四散紛逃了

ちり

ちり

ちりづか塵塚(名) 堆土的地方

ちりどり塵取(名) 簸箕

ちりばかり塵許(副) 毫、一點兒

ちりはたき塵拂(名) 揮子

ちりばな散花(名) 落花

ちりばむ鏤ム(下二動他動) 鏤

ちりはらひ塵拂(名) 揮子

ちりひぢ塵泥(名) 塵埃

ちりほこり塵埃(名) 同上

ちりめん縮緬(名) 湖縹、鷄皮湖

縹、縹絹、縹綢「縮緬紙」縹紙「縮

緬雜魚」(ジ)乾小魚兒「縮緬皺

(ジ)小縹紋兒

ちりやく智略(名) 智略

ちりよ智慮(名) 智慮

ちりよく智力(名) 智力

ちりよく地力(名) 地力、地生物

的力量

ちりれんげ散蓮華(名) 調羹

ちり散(四段自動) 散、謝「花が散

る」花兒謝「目が散る」眼神不定

「氣が散る」心不定「墨が散る」墨

印了「紅葉が一面に散り敷く」紅

葉飄散的滿地裏

ちれう治療(名) 治、醫、治療、療

治、治病、醫治、調治「治療法」與

れうはふ同

ちれきせい地瀝青(名) 地瀝青

チレンマ(名) (Dilemma) 事屬兩

難、進退兩難、左右爲難「チレン

マにかかる」同上

ちろ地爐(名) 地爐子

「漏

ぢろう痔漏(名) 痔漏、漏瘡、肛門

ちろり銚盞(名) 酒婆子、酒鑽子

ちりちろ

九七七

九七六

ちろ ちろ

〔ちろり〕 與ちらり同

ちわ痴話(名) 情話、情想話〔痴話
狂〕(ゲルヒ)男女耍骨頭〔痴話喧嘩〕
(デンカ)爲吃醋打架、醋海生波〔痴
話文〕(ア)情書

ぢわり地割(名) 區劃地面

ちる地位(名) 地位、位分、位次、
缺〔現在の地位に甘んずる〕在現
在的地位甘心〔高い地位に上る〕
陞高地位〔あの人は地位は低い
が腕はある〕他的缺不大可有能
耐

ちる智慧(名) 智慧、智識、智數兒
〔彼は智慧がある〕他有智數兒
〔あの男は大分智慧が足りない〕他
那個人很缺智識、那個人智慮
不周到〔誰かが智慧をつけるのだ

2. 附和雷同的人
ちんがし 賃貸(名) 出賃
ぢんがり 陣貝(名) 唸囉(pieh² lo⁴)
ちんがり 賃借(名) 賃
〔ちんかん〕 汀汀瑤瑤〔鍛冶が
ちんかんと鐵を打つ〕鐵匠汀汀
瑤瑤的打鐵

ちんき 珍奇(名) 珍奇

ちんき 珍器(名) 珍器

ちんきやく 珍客(名) 珍客、希客

ちんきん 賃金(名) 工銀、工錢、工
食、工資〔賃金表〕(ヒヤウ)價目單

ちんぎん 賃銀(名) 同上 「滅了

ちんくわ 鎮火(名) 火下去了、火

〔ちんこ〕(名) (子供)小雞兒、小虫

〔ちんこ〕(名) (陰莖)小雞兒、小虫

兒、雀子

ちんこ 鎮護(名) 鎮護

ちんこ 鎮護(名) 鎮護

ちん

ちん

らう)這是有誰挑唆他的、有人
在背地裡出主意了、この子は智
慧付が早い、這個孩子智識開
(來)的快〔智慧を絞(ボシ)る〕使智慧
〔一つ貴下の智慧を借して下さい〕
請您替我出一個好主意〔下司の
智慧〕事後聰明〔智慧者〕(シヤ)智
者〔智慧無〕(ナシ)沒有智識的人
〔智慧齒〕(シ)智齒〔智慧の板〕七巧
圖〔智慧の環〕九連環〔智慧袋〕
(ブクロ)智囊

ちん賃(名) 工錢〔家賃〕(ヤ)房錢〔運
賃〕(ワン)水脚、運脚、運費〔汽車
賃〕(キシャ)火車錢〔車賃〕(クルマ)車
錢〔船賃〕(フネ)船價
ちん焼(名) 燒
ちん鎮(名) 鎮

〔ちんころ〕(名) 巴兒狗、小狗兒
ちんご 鎮座(名) 鎮攝
ちんごう 珍藏(名) 珍藏、寶存、祕
藏、慎重保存
ちんし 沈思(名) 沈思、深思
ちんじ 椿事(名) 禍害、凶災、意外
的災、意外變故
ちんじご 賃仕事(名) 卯子活、
卯子工、散工
ちんじや 陳謝(名) 陳謝
ちんじやう 陳情(名) 陳情
ちんじやく 賃借(名) 賃、租〔賃借
地〕(チ)租的地〔賃借物〕(チ)賃的
東西

ちんじゆ 鎮守(名) ①鎮守 ②土地

ちんじゆつ 陳述(名) 陳述、聲明、
表明、述明、說明

ちん

ちん

ちん珍(名) 珍
ちん狎(名) 巴兒狗、小狗兒
ちん亭(名) 亭子、涼亭
ちん朕代 朕
ちん陣(名) 陣、營房〔陣を取る〕布
陣 沈香
ちん沈(名) 沈香
ちんあい 塵埃(名) 塵埃
ちんあつ 鎮壓(名) 鎮壓、彈壓〔動
亂を鎮壓する〕鎮壓擾亂、彈壓
亂事

ちんえい 陣營(名) 陣營
ちんかい 塵芥(名) 塵芥、垃圾
ちんかう 沈降(名) 沈下去
ちんかう 沈香(名) 沈香
ちんかく 珍客(名) 珍客、希客
ちんがさ 陣笠(名) 貂尾兒帽子(貂
尾子)〔陣笠連〕(シ) 1. 雜兵、兵丁

ちんじゆふ 鎮守府(名) 在軍港所
在地掌管海軍事務之府
ちんじよ 珍書(名) 珍書
ちんじよ 陣所(名) 營房
ちんすゐ 沈醉(名) 沈醉、喝大醉
ちんせい 鎮靜(名) 平靜、安靜、鎮
定〔鎮靜劑〕(チ) 平藥、安撫藥、
平心藥、平脈藥
ちんせき 枕席(名) 枕席〔枕席に侍
る〕侍枕席
ちんせつ 珍説(名) 奇談、新聞
ちんせん 賃錢(名) 與ちんきん同
ちんせん 闖然(副) 闖然
ちんせん 陣扇(名) 軍扇
ちんたい 沈滯(名) 停滯、滯滯、不
活潑、不振
ちんたい 賃貸(名) 賃出去〔賃貸

ちん

ちん

ちん

借(シヤク)租賃(賃貸人) (ニ) 出賃
 的人(賃貨物) (フ) 出賃的東西
 ちんたい 鎮臺(名) ① 鎮守的兵營
 ② 鎮守的兵(鎮臺兵) (一) 同上
 ちんたいこ 陣太鼓(名) 陣鼓
 ちんたい 陣刀(名) 戰刀 「式
 ちんだて 陣立(名) 排陣、陣伍、陣
 ちんだん 珍談(名) 新聞、奇談
 ちんち陣地(名) 陣地、布陣的地方
 「ちんちくりん(名) 恨天高(クキノヒ
 ル語) 「香
 ちんちやうげ 沈丁香(名) 露甲、瑞
 ちんちやく 沈着(名) 沈穩、穩重、
 沈重、鎮靜、鎮定
 ちんちやう 沈重(名) 同上
 ちんちやう 珍重(名) ① 珍重、貴
 重、寶貴 ② 慶賀

ちん

ちんちん 沈沈(名) 沈沈
 「ちんちん(名) 吃醋(スルキ)
 「ちんちん(名) 與ちんこ同
 「ちんちん(名) 請請(ク、拜拜) (同)
 「ちんちん(名) 璫璫的(時計がち
 んちんと五時を打った) 鐘璫璫的
 打了五下兒
 「ちんちんばしより(名) 掖起衣
 裳來
 「ちんちんもがもが(名) 跳隔蹬
 兒 (Fido's kōō teng' er) (名)
 ちんつう 鎮痛(名) 止痛、解疼、鎮
 痛(鎮痛藥) (ヤク) 止痛藥、鎮痛
 劑、解疼藥
 ちんつう 沈痛(名) 沈痛
 ちんつう 陣痛(名) 覺作(chin' tsou)
 臨產腹痛

ちん

ちんてい 鎮定(名) 鎮定、平定(兵
 亂が鎮定した) 兵亂都平定了
 ちんでん 沈澱(名) 澄清兒、淀、沈
 澱(沈澱物) (フ) 渣子、渣滓、沈
 澱物、澄下來的髒兒、底兒
 ちんとう 枕頭(名) 枕邊
 ちんとう 陣頭(名) 陣頭
 ちんぞく 酖毒(名) 酖毒
 ちんぞり 陣取(名) 排陣、布陣
 ちんぞる 陣取ル(四段自動) ① 排陣、
 布陣 ② 佔、佔有
 ちんにふ 闖入(名) 闖入、闖進
 ちんば 跛(名) 瘸子(兩足) 單柄(pin-
 兒) (片足)
 ちんばう 珍寶(名) 珍寶
 ちんばおり 陣羽織(名) 戰袍
 ちんばらひ 陣拂(名) 撤陣

九八〇

ちん

ちんび 陳皮(名) 陳皮
 ちんびん 珍品(名) 希罕物
 ちんぶ 鎮撫(名) 鎮撫
 ちんぶ 陳腐(名) 陳腐、舊套、陳
 套、俗套、老套
 ちんぶ 賃夫(名) 雇的人、夫役、傭
 ちんぶつ 珍物(名) 希罕物 「工
 ちんぶね 陣觸(名) 傳令各陣
 ちんぶん 珍聞(名) 新聞、奇談
 「ちんぶんかん 珍薰漢(名) 一口的
 臭文字
 ちんべん 陳辯(名) 申陳、陳述
 「ちんほ(名) 陽物、屢子、雞巴
 (此語ノ、小和尚
 (語源) (名) 同上
 ちんほつ 沈沒(名) 沈下去、沈沒
 ちんほつ 陣歿(名) 陣亡

ちん

ちんまい 陣米(名) 陳米、老米
 ちんまく 陣幕(名) 軍陣圍幕
 ちんみ 珍味(名) 珍味(山海の珍味)
 山珍海味、珍饈美味
 ちんむる 珍無類(名) 珍奇無比
 ちんめう 珍妙(名) 可怪可笑、好笑
 ちんもく 沈黙(名) 沈黙、緘黙、不
 作聲、不言語(沈黙を守る) 守沈
 黙、閉口無言、緘口不言(敵の砲
 撃を沈黙させる) 制住敵人砲火
 ちんもん 陣門(名) 陣門、軍門
 ちんや 陣屋(名) 陣、營房
 ちんりん 沈淪(名) 沈淪、零落
 ちんれつ 陳列(名) 陳列、擺設、陳
 設、設擺、擺出來(陳列所) (シヨ)
 陳列所、陳列場(商品陳列所)
 (シヤウシヨ) 商品陳列所(陳列窓)

ちん

ちんれつ 陣列(名) 陣式
 つ 津(名) ① 港、口岸 ② (シタ) 津、擺
 つ 睡(名) 唾、吐沫 (Fut me) 「渡
 つ (助動テ、ル、ツレ) 表過去時之助動
 詞、了(今日も行きつ)、今天
 也去了
 つ (助) 或(語りつ問ひつ) 或說或
 問(行きつ戻(マ)りつ) 或去或來
 つ (助) 示名詞與名詞之關係助詞
 也、的也、之也(天つ神) 天神(國
 つ神) 地祇(外つ國) 外國(内つ

九八一

國)内國

つ(接尾) 個、箇(二つ)一個(二つ)

兩個(三つ)三個(幾つ)幾個

づ圖(名) 圖、畫(地圖)地理圖

〔天文圖〕〔チンモ〕天文圖〔美人の圖〕

美人圖〔圖を引く〕起圖樣

づ圖(名) 心〔思ふ圖に中る〕正合

心、正可心圖に乗る〕鼓起高興

來〔圖に外れる〕不合心、不可心

〔計略皆圖に中る〕計策都可了心

了

づ頭(名) 頭、腦袋〔頭が高い〕高揚

づあん圖案(名) 圖案、描畫、圖

則、圖樣〔圖案を作る〕打圖樣、

作圖案〔圖案家〕圖案家、打樣

師、創作圖樣者

つ(つ)い(つ) ①不知不覺的、無緣無

故的(つ)い私が粗相(ウツサ)致しまし

た)無緣無故的我弄錯了(忙く

てつ)いお伺ひ致しませんでした)

我忙的不知不覺的老沒給您請

安去了②近、就(つ)いこの近處で

す)就在這左近地方(それはつ

い此間の事です)這就是近幾天

的的事情了③剛(つ)い今し方歸っ

た)現在剛回來了 「縫衣裳

ついたけ衝丈(名) 按着身量裁布

ついたて月立(名) 朔、初一

ついたて衝立(名) 與下語同〔衝

立障子)〔ヤウジ)屏、單扇屏風

ついち築地(名) 羣堵

ついで序(下二段他動) 立次序

ついで就(テ)因、因爲(：)所以

〔新築落成致候就ては明晩粗飯差

上度候間御來臨下され度候)因新

房方成於明晩聊備粗酌奉候届

時光臨是荷

ついで序(名) ①次序、次第②順

手兒、就手兒、稍帶着(町へ行

く序に端書を買って来て下さい)

你上街就手兒給我買信片兒來

〔此處まで来た序に彼處へも行か

う)既到這兒了順便上那兒去

罷(筆の序に皆書かう)就着筆全

寫了罷③便、便中〔此次に序が

あれば持つ来て上げます)下次得

便給您送來〔御序の節御返事下

され度候)並望便中示知

ついで(尋テ)尋、嗣(尋で至る)

尋至(尋で御手紙拜見致候)嗣奉

手書

つ(つ)い(つ) ①神カ(神仙通を失ふ)

つう通(名) 神カ(神仙通を失ふ)

老江湖(世間ナレ)、通達世情の人

〔通を振廻はす)賣能自己在行

〔支那通)通達中國事情の人〔芝

居通)〔シバキ)戲上在行的人〔外交

通)〔クワイカ)通於外交情形の人

つう通(接尾) ①封〔手紙一通)一封

信②張、紙〔證文二通)兩張約單

〔受取書一通)收單一紙

つうあい痛愛(名) 疼愛

つういう通有(名) 共通的、誰都

有的〔通有性)〔ゼイ)共通性

つういん痛飲(名) 痛飲

つううん通運(名) 通運、搬運、運

往、轉運〔通運會社)〔ワイシヤ)通運

公司、轉運公司

つうかう通航(名) 走海、航水、航

つうかう通行(名) 來往〔車馬通行

を禁す)禁止車馬來往〔人の通行

を妨碍する)妨礙人來往

つうがく通學(名) 附學

つうがる通ガ(四段自動) 賣能自

己在行

つうかん痛諫(名) 痛諫、苦勸

つうぎ通義(名) 通義

つうきん通勤(名) 每天上官署

つうくわ通貨(名) 通行貨幣、流

つうくわ通過(名) ①通過、經過

〔船は今黃海を通過して居る)船

現在通過黃海哪〔病氣は危險の時

通過した)病已經過了危險の時

候了)可決〔議案は皆通過した)

議案都可決了)放行〔あの荷物

は税關を通過したか)那個行李

税關放行了麼〔通過税)〔ゼイ)通

過税、過境税、子口税(海關)、釐

捐(内地)

つうくわい痛快(名) 痛快

つうくわん通關(名) 過關〔通關手

續)〔ツギキ)報關、報關的手續

つうけい通計(名) 共計、共總、通

計、一共

つうげう通曉(名) 通曉

つうけん通券(名) 護照

つうけん通見(名) 大略看一看

つうげん痛言(名) 痛言〔時弊を痛

言する)痛言時弊

つうげん通言(名) 通行的話